

令和3年度
(2021年度)

農作物病害虫発生予察事業年報

Annual Report of Plant Protection

Kumamoto Prefecture

熊 本 県

目 次

第1 事業運営状況	
1 関係機関の設置状況	2
2 病虫害発生予察員の設置状況	2
3 病虫害防除員の設置及び活動状況	3
4 病虫害発生予察事業の体系図	5
5 主な対象病虫害	6
6 発生予察調査地点	8
第2 事業等内容	
1 病虫害の発生及び防除状況	
(1) 発生経過、発生原因及び防除の概要	10
(2) 農作物有害動植物の発生面積及び防除面積	24
(3) 普通作病虫害発生予察事業（大豆・イグサを含む）	
ア 病虫害防除所における調査	
(ア) 巡回調査	28
(イ) 予察灯における水稲害虫調査	31
(ウ) ネットトラップにおける水稲害虫調査	32
(エ) フェロモントラップによる水稲害虫調査	33
(オ) 無防除田におけるウンカ類の調査	34
(カ) イグサシンムシガ半旬別誘殺数	35
(キ) イグサシンムシガ越冬調査結果	36
イ 県予察ほ場における調査（試験研究機関における調査成績）	37
(4) 果樹等病虫害発生予察事業（茶を含む）	
ア 病虫害防除所における調査	
(ア) 巡回調査	38
(イ) チャバネアオカメムシの発生状況（フェロモントラップ、予察灯）	40
(ウ) ツヤアオカメムシの発生状況（フェロモントラップ、予察灯）	42
(エ) 茶害虫のトラップ調査による誘殺状況	44
(オ) チャトゲコナジラミの発生状況	46
イ 県予察ほ場における調査（試験研究機関における調査成績）	
(ア) カンキツ病虫害	47
(イ) 茶害虫	56
(5) 野菜・花き病虫害発生予察事業	
ア 病虫害防除所における調査	
(ア) 巡回調査	59
(イ) 野菜害虫のフェロモントラップによる誘殺状況	67
(ウ) 野外におけるコナジラミ類の捕獲状況	78
(エ) トマト黄化葉巻ウイルス保毒状況調査	79
イ 県予察ほ場における調査（試験研究機関における調査成績）	80
2 発生予察情報の提供	
(1) 警報、注意報、特殊報、技術情報	83
(2) 発生予報	161
(3) ホームページ掲載内容	210
3 植物検疫事業	
(1) ジャガイモシストセンチュウ侵入警戒調査	211
(2) アリモドキゾウムシ侵入警戒調査	211
(3) イモゾウムシ侵入警戒調査	211
(4) スイカ果実汚斑細菌病侵入警戒調査	212
(5) ミバエ類等特殊病虫害侵入警戒調査	212
第3 その他	
1 病虫害診断	215
2 気象概要	218

第 1 事業運営状況

1 関係機関の設置状況

2 病害虫発生予察員の設置状況

3 病害虫防除員の設置及び活動状況

4 病害虫発生予察事業の体系図

5 主な対象病害虫

6 発生予察調査地点

1 関係機関の設置状況

機 関 名	所 在 地	県予察 ほ 場	地区予察 ほ場
病虫害防除所 (農業研究センター生産環境研究所 予察指導室)	合志市栄 3801		
農業研究センター生産環境研究所	合志市栄 3801	○	
農業研究センター果樹研究所	宇城市松橋町豊福 2566	○	
農業研究センター茶業研究所	上益城郡御船町滝尾 5450	○	
農業研究センターアグリシステム 総合研究所	八代市鏡町鏡村 363		○
農業研究センター高原農業研究所	阿蘇市一の宮町宮地 5896-2		○
農業研究センター球磨農業研究所	球磨郡あさぎり町上 2248-16		○
農業研究センター天草農業研究所	天草市本渡町本戸馬場 2315		○

2 病虫害発生予察員の設置状況

(1) 病虫害防除所勤務職員

(熊本県農業研究センター 生産環境研究所 予察指導室)

職 名	氏 名	勤務年月日	担 当
所 長	身次 幸二郎	R 3. 4. 1 ~	総括
副 所 長	作本 信次	H31. 4. 1 ~	総括補佐
参 事	丹 信広	R 2. 4. 1 ~	普通作病虫害
主任技師	中井 クノ	R 3. 4. 1 ~	野菜病虫害
技 師	中村 桂介	H31. 4. 1 ~	野菜病虫害
技 師	岡島 大貴	R 3. 4. 1 ~	果樹病虫害、茶病虫害

(2) 農業研究センター 生産環境研究所 病虫害研究室

職 名	氏 名	勤務年月日	担 当
室 長	戸田 世嗣	R 2. 4. 1 ~	総括 (普通作・野菜虫害)
係 長	樋口 聡志	R 2. 4. 1 ~	普通作・野菜病害
研究参事	坂本 美沙	R 2. 4. 1 ~	普通作・野菜病害
研 究 員	舛本 将明	R 2. 4. 1 ~	普通作・野菜虫害
研 究 員	吉永 英樹	R 2. 4. 1 ~	普通作・野菜虫害

(3) 農業研究センター 果樹研究所 病虫化学研究室勤務職員

職名	氏名	勤務年月日	担当
研究参事 研究員	神山 光子	H28. 4. 1～	果樹虫害
	工藤 裕美	H30. 4. 1～	果樹病害

(4) 農業研究センター茶業研究所勤務職員

職名	氏名	勤務年月日	担当
研究主任	石野 晴香	R3. 4. 1～	茶病虫害

3 病虫害防除員の設置及び活動状況

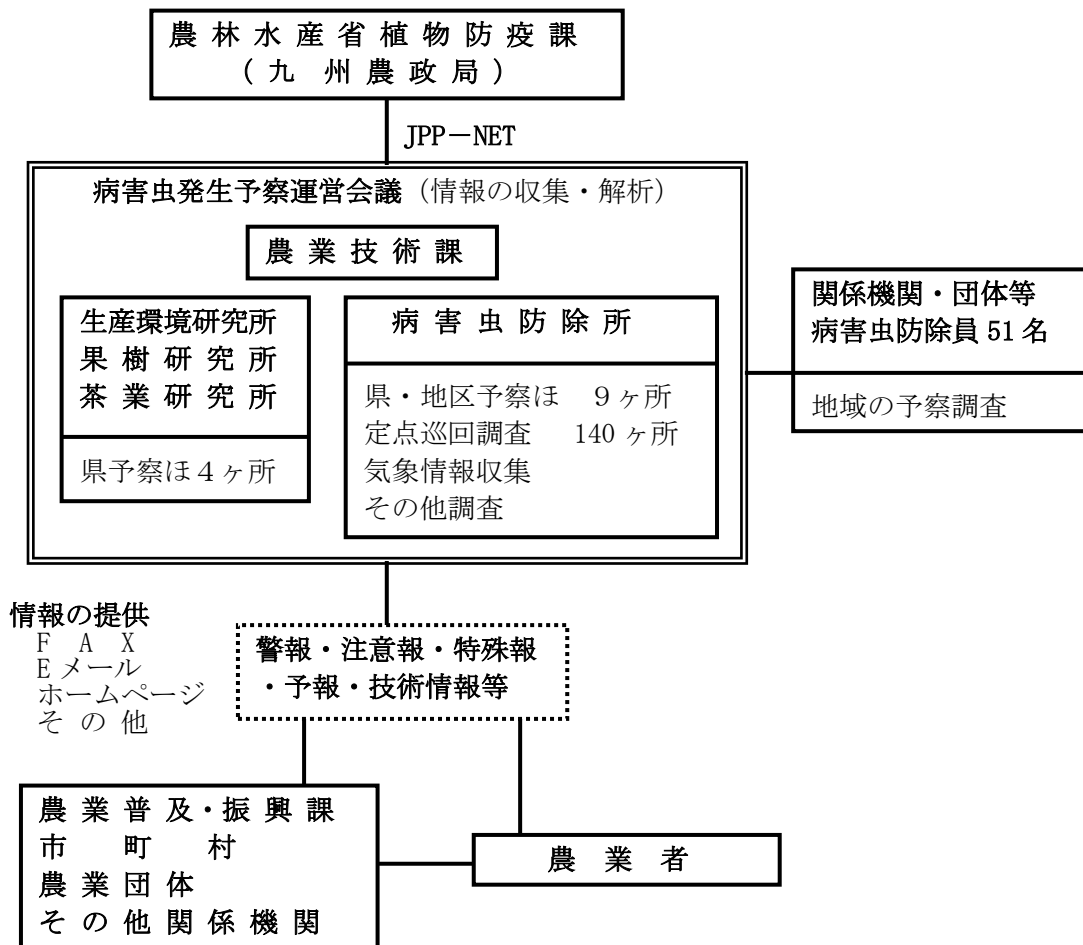
(1) 設置状況

地区名	防除員数	作物別内訳				
		普通作	果樹	野菜	花き	特産
熊本	6	2	1	4	0	0
宇城	3	1	1	1	0	1
玉名	5	1	2	2	0	0
鹿本	5	1	1	1	1	1
菊池	3	1	1	1	0	0
阿蘇	4	2	0	2	0	0
上益城	5	2	0	3	0	1
八代	6	3	1	2	0	3
芦北	3	1	2	0	0	0
球磨	5	1	2	1	0	1
天草	6	2	2	2	0	0
計	51	17	13	19	1	7

(2) 活動状況

	No.	病害虫発生状況調査		防除指導		農薬安全使用指導		講習会・協議会		関係機関との打ち合わせ		計	
		回	時間	回	時間	回	時間	回	時間	回	時間	回	時間
熊本	1	11	29	3	5	1	2	1	2	0	0	16	36
	2	11	13	10	10	1	1	3	2	9	10	34	36
	3	10	15	10	15	2	2	3	3	2	2	27	36
	4	7	11	8	15	1	2	4	9	0	0	20	36
	5	8	10	9	11	12	16	0	0	0	0	29	36
	6	9	24	3	6	2	3	0	0	1	3	15	36
宇城	7	10	21	1	2	0	0	4	9	3	5	18	36
	8	9	24	2	6	0	0	1	2	2	5	14	36
	9	10	24	5	9	0	0	0	0	1	3	16	36
玉名	10	7	11	2	4	1	1	0	0	10	20	20	36
	11	8	21	5	8	1	2	1	2	2	5	17	36
	12	12	32	2	3	1	2	0	0	0	0	15	36
	13	10	15	8	12	1	1	7	9	0	0	26	36
	14	11	23	5	7	1	2	3	4	1	1	21	36
鹿本	15	8	15	7	10	0	0	1	1	8	11	24	36
	16	7	10	11	20	0	0	3	4	1	3	22	36
	17	11	32	2	3	0	0	0	0	1	2	14	36
	18	11	20	6	8	4	5	3	4	0	0	24	36
	19	11	30	2	3	0	0	0	0	1	3	14	36
菊池	20	9	18	7	12	2	4	0	0	1	3	19	36
	21	9	23	4	11	0	0	2	3	0	0	15	36
	22	9	20	7	14	1	2	0	0	1	2	18	36
阿蘇	23	9	22	2	4	1	1	1	2	3	8	16	36
	24	8	18	8	12	4	6	1	1	0	0	21	36
	25	8	24	2	6	0	0	0	0	2	6	12	36
	26	7	18	2	5	2	8	0	0	2	6	13	36
上益城	27	9	16	7	7	3	3	3	5	3	4	25	36
	28	12	36	0	0	0	0	1	0	0	0	13	36
	29	8	13	9	15	1	0	6	9	0	0	24	36
	30	5	12	2	3	2	3	3	6	3	12	15	36
	31	8	12	6	8	3	3	3	4	7	9	27	36
八代	32	10	7	9	6	9	6	7	4	12	13	47	36
	33	7	11	8	12	1	2	3	7	3	5	22	36
	34	7	10	11	19	0	0	1	1	5	6	24	36
	35	8	21	2	5	0	0	2	6	2	5	14	36
	36	12	26	4	5	1	1	2	3	1	2	20	36
	37	11	33	1	3	0	0	0	0	0	0	12	36
芦北	38	6	8	5	6	1	2	7	10	8	12	27	36
	39	10	15	8	14	1	1	6	7	0	0	25	36
	40	11	28	3	4	0	0	0	0	3	5	17	36
球磨	41	9	20	4	9	2	5	0	0	2	3	17	36
	42	7	17	4	9	0	0	0	0	4	11	15	36
	43	9	18	9	18	0	0	0	0	0	0	18	36
	44	12	33	2	3	0	0	1	1	0	0	15	36
	45	10	24	5	9	2	3	0	0	1	2	18	36
天草	46	5	12	5	11	2	3	0	0	4	11	16	36
	47	10	17	10	15	2	2	2	2	1	2	25	36
	48	8	19	0	0	1	1	4	6	5	11	18	36
	49	12	36	0	0	0	0	0	0	0	0	12	36
	50	8	17	3	3	0	0	1	3	4	5	16	27
	51	4	12	1	3	0	0	2	6	5	15	12	36
	合計	458	985	251	399	69	88	92	133	124	224	994	1,827
	平均/人	8.8	18.9	4.8	7.7	1.3	1.7	1.8	2.5	2.4	4.3	19.1	35.1

4 病虫害発生予察事業の体系図



5 主な対象病害虫

	作物名	指定 指定外	有害動植物名
普通 作物 病害虫 発生 予察 事業	イネ	指定	いもち病、紋枯病、縞葉枯病、稲こうじ病、ばか苗病、もみ枯細菌病、トビイロウンカ、セジロウンカ、ヒメトビウンカ、イネミスズウムシ、ニカメイガ、ツマグロヨコバイ、コブノメイガ、カメシ類（クモハリカメシ、ホソハリカメシ、シラホシカメシ、ミナミアカメシ、アカスジカスミメ）、フタホビコヤガ
		指定外	黄化萎縮病、萎縮病、白葉枯病、スクリソコガイ
	ムギ	指定	うどんこ病、赤かび病
		指定外	斑葉病、縞萎縮病、さび病類、シトビムシ類
	ダイズ	指定	ハスモンヨトウ、吸実性カメシ類（アオクサカメシ、イチモンジカメシ、ホソハリカメシ、ミナミアカメシ）
		指定外	べと病、葉焼病、紫斑病、コガネムシ類
	ハレショ	指定	疫病、アブラムシ類（ワタアブラムシ、モモアブラムシ）
		指定外	ニジュウヤホシテントリ類、モザイク病、軟腐病
	イグサ	指定外	イグサシロムシガ
	果樹等 作物 病害虫 発生 予察 事業	カンキツ	指定
指定外			灰色かび病、緑かび病、アザミウマ類（チャノキイロアザミウマ、ミカンイロアザミウマ）、カイガラムシ類（ナシマルカイガラムシ、アカマルカイガラムシ）、ゴマダラカミキリ、ハマキムシ類、ミカンハダニ、ミカンモグリガ
ナシ		指定	黒斑病、黒星病、ナシヒメシクイ、ハダニ類（ミカンハダニ、ナシハダニ）、カメシ類（チャバネオカメシ、ツヤアカメシ、クサギカメシ）、アブラムシ類（ワタアブラムシ、ユキヤナギアブラムシ、ナシアブラムシ）、ハマキムシ類（チャハマキ）
		指定外	赤星病、うどんこ病、輪紋病、炭疽病、火傷病、カイガラムシ類、吸汁性ヤガ類
ブドウ		指定	べと病、灰色かび病、晩腐病
		指定外	黒とう病、褐斑病、チャノキイロアザミウマ
クリ		指定外	実炭疽病、モノゴマダラノメイガ、クリタマハチ、カツラマルカイガラムシ、クリカイアブラムシ、
カキ		指定	炭疽病、カキハタムシガ、カメシ類（ツヤアカメシ、クサギカメシ、チャバネオカメシ）、アザミウマ類（チャノキイロアザミウマ、カキクダアザミウマ）、カイガラムシ類（フジコカイガラムシ）
		指定外	落葉病、うどんこ病、灰色かび病
チャ		指定	炭疽病、ハマキムシ類（チャノコカクモンハマキ、チャハマキ）、カンザワハダニ、チャノボリガ
	指定外	もち病、網もち病、輪斑病、チャノキイロアザミウマ、ツマグロアオカスミメ、チャノミドリヒメヨコバイ、クワシロカイガラムシ	

	作物名	指定 指定外	有害動植物名
野菜・ 花き類 病害虫 発生予 察事業	トマト	指定	灰色かび病、疫病、葉かび病、アブラムシ類（モモアカアブラムシ）、ハスモンヨトウ、コナジラミ類（オシツコナジラミ、タバココナジラミ）、オオタバコガ
		指定外	すすかび病、輪紋病、ウイルス病（黄化葉巻病）、ハモグリハエ類
	ナス	指定	灰色かび病、うどんこ病、アブラムシ類（モモアカアブラムシ）、ハスモンヨトウ、ハダニ類（ナミハダニ）、アザミウマ類（ミナキイロアザミウマ）、オオタバコガ
		指定外	すすかび病、コナジラミ類（オシツコナジラミ、タバココナジラミ）、ハモグリハエ類
	キュウリ	指定	灰色かび病、べと病、うどんこ病、褐斑病、アブラムシ類（ワタアブラムシ、モモアカアブラムシ）、アザミウマ類（ミナキイロアザミウマ）、コナジラミ類（オシツコナジラミ、タバココナジラミ）
		指定外	菌核病、斑点細菌病、ウイルス病（黄化えそ病、退緑黄化病）
	スイカ	指定	アブラムシ類（ワタアブラムシ、モモアカアブラムシ）
		指定外	疫病、炭疽病、うどんこ病、つる枯病、菌核病、ウイルス病（退緑えそ病）、ハダニ類、アザミウマ類、コナジラミ類（オシツコナジラミ、タバココナジラミ）
	メロン	指定外	べと病、つる枯病、うどんこ病、ウイルス病（黄化えそ病、退緑黄化病）、ワタアブラムシ、コナジラミ類（オシツコナジラミ、タバココナジラミ）、ハダニ類
	キャベツ	指定	黒腐病、菌核病、コガ、アブラムシ類（モモアカアブラムシ、ダイコンアブラムシ）、オオタバコガ
		指定外	軟腐病、べと病、黒斑細菌病、モンシロチョウ
	レタス	指定	灰色かび病、菌核病、アブラムシ類（モモアカアブラムシ、ジヤクイヒゲナガアブラムシ）、ハスモンヨトウ、オオタバコガ
		指定外	軟腐病、斑点細菌病、腐敗病
	イチゴ	指定	灰色かび病、うどんこ病、炭疽病、アブラムシ類（ワタアブラムシ）、ハスモンヨトウ、ハダニ類（ナミハダニ、カンザワハダニ）、アザミウマ類（ヒラスハナアザミウマ、ミナキイロアザミウマ）
指定外		コナジラミ類（オシツコナジラミ、タバココナジラミ）	
キク	指定	白さび病、アブラムシ類（ワタアブラムシ）、アザミウマ類（ミナキイロアザミウマ、ミナキイロアザミウマ）、ハスモンヨトウ、オオタバコガ	
	指定外	黒斑病、ハダニ類、ハモグリハエ類	
作物共通	指定	シロイモシヨトウ	

6 発生予察調査地点

(1) 県予察ほ場、地区予察ほ場

ほ場名	箇所数	普通作物	果樹	茶・特作	野菜・花
県予察ほ場	4	1 生産環境研	1 果樹研	1 茶研	1 生産環境研
地区予察ほ場	9		2 天草農研 球磨農研	3 〈茶〉 農大 〈イグサ〉 アグリ総研 八代市千丁町	4 アグリ総研 高原農研 阿蘇市波野 山都町鶴ヶ田

(2) 巡回調査地点

地域名	普通作物			果樹等			野菜					計
	イネ	ムギ	ダイズ	カンキツ	ナシ	チャ	トマト	ナス	キュウリ	レタス	イチゴ	
熊本	6	2	4	4				5	3			24
宇城				8					3			11
玉名	2	2	2	4	2		3				3	18
鹿本	2	2										4
菊池	4	6	2			4						16
阿蘇	4		2				3					9
上益城	4	2	2				3					11
八代	2	2			2		4			3	3	16
芦北	2			6								8
球磨	4	2	2		2	4						14
天草	6									3		9
計	36	18	14	22	6	8	13	5	6	6	6	140

第2 事業等内容

1 病害虫の発生及び防除状況

- (1) 発生経過、発生原因及び防除の概要
- (2) 農作物有害動植物の発生面積及び防除面積
- (3) 普通作病害虫発生予察事業（大豆・イグサを含む）
- (4) 果樹等病害虫発生予察事業（茶を含む）
- (5) 野菜・花き病害虫発生予察事業

2 発生予察情報の提供

- (1) 警報、注意報、特殊報、技術情報
- (2) 発生予報
 - 4月 5月 6月 7月 8月 9月
 - 10月 11月 12月 1月 2月 3月
- (3) ホームページ掲載内容

3 植物検疫事業

- (1) ジャガイモシストセンチュウ侵入警戒調査
- (2) アリモドキゾウムシ侵入警戒調査
- (3) イモゾウムシ侵入警戒調査
- (4) スイカ果実汚斑細菌病侵入警戒調査
- (5) ミバエ類等特殊病害虫侵入警戒調査

1 病害虫の発生及び防除状況

(1) 発生経過、発生原因及び防除の概要

農作物名	病害虫名	発生時期	発生量	発生経過の概要	発生要因の解析	防除の概要
水稲 (早期・早植え)	苗立枯病	平年:並 前年:並	平年: やや少 前年: やや少	梅雨入りが早く湿度の高い時期であったが、発生量は平年比やや少であった。	箱処理剤による適期管理が徹底されていたため。	適正な育苗管理 種子消毒の実施
	苗いもち	平年:並 前年:並	平年: やや少 前年: やや少	梅雨入りが早く湿度の高い時期であったが、発生量は平年比やや少であった。	箱処理剤による適期管理が徹底されていたため。	適正な育苗管理 種子消毒の実施
	葉いもち	平年:並 前年:並	平年:多 前年:多	高冷地及び山間地における早植え地域においては8月中旬頃から増加し全体的に多発生となった。	早い梅雨入りによる降雨や8月中旬から下旬にかけての長雨による好適条件下の中、比較的冷涼な地域で拡大した。	箱施用剤 本田防除
	穂いもち	平年:並 前年:並	平年: やや多 前年: やや多	早期での発生はほとんどみられず、早植えでは9月上旬ごろから発生が多くなった。	出穂期または穂揃い期の防除が徹底された。	本田防除
	紋枯病	平年:並 前年:並	平年:並 前年:並	早期水稲は7月上旬、早植え水稲は8月中旬頃から発生を確認した。全体的に発生は平年並であった。	本田防除の徹底により抑えられた。	箱施用剤 本田防除
	白葉枯病	平年:並 前年:並	平年:並 前年:並	目立った発生は見られなかった。		箱施用剤 本田防除
	セジロウカ	平年:並 前年: やや早	平年:並 前年: やや少	7月の巡回調査では早期・早植え水稲で株当たり0.65頭(前年2.95頭、平年1.77頭)で平年比やや少、8月の巡回調査では早植え水稲で株当たり0.04頭(前年2.43頭、平年0.46頭)と平年並の発生であった。	飛来量が平年に比べ少なかった。	箱施用剤 本田防除(7月上旬~8月下旬の間に1回~2回)
	トビイロウカ	平年: やや遅い 前年: 遅い	平年:少 前年:少	7月の巡回調査では早期・早植え水稲で株当たり0.04頭(前年0.55頭、平年0.13頭)で平年比やや少、8月の巡回調査では早植え水稲で株当たり0.00頭(前年82.90頭、平年9.36頭)と平年比少の発生であった。	飛来量が平年に比べ少なかった。	箱施用剤 本田防除(7月上旬~8月下旬の間に1回~2回、9月に1回)
	ヒメヒロウカ	平年:並 前年:並	平年:並 前年:並	7月の巡回調査では早期・早植え水稲で株当たり0.66頭(前年1.27頭、平年0.68頭)で平年並、8月の巡回調査では早植え水稲で株当たり0.04頭(前年2.43頭、平年0.46頭)と平年並の発生であった。		箱施用剤 セジロウカ、 トビイロウカ との同時防除
	ツマク ^ロ コバ ^イ	平年:並 前年:並	平年: やや少 前年:少	7月の巡回調査では早期・早植え水稲で株当たり0.25頭(前年0.39頭、平年0.70頭)で平年並、8月の巡回調査では早植え水稲で株当たり0.08頭(前年2.66頭、平年0.81頭)と平年比やや少の発生であった。	休耕田やあぜでの越冬虫が少なかった。	セジロウカ、 トビイロウカ との同時防除
イネ ^{ミズ} ズウム ^シ	平年:並 前年:並	平年:並 前年:並	平年並みの発生で推移した。		イネミズズウム シとの同時防 除。	
イネ ^{ミズ} ズウム ^シ	平年:並 前年:並	平年:並 前年:並	平年並みの発生で推移した。		イネミズズウム シとの同時防 除。	

農作物名	病害虫名	発生時期	発生量	発生経過の概要	発生要因の解析	防除の概要
水稲 (早期・早植え)	イネカマシ	平年:並 前年:並	平年:並 前年:並	平年並みの発生で推移した。		常発地では分けつ期の防除を行う。
	斑点米カマシ類	平年:並 前年:並	平年:並 前年:並	7月から9月にかけて、平年並の発生であった。		早期水稲では出穂期と穂揃い期、他の作期では穂揃い期に防除が行われた。
	コブノメイガ	平年:並 前年:並	平年: やや少 前年:少	7月の巡回調査では早期・早植え水稲で株当たりのは巻き数0.25頭(前年0.39頭、平年0.70頭)で平年並、8月の巡回調査では早植水稲で株当たり0.08頭(前年2.66頭、平年0.81頭)と平年比やや少の発生であった。	飛来量が平年に比べ少なかった。	箱施薬剤および本田防除。
	イネズゾウムシ	平年:並 前年:並	平年:並 前年:並	6月の巡回調査では、一部の地域で多く発生したものの、全体的には平年並の発生であった。		
	スクミリンゴガイ	平年:並 前年:並	平年:並 前年:並	6月上旬より早植水稲にて発生を確認し、平年並の発生量であった。一部は場で被害が見られた。		
水稲 (普通期)	苗立枯病	平年:並 前年:並	平年:並 前年:並	一部地域で確認されたものの、普通期全体では平年並の発生であった。		適正な育苗管理 種子消毒の実施
	苗いもち	平年:並 前年:並	平年:並 前年:並	一部地域で確認されたものの、普通期全体では平年並の発生であった。		適正な育苗管理 種子消毒の実施
	葉いもち	平年:並 前年:並	平年:多 前年:多	8月の巡回調査では発病株率12.80%(前年1.40%、平年3.49%)で平年比多、9月の巡回調査でも16.40%(前年3.60%、平年2.84%)と平年比多の発生であった。	8月中下旬の季節外れの長雨により、好適条件が続き発生が助長された。	箱施用剤 本田防除
	穂いもち	平年:並 前年:並	平年: やや多 前年: やや多	普通期全体で発生がやや多くみられた。	出穂期となる8月下旬に曇雨天が続き感染が拡大した。	出穂期または穂揃い期に他の病害虫(ウンカ、カメムシ等)と同時に防除されている。
	紋枯病	平年:並 前年:並	平年: やや多 前年: やや多	全体的にやや多い発生であった。	7月下旬の気温が高く推移したことから感染が拡大した。	7月下旬~9月上旬に混合剤による防除が行われた。また、箱施用剤に紋枯病剤を含んだ混合剤の使用。
	白葉枯病	平年:並 前年:並	平年:並 前年:並	一部多発場が見られたが全体的に平年並の発生であった。		箱施用剤
	ばか苗病	平年:並 前年:並	平年:並 前年:並	目立った発生は認められなかった。		種子消毒の実施
	心枯線虫病	平年:並 前年:並	平年:並 前年:並	目立った発生は認められなかった。		種子消毒の実施

農作物名	病害虫名	発生時期	発生量	発生経過の概要	発生要因の解析	防除の概要
水稻 (普通期)	籾枯細菌病	平年:並 前年:並	平年:並 前年:並	9月の巡回調査では発病徳率0.17%(前年0.45%、平年0.08%)と平年並の発生であった。		
	ごま葉枯病	平年:並 前年:並	平年:並 前年:並	目立った発生は見られなかった。		適正な肥培管理 いもち病と同時 防除
	縞葉枯病	平年:並 前年:並	平年:少 前年:並	目立った発生は見られなかった。		ヒメトビウンカ に対して効果の ある箱施用剤の 使用
	萎縮病	平年:並 前年:並	平年:並 前年:並	目立った発生は見られなかった。		ツマグロヨコバ イのウンカ類と の同時防除
	ニカメイチュウ	平年:並 前年:並	平年:並 前年:並	目立った発生は見られなかった。		
	サカメイチュウ	平年:並 前年:並	平年:並 前年:並	目立った発生は見られなかった。		
	セジロウンカ	平年:並 前年:やや 早	平年:並 前年:並	8月の巡回調査では株当たり0.03頭(前年0.17頭、平年1.03頭)で平年比やや少、9月の巡回調査では0.04頭(前年0.07頭、平年0.17頭)と平年並の発生であった。		箱施用剤 本田防除(7月 下旬~8月中旬 の間に1~3 回)
	トビイロウンカ	平年:やや 遅い 前年:遅 い	平年:少 前年:少	8月の巡回調査では株当たり0.00頭(前年0.34頭、平年1.20頭)で平年比やや少、9月の巡回調査では0.01頭(前年5.57頭、平年2.23頭)と平年比少の発生であった。	飛来量が平年に比べ少 なかった。	箱施用剤 本田防除(7月 下旬~9月下旬 の間に1回~3 回)
	ヒメトビウンカ	平年:並 前年:並	平年: やや少 前年:並	期間を通じて平年比やや少の発生だった。	トビイロウンカを対象と した本田防除が行われた ため、本種の増殖が抑え られたと考えられる。	箱施用剤
	ツマグロヨコバイ	平年:並 前年:並	平年: やや少 前年:並	期間を通じて平年比やや少の発生だった。	トビイロウンカを対象と した本田防除が行われた ため、本種の増殖が抑え られたと考えられる。	セジロウンカ、 トビイロウンカ との同時防除
	斑点米 カメシ類	平年:並 前年:並	平年:並 前年:並	予察灯の誘殺数及び9月の巡回調査は平年並の発生であった。		穂揃い期の防除
	イネトリ	平年:並 前年:並	平年:並 前年:並	目立った発生は見られなかった。		コブノメイガと の同時防除。
	アヲトリ	平年:並 前年:並	平年:並 前年:並	目立った発生は見られなかった。		コブノメイガと の同時防除。
	コブノメイガ	平年:並 前年:並	平年:並 前年: やや少	8月の巡回調査では株当たりの葉巻数0.00頭(前年0.89頭、平年0.16頭)で平年比やや少、9月の巡回調査では0.10頭(前年0.73頭、平年0.20頭)と平年並の発生であった。		箱施用剤および 本田防除。
	イネズグムシ	平年:並 前年:並	平年:並 前年:並	目立った発生は見られず、平年並の発生であった。		箱施用剤
スクミリンゴガイ	平年:並 前年:並	平年:並 前年:並	6月上旬より早植水稻にて発生を確認し、平年並の発生量であった。一部ほ場で被害が見られた。		水位調整、捕殺	

農作物名	病害虫名	発生時期	発生量	発生経過の概要	発生要因の解析	防除の概要
麦類	さび病類	平年:並 前年:並	平年:並 前年: やや少	4月から発生が見られ、平年並の発生であった。		
	うどんこ病	平年:並 前年:並	平年:並 前年:並	4月から発生が見られ、平年並の発生であった。		
	赤かび病	平年:並 前年:並	平年:少 前年:並	5月から発生が見られたものの平年比少の発生であった。	感染時期（開花～乳熟期）にあたる3月下旬から4月上旬は好天が続き、連続した降雨が少なかった。	小麦は、開花最盛期と、その7～10日後、大麦は、穂揃い期10日後と、その7日後の防除を実施。
	縞萎縮病（大麦）	平年:並 前年:並	平年:並 前年:並	4月、5月の巡回調査は発病確認されなかった。		発生地では抵抗性品種（はるしずく）に転換。
	斑葉病	平年:並 前年:並	平年: やや少 前年:並	平年比やや少の発生であった。		
大豆	紫斑病	平年:並 前年:並	平年:並 前年:並	平年並の発生であった。		種子消毒及び落花期から子実肥大期にかけての薬剤防除。
	べと病	平年: やや遅 前年:並	平年: やや少 前年:多	平年よりやや遅い9月からの発生。発生量は平年に比べやや少ない発生であった。	台風等の気象災害による生育への影響が少なかった。	
	葉焼病	平年:並 前年: やや早	平年: やや少 前年:多	発病の程度は平年比やや少の発生であった。	台風等の気象災害による生育への影響が少なかった。	
	カガミシ類	平年:並 前年:並	平年:並 前年:並	8月から被害が見られ県下全域で発生したが、発生量は平年並であった。		
	ハモンヨトウ	平年:並 前年: やや遅	平年:並 前年:並	9月から被害が見られ県下全域で発生したが、発生量は平年並であった。		8月中旬から若齢幼虫を中心に2～3回程度の防除を実施。生産組織等による共同防除も計画的に実施された。
	吸実性カミシ類	平年:並 前年:並	平年:並 前年:並	8月から発生が見られたものの、発生量は平年並であった。		子実肥大期を中心に防除を実施。
イグサ	イグサシジミガ	平年:早 前年: やや早い	平年: やや少 前年: やや少	3月下旬の越冬世代調査では、幼虫・蛹の発生量は平年比少で、羽化のピークは平年より14日早かった。八代市の予察灯調査では、4～6月の誘殺数は平年比やや少で推移した。	2月下旬から4月上旬の気温が平年より高く推移したため、越冬世代の羽化が早まった。	第1世代幼虫対象に4月中旬、第2世代幼虫対象に5月下旬～6月上旬にかけて2回の防除を実施。
ばれいしょ	疫病	平年:並 前年:並	平年: やや多 前年:並	6月から発生が拡大し、平年比やや多の発生であった。	6月からの高温多湿により発生が助長されたと考える。	
	アブラムシ類	平年:並 前年:並	平年:並 前年:並	平年並の発生であった。		

農作物名	病害虫名	発生時期	発生量	発生経過の概要	発生要因の解析	防除の概要
茶	炭疽病	平年:並 前年:並	平年:並 前年:並	5～6月の発生は平年並であったが、7月以降から発生が目立ち、平年並からやや多の発生であった。	梅雨入り後の断続的な降雨により防除のタイミングが遅れ、炭疽病の感染に好適な条件であったため、発生が助長されたと考える。	断続的な降雨の影響で、3番茶の防除が遅れて実施された。
	もち病	平年:並 前年:並	平年:並 前年:並	一部の常発茶園でわずかに発生。		炭疽病との同時防除を実施。
	網もち病	平年:並 前年:並	平年:並 前年:並	一部の常発茶園でわずかに発生。		炭疽病との同時防除を実施。
	輪斑病	平年:並 前年:並	平年:並 前年:並	摘採後に一部茶園にてわずかに発生。		二、三番茶摘採後に防除が行われた。
	チャノコカクモンハマキ	平年:並 前年:並	平年:並 前年:並	巡回調査においては概ね平年並の発生であったが、9月以降の降水量が平年より少なく、乾燥した状況が続いており、フェロモントラップにおける誘殺数が増加し、平年よりやや多かった。	梅雨入り後からの断続的な降雨で発生量が抑制されたと考えられる。また、8月の長雨によって秋季防除が遅れが生じ、9月以降に発生が増加していると考えられる。	一、二番茶摘採後及び秋芽生育期に防除が行われた。
	チャハマキ	平年:並 前年:並	平年:やや多 前年:やや多	巡回調査では梅雨の時期に一時的に減少したものの、調査期間を通して概ね平年比やや多の発生であった。フェロモントラップ調査では、概ね平年並の誘殺数だったが、9月下旬から10月中旬にかけて平年より多く誘殺された。	梅雨入りから8月頃までは断続的な降水が続き、発生が抑制された。9月以降は降水量が少なく、乾燥した状況が続いたため、多発生が見られたと考える。	チャノコカクモンハマキとの同時防除。
	チャノホカ	平年:やや早 前年:やや早	平年:並 前年:並	概ね平年並の発生であったが、8月から9月にかけて一部地域で多発が確認された。また、フェロモントラップ調査では誘殺数は平年並だったが、誘殺時期が平年より早かった。	気温が平年より高く推移したことから、発生時期が早まったと考えられる。また、8月の長雨によって秋季防除が遅れが生じたことと、9月以降に乾燥した状況が続いたことから増加したと考えられる。	二、三番茶期、秋芽生育期(チャノトリヒメコバイ、チャノイロサシマとの同時防除)
	チャノトリヒメコバイ	平年:やや早 前年:やや早	平年:やや多 前年:やや多	巡回調査では概ね平年比やや多の発生であった。摘採が遅れた一部の園では新葉の被害芽が多くみられた。	気温が平年より高く推移し、発生に好適な条件であった。また、降雨によって防除時期が遅れが生じ、発生が助長されたと考えられる。	チャノイロサシマ、チャノホカとの同時防除。
	カサハラダニ	平年:早 前年:並	平年:やや多 前年:やや多	巡回調査において4月～5月に平年比多～やや多の発生であった。6月以降は平年並の発生量となったが2月以降から再び平年比多の発生量に推移した。	4月及び5月は平年に比べて高温少雨に経過し、発生が助長されたが、梅雨入り後からは断続的な降雨により発生が抑制されたと考えられる。冬季も降水量が少なく、乾燥した状況であったため発生が助長されたと考えられる。	越冬ダニの産卵開始時期と一番茶摘採後、秋芽生育期に防除が行われた。
チャノイロサシマ	平年:やや遅 前年:並	平年:並 前年:並	巡回調査においては概ね平年並の発生であった。合志市のトラップ調査においても、平年比少で推移した。	梅雨入り後の断続的な降雨で発生量が抑制されたと考えられる。	チャノトリヒメコバイ、チャノホカとの同時防除。	

農作物名	病害虫名	発生時期	発生量	発生経過の概要	発生要因の解析	防除の概要
茶	ツマク ^ア カミ カメ	平年:並 前年:並	平年: やや少 前年: やや少	4月は平年比やや多の発生であったが、5月以降は平年並～平年比少の発生であった。	梅雨入り後の断続的な降雨で発生量が抑制されたと考えられる。	臨機防除の実施
	クワシカ ^イ ラム シ	平年:並 前年:並	平年:並 前年:並	巡回調査では4月及び8月に平年比やや多の発生であったが、調査期間を通して概ね平年並の発生であった。	梅雨入り後は断続的な降雨で発生量が抑制されたと考えられる。	有効積算温度による防除適期の予測。各世代の幼虫ふ化最盛期における薬剤防除及び中切り、深刈り等耕種的防除を実施。
カンキツ	そうか病	(春葉) 平年:早 前年:早 (果実) 平年:早 前年:早	平年:並 前年:並	春葉は平年並、果実は平年並の発生であった。 宇城市(果樹研究所)における無防除区「興津早生」の春葉の初発日は、4月5日(平年4月19日)と平年に比べて早く、果実は5月7日(平年5月17日)と平年に比べて早かった。		伝染源となる発病した葉や枝のせん除と幼芽期のジチアノン剤による防除。開花期は、灰色かび病との同時防除。落弁期は、黒点病と灰色かび病との同時防除。
	黒点病	平年:早 前年:早	平年:並 前年: やや少	巡回調査では、調査期間を通して平年並の発生であった。 また、宇城市の無防除区「興津早生」では、果実の初発確認日が5月25日(平年6月5日)で平年に比べて発生時期は早かった。	平年より梅雨入りが早かった影響から、果実の初発確認日も早まったと考えられる。 梅雨入り後の6月及び7月の降水量は平年より少なかったため、発生量は並となったと考えられる。	伝染源となる枯れ枝剪除および摘果による発病果の除去。 薬剤による防除は、落弁期以降、降雨日数や累積降水量に基づき、マンゼブ水和剤、QoI剤等が散布されている。
	かいはよう病	(春葉) 平年:早 前年:早 (果実) 平年:早 前年:早	平年: やや多 前年:並	巡回調査では7～9月にかけて平年比やや多の発生で、特に果実での発生が目立った。 宇城市(果樹研究所)無防除区「川野なつだいでい」では、春葉の初発は4月23日(平年5月15日)で平年より早く、果実は5月25日(平年6月13日)と平年より早かった。	暖冬の影響により初発時期が早まったことや梅雨入り後の降雨の影響で発生が平年に比べて多くなったと考えられる。	伝染源となる発病葉、枝のせん除と、発芽直前、花弁落下直後、梅雨時期、および台風襲来直前の無機銅剤による防除。
	ヤノカ ^イ ラム シ	平年:並 前年:並	平年:並 前年:並	調査期間を通して平年並の発生であった。	冬期のマシン油散布により、初期密度を抑えることができたため、平年並の発生となったと考えられる。	基幹防除としてのマシン油乳剤の散布と他のカイガラムシ類との同時防除。
	ミカハダニ	平年:早 前年:並	平年: やや多 前年: やや多	巡回調査では、4月～5月にかけて平年比多の発生であり、6月に一旦平年比やや少になったものの、7月～9月に再び平年比やや多の発生となった。2月以降は平年並。	2月～5月にかけて気温が平年より高く、降水量は少なく推移したことから、増殖に好適な環境が継続し、多発したと考えられる。5月中旬より梅雨入りし、平年に比べて降水量が多くなったことから6月の発生量は一旦減少したものの、梅雨明け後から降水量が減少し、再び発生量が多くなったと考えられる。	1冬期～春先のマシン油乳剤散布による初期密度の抑制 25～6月のマシン油乳剤散布による夏ダニの発生予防 38月下旬～9月上旬の密度が低い時期のダニ剤散布による初期防除

農作物名	病害虫名	発生時期	発生量	発生経過の概要	発生要因の解析	防除の概要
カンキツ	ミカンハダガニ	平年:早 前年:早	平年:並 前年:並	調査期間を通して概ね平年並の発生であった。気温の高さから平年より発生が早まっていた。	春の気温の高さと梅雨入り後に高温少雨の傾向にあったことで発生が早まったと考えられる。	6月中旬～7月上旬、9月上旬～中旬の防除。
	カミシ類	(越冬世代) 平年:並 前年:並 (当年世代) 平年:遅 前年:遅	(越冬世代) 平年:少 前年:少 (当年世代) 平年: やや少 前年:並	チャバネアオカメムシの越冬量は平年比少で、予察灯・フェロモントラップの7月までの誘殺数も平年比少であった。8月以降の当年世代の予察灯誘殺数は8月下旬に急激な増加傾向が見られたものの平年並～やや少であった。ヒノキ球果に寄生する成幼虫数は平年比多であった。果樹園への飛来は平年に比べて少なかった。	越冬量が平年比少であったことから越冬世代の発生量が少なかったと考えられる。ヒノキの球果の着果量は平年に比べて多かった為、ヒノキ球果上での当年世代の増殖が助長され、8月中旬以降の発生量は平年並～やや少になったと考えられる。	飛来が認められた園や地域での薬剤防除。
	アザミウマ類	平年:並 前年:並	平年:並 前年:並	調査期間を通して平年並の発生であった。		有効積算温度による発蛾最盛期予測に基づいた薬剤防除(5月上旬～10月上旬)。
	カガラムシ類	平年:並 前年:並	平年: やや多 前年: やや多	主にナシマルカイガラムシが発生し、平年比やや多の発生であった。年明け後も一部地域で多発生の状況がみられる。	梅雨入り直後と8月の降雨によって、適期の防除が難しかったことから平年に比べて発生が多くなったと考えられる。また、梅雨明け後は高温少雨の乾燥した状況が続いており、好適な環境であったこと、樹勢等を踏まえて冬季防除を実施しなかった園が多かったことも要因の一つだと考えられる。	冬季のマシン油乳剤の散布。第一世代幼虫期の幼虫期である月上旬と、第二世代の幼虫発生である8月上旬～中旬にかけて防除。
	ミカンハダガニ	平年:並 前年:並	平年:並 前年:並	調査期間を通して平年並の発生であった。		新梢伸長期のIGR剤、ネオニコチノイド系薬剤の散布や苗木移植時の粒剤施用。
	アブラムシ類	平年:並 前年:並	平年:並 前年:並	調査期間を通して平年並の発生であった。		新梢伸長期にネオニコチノイド系薬剤やカーバメート系薬剤で防除が行われた。
ナシ	黒斑病	平年:並 前年:並	平年:並 前年:並	調査期間を通して平年並の発生であった。		越冬期の罹病枝、ボケ芽の除去。開花直前、開花直後、袋かけ直前及び梅雨期の重点防除。
	黒星病	平年:早 前年:早	平年:並 前年: やや少	巡回調査では、7月に一部の調査地点でやや多い発生であったが、調査期間を通して、概ね平年並の発生であった。	本年は気温が高く、降水量が少なかったことが黒星病の感染を抑制したと考える。	罹病芽鱗片の除去と落葉の処分。発病した葉・果実の園外処分。開花初期のDMI剤散布および梅雨期のDMI剤等の散布。

農作物名	病害虫名	発生時期	発生量	発生経過の概要	発生要因の解析	防除の概要
ナシ	赤星病	平年:早 前年:早	平年:並 前年:並	6月に一部の調査地点で平年比やや多の発生であったが、その他は概ね平年並であった。 宇城市(果樹研究所)における幸水(開花前にチウラム剤のみ散布)での初発日は4月1日(平年4月23日)と平年と比べて早かった。		黒星病との同時防除。
	うどんこ病	平年:並 前年:並	平年:並 前年:並	調査期間を通して平年並の発生であった。		輪紋病、炭そ病の同時防除。
	輪紋病	平年:並 前年:並	平年:並 前年:並	調査期間を通して平年並の発生であった。		冬期の罹病枝の剪除。黒星病との同時防除。
	ナシガシクイ	平年: やや早 前年: やや早	平年:並 前年:並	フェロモントラップ調査で8月中旬以降から平年比やや多の発生であった。また、4月及び6月、9月に一部の地域でやや多の発生であった。	気温が高く、発生が助長されたと考えられる。	フェロモン剤(交信攪乱剤)の使用。他害虫との同時防除。
	ハマシジキ類	平年:並 前年:並	平年:並 前年:並	調査期間を通して平年並の発生であった。		他害虫との同時防除。
	ハダニ類	平年: やや早 前年: やや早	平年: やや多 前年: やや多	巡回調査では7月に一部の調査地点で平年比多の発生であった。その他は概ね平年並の発生であった。	4月～5月上旬、6月～7月の降水量が平年より少なく、乾燥した状況が続いたことで発生を助長したと考えられる。	発生初期の薬剤防除。
	カミシジキ類	(越冬世代) 平年:並 前年:並 (当年世代) 平年:遅 前年:遅	(越冬世代) 平年:少 前年:少 (当年世代) 平年: やや少 前年:並	チャバネアオカメムシの越冬量は平年比少で、予察灯・フェロモントラップの7月までの誘殺数も平年比少であった。8月以降の当年世代の予察灯誘殺数は8月下旬に急激な増加傾向が見られたものの平年並～やや少であった。ヒノキ球果に寄生する成幼虫数は平年比多であった。果樹園への飛来は平年に比べて少なかった。	越冬量が平年比少であったことから越冬世代の発生量が少なかったと考えられる。ヒノキの球果の着果量は平年に比べて多かった為、ヒノキ球果上での当年世代の増殖が助長され、8月中旬以降の発生量は平年並～やや少になったと考えられる。	飛来が認められた園や地域での薬剤防除。
	カイガラシジキ類	平年:並 前年:並	平年:並 前年:並	調査期間を通して平年並の発生であった。		1各種カイガラシ幼虫の防除適期における薬剤散布2冬期の粗皮削りやマシン油散布
アブラムシ類	平年:並 前年:並	平年:や やや多 前年:や やや多	巡回調査で4月～5月に平年比多～やや多の発生であった。6月以降は平年並の発生となっている。	4月～5月上旬の降水量が平年より少なく、乾燥した状況であったため発生を助長したと考えられる。	新梢発生期から展葉期(4月下旬～5月中旬)にかけて重点的に防除。	
ブドウ	晩腐病	平年:並 前年:並	平年:並 前年:並	8月は平年比やや多の発生であったが、概ね平年並の発生であった。	5月の降雨により、感染が助長されたと考えられる。	伝染源の除去。 5月下旬～6月上旬(果実小豆粒大期)に他病害との同時防除。6月下旬(袋かけ後)に他病害との同時防除。
	うどんこ病	平年:並 前年:並	平年:並 前年:並	調査期間を通して平年並～やや少の発生であった。	6月～7月にかけて降水量が平年より少なかったため、本病の発生が抑制されたと考える。	5月下旬～6月上旬(落花期～果実大粒期)防除。

農作物名	病害虫名	発生時期	発生量	発生経過の概要	発生要因の解析	防除の概要
ブドウ	褐斑病	平年:並 前年:並	平年:並 前年:並	調査期間を通して平年並の発生であった。		5月上旬(開花前)、6月下旬(袋かけ後)の防除。施設栽培では、園の排水対策を実施。落葉の処分。
	黒とう病	平年:並 前年:並	平年:並 前年:並	調査期間を通して平年並の発生であった。		巻づるや罹病枝の除去。露地栽培では、4月中旬(発芽初期)、5月上旬(開花前)の防除。開花期以降は、べと病と同時防除。
	べと病	平年:並 前年:並	平年:並 前年:並	調査期間を通して平年並の発生であった。		予防散布に努め、発生初期防除の徹底。袋掛け後の銅剤散布。落葉の処分。
	灰色かび病	平年:並 前年:並	平年:並 前年:並	調査期間を通して平年並の発生であった。		開花初期からの他病害とも同時防除。
	チャノキアザミウマ	平年:並 前年:並	平年:並 前年:少	調査期間を通して平年並の発生であった。		開花前から落花後約1ヶ月間の重点防除。
カキ	炭疽病	平年:並 前年:並	平年: やや多 前年: やや多	8月～9月にかけて平年比やや多の発生であった。	8月上旬から中旬にかけての長雨で秋季防除が難しく、発生が助長されたと考える。	冬期の発病枝のせん除と園外処分。発病した果実、徒長枝のせん除と園外処分。開花期から果実肥大期の予防防除。特に5月中旬～梅雨時期、8月中旬～9月の秋雨時期を重点防除。
	うどんこ病	平年:並 前年:並	平年:並 前年: やや少	調査期間を通して平年並の発生であった。		伝染源となる落葉の園外処分。落花後から梅雨期および秋期の防除。
	落葉病類	平年:並 前年:並	平年:並 前年:並	調査期間を通して平年並の発生であった。		伝染源となる落葉の園外処分。落花後から梅雨期の他病害との同時防除。
	灰色かび病	平年:並 前年:並	平年:並 前年: やや少	調査期間を通して平年並の発生であった。		落弁期(5月下旬～6月上旬)の防除。落弁後の果実に付着した花卉の除去。
	カキノハムシガ	平年:並 前年:並	平年: やや多 前年: やや多	8月～9月にかけて平年比やや多の発生であった。	8月の長雨で第2世代幼虫期の防除が難しく、発生を助長させたと考えられる。	冬期の粗皮削りや第1世代幼虫(5月下旬～6月上旬)および第2世代幼虫期(7月下旬～8月中旬)の防除。

農作物名	病害虫名	発生時期	発生量	発生経過の概要	発生要因の解析	防除の概要
	カメムシ類	(越冬世代) 平年:並 前年:並 (当年世代) 平年:遅 前年:遅	(越冬世代) 平年:少 前年:少 (当年世代) 平年: やや少 前年:並	チャバネアオカメムシの越冬量は平年比少で、予察灯・フェロモントラップの7月までの誘殺数も平年比少であった。8月以降の当年世代の予察灯誘殺数は8月下旬に急激な増加傾向が見られたものの平年並～やや少であった。ヒノキ球果に寄生する成幼虫数は平年比多であった。果樹園への飛来は平年に比べて少なかった。	越冬量が平年比少であったことから越冬世代の発生量が少なかったと考えられる。ヒノキの球果の着果量は平年に比べて多かった為、ヒノキ球果上での当年世代の増殖が助長され、8月中旬以降の発生量は平年並～やや少になったと考えられる。	飛来が認められた園や地域での薬剤防除。
	アザミカメムシ類	平年:並 前年:並	平年:並 前年:並	調査期間を通して平年並の発生であった。		加害期の予防散布。摘果時の被害果のせん除。
	カガラムシ類	平年:並 前年:並	平年:並 前年:並	調査期間を通して平年並の発生であった。		第1世代(6月中下旬)および第2世代(8月中下旬)の防除。バンド誘殺や粗皮削り。
クリ	実炭疽病	平年:並 前年:並	平年:並 前年:並	9月に一部地域でやや多の発生であったが、概ね平年並～少の発生であった。	8月の長雨で適期での防除が難しく、発生を助長させたと考えられる。	間伐、整枝を行うとともに果実肥大期(7月中旬～8月下旬)の防除。
	モモゴマダラメイガ	平年:並 前年:並	平年:並 前年:やや少	調査期間を通して平年並～やや少の発生であった。		被害果や空のイガ、残った球果の園外処分。早生種では、7月中から下旬、中晩生種では8月中旬から下旬の防除。
冬春 トマト R2.10～ R3.4	疫病	平年:並 前年:並	平年:並 前年:並	栽培期間を通して平年並の発生であった。		発生初期の薬剤防除、被害株の抜き取り、ほ場の排水対策
	灰色かび病	平年:並 前年:並	平年:並 前年:やや少	2月までは平年並で推移し、3～4月は平年比やや多の発生となった。	2～4月にかけて気温が平年より高く推移したため、3～4月の発生が多くなったと考えられる。	薬剤散布、通風換気、排水対策
	葉かび病	平年:並 前年:並	平年: やや少 前年:少	栽培期間を通して発生は確認されず平年比やや少の発生であった。	12～4月にかけて降水量が平年より少なく推移したため、発生が少なかったと考えられる。	発生初期の薬剤散布
	アブラムシ類	平年:並 前年:並	平年:並 前年:並	3月に平年比やや多の発生となったが、栽培期間を通して概ね平年並の発生であった。		防虫ネット被覆、薬剤散布
	コナジラミ類	平年:並 前年:並	平年:並 前年:並	栽培期間を通して平年並の発生であった。		防虫ネット被覆、薬剤散布
夏秋 トマト R3.6～9	疫病	平年:並 前年:並	平年:並 前年:並	栽培期間を通して平年並の発生であった。		発生初期の薬剤防除、被害株の抜き取り、ほ場の排水対策
	灰色かび病	平年:並 前年:並	平年:並 前年:並	7月は平年比やや少で推移し、9月は平年並の発生となった。	6～7月の雨が少なく、7月は平年に比べて発生が少なかったが、8月中旬からの長雨により発生が増加し、8～9月は平年並の発生となったと考えられる。	薬剤散布、通風換気、排水対策

農作物名	病害虫名	発生時期	発生量	発生経過の概要	発生要因の解析	防除の概要
夏秋 トマト R3. 6～9	葉かび病	平年:早 前年:早	平年:多 前年:多	7～9月にかけて平年比多の発生であった。	本年は梅雨入りが早く、5月の降水量が平年に比べて多かったことから、発生が平年よりも早まり、7月の発生量が平年に比べて多くなったと考えられる。また、8月中旬の長雨により発生がさらに助長され、8～9月は平年に比べて発生が多くなったと考えられる。	発生初期の薬剤散布
	アブラムシ類	平年:並 前年:並	平年:並 前年:並	栽培期間を通して平年並の発生であった。		薬剤散布
	コナジラミ類	平年:並 前年:並	平年: やや少 前年:並	6～8月は平年比やや少で推移したが、9月に平年比やや多の発生となった。	8月中旬の長雨により薬剤散布に遅れが生じたため、9月の発生量が平年に比べて多くなったと考えられる。	薬剤散布
冬春ナス R2. 10～ R3. 4	灰色かび病	平年:並 前年:並	平年:並 前年:並	2月に平年比やや多の発生となったが、栽培期間を通して概ね平年並の発生であった。		薬剤散布、通風換気、排水対策
	うどんこ病	平年:並 前年:並	平年: やや多 前年: やや多	12～3月にかけて平年比やや多の傾向で推移した。	12～3月にかけて降水量が平年に比べて少なく、乾燥条件により発生が助長され、発生量が平年に比べて多くなったと考えられる。	薬剤散布
	すすかび病	平年:並 前年:並	平年:並 前年:並	栽培期間を通して平年並の発生であった。		発生初期の薬剤散布
	ハダニ類	平年:並 前年:並	平年:並 前年:並	栽培期間を通して平年並の発生であった。		薬剤散布
	アザミカ類	平年:並 前年:並	平年: やや少 前年: やや少	10～12月にかけて平年比やや少の発生で推移したが、その後は平年並の発生で推移した。		薬剤散布
夏秋ナス R3. 5～8	うどんこ病	平年:並 前年:並	平年:並 前年:並	栽培期間を通して平年並の発生であった。		下葉の除去、薬剤散布
	すすかび病	平年:並 前年:並	平年:並 前年:並	栽培期間を通して平年並の発生であった。		下葉の除去、薬剤散布
	ハダニ類	平年:並 前年:並	平年:並 前年:並	栽培期間を通して平年並の発生であった。		薬剤散布
	アザミカ類	平年:並 前年:並	平年: やや多 前年: やや多	5～6月は平年並の発生であったが、7～8月にかけて平年比やや多の発生で推移した。		薬剤散布
冬春 キュウリ R2. 11～ R3. 5	べと病	平年:早 前年:早	平年:や やや多 前年:多	平年よりも1か月早い発生時期となり、3～5月にかけて平年比やや多の発生であった。	3月の平均気温が平年差3.3℃高く、定期的に降雨もあったことから、発生が早まったと考えられる。	施設内換気。薬剤散布。適正な肥培管理。
	灰色かび病	平年:並 前年:遅	平年:少 前年:少	栽培期間を通して平年比やや少の発生であった。	栽培期間を通して平年よりも降雨量が少なく、作期間を通して平年より病気の発生が少なくなったと考えられる。	施設内換気。薬剤散布。

農作物名	病害虫名	発生時期	発生量	発生経過の概要	発生要因の解析	防除の概要
冬春 キュウリ R2.11～ R3.5	うどんこ病	平年:並 前年:並	平年:並 前年:並	栽培期間を通して平年並の発生であった。		薬剤散布
	アブラムシ類	平年:並 前年:並	平年:並 前年:並	栽培期間を通して平年並の発生であった。		薬剤散布
	コジラミ類	平年:並 前年:並	平年: やや多 前年: やや多	12～2月にかけて平年比やや多の発生であった。	11月からコナジラミの発生量が平年より多く、暖冬の影響から発生が助長したと考えられる。	薬剤散布 防虫ネット設置 天敵利用
	アザミウマ類	平年:並 前年:並	平年:並 前年: やや少	栽培期間を通して平年並の発生であった。		薬剤散布。UVカットフィルム、防虫ネット設置。天敵利用
夏秋 キュウリ R3.5～8	べと病	平年: やや早 前年: やや早	平年: やや多 前年:並	栽培後半の6～9月にかけて平年比やや多の発生であった。	梅雨入りが5/15と平年より20日早く、病気の発生が早まった。	薬剤散布。適正な肥培管理。密植を避け通風採光を図る。
	うどんこ病	平年:並 前年:並	平年:並 前年: やや多	栽培期間を通して平年並の発生であった。		薬剤散布。密植を避け通風採光を図る。
	斑点細菌病	平年:並 前年:並	平年:並 前年:並	栽培期間を通して平年並の発生であった。		薬剤散布。窒素肥料過多を避ける。
	アブラムシ類	平年:並 前年:並	平年:並 前年:並	栽培期間を通して平年並の発生であった。		薬剤散布
	アザミウマ類	平年:並 前年:並	平年:並 前年:並	栽培期間を通して平年並の発生であった。		薬剤散布
スイカ R3.1～5	つる枯病	平年:並 前年:並	平年:並 前年:並	栽培期間を通して平年並の発生であった。		株元の乾燥。薬剤散布。排水対策。施設内換気。適正な肥培管理。被害残さ処分
	菌核病	平年:並 前年:並	平年:並 前年:並	栽培期間を通して平年並の発生であった。		薬剤散布。施設内換気。
	アブラムシ類	平年:並 前年:並	平年:並 前年:並	栽培期間を通して平年並の発生であった。		薬剤散布
	コジラミ類	平年:並 前年:並	平年:並 前年: やや少	栽培期間を通して平年並の発生であった。		薬剤散布。施設内除草。
	ハダニ類	平年:並 前年:並	平年:並 前年:並	栽培期間を通して平年並の発生であった。		薬剤散布
	アザミウマ類	平年:並 前年:並	平年:並 前年:並	栽培期間を通して平年並の発生であった。		薬剤散布
春メロン R3.1～4	べと病	平年:並 前年:並	平年:並 前年:並	栽培期間を通して平年並の発生であった。		施設内換気。排水対策。薬剤散布。適正な肥培管理。
	つる枯病	平年:並 前年:並	平年:並 前年:並	栽培期間を通して平年並の発生であった。		被害残渣除去。排水対策。薬剤散布。株元の乾燥。
	うどんこ病	平年:並 前年:並	平年:並 前年:並	栽培後期に一部地域で発生がやや多かったが、調査期間を通して平年並の発生であった。		施設内換気。薬剤散布
	アブラムシ類	平年:並 前年:並	平年:並 前年:並	栽培後期に一部地域で発生がやや多かったが、調査期間を通して平年並の発生であった。		薬剤散布

農作物名	病害虫名	発生時期	発生量	発生経過の概要	発生要因の解析	防除の概要
春メロン R3.1～4	アザミウマ類	平年:並 前年:並	平年:並 前年:並	栽培期間を通して平年並の発生であった。		薬剤散布
	コジバネ類	平年:並 前年:並	平年:並 前年:並	栽培期間を通して平年並の発生であった。		施設内の除草。 薬剤散布
秋冬メロン R3.8～10	べと病	平年:並 前年:並	平年:並 前年:並	栽培期間を通して平年並の発生であった。		施設内換気。排水対策。薬剤散布
	つる枯病	平年:並 前年:並	平年:並 前年:並	栽培期間を通して平年並の発生であった。		排水対策。薬剤散布
	うどんこ病	平年:並 前年:並	平年:並 前年:並	栽培期間を通して平年並の発生であった。		施設内換気。薬剤散布
	アブラムシ類	平年:並 前年:並	平年:並 前年:並	栽培期間を通して平年並の発生であった。		薬剤散布
	アザミウマ類	平年:並 前年:並	平年:並 前年:並	栽培期間を通して平年並の発生であった。		薬剤散布
	コジバネ類	平年:並 前年:並	平年:並 前年:やや少	栽培期間を通して平年並の発生であった。		薬剤散布、防虫ネットの被覆育苗期のネオニコチノイド粒剤処理施設内除草
夏秋キャベツ R3.5～9	黒腐病	平年:並 前年:並	平年:やや多 前年:やや多	栽培後期に一部地域で発生がやや多く、平年比やや多の発生であった。	8月の降雨量が平年比の約5倍となり、継続した降雨により発生が助長した。	薬剤散布、排水対策
	軟腐病	平年:並 前年:並	平年:多 前年:多	栽培後期に発生が多く、平年比多の発生であった。	8月の降雨量が平年比の約5倍となり、継続した降雨により発生が助長した。	薬剤散布、排水対策
	モンシロチョウ	平年:並 前年:並	平年:並 前年:並	栽培期間を通して平年並の発生であった。		薬剤散布
	コガ	平年:並 前年:並	平年:並 前年:並	栽培期間を通して平年並の発生であった。		薬剤散布
	ヨトウガ	平年:やや早 前年:やや早	平年:並 前年:やや少	フェロモントラップへの誘殺は、平年並～やや少で推移した。ほ場での発生は5月は平年比多であったがその後は平年並～やや少となった。	5月に平年より早く誘殺数が増えたが、その後はおさまる傾向であったため、梅雨前線に伴う飛来と考える。	薬剤散布
冬春イチゴ R2.10～ H3.4	うどんこ病	平年:並 前年:並	平年:やや少 前年:並	10～12月にかけて平年並の発生で推移し、1～4月にかけて平年比やや少の発生で推移した。	定植前に薬剤防除が徹底されたことで、本ぼへの持ち込みを防ぐことができ、本ぼにおいても栽培期間を通して薬剤防除等の対策徹底により発生が抑制されたと考えられる。	老化、被害葉の除去、薬剤散布
	灰色かび病	平年:並 前年:並	平年:並 前年:並	栽培期間を通して平年並の発生であった。		薬剤散布、通風換気、排水対策
	炭疽病	平年:並 前年:並	平年:並 前年:並	栽培期間を通して平年並の発生であった。	健全苗の選抜や発病株の早期持ち出しが徹底されたことで、発生が抑制されたと考えられる。	健全親株、無病苗確保、高設雨よけ育苗、薬剤散布
	ハダニ類	平年:並 前年:並	平年:並 前年:並	10～12月までは平年比やや多の発生で推移したが、1～4月は平年並～やや少の発生で推移した。	育苗期には発生が多かったものの、定植前～ビニル被覆までの薬剤防除や年明けからの天敵・薬剤による防除が徹底されたことで、発生が抑制されたと考えられる。	下葉の除去、薬剤散布、天敵利用

農作物名	病害虫名	発生時期	発生量	発生経過の概要	発生要因の解析	防除の概要
冬春 イチゴ R2. 10～ H3. 4	アブラムシ類	平年:並 前年:並	平年: やや多 前年: やや多	栽培期間を通して平年比やや多の発生であった。	10～4月にかけて12月を除き、平年に比べて気温が高い傾向にあったことから発生が助長されたと考えられる。	薬剤散布
	ハモンヨトリ	平年:並 前年:並	平年:並 前年:並	栽培期間を通して平年並の発生であった。		薬剤散布
夏秋キク (露地) R3. 6～9	白さび病	平年:並 前年:並	平年:並 前年:並	栽培期間を通して平年並の発生であった。		健全苗植栽、薬剤防除
	ハダニ類	平年:並 前年:並	平年:並 前年:並	栽培期間を通して平年並の発生であった。		薬剤防除
	アザミウマ類	平年:並 前年:並	平年:並 前年:並	栽培期間を通して平年並の発生であった。		薬剤防除
	アブラムシ類	平年:並 前年:並	平年:並 前年:並	栽培期間を通して平年並の発生であった。		薬剤防除

(2) 農作物有害動植物の発生面積及び防除面積

(※は同時防除)

作物名	作付面積 (ha)	病害虫名	程度別発生面積 (ha)					防除面積 (ha)	
			甚	多	中	少	合計	実防除	延防除
水稲 (早期・ 早植え)	8,143	苗立枯病				100	100	8,143	8,143
		苗いもち				100	100	※8,143	※8,143
		葉いもち			500	4,500	5,000	8,000	8,000
		穂いもち			500	1,000	1,500	8,000	8,000
		紋枯病			50	450	500	4,000	4,000
		白葉枯病				100	100	4,000	4,000
		セジロウンカ			500	5,000	5,500	※8,000	※16,000
		トビイロウンカ				1,500	1,500	8,000	16,000
		ヒメトビウンカ				8,000	8,000	※8,000	※16,000
		ツマグロヨコバイ				4,000	4,000	※8,000	※16,000
		イネドロオイムシ				100	100	※100	※100
		イネゾウムシ				100	100	※100	※100
		イネクロカメムシ				100	100	※100	※100
		斑点米カメムシ類				1,000	1,000	※8,000	※8,000
		コブノメイガ				1,500	1,500	1,500	3,000
		イネミズゾウムシ			100	2,400	2,500	2,500	2,500
		スクミリンゴガイ			500	2,000	2,500	600	600
		水稲 (普通期)	23,391	苗立枯病				100	100
苗いもち						100	100	※23,000	※23,000
葉いもち						15,000	15,000	23,000	23,000
穂いもち					1,000	5,000	6,000	23,000	23,000
紋枯病					700	8,000	8,700	23,000	46,000
白葉枯病						500	500	23,000	23,000
ばか苗病						60	60	※20,000	※20,000
もみ枯細菌病						100	100	※100	※100
縞葉枯病						100	100	100	100
萎縮病						100	100	100	100
セジロウンカ						3,200	3,200	※22,100	※44,200
トビイロウンカ						4,000	4,000	22,100	44,200
ヒメトビウンカ						3,700	3,700	※22,100	※44,200
ツマグロヨコバイ						3,700	3,700	※22,100	※44,200
斑点米カメムシ類					400	2,000	2,400	※22,100	※22,100
コブノメイガ						7,500	7,500	22,100	2,210
イネミズゾウムシ						1,000	1,000	1,000	1,000
スクミリンゴガイ					200	1,000	1,200	1,200	1,200
麦	7,170	さび病類				400	400		
		うどんこ病				400	400		

(※は同時防除)

作物名	作付面積 (ha)	病害虫名	程度別発生面積 (ha)					防除面積 (ha)	
			甚	多	中	少	合計	実防除	延防除
麦	7,170	赤かび病				400	400	7,170	7,170
		斑葉病				100	100		
ばれいしょ	553	疫病				25	25	553	1,106
		アブラムシ類			25	100	125	553	1,106
大豆	2,420	紫斑病				100	100	300	300
		べと病				1,800	1,800	1,800	1,800
		葉焼病				1,800	1,800	1,800	1,800
		コガネムシ類				2,000	2,000	※2,400	※2,400
		ハスモンヨトウ				2,000	2,000	2,400	2,400
		吸実性カメムシ類				800	800	800	800
かんきつ	5,161	そうか病		25	95	470	590	2,800	※8,400
		黒点病		280	750	1,400	2,430	4,600	13,800
		かいよう病		45	180	650	875	1,800	※3,600
		ヤノネカイガラムシ				90	90	※4,600	※9,200
		ミカンハダニ	45	280	935	1,400	2,660	4,600	13,800
		ミカンサビダニ		45	140	470	655	※2,300	※4,600
		カメムシ類		280	655	935	1,870	2,800	5,600
		チャノキアザミマ			95	560	655	※2,300	※4,600
		ナシハカガラムシ (ナシホセアカガラムシ)			95	560	655	※4,600	※9,200
		ミカンハモグリガ		140	840	4,200	5,180	※4,600	※4,600
		アブラムシ類			45	420	465	4,600	4,600
なし	357	黒斑病				4	4	30	60
		黒星病		8	25	65	98	350	2,100
		赤星病				25	25	350	※1,050
		うどんこ病				25	25	※350	※350
		輪紋病				25	25	350	1,050
		ナシヒメシンクイ			5	60	65	※350	※700
		ハマキムシ類				40	40	175	175
		ハダニ類		5	25	40	70	350	1,050
		カメムシ類		40	65	100	205	240	480
		カイガラムシ類				25	25	175	175
		アブラムシ類			15	65	80	350	700
ぶどう	148	晩腐病				15	15	※140	※280
		うどんこ病				35	35	※140	※140
		褐斑病			25	105	130	140	280
		黒とう病				35	35	※140	※280
		べと病			25	70	95	※140	※560

(※は同時防除)

作物名	作付面積 (ha)	病害虫名	程度別発生面積 (ha)					防除面積 (ha)	
			甚	多	中	少	合計	実防除	延防除
ぶどう	148	灰色かび病				35	35	140	280
		ブドウスカシバ				15	15	40	40
		ブドウトラカミキリ				15	15	50	50
		フテンヒメコバイ				13	13	26	26
		チャノキイロアザミマ			10	25	35	50	100
かき	266	炭そ病			4	26	30	180	360
		うどんこ病			15	30	45	※180	※360
		落葉病類			7	45	52	※180	※180
		カキハタムシガ(カキガ)			7	45	52	180	180
		カイガラムシ類			20	55	75	※180	※360
		カメムシ類		20	30	75	125	180	180
茶	1,170	炭そ病				470	470	※800	※1,500
		もち病				40	40	※800	※1,500
		網もち病				20	20	※800	※1,500
		輪斑病				70	70	300	600
		チャノコカモンハマキ			10	270	280	800	2,400
		チャハマキ			10	220	230	※800	※2,400
		チャノホソガ				210	210	1,200	3,000
		チャノミドリヒメコバイ			50	450	500	※1,200	※3,000
		カンザワハダニ			50	510	560	1,200	3,600
		チャノキイロアザミマ				220	220	※1,200	※3,000
		ツマグロアサカシメ				50	50	100	100
クリシロカイガラムシ			70	300	370	700	1,000		
夏秋 トマト R3.6~9	413	疫病				15	15	413	885
		灰色かび病		20	60	200	280	413	4,130
		葉かび病				50	50	413	4,130
		すすかび病			30	100	130	413	4,130
		コナジラミ類		50	100	250	400	413	1,239
		アブラムシ類				30	30	413	1,239
		ハスモンヨトウ				50	50	413	1,239
冬春 トマト R2.10 ~R3.4	845	灰色かび病			100	500	600	845	2,535
		すすかび病				150	150	845	2,535
		黄化葉巻病				300	300	845	2,535
		タバココナジラミ				300	300	845	4,225
夏秋 ナス R3.5~8	248	うどんこ病				35	35	248	2,480
		すすかび病				50	50	248	2,480
		アザミウマ類				150	150	248	1,488

(※は同時防除)

作物名	作付面積 (ha)	病害虫名	程度別発生面積 (ha)					防除面積 (ha)	
			甚	多	中	少	合計	実防除	延防除
夏秋ナス R3.5~8	248	オオタバコガ				30	30	248	1,488
		ハダニ類				50	50	248	2,480
冬春ナス R2.10~R3.4	171	うどんこ病				60	60	171	513
		灰色かび病				10	10	171	513
		すすかび病				80	80	171	513
		アザミウマ類				30	30	171	513
		コナジラミ類				120	120	171	513
		ハモグリバエ類				30	30	171	513
夏秋キュウリ R3.5~8	207	べと病		10	20	50	80	207	1,035
		うどんこ病		5	15	40	60	207	1,035
		斑点細菌病				10	10	207	207
		汁きりアザミウマ			10	30	40	207	621
		アブラムシ類				10	10	207	621
冬春キュウリ R2.11~R3.5	75	べと病		5	10	15	30	75	375
		うどんこ病			10	30	40	75	375
		汁きりアザミウマ				10	10	75	375
		アブラムシ類				15	15	75	150
		タバココナジラミ			10	20	30	75	375
夏秋キャベツ R3.5~9	501	黒腐病				80	80	501	501
		菌核病				40	40	501	501
		黒斑細菌病		10	30	60	100	※501	※501
		モンシロチョウ				25	25	508	1,016
		コナガ		5	20	65	90	508	2,032
		ヨトウガ			20	60	80	508	1,016
レタス	520	菌核病				80	80	520	1,040
		腐敗病				80	160	520	1,040
イチゴ R2.10~R3.4	309	うどんこ病			20	80	100	309	1,545
		炭疽病			5	45	50	309	1,545
		アブラムシ類			30	120	150	309	927
		アザミウマ類		50	50	150	250	309	927
		ハダニ類			50	100	150	309	1,545
		ハスモンヨトウ			20	80	100	309	618
夏秋キク R2.6~9	13	白さび病				1	1	13	78
		ハダニ類				1	1	13	78
		アザミウマ類				2	2	13	78
		アブラムシ類				1	1	13	39

(3) 普通作病虫害発生予察事業 (大豆・イグサを含む)

ア 病虫害防除所における調査

(ア) 巡回調査

作物名「水稻 早期・早植」

調査月	対象病虫害	葉いもち		穂いもち		紋枯病		萎縮病	黄化萎縮病	縞葉枯病
		発病株率	発病度	発病穂率	発病度	発病株率	発病度	発病株率	発病株率	発病株率
4	本年値	0.00	0.00	—	—	—	—	—	—	—
	平年値	0.15	0.04	—	—	—	—	—	—	—
5	本年値	0.00	0.00	—	—	—	—	0.00	0.00	0.00
	平年値	0.05	0.01	—	—	—	—	0.00	0.00	0.00
6	本年値	0.75	0.19	—	—	0.50	—	0.00	0.00	0.00
	平年値	0.93	0.23	—	—	0.00	—	0.05	0.00	0.00
7	本年値	5.25	1.38	0.00	0.00	0.25	0.06	0.00	0.00	0.00
	平年値	10.58	3.33	0.01	0.00	1.08	0.30	0.00	0.00	0.08
8	本年値	40.40	10.50	0.00	0.00	0.20	0.05	0.00	0.00	0.00
	平年値	12.92	3.23	0.23	0.08	2.75	0.80	0.00	0.00	0.04

調査月	対象病虫害	白葉枯病	ばか苗病	もみ枯細菌病
		発病株率	発病株率	発病穂率
4	本年値	—	—	—
	平年値	—	—	—
5	本年値	—	0.00	—
	平年値	—	0.00	—
6	本年値	0.00	0.00	—
	平年値	0.00	0.00	—
7	本年値	0.00	0.00	0.20
	平年値	0.00	0.00	0.16
8	本年値	0.00	—	0.00
	平年値	0.00	—	0.08

調査月	対象病虫害	ツマグロヨコバイ	ヒメトビウンカ	セジロウンカ	トビイロウンカ	コブノメイガ	カメシ類	イネスズゾウムシ		スクミリンゴガイ
		頭/株	頭/株	頭/株	頭/株	葉巻数/株	頭/25株	被害度	頭/25株	頭/m ²
4	本年値	—	—	—	—	—	—	0.00	0.00	—
	平年値	—	—	—	—	—	—	0.17	0.16	—
5	本年値	0.00	0.01	0.00	0.00	0.00	—	4.92	1.33	0.39
	平年値	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	—	8.22	1.00	—
6	本年値	0.13	0.26	0.27	0.00	0.00	—	5.25	0.44	0.23
	平年値	0.09	0.20	0.10	0.00	0.00	—	5.24	0.40	—
7	本年値	0.25	0.66	0.65	0.04	0.01	0.00	—	—	—
	平年値	0.70	0.68	1.77	0.13	0.25	0.08	—	—	—
8	本年値	0.08	0.13	0.04	0.00	0.00	0.00	—	—	—
	平年値	0.81	0.54	0.46	9.36	0.13	0.22	—	—	—

作物名「水稲 普通期」

調査月	対象病害虫	葉いもち		穂いもち		紋枯病		萎縮病	黄化萎縮病	縞葉枯病
		発病株率	発病度	発病穂率	発病度	発病株率	発病度	発病株率	発病株率	発病株率
6	本年値	0.00	0.00	—	—	—	—	—	—	—
	平年値	0.00	0.00	—	—	—	—	—	—	—
7	本年値	0.20	0.05	—	—	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	平年値	0.26	0.07	—	—	0.00	0.00	0.00	0.00	0.02
8	本年値	12.80	3.50	—	—	0.20	0.05	0.00	0.00	0.00
	平年値	3.49	0.87	—	—	0.04	0.01	0.00	0.00	0.04
9	本年値	16.40	4.10	0.09	0.08	1.90	0.58	0.00	0.00	0.00
	平年値	2.84	0.72	0.21	0.09	2.58	0.81	0.00	0.00	0.08

調査月	対象病害虫	白葉枯病	ばか苗病	もみ枯細菌病
		発病株率	発病株率	発病穂率
6	本年値	—	—	—
	平年値	—	—	—
7	本年値	0.00	0.00	—
	平年値	0.00	0.00	—
8	本年値	0.00	0.00	—
	平年値	0.00	—	—
9	本年値	0.00	—	0.17
	平年値	0.00	—	0.08

調査月	対象病害虫	ツマグロヨコバイ	ヒメトビウンカ	セジロウンカ	トビイロウンカ	コブノメイガ	カメムシ類	イネズミゾウムシ		スクミリンゴガイ
		頭/株	頭/株	頭/株	頭/株	葉巻数/株	頭/25株	被害度	頭/25株	頭/m ²
6	本年値	—	—	—	—	—	—	0.00	0.00	—
	平年値	—	—	—	—	—	—	0.20	0.00	—
7	本年値	0.00	0.03	0.01	0.00	0.00	—	—	—	1.97
	平年値	0.06	0.11	0.33	0.01	0.01	—	—	—	—
8	本年値	0.04	0.32	0.03	0.00	0.00	—	—	—	—
	平年値	0.53	1.13	1.03	0.20	0.16	—	—	—	—
9	本年値	0.06	0.17	0.04	0.01	0.15	0.10	—	—	—
	平年値	0.78	1.12	0.17	2.23	0.20	0.02	—	—	—

作物名「麦類」

調査月	対象病害虫	赤かび病		うどんこ病		さび病類		斑葉病 (大麦のみ)	縞萎縮病 (大麦のみ)	
		発病穂率	発病度	発病莖率	発病度	発病莖率	発病度	発病株率	発病莖率	発病度
4	本年値	0.22	0.07	0.00	0.00	0.22	0.06	0.00	0.00	0.00
	平年値	0.87	0.16	0.00	0.00	0.18	0.01	0.29	0.00	0.00
5	本年値	0.25	0.08	0.50	0.13	0.25	0.06	0.00	0.00	0.00
	平年値	0.87	0.16	0.00	0.00	0.18	0.01	0.29	0.00	0.00

調査月	対象病害虫	アブラムシ類
		調査項目
4	本年値	0.83
	平年値	0.01
5	本年値	0.00
	平年値	0.01

作物名「大豆」

調査月	対象病害虫	ウイルス病	葉焼病		べと病		カメシ類	ヨトウムシ類		
		発病株率	発病株率	発病度	発病株率	発病度	頭/10株	頭/10株	食害株率	食害度
8	本年値	0.29	1.71	0.43	0.00	0.00	0.03	0.11	17.71	4.43
	平年値	0.03	2.80	0.70	3.14	0.82	0.01	1.35	19.95	5.79
9	本年値	0.86	12.00	3.07	26.00	6.50	0.09	7.03	48.00	13.93
	平年値	0.06	18.31	5.41	38.86	9.75	0.10	4.56	31.92	8.30
10	本年値	0.86	44.29	11.57	6.29	1.57	1.26	5.69	46.57	12.57
	平年値	0.00	65.66	20.18	29.14	7.70	0.80	0.16	26.75	7.38

調査月	対象病害虫	ハスモンヨトウ	コガネムシ類	
		調査項目	白変葉株率	食害株率
8	本年値	0.21	72.00	18.36
	平年値	1.84	38.35	10.38
9	本年値	—	42.29	10.64
	平年値	—	59.20	16.70
10	本年値	—	39.71	10.00
	平年値	—	68.91	21.88

(イ) 予察灯による水稻害虫調査 (合志市)

①セジロウンカ

月	半旬	平年	R3年
4	1	0	0
	2	0	0
	3	0	0
	4	0	0
	5	0.1	0
	6	0.1	0
5	1	0	0
	2	0	0
	3	0.1	0
	4	0.1	1
	5	0	0
	6	0.2	0
6	1	0.1	0
	2	0.5	4
	3	2.2	0
	4	6.1	1
	5	17.8	1
	6	31.3	0
7	1	94.6	20
	2	100.6	180
	3	301.1	388
	4	43.2	12
	5	11.2	6
	6	23.3	14
8	1	15.7	17
	2	29.3	6
	3	25.5	131
	4	42.8	238
	5	61	21
	6	42.7	11
9	1	109.8	154
	2	35.9	138
	3	36.7	48
	4	20.2	1
	5	85.5	8
	6	11.7	3
10	1	6.2	0
	2	3.5	7
	3	0.5	1
	4	1.2	1
	5	1.7	0
	6	0.6	0
総合計	1,163	1,412	

②トビイロウンカ

月	半旬	平年	R3年
4	1	0	0
	2	0	0
	3	0	0
	4	0	0
	5	0	0
	6	0	0
5	1	0.1	0
	2	0.1	0
	3	0	0
	4	0	0
	5	0.1	0
	6	0	0
6	1	0	0
	2	0.7	0
	3	0.1	0
	4	0	0
	5	1	0
	6	1.5	0
7	1	26.3	0
	2	41.4	2
	3	39	0
	4	2.6	0
	5	1.6	0
	6	2.1	0
8	1	7.6	0
	2	10	0
	3	6	8
	4	4.4	2
	5	4.1	0
	6	24.2	0
9	1	230.1	1
	2	117.9	1
	3	105.5	0
	4	17.5	0
	5	19.9	12
	6	342.8	2
10	1	179.8	0
	2	123.2	0
	3	26.3	6
	4	73.4	0
	5	33.3	0
	6	8.4	0
総合計	1,451	34	

③ヒメトビウンカ

月	半旬	平年	R3年
4	1	0	0
	2	0	0
	3	0	0
	4	0	0
	5	0	0
	6	0	0
5	1	0	0
	2	0	0
	3	0	0
	4	0	1
	5	0.1	0
	6	0.9	0
6	1	0.6	0
	2	1.1	0
	3	0.6	0
	4	0.6	0
	5	0.5	2
	6	1.9	4
7	1	15.5	4
	2	19.9	1
	3	15.4	14
	4	17.8	7
	5	7.4	0
	6	6.8	57
8	1	10.9	7
	2	11.8	1
	3	6	4
	4	4.1	2
	5	5.7	0
	6	2.9	0
9	1	11.3	8
	2	11.4	23
	3	10.2	2
	4	4	1
	5	0.9	0
	6	0.9	0
10	1	1.6	0
	2	1.7	2
	3	0.8	5
	4	0.1	0
	5	0	0
	6	0.1	1
総合計	174	146	

④ツマグロヨコバイ

月	半旬	平年	R3年
4	1	0	0
	2	0	0
	3	0	0
	4	0	0
	5	0	0
	6	0	0
5	1	0	0
	2	0.1	0
	3	0.3	0
	4	0	2
	5	0.5	0
	6	1.6	0
6	1	1.7	0
	2	8.3	14
	3	2.8	1
	4	3.8	1
	5	2.2	0
	6	2.6	0
7	1	4.1	0
	2	5.4	4
	3	7.5	8
	4	21.2	8
	5	11.1	1
	6	9.1	49
8	1	12.8	24
	2	16	4
	3	12.7	6
	4	18	66
	5	32.6	11
	6	14.3	6
9	1	25.5	7
	2	59.5	22
	3	27	13
	4	24	3
	5	10.2	8
	6	7.4	5
10	1	6.3	7
	2	9.4	2
	3	0.9	7
	4	0.2	0
	5	0	0
	6	0.1	0
総合計	359	279	

(ウ) ネットトラップによる水稲害虫調査（合志市）

①セジロウンカ

月	半月	平年	R3年
4	1	0.1	0
	2	0	0
	3	0	0
	4	0	0
	5	0	0
	6	0	0
5	1	0	0
	2	0.2	0
	3	0.2	0
	4	0.2	2
	5	0	3
	6	0.3	1
6	1	2	1
	2	0.6	0
	3	5.5	0
	4	10.9	0
	5	17.5	0
	6	13.4	0
7	1	37.3	1
	2	18.3	9
	3	10.8	3
	4	1.1	0
	5	3.5	0
	6	6.7	1
8	1	4.8	16
	2	2.1	4
	3	2.6	0
	4	4	3
	5	4.6	1
	6	8.8	1
9	1	6.3	0
	2	3.7	1
	3	4	4
	4	3.7	3
	5	2.3	6
	6	3.6	0
10	1	5.4	1
	2	0.9	1
	3	2.7	3
	4	1.7	0
	5	0.5	0
	6	1	0
総合計		191	65

②トビイロウンカ

月	半月	平年	R3年
4	1	0	0
	2	0	0
	3	0	0
	4	0	0
	5	0	0
	6	0	0
5	1	0	0
	2	0	0
	3	0	0
	4	0	0
	5	0	0
	6	0	0
6	1	0	0
	2	0	0
	3	0	0
	4	0.1	0
	5	0.1	0
	6	0.2	0
7	1	0.3	0
	2	1	0
	3	0.2	0
	4	0	0
	5	0	0
	6	0	0
8	1	0	0
	2	0.1	0
	3	0.1	0
	4	0	0
	5	1.4	0
	6	5.1	0
9	1	0.6	0
	2	1.8	0
	3	12.2	0
	4	4.5	0
	5	4	0
	6	3.7	0
10	1	59	0
	2	25	0
	3	56.8	0
	4	23.2	29
	5	18.3	21
	6	12.8	9
総合計		231	59

③ヒメトビウンカ

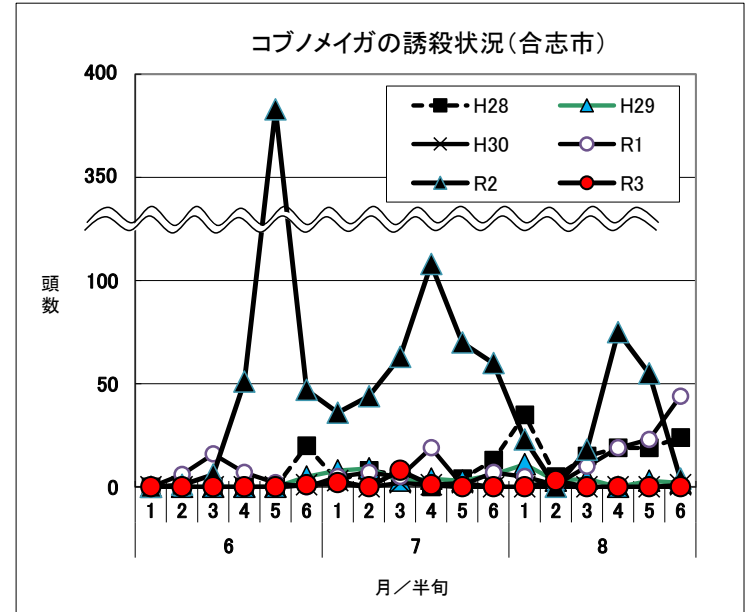
月	半月	平年	R3年
4	1	2.7	0
	2	1.7	0
	3	1.9	0
	4	1	0
	5	1.1	0
	6	0.3	0
5	1	0.2	0
	2	0.5	0
	3	0.9	3
	4	3.1	1
	5	11.7	1
	6	19.2	13
6	1	18.6	12
	2	5.3	0
	3	5.6	0
	4	2.1	0
	5	1.3	0
	6	2.1	6
7	1	8	4
	2	5.3	6
	3	2.4	0
	4	2.9	4
	5	0.8	1
	6	2.1	6
8	1	1.7	0
	2	1.2	0
	3	0.5	0
	4	0.5	1
	5	1.7	0
	6	3	0
9	1	6.6	1
	2	2.5	2
	3	6.4	0
	4	5.2	1
	5	4.5	5
	6	7.5	2
10	1	35.5	2
	2	9	0
	3	12.4	10
	4	6.1	14
	5	4.5	1
	6	2	0
総合計		212	96

④ツマグロヨコバイ

月	半月	平年	R3年
4	1	0	0
	2	0	0
	3	0	0
	4	0.1	0
	5	0.2	0
	6	0	0
5	1	0.4	0
	2	0.1	0
	3	0.3	0
	4	0	0
	5	0	0
	6	0.2	1
6	1	0.1	0
	2	0.1	0
	3	0.2	0
	4	0	0
	5	0	0
	6	0.1	0
7	1	0.3	0
	2	0	1
	3	0.1	0
	4	0.2	0
	5	0	0
	6	0.1	0
8	1	0.1	0
	2	0	0
	3	0.3	0
	4	0.5	0
	5	0.3	0
	6	0.1	0
9	1	0.5	0
	2	0.5	1
	3	5.7	0
	4	2.9	0
	5	0.7	1
	6	0.7	0
10	1	1.6	0
	2	0.1	0
	3	1.5	0
	4	0.4	0
	5	0.1	0
	6	0.1	0
総合計		19	4

(エ) フェロモントラップによる水稲害虫調査
 コブノメイガのフェロモントラップへの誘殺数
 (コーントラップ2か所の合計)

月	半旬	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	平年値 (H24~R2)	R3
6	1				0	0	0	0	0	0	0	0
	2				0	0	0	0	6	1	1	0
	3	0			0	0	0	0	16	6	3	0
	4	0			0	0	0	0	7	51	8	0
	5	0	0		4	0	0	0	2	383	49	0
	6	1	0	0	26	20	5	1	0	47	11	1
7	1	0	0	0	23	3	8	3	5	36	9	2
	2	0	0	0	37	8	9	0	7	44	12	0
	3	4	0	0	9	6	3	2	5	63	10	8
	4	0	0	0	15	0	4	1	19	108	16	1
	5	0	0	0	35	4	3	2	1	70	13	0
	6	0	0	0	14	13	6	0	7	60	11	0
8	1	0	10	0	13	35	11	0	5	23	11	0
	2	0	20	0	3	5	3	0	1	0	4	3
	3	0	24	0	2	15	4	0	10	18	8	0
	4	0	6	0		19	0	0	19	75	15	0
	5	0	2	0		19	3	0	23	55	13	0
	6	0	32	0		24	2	1	44	4	13	0
計		5	94	0	181	171	61	10	177	1,044	207	15



(オ) 無防除田におけるウンカ類の調査

- 1 調査場所 合志市生産環境研究所ほ場 ほ場面積 4 a
- 2 耕種概要 1) 品種 ヒノヒカリ
2) 移植 5月14日
- 3 調査方法 25×18cmの粘着板に2回叩きの払い落とし法で、1区30株2反復でウンカ・ヨコバイ類の発生状況を調査した。
- 4 調査結果

区名			6月				7月		8月			9月		
			1日	11日	22日	30日	9日	20日	2日	10日	23日	2日	13日	21日
セジロウンカ	成虫	長翅♂				2	2	3						
		長翅♀		2										
		短翅♂												
		短翅♀												
	幼虫	老齢				10	2					1		
		中齢			7	3						1		
		若齢		1	21	4	2		6	4		1	2	2
合計		0	3	28	19	6	3	6	4	0	3	2	2	
ヒメトビウンカ	成虫	長翅♂				1		3						
		長翅♀						3		1				
		短翅♂						1						
		短翅♀												
	幼虫	老齢					3	1	5	5	2	11	3	2
		中齢			3		3	7	2	3	1	11	1	
		若齢			4	3	8	19	24	7	17	6		2
合計		0	0	7	4	18	30	31	16	20	28	4	4	
トビイロウンカ	成虫	長翅♂												1
		長翅♀												
		短翅♂												
		短翅♀												
	幼虫	老齢											1	
		中齢										1		
		若齢					2					1		
合計		0	0	0	0	2	0	0	0	0	2	1	1	
ツマグロヨコバイ	成虫	♂	2		1	4	11	4				1	1	
		♀		4	2	17	65	8					1	
	幼虫	老齢		1	4	144	16					3		
		中齢		22	53	61	29			1		2	1	
		若齢		6	144	57	13	2	26	8		11	4	13
合計		2	33	204	283	134	14	26	9	0	17	7	13	

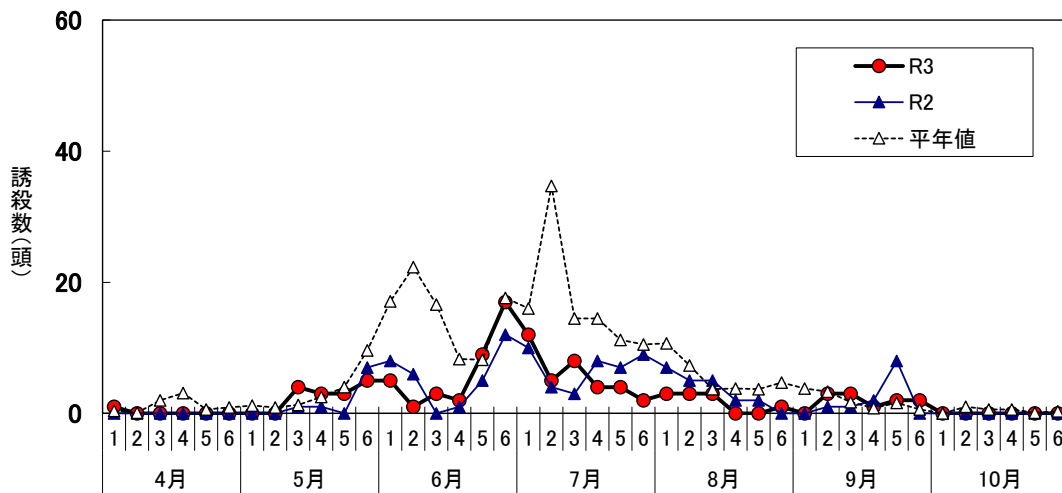
注：粘着板払い落とし調査30株2反復の虫数の合計値

(カ) イグサシンムシガ半旬別誘殺数

アグリシステム総合研究所

月	半旬	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	平年値	R3
4月	1	0	0	0	0	3	1	0	0	0	0	0.4	1
	2	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0.1	0
	3	0	0	0	0	13	2	0	3	2	0	2.0	0
	4	0	1	4	0	25	0	0	0	1	0	3.1	0
	5	0	1	3	0	0	0	2	0	0	0	0.6	0
	6	0	5	0	0	2	2	0	0	0	0	0.9	0
5月	1	0	3	0	2	0	3	3	1	0	0	1.2	0
	2	3	2	0	0	1	2	1	0	0	0	0.9	0
	3	3	0	2	1	0	0	1	0	5	1	1.3	4
	4	6	2	3	1	4	0	1	2	5	1	2.5	3
	5	10	4	4	2	2	5	0	12	1	0	4.0	3
	6	5	27	23	1	19	5	0	8	1	7	9.6	5
6月	1	12	48	71	0	7	10	0	5	10	8	17.1	5
	2	6	136	28	0	10	15	3	10	9	6	22.3	1
	3	17	77	43	3	10	2	7	4	3	0	16.6	3
	4	2	49	11	5	6	0	0	5	4	1	8.3	2
	5	1	17	8	4	5	2	5	19	16	5	8.2	9
	6	10	34	64	19	9	0	3	16	9	12	17.6	17
7月	1	25	16	21	2	13	17	3	18	35	10	16.0	12
	2	74	80	76	1	29	4	5	32	42	4	34.7	5
	3	29	0	16	17	30	3	7	15	25	3	14.5	8
	4	37	0	0	19	22	13	6	28	12	8	14.5	4
	5	39	1	0	0	4	27	5	22	7	7	11.2	4
	6	39	0	0	0	9	18	0	14	16	9	10.5	2
8月	1	25	0	10	0	29	3	19	9	5	7	10.7	3
	2	15	7	11	0	6	0	16	8	5	5	7.3	3
	3	0	13	7	0	0	0	7	1	4	5	3.7	3
	4	8	12	3	1	1	0	0	1	10	2	3.8	0
	5	6	12	4	9	0	3	0	0	1	2	3.7	0
	6	13	15	1	7	0	6	3	0	2	0	4.7	1
9月	1	10	15	0	1	0	6	1	0	5	0	3.8	0
	2	8	9	4	0	0	6	0	0	5	1	3.3	3
	3	4	2	6	0	0	1	0	0	3	1	1.7	3
	4	3	0	3	0	0	0	0	0	0	2	0.8	1
	5	4	0	4	0	0	0	0	0	0	8	1.6	2
	6	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.6	2
10月	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0
	2	1	7	0	1	0	1	0	0	0	0	1.0	0
	3	2	2	1	0	0	1	0	0	0	0	0.6	0
	4	2	0	0	0	0	3	1	0	0	0	0.6	0
	5	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0.1	0
	6	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0.3	0
年計		425	597	431	96	260	164	99	233	244	115	266.4	109

イグサシンムシガの予察灯への誘殺状況(い業研)



(キ) イグサシムシガ越冬調査結果

(調査日：令和4年3月25日)

No.	市町村名	地点名	調査株数	被害茎数	幼虫数	蛹数	合計	頭数/10 m ² (幼虫+蛹)	茎数/株
1	氷川町	中島	100	0	0	0	0	0.0	63.4
2		鹿野	100	2	2	0	2	5.6	49.0
3		鹿島	100	1	0	0	0	0.0	43.2
4	八代市	両出	100	0	0	0	0	0.0	62.2
5		鏡村	100	1	0	0	0	0.0	65.4
6		北新地	100	0	0	0	0	0.0	83.2
7		古閑出	100	0	0	0	0	0.0	50.0
8		太牟田	100	1	0	0	0	0.0	67.4
9		吉王丸	100	1	0	0	0	0.0	51.0
10		松高	100	0	0	0	0	0.0	67.4
11		三江湖	100	10	0	3	3	8.4	50.4
12	日奈久	100	3	0	0	0	0.0	66.6	
計			1,200	19	2	3	5	1.2	59.9
平年			1,910	55	19	7	25	3.6	

越冬世代の蛹化率および発蛾最盛日

年次	調査日	蛹化率 (%)	発蛾最盛日予測 (実測日)
本年	3月25日	29.4	4月12日 (4月13日)
前年	3月25日	66.7	4月3日 (4月3日)
平年	3月26日	30.4	4月15日 (4月14日)

注) 蛹化率：調査区と調査区外の幼虫、蛹数も含めて算出

予測式：調査日の蛹化率と過去10年間の「調査日の蛹化率係数(傾き)」と「調査日から発蛾最盛日までの日数係数(切片)」を用いた予測式

発蛾最盛日 = 調査日の蛹化率(%) × (-0.28968018) + (26.8191578) + 調査日 - 31日

実測日：乾式予察灯(地点：八代市千丁、鏡)で4月に誘殺のピークが見られた日

(ア) 水稻虫害

1. 目的

水稻主要害虫の発生動態を調査し、適期防除の推進と情報システム化の資料とする。

2. 方法

1) 調査場所 合志市 生産環境研究所ほ場

2) 耕種概要 中苗機械移植 植栽密度 30cm×18cm 調査圃場面積 1区 90 m²

作 期	品 種	移 植	出穂期
普通期	ヒノヒカリ	6月16日	8月25日

3) 調査方法

払い落とし調査：25×18cmの粘着板に1区20株、2回叩きでウンカ・ヨコバイ類を払い落とし法で調査した。3反復で行った。

[具体的データ]

第1表 ウンカ、ヨコバイ類の発生状況

種類	調査日 移植後日数	7/7	7/15	7/29	8/6	8/19	8/30	9/9	9/21	9/29
		20	28	42	50	63	74	84	96	104
トビイロウンカ	♂成虫	0	0	0	0	0	0	0	2	1
	♀成虫	0	0	0	0	0	0	0	4	1
	老齢幼虫	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	若中齢幼虫	0	0	0	0	0	10	1	12	31
	合計	0	0	0	0	0	10	1	18	33
セジロウンカ	♂成虫	0	26	2	8	0	1	1	0	0
	♀成虫	2	31	1	8	1	0	0	0	0
	老齢幼虫	0	0	19	22	0	1	2	0	0
	若中齢幼虫	0	7	72	7	10	0	0	0	0
	合計	2	64	94	45	11	2	3	0	0
ヒメトビウンカ	♂成虫	5	7	11	9	1	0	5	1	0
	♀成虫	9	8	15	19	5	7	14	0	0
	老齢幼虫	0	1	19	38	3	27	24	4	2
	若中齢幼虫	1	133	105	82	98	57	23	70	56
	合計	15	149	150	148	107	91	66	75	58
ツマグロヨコバイ	♂成虫	0	0	0	3	2	1	0	3	3
	♀成虫	0	4	12	18	3	1	3	4	2
	老齢幼虫	2	3	13	19	0	3	19	8	2
	若中齢幼虫	14	26	56	11	34	57	37	27	12
	合計	16	33	81	51	39	62	59	42	19

注：粘着板払い落とし虫数の20株調査3反復合計値

3. 結果の概要・要約

- トビイロウンカの水田での発生は、8月30日（移植74日後）に幼虫が初確認された。その後も低密度で推移し、9月29日（移植104日後）には0.6頭/株と少発生であった。
- セジロウンカの水田での発生は、7月7日（移植20日後）に成虫が初確認された。その後増加し、成虫は7月15日（移植28日後）に1.0頭/株、幼虫は7月29日（移植42日後）に1.5頭/株のピークが認められた。
- ヒメトビウンカの水田での発生は、7月7日（移植20日後）に成幼虫が初確認された。その後増加し、成虫は8月6日（移植50日後）に0.5頭/株、幼虫は7月15日（移植28日後）2.2頭/株のピークが認められた。
- ツマグロヨコバイの水田での発生は、7月7日（移植20日後）から発生が認められ、7月29日（移植42日後）に成幼虫数が1.4頭/株と最大となった。

(4) 果樹病害虫発生予察事業 (茶を含む)

ア 病害虫防除所における調査

(ア) 巡回調査

作物名「カンキツ」

調査月	調査対象	そうか病		かいよう病		黒点病	ハダニ類		チャノキイロアザミマ	アブラムシ類
		発病葉率	発病果率	発病葉率	発病果率		寄生葉率	頭／10葉		
4	本年値	0.3	-	-	-	-	22.0	13.6	-	0.8
	平年値	0.0	-	-	-	-	2.6	0.4	-	0.0
5	本年値	0.2	-	0.4	-	-	12.4	3.8	-	0.8
	平年値	0.4	-	0.1	-	-	3.4	0.6	-	0.9
6	本年値	0.0	0.5	0.0	0.0	0.1	6.8	1.1	0.0	0.4
	平年値	0.1	0.0	0.5	0.0	0.0	14.0	7.7	0.0	0.1
7	本年値	0.2	0.3	2.2	3.4	1.6	8.3	2.2	1.5	1.7
	平年値	0.0	0.3	0.6	0.1	0.8	5.6	2.0	0.1	0.2
8	本年値	-	-	2.6	4.4	1.8	4.1	1.5	1.8	-
	平年値	-	-	0.6	0.5	2.3	2.5	0.6	0.3	-
9	本年値	-	-	0.4	5.0	3.9	9.0	2.5	1.5	-
	平年値	-	-	0.4	0.9	2.6	3.6	0.9	0.7	-
10	本年値	-	-	-	-	-	7.7	3.6	-	-
	平年値	-	-	-	-	-	2.4	0.5	-	-
2	本年値	0.2	0.0	0.8	0.0	-	5.9	1.1	-	-
	平年値	0.0	0.0	0.4	0.0	-	3.7	1.1	-	-
3	本年値	0.8	-	1.4	-	-	2.5	0.4	-	-
	平年値	0.0	-	0.3	-	-	3.7	1.4	-	-

作物名 ナシ

調査月	調査対象	黒星病	赤星病	うどんこ病	ハダニ類	アブラムシ類
		発病葉率	発病葉率	発病葉率	寄生梢率	寄生葉率
4	本年値	0.0	0.0	-	-	2.0
	平年値	0.0	0.1	-	-	0.3
5	本年値	1.0	1.0	-	0.0	8.7
	平年値	0.8	0.3	-	0.0	0.6
6	本年値	0.3	4.7	0.0	0.0	0.7
	平年値	1.3	0.8	0.0	0.2	1.0
7	本年値	3.0	-	0.3	15.0	-
	平年値	1.9	-	0.0	1.8	-
8	本年値	0.7	-	0.0	8.0	-
	平年値	1.3	-	0.0	8.2	-

作物名 茶

調査月	調査対象	炭疽病	もち病	網もち病	輪斑病	ハダニ類	スリップス類
	調査項目	病葉/m ²	病葉/m ²	病葉/m ²	病葉/m ²	寄生葉率	寄生葉率
4	本年値	-	-	-	-	17.0	0.8
	平年値	-	-	-	-	4.6	0.4
5	本年値	6.5	0.0	0.0	0.4	25.3	1.0
	平年値	1.8	0.3	0.0	0.0	5.5	1.4
6	本年値	2.4	0.4	0.0	0.6	2.0	0.8
	平年値	2.6	0.0	0.0	0.6	2.5	3.7
7	本年値	5.5	0.0	0.0	1.4	1.0	1.8
	平年値	11.5	0.1	0.0	0.2	0.5	1.8
8	本年値	4.4	0.0	0.0	0.4	8.5	3.5
	平年値	6.1	0.0	0.0	2.0	1.7	1.9
9	本年値	9.4	0.0	0.0	-	2.8	0.3
	平年値	5.1	0.0	0.0	-	3.2	1.3
10	本年値	-	-	-	-	2.5	-
	平年値	-	-	-	-	2.1	-
2	本年値	-	-	-	-	4.8	-
	平年値	-	-	-	-	1.8	-
3	本年値	-	-	-	-	11.5	-
	平年値	-	-	-	-	2.4	-

調査月	調査対象	チャノミドリヒメヨコバイ		ツマク ^ロ アオカスミカメ	チャノホソガ	チャノコカモンハマキ	チャハマキ	クワシロカイガラムシ
	調査項目	寄生葉率	被害芽数/m ²	被害芽数/m ²	三角巻数/m ²	葉巻数/m ²	葉巻数/m ²	寄生株率
4	本年値	1.0	2.6	2.0	0.4	0.1	3.0	6.9
	平年値	0.2	0.2	0.7	0.0	0.1	0.1	5.6
5	本年値	1.8	0.6	0.9	0.4	0.4	3.6	5.0
	平年値	0.3	1.3	6.4	0.1	0.3	0.1	4.9
6	本年値	5.8	4.9	1.5	0.0	0.1	0.0	15.6
	平年値	2.5	0.9	3.3	0.3	0.5	0.3	16.0
7	本年値	2.0	14.0	0.1	0.3	0.4	7.4	1.3
	平年値	2.8	1.8	0.9	1.0	1.2	0.6	7.9
8	本年値	0.5	4.5	0.1	6.1	2.3	0.4	9.4
	平年値	1.9	1.0	0.0	0.3	0.7	0.5	6.2
9	本年値	2.5	5.1	-	6.1	1.5	2.6	2.5
	平年値	1.1	2.2	-	2.9	0.3	0.5	1.5
10	本年値	-	-	-	-	-	-	-
	平年値	-	-	-	-	-	-	-
2	本年値	-	-	-	-	-	-	-
	平年値	-	-	-	-	-	-	-
3	本年値	-	-	-	-	-	-	7.5
	平年値	-	-	-	-	-	-	8.0

(イ) チャバネアオカメムシの誘殺状況

(合志市・フェロモントラップ)

月	半旬	R3	トラップの誘殺数										H23~R2	
			R2	R1	H30	H29	H28	H27	H26	H25	H24	H23	平年値	
4	1	1	0	0	1	0	0	3	0	0	0	0	0	0
	2	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
	3	0	0	0	1	0	2	0	1	0	0	0	0	0
	4	0	0	0	1	0	0	3	0	4	1	0	1	1
	5	4	0	4	8	0	0	1	0	0	10	0	2	2
	6	1	4	1	0	2	1	3	2	0	0	0	0	1
5	1	0	76	0	25	1	1	2	0	0	10	0	11	11
	2	4	39	5	1	5	4	16	7	3	0	0	8	8
	3	8	73	3	30	1	3	12	16	12	4	3	16	16
	4	2	117	0	159	0	6	10	8	6	1	2	31	31
	5	1	36	0	11	1	3	1	2	11	8	4	8	8
	6	3	84	2	22	0	3	13	14	5	12	1	16	16
6	1	5	180	5	74	3	2	21	87	14	5	20	41	41
	2	7	287	6	3	0	8	3	47	25	5	6	39	39
	3	5	82	2	95	4	13	16	10	48	22	0	29	29
	4	3	168	4	73	6	10	4	15	68	2	1	35	35
	5	6	199	4	97	1	6	33	27	21	21	70	48	48
	6	2	294	3	111	9	2	10	12	7	8	23	48	48
7	1	1	94	1	204	75	7	3	32	39	37	3	50	50
	2	1	438	1	108	12	2	17	17	10	5	2	61	61
	3	1	217	0	149	4	0	30	3	9	2	3	42	42
	4	0	424	0	297	2	0	6	4	14	4	0	75	75
	5	1	836	0	87	2	1	18	7	9	1	0	96	96
	6	0	1,526	0	111	1	0	19	3	3	10	1	167	167
8	1	2	1,441	0	43	3	1	25	5	8	3	0	153	153
	2	0	138	0	66	1	1	16	2	9	4	0	24	24
	3	0	458	1	30	2	1	7	9	3	1	0	51	51
	4	0	188	2	10	1	1	6	10	4	6	1	23	23
	5	3	22	1	0	2	0	13	2	2	4	0	5	5
	6	4	23	3	3	2	0	7	3	2	10	0	5	5
9	1	2	18	8	3	10	1	6	9	7	3	0	7	7
	2	1	3	16	0	4	3	4	4	9	2	1	5	5
	3	2	2	22	0	15	0	2	4	14	2	0	6	6
	4	1	1	18	3	5	0	2	4	10	1	0	4	4
	5	0	1	2	1	6	0	6	4	22	1	0	4	4
	6	1	1	34	1	18	1	1	2	6	0	0	6	6
10	1	8	5	26	2	54	12	0	2	4	1	1	11	11
	2	4	0	14	1	23	1	0	2	4	1	0	5	5
	3	6	2	16	1	18	2	1	0	2	2	1	4	4
	4	1	0	5	0	0	1	1	1	0	0	0	1	1
	5	0	1	24	0	3	0	2	4	1	0	0	3	3
	6	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0
合計		91	7,469	226	1,831	295	99	345	381	415	209	143	1,141	1,141

(天草市・フェロモントラップ)

月	半旬	R3	トラップの誘殺数										H23~R2	
			R2	R1	H30	H29	H28	H27	H26	H25	H24	H23	平年値	
4	1	3	0	-	11	-	-	-	-	-	-	-	-	6
	2	0	1	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	3
	3	0	1	-	64	-	-	-	-	-	-	-	-	33
	4	0	1	-	4	0	-	-	-	-	6	-	-	3
	5	26	1	45	417	0	-	2	-	1	63	1	66	66
	6	1	10	0	182	0	51	330	31	4	25	24	66	66
5	1	0	788	0	13	24	15	245	5	0	25	54	117	117
	2	23	243	0	136	0	2	28	3	9	78	315	81	81
	3	6	346	0	1,961	1	5	148	0	18	2	72	255	255
	4	3	711	0	1,336	0	4	586	6	13	3	376	304	304
	5	0	630	0	1,376	5	6	135	6	14	4	104	228	228
	6	0	337	14	837	6	3	248	5	1	7	29	149	149
6	1	0	431	17	394	6	2	75	12	28	2	69	104	104
	2	3	2,091	7	608	2	0	57	12	29	26	56	289	289
	3	0	250	2	91	13	1	340	5	140	28	36	91	91
	4	1	430	5	313	8	4	32	4	98	42	20	96	96
	5	0	1,537	7	1,208	24	8	96	8	30	10	561	349	349
	6	0	1,764	2	2,974	51	5	466	1	74	29	192	556	556
7	1	2	405	0	2,553	21	15	256	0	223	24	118	362	362
	2	0	872	2	1,363	5	5	2,331	0	1,151	5	214	595	595
	3	0	358	0	2,982	2	1	1,361	2	2,164	0	43	691	691
	4	0	11,839	0	3,361	0	0	809	0	1,336	1	15	1,736	1,736
	5	0	2,612	0	2,806	0	0	1,425	0	1,207	0	22	807	807
	6	0	9,723	0	1,833	9	0	9,231	1	562	0	22	2,138	2,138
8	1	0	8,401	0	509	0	0	2,122	0	362	0	2	1,140	1,140
	2	1	4,456	0	316	0	4	831	1	494	0	8	611	611
	3	0	2,144	0	230	0	1	416	2	273	1	5	307	307
	4	0	1,245	1	22	3	8	303	6	114	3	25	173	173
	5	0	535	1	15	21	9	232	1	28	7	63	91	91
	6	1	114	0	15	25	0	149	5	12	3	78	40	40
9	1	4	18	0	1	10	16	83	6	4	16	20	17	17
	2	8	12	0	1	51	12	23	10	0	30	24	16	16
	3	1	14	0	3	15	9	8	5	0	45	68	17	17
	4	0	2	0	5	5	7	8	1	0	6	37	7	7
	5	4	10	0	0	19	11	11	9	1	11	18	9	9
	6	12	3	0	1	79	15	7	13	0	9	41	17	17
10	1	12	5	1	0	6	20	0	16	0	3	28	8	8
	2	8	1	0	4	130	14	0	14	0	5	23	19	19
	3	2	2	0	1	55	1	0	1	0	1	61	12	12
	4	0	0	0	0	0	7	1	4	0	9	2	2	2
	5	0	1	17	0	2	0	0	2	0	1	2	3	3
	6	0	2	2	0	7	1	0	3	0	1	1	2	2
合計		121	52,346	123	27,951	605	262	22,395	200	8,396	525	2,849	11,613	11,613

チャバネアオカメムシ
(合志市・予察灯)

月	半旬	R3	トラップの誘殺数										H23~R2	
			R2	R1	H30	H29	H28	H27	H26	H25	H24	H23	平年値	
4	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0
	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	3	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	4	0	0	0	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0
	5	0	0	5	19	0	0	0	0	0	1	0	0	3
	6	0	0	0	1	2	0	5	0	4	1	0	0	1
5	1	2	35	2	1	4	3	41	4	1	5	1	10	
	2	1	27	5	0	10	8	7	2	13	20	107	20	
	3	5	99	12	12	5	9	17	17	17	1	43	23	
	4	2	134	5	204	3	2	21	14	2	2	10	40	
	5	0	71	0	20	3	2	3	21	20	3	2	15	
	6	0	46	2	34	6	3	10	31	11	7	2	15	
6	1	2	35	5	26	2	0	12	15	11	4	10	12	
	2	5	59	0	65	0	6	2	31	9	6	8	19	
	3	3	27	0	9	6	9	8	13	40	9	4	13	
	4	2	70	1	18	9	6	4	36	36	28	2	21	
	5	2	96	5	62	12	12	21	29	9	4	50	30	
	6	0	55	3	47	22	2	8	14	5	9	17	18	
7	1	3	30	1	56	33	9	9	10	13	4	7	17	
	2	1	66	3	46	5	6	5	15	12	1	15	17	
	3	5	34	2	96	10	3		6	12	3	6	19	
	4	3	83	2	55	3	7	11	10	9	9	7	20	
	5	4	99	1	42	5	1	4	21	8	9	9	20	
	6	17	220	4	50	2	2	19	56	51	15	8	43	
8	1	6	169	19	178	21	1	13	195	31	96	25	75	
	2	11	59	17	39	24	7	21	161	125	37	61	55	
	3	11	61	47	55	54	33	15	108	90	72	25	56	
	4	11	33	48	68	64	25	70	105	234	104	55	81	
	5	60	8	131	44	171	40	50	94	115	438	60	115	
	6	27	4	140	28	289	33	43	42	144	182	78	98	
9	1	9	16	272	18	90	40	36	43	15	128	14	67	
	2	6	11	298	9	74	46	20	72	133	61	43	77	
	3	11	10	308	12	105	9	14	30	188	22	76	77	
	4	12	1	110	22	159	17	5	13	141	19	12	50	
	5	6	4	67	6	113	53	34	38	138	9	8	47	
	6	2	3	430	0	435	29	6	12	38	12	40	101	
10	1	1	31	216	4	125	52	1	3	28	2	0	46	
	2	0	2	94	21	181	15	0	10	46	42	0	41	
	3	2	4	25	2	64	2	0	3	5	2	0	11	
	4	0	0	25	0	3	8	0	1	2	3	0	4	
	5	0	0	23	1	0	0	0	1	0	0	0	3	
	6	0	0	2	0	9	0	0	0	0	0	0	1	
合計		232	1,702	2,330	1,372	2,124	501	537	1,276	1,756	1,370	805	1,379	

(天草市・予察灯)

月	半旬	R3	トラップの誘殺数										H23~R2	
			R2	R1	H30	H29	H28	H27	H26	H25	H24	H23	平年値	
4	1	7	0	-	0	-	-	-	-	-	-	-	-	0
	2	0	0	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	3
	3	0	0	-	58	-	-	-	-	-	-	-	0	19
	4	0	0	-	4	0	-	-	-	6	6	0	0	3
	5	3	0	33	650	0	-	0	-	0	4	0	0	86
	6	0	16	3	46	0	60	221	6	33	11	1	40	40
5	1	1	782	0	100	74	7	650	3	0	40	4	166	
	2	37	2,110	2	112	2	4	99	11	66	79	1,650	414	
	3	24	344	9	3,542	23	17	1,026	0	183	9	561	571	
	4	9	2,447	18	2,037	1	1	1,443	9	140	6	534	664	
	5	4	1,713	6	1,731	11	4	176	4	148	7	167	397	
	6	5	687	12	987	3	0	186	10	137	16	15	205	
6	1	4	2,714	31	278	7	0	81	16	76	16	43	326	
	2	15	865	5	1,032	1	1	81	15	22	23	43	209	
	3	5	972	4	88	2	3	253	4	178	29	13	155	
	4	1	643	5	755	6	3	36	4	196	68	41	176	
	5	2	1,860	6	1,394	45	10	121	10	31	46	394	392	
	6	3	4,464	11	2,974	43	1	496	2	72	55	206	832	
7	1	5	6,930	3	3,654	69	11	155	2	362	26	118	1,133	
	2	2	7,493	2	1,857	21	0	2,259	1	770	18	135	1,256	
	3	9	7,373	5	1,880	10	2	1,027	1	1,043	21	17	1,138	
	4	6	30,043	6	2,532	3	1	815	6	1,125	17	13	3,456	
	5	31	21,456	11	3,506	5	1	1,811	9	1,546	11	22	2,838	
	6	66	11,015	9	2,423	9	0	3,073	11	1,236	13	31	1,782	
8	1	62	5,897	20	1,080	16	4	1,596	16	565	39	73	931	
	2	154	2,383	33	579	66	17	943	45	817	74	161	512	
	3	167	1,128	47	360	62	45	355	101	709	140	276	322	
	4	1,129	608	361	349	287	78	261	210	390	337	1,555	444	
	5	1,924	539	697	226	1,310	167	280	635	200	734	1,639	643	
	6	1,363	271	1,070	285	2,127	118	109	931	126	1,090	890	702	
9	1	532	125	1,889	87	589	322	62	628	78	1,838	211	583	
	2	296	82	2,967	61	1,251	168	45	466	341	1,191	276	685	
	3	137	64	1,561	96	496	79	6	120	126	718	437	370	
	4	153	23	121	50	1,224	22	13	50	13	210	246	197	
	5	192	12	147	21	1,279	38	10	129	37	242	10	193	
	6	253	4	468	3	1,398	30	18	55	7	91	73	215	
10	1	61	7	1,326	1	994	136	3	56	4	42	8	258	
	2	89	4	951	5	1,131	21	0	27	21	14	3	218	
	3	46	12	199	0	368	0	0	3	2	0	20	60	
	4	0	0	35	0	6	9	0	0	0	5	3	6	
	5	0	0	24	0	2	4	0	7	0	6	2	5	
	6	0	5	2	0	9	2	0	3	0	8	0	3	
合計		6,797	115,091	12,099	34,848	12,950	1,386	17,710	3,606	10,806	7,300	9,891	22,602	

(ウ) ツヤアオカメムシの誘殺状況

(合志市・フェロモントラップ)

月	半旬	R3	トラップの誘殺数										H23~R2 平年値	
			R2	R1	H30	H29	H28	H27	H26	H25	H24	H23		
4	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	6	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
5	1	0	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2	0	3	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0
	3	0	3	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	4	0	8	0	3	0	0	2	2	0	0	0	1	1
	5	0	2	0	2	1	0	1	0	1	0	0	1	1
	6	0	2	0	3	0	0	1	2	1	0	0	1	1
6	1	0	4	0	0	1	0	2	3	0	0	0	1	1
	2	0	8	0	0	0	0	0	3	1	0	1	1	1
	3	0	1	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0
	4	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	6	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
7	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	3	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	4	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	5	0	3	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	6	0	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
8	1	0	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
	2	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	3	0	7	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
	4	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	5	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	6	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9	1	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
	2	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0
	3	0	0	0	1	0	0	2	1	1	0	0	1	1
	4	0	1	0	1	1	0	2	1	1	0	0	1	1
	5	0	4	2	1	1	0	5	2	2	0	0	2	2
	6	0	9	5	2	8	1	4	1	2	0	0	3	3
10	1	2	10	4	4	37	2	1	4	7	4	2	7	7
	2	0	4	4	2	28	1	1	4	4	1	2	5	5
	3	0	4	6	1	10	4	0	2	4	0	2	3	3
	4	0	0	1	0	0	14	0	0	1	0	1	2	2
	5	0	0	25	0	5	1	0	3	5	0	2	4	4
	6	0	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0
合計		2	109	49	25	92	24	25	30	30	5	10	40	

(天草市・フェロモントラップ)

月	半旬	R3	トラップの誘殺数										H23~R2 平年値	
			R2	R1	H30	H29	H28	H27	H26	H25	H24	H23		
4	1	0	0	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	2	0	0	-	11	-	-	-	-	-	-	-	-	6
	3	0	0	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	4	0	0	-	0	0	-	-	-	12	-	-	-	3
	5	0	0	1	58	0	-	0	-	1	7	0	8	8
	6	1	1	0	23	0	12	55	5	10	8	4	12	12
5	1	0	88	0	5	4	5	59	14	0	10	2	19	19
	2	2	81	0	55	0	1	14	6	23	63	23	27	27
	3	0	23	0	184	1	0	160	12	22	7	4	41	41
	4	0	194	0	98	1	1	192	14	17	1	43	56	56
	5	0	112	1	189	10	0	36	9	33	8	31	43	43
	6	0	68	1	270	3	0	73	1	5	20	27	47	47
6	1	0	166	0	47	1	0	55	0	2	3	22	30	30
	2	0	232	0	63	0	0	22	0	11	3	29	36	36
	3	0	21	0	0	0	0	13	0	4	0	7	5	5
	4	0	8	1	0	0	0	1	0	6	0	0	2	2
	5	0	11	0	10	10	0	1	3	2	0	4	4	4
	6	0	20	0	15	3	0	4	0	0	0	2	4	4
7	1	0	8	0	23	1	0	1	0	3	0	1	4	4
	2	0	10	0	17	0	0	11	0	1	1	3	4	4
	3	0	51	0	57	0	0	5	0	47	0	1	16	16
	4	0	104	0	76	0	0	8	0	36	0	0	22	22
	5	0	60	0	45	0	0	27	0	18	0	0	15	15
	6	0	50	0	32	0	1	412	0	12	0	0	51	51
8	1	0	90	0	9	0	0	42	0	5	1	0	15	15
	2	0	31	0	1	0	0	10	0	4	0	0	5	5
	3	0	14	0	0	0	0	3	0	2	0	0	2	2
	4	0	4	0	2	0	0	7	0	2	0	0	2	2
	5	0	3	0	0	0	0	6	0	1	0	0	1	1
	6	0	4	0	0	0	0	13	0	4	0	2	2	2
9	1	0	0	0	1	0	0	21	0	1	0	0	2	2
	2	0	3	0	0	1	0	5	0	1	0	1	1	1
	3	0	2	0	0	3	1	4	0	0	0	18	3	3
	4	0	0	0	1	3	12	15	0	0	0	19	5	5
	5	8	0	0	0	3	21	17	2	1	3	13	6	6
	6	3	2	2	0	9	5	3	8	0	1	75	11	11
10	1	3	3	4	2	0	18	0	45	0	4	30	11	11
	2	4	0	0	2	0	16	1	25	0	6	69	12	12
	3	1	0	1	0	1	5	0	0	0	3	89	10	10
	4	0	1	1	0	0	12	0	3	0	3	11	3	3
	5	0	1	21	0	1	7	0	6	0	1	6	4	4
	6	0	0	3	0	9	4	0	7	0	1	4	3	3
合計		22	1,466	36	1,300	64	121	1,296	160	286	154	540	552	

ツヤアオカメムシ
(合志市・予察灯)

月	半旬	R3	トラップの誘殺数										H23~R2 平年値	
			R2	R1	H30	H29	H28	H27	H26	H25	H24	H23		
4	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	4	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
	5	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	6	0	1	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0
5	1	1	15	3	0	5	1	8	1	0	0	0	0	3
	2	3	33	0	4	0	8	3	9	0	0	0	0	6
	3	6	27	22	12	4	7	35	30	2	1	1	14	
	4	1	92	54	117	2	3	23	39	5	0	1	34	
	5	1	46	5	16	2	1	3	59	8	1	0	14	
	6	0	20	4	80	6	3	14	27	7	0	0	16	
6	1	2	54	36	25	12	4	26	22	14	9	2	20	
	2	5	93	32	71	0	16	22	42	6	5	2	29	
	3	1	28	2	21	10	7	23	10	27	25	0	15	
	4	0	9	3	33	11	0	10	15	5	2	2	9	
	5	0	17	3	10	7	1	8	7	0	0	8	6	
	6	4	35	2	6	16	1	8	6	2	0	1	8	
7	1	0	17	0	30	20	2	1	8	1	0	1	8	
	2	0	16	0	25	4	2	24	26	1	1	1	10	
	3	2	18	1	33	1	1		7	2	0	0	7	
	4	3	27	1	30	4	2	29	4	0	2	0	10	
	5	13	36	1	27	1	0	12	9	1	0	1	9	
	6	36	35	24	17	13	2	36	84	21	8	2	24	
8	1	9	21	47	116	102	3	14	191	18	50	13	58	
	2	11	25	102	39	35	3	60	28	34	30	22	38	
	3	5	28	163	32	41	10	15	41	12	20	4	37	
	4	3	7	23	32	30	3	30	42	23	14	13	22	
	5	8	6	8	17	16	10	14	39	55	19	2	19	
	6	12	8	13	14	15	7	13	21	19	6	9	13	
9	1	12	7	35	31	16	8	60	42	5	10	0	21	
	2	7	3	107	3	34	7	61	15	17	16	5	27	
	3	11	1	53	69	57	3	71	40	37	9	6	35	
	4	12	2	21	41	176	1	72	14	32	4	4	37	
	5	7	46	21	12	134	62	105	78	191	11	6	67	
	6	18	8	358	10	197	123	35	41	52	4	17	85	
10	1	10	14	251	13	95	68	3	23	66	19	1	55	
	2	6	10	137	68	124	80	6	43	131	17	2	62	
	3	9	7	49	3	32	33	1	4	28	5	3	17	
	4	0	1	66	9	10	36	3	11	9	13	4	16	
	5	0	4	63	1	6	10	2	5	5	0	3	10	
	6	0	0	9	0	1	12	0	0	0	0	0	2	
合計		218	817	1,723	1,067	1,240	540	853	1,083	836	301	136	860	

(天草市・予察灯)

月	半旬	R3	トラップの誘殺数										H23~R2 平年値	
			R2	R1	H30	H29	H28	H27	H26	H25	H24	H23		
4	1	4	0	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	3
	2	0	0	-	9	-	-	-	-	-	-	-	-	5
	3	0	0	-	20	-	-	-	-	-	-	-	0	7
	4	0	22	-	1	0	-	-	-	72	11	0	18	
	5	1	3	109	204	0	-	0	-	0	25	0	43	
	6	1	2	41	14	0	19	250	47	42	35	6	46	
5	1	0	849	1	234	144	2	139	33	0	48	3	145	
	2	9	671	1	286	8	6	173	21	185	58	381	179	
	3	2	620	32	728	49	5	1,074	14	236	25	110	289	
	4	3	2,668	122	972	10	1	628	145	281	16	69	491	
	5	3	778	12	1,043	55	6	102	29	194	35	50	230	
	6	0	590	32	926	84	0	296	23	295	75	17	234	
6	1	6	1,279	51	355	207	1	109	43	167	57	24	229	
	2	5	1,230	11	1,221	21	1	124	41	93	58	50	285	
	3	10	873	6	166	47	14	154	15	774	34	19	210	
	4	1	200	4	314	8	2	57	12	690	42	21	135	
	5	0	312	11	326	41	5	107	11	111	27	133	108	
	6	1	544	6	725	73	1	73	8	131	23	33	162	
7	1	0	443	3	892	160	4	19	6	162	21	14	172	
	2	4	469	2	1,132	61	1	254	4	251	7	25	221	
	3	4	537	1	814	8	2	147	4	220	6	5	174	
	4	1	348	4	321	10	0	343	3	179	6	4	122	
	5	5	73	9	357	9	2	312	12	103	17	5	90	
	6	30	83	21	127	14	7	232	42	104	16	17	66	
8	1	29	36	14	100	25	9	39	267	39	61	29	62	
	2	36	46	11	66	104	12	27	152	36	93	156	70	
	3	39	30	15	95	75	12	19	272	49	104	61	73	
	4	106	13	55	185	107	14	11	238	29	68	99	82	
	5	146	10	97	48	191	27	12	174	152	94	94	90	
	6	184	16	94	104	182	27	19	240	190	80	118	107	
9	1	127	8	126	33	154	42	34	104	95	116	19	73	
	2	97	9	315	14	712	61	35	150	140	308	82	183	
	3	117	19	312	59	936	62	25	165	105	318	111	211	
	4	46	6	70	53	2,253	24	69	162	10	82	128	286	
	5	58	16	571	30	2,167	119	43	465	39	162	12	362	
	6	96	3	1,576	5	2,372	51	5	251	39	88	113	450	
10	1	23	3	947	9	2,311	72	3	436	52	72	28	393	
	2	37	10	712	24	2,178	51	2	221	69	93	18	338	
	3	39	4	199	2	1,008	10	0	22	1	48	23	132	
	4	2	3	233	2	48	25	0	15	1	58	13	40	
	5	2	0	111	0	9	4	0	120	4	53	11	31	
	6	3	1	41	0	86	2	1	56	0	50	7	24	
合計		1,277	12,827	5,978	12,022	15,927	703	4,937	4,023	5,340	2,590	2,108	6,672	

(エ) 茶害虫のトラップ調査による誘殺状況

チャノホソガフェロモントラップ (農大ほ場)

月	半旬	トラップ誘殺数										H23～R2	
		R3	R2	R1	H30	H29	H28	H27	H26	H25	H24	H23	平年値
4	1	0	28	0	1	1	114	35	2	1	3	3	18.8
	2	0	3	1	0	9	22	23	0	0	1	1	6.0
	3	0	1	0	0	0	4	4	1	0	1	1	1.2
	4	1	2	0	0	0	0	0	1	1	0	3	0.7
	5	0	0	0	0	0	1	0	1	0	1	0	0.3
	6	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0.2
5	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0.1
	2	22	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	3	156	0	0	0	0	87	50	0	0	0	0	13.7
	4	381	8	0	7	2	358	421	0	0	5	0	80.1
	5	123	81	5	6	19	984	270	2	40	8	0	141.5
	6	26	299	34	7	135	705	462	107	11	13	35	180.8
6	1	5	306	16	10	40	80	77	24	16	5	45	61.9
	2	4	49	14	3	19	21	10	12	18	4	63	21.3
	3	39	10	15	41	11	42	12	5	8	6	15	16.5
	4	111	3	15	34	9	196	20	2	5	1	6	29.1
	5	123	22	12	43	17	398	49	14	15	12	6	58.8
	6	53	32	35	20	48	327	417	38	37	21	10	98.5
7	1	22	42	126	25	197	152	249	159	31	24	25	103.0
	2	9	65	54	10	233	79	363	133	23	23	8	99.1
	3	14	69	23	7	153	150	44	111	15	18	46	63.6
	4	107	34	110	37	37	349	86	36	16	13	11	72.9
	5	51	64	35	22	22	284	173	52	13	53	20	73.8
	6	68	188	11	17	41	141	334	76	2	106	10	92.6
8	1	20	106	3	4	38	15	211	123	1	32	12	54.5
	2	4	66	0	5	13	40	55	74	3	17	13	28.6
	3	13	64	1	0	3	27	49	66	1	18	9	23.7
	4	13	32	3	3	1	53	63	56	3	2	5	22.1
	5	7	32	12	0	3	21	26	342	1	3	3	44.3
	6	9	74	6	1	4	3	315	899	0	5	10	131.7
9	1	18	30	3	0	8	4	348	582	0	13	0	98.8
	2	27	14	4	0	6	4	124	521	5	22	1	70.1
	3	37	32	8	11	22	10	61	68	2	19	16	24.9
	4	37	7	18	10	2	12	97	99	1	9	15	27.0
	5	51	13	3	4	5	5	53	53	4	16	8	16.4
	6	40	16	34	4	7	11	181	88	10	28	105	48.4
10	1	91	40	17	3	10	6	554	59	25	18	28	76.0
	2	115	16	54	8	25	35	506	302	15	4	14	97.9
	3	109	55	9	11	28	52	289	213	12	7	17	69.3
	4	28	51	5	5	44	91	529	583	17	9	12	134.6
	5	7	42	59	7	16	90	352	450	8	8	9	104.1
	6	7	34	64	11	15	119	445	343	3	10	16	106.0
合計		1,948	2,030	809	378	1,243	5,092	7,357	5,698	363	558	602	2,413.0

チャハマキフェロモントラップ (農大ほ場)

月	半旬	トラップ誘殺数										H23～R2	
		R3	R2	R1	H30	H29	H28	H27	H26	H25	H24	H23	平年値
4	1	4	9	0	1	3	5	7	5	7	1	0	3.8
	2	6	8	0	0	20	13	18	0	5	4	0	6.8
	3	3	2	0	0	4	14	7	6	1	12	3	4.9
	4	3	11	0	0	5	11	16	9	9	31	9	10.1
	5	0	0	0	0	7	17	9	4	4	9	0	5.0
	6	0	8	0	0	10	6	7	5	6	0	15	5.7
5	1	6	16	0	0	15	0	7	7	2	35	13	9.5
	2	4	9	0	0	7	25	2	6	4	5	30	8.8
	3	1	4	0	0	2	8	6	6	3	2	4	3.5
	4	1	2	0	0	2	6	1	1	7	1	3	2.3
	5	0	1	0	0	0	2	1	1	1	1	4	1.1
	6	0	5	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0.7
6	1	1	1	0	0	4	1	0	0	1	2	1	1.0
	2	3	8	1	0	5	4	7	0	0	2	1	2.8
	3	1	12	0	0	4	9	9	0	1	4	0	3.9
	4	2	5	0	0	8	9	15	0	0	2	1	4.0
	5	0	0	0	0	4	5	18	0	2	3	6	3.8
	6	1	2	0	0	5	0	9	0	0	5	7	2.8
7	1	6	7	0	0	26	6	0	1	1	6	12	5.9
	2	1	1	4	1	12	6	7	0	2	9	6	4.8
	3	1	0	0	0	5	0	4	0	0	4	20	3.3
	4	0	0	0	0	1	2	0	3	0	4	2	1.2
	5	0	0	3	0	1	1	1	1	0	0	2	0.9
	6	0	1	0	0	3	2	0	1	0	0	1	0.8
8	1	2	2	0	0	13	3	0	2	0	5	7	3.2
	2	0	4	0	0	10	1	1	1	3	2	8	3.1
	3	0	1	1	0	6	1	0	2	0	1	2	1.4
	4	0	0	0	0	5	0	0	1	0	0	1	0.7
	5	0	0	0	0	4	0	0	1	0	0	0	0.5
	6	2	0	0	0	0	1	2	2	0	0	0	0.5
9	1	2	3	0	0	3	3	9	1	0	0	9	2.8
	2	3	14	0	0	2	6	4	3	2	2	7	4.0
	3	3	3	0	0	19	11	8	0	1	4	0	4.6
	4	6	4	0	0	2	19	4	2	18	4	5	5.8
	5	11	2	0	0	16	2	1	1	2	1	0	2.5
	6	3	1	0	0	31	22	0	1	3	5	4	6.7
10	1	30	5	1	1	63	22	13	8	13	4	24	15.4
	2	44	8	3	0	27	17	13	15	14	7	31	13.5
	3	40	7	0	0	22	12	14	11	23	9	57	15.5
	4	18	18	0	8	86	16	12	0	20	8	33	20.1
	5	13	10	2	3	29	12	12	5	15	1	24	11.3
	6	2	4	0	4	30	28	17	0	1	3	25	11.2
合計		223	197	15	18	521	328	261	112	172	199	377	220.0

チャノココクモンハマキフェロモントラップ (農大ほ場)

月	半旬	トラップ誘殺数											H23~R2 平年値
		R3	R2	R1	H30	H29	H28	H27	H26	H25	H24	H23	
4	1	484	7	0	0	3	19	51	0	0	0	0	8
	2	38	2	0	0	13	34	40	6	0	0	0	10
	3	56	9	0	8	3	41	65	23	0	0	1	15
	4	46	24	0	3	19	49	172	21	5	4	4	30
	5	52	18	2	1	30	39	25	10	8	0	1	13
	6	15	48	0	1	14	29	29	26	3	1	6	16
5	1	0	44	0	2	19	8	20	21	3	8	6	13
	2	5	13	1	0	7	22	11	11	6	6	18	10
	3	8	4	1	0	4	1	7	2	2	1	2	2
	4	8	1	0	0	4	4	6	4	1	0	4	2
	5	18	0	0	0	6	9	14	0	0	1	0	3
	6	50	6	0	1	4	12	12	0	0	1	0	4
6	1	36	8	0	1	8	16	105	0	2	1	2	14
	2	10	63	1	1	4	16	181	9	3	1	1	28
	3	3	65	1	0	3	37	99	15	10	1	5	24
	4	4	29	2	0	3	33	116	9	8	3	3	21
	5	3	24	1	0	3	7	210	20	7	6	5	28
	6	4	3	1	0	3	6	83	6	4	4	1	11
7	1	6	4	0	0	15	15	18	11	6	2	3	7
	2	2	2	0	0	7	17	33	1	3	2	2	7
	3	5	11	0	1	10	32	67	3	0	1	3	13
	4	4	271	0	0	24	172	199	11	1	0	1	68
	5	0	189	0	0	24	351	72	19	3	2	3	66
	6	12	81	1	0	43	51	90	15	7	10	3	30
8	1	2	35	0	0	20	4	45	34	7	5	7	16
	2	5	19	1	0	0	4	38	9	4	3	1	8
	3	6	9	0	0	2	9	14	10	4	5	2	5
	4	10	16	0	0	7	23	32	19	3	2	1	10
	5	33	57	0	0	9	13	32	23	1	1	3	14
	6	137	69	0	0	28	12	510	23	10	4	0	66
9	1	48	56	0	0	12	0	299	57	7	9	2	44
	2	57	1,328	0	0	28	5	254	55	28	10	3	171
	3	62	236	0	1	67	10	427	35	27	3	1	81
	4	41	41	1	3	4	8	360	135	23	2	7	58
	5	157	16	0	4	41	2	78	27	10	2	1	18
	6	290	7	1	0	54	16	85	14	13	17	11	22
10	1	292	108	0	3	72	37	27	14	19	8	6	29
	2	85	148	3	3	39	80	18	21	12	9	7	34
	3	111	182	3	1	31	72	49	20	12	12	32	41
	4	90	486	9	5	33	106	26	11	13	14	3	71
	5	310	252	13	6	5	25	55	30	20	9	7	42
	6	193	946	3	1	94	6	114	5	7	20	5	120
合計		2,798	4,936	44	46	819	1,452	4,188	785	302	190	173	1293

チャノキイロアザミウマ黄色粘板 (農大ほ場)

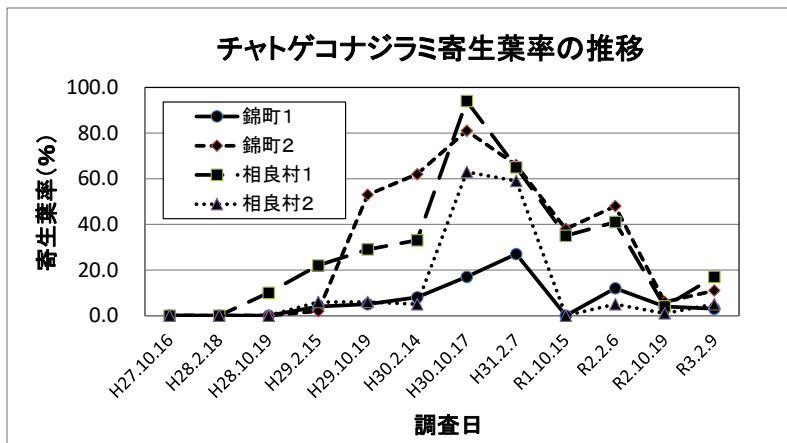
月	半旬	トラップ誘殺数											H23~R2 平年値
		R3	R2	R1	H30	H29	H28	H27	H26	H25	H24	H23	
4	1	0	0	3	1	1	34	1	2	1	14	8	6.5
	2	0	0	2	0	27	17	1	0	0	20	3	7.0
	3	0	0	0	0	0	5	0	0	0	19	9	3.3
	4	0	0	1	0	10	0	0	0	0	20	7	3.8
	5	5	0	1	0	2	1	0	0	0	8	1	1.3
	6	15	0	0	1	1	1	3	0	1	2	0	0.9
5	1	3	2	0	18	0	11	0	2	13	8	5.4	
	2	5	2	4	11	1	157	7	12	3	59	4	26.0
	3	18	1	2	1	8	16	6	45	21	25	1	12.6
	4	12	1	15	0	15	12	1	30	38	14	25	15.1
	5	8	1	9	1	18	40	4	26	67	33	75	27.4
	6	0	0	12	0	36	90	36	7	29	211	238	65.9
6	1	11	0	5	1	21	38	86	3	27	54	133	36.8
	2	39	2	6	3	60	52	93	60	68	462	20	82.6
	3	4	15	0	5	62	25	123	56	142	462	32	92.2
	4	1	1	2	3	60	24	127	27	90	96	180	61.0
	5	3	1	18	3	102	6	159	44	46	50	17	44.6
	6	1	16	25	4	179	29	370	47	63	9	105	84.7
7	1	2	15	144	7	140	33	49	71	28	11	23	52.1
	2	5	10	41	3	63	26	86	53	4	14	3	30.3
	3	3	1	11	0	83	34	41	2	4	8	10	19.4
	4	0	2	59	4	57	16	16	7	3	8	1	17.3
	5	0	0	17	5	19	6	4	6	0	16	0	7.3
	6	3	0	10	15	7	8	5	8	1	41	6	10.1
8	1	2	0	10	8	0	1	4	10	0	6	2	4.1
	2	2	0	2	26	0	2	6	4	0	21	0	6.1
	3	12	1	1	11	0	4	2	4	0	14	0	3.7
	4	4	2	8	21	7	6	17	12	0	58	0	13.1
	5	0	0	17	0	7	4	16	8	1	62	0	11.5
	6	8	0	57	38	11	6	74	12	0	37	0	23.5
9	1	12	1	48	54	5	4	11	9	1	166	0	29.9
	2	9	2	5	12	7	2	12	4	0	344	0	38.8
	3	14	5	21	43	9	5	4	1	0	96	1	18.5
	4	21	4	53	60	26	4	6	4	0	11	1	16.9
	5	11	7	10	31	13	6	5	2	0	6	0	8.0
	6	1	0	10	9	12	4	5	2	0	1	6	4.9
10	1	0	4	1	5	5	10	7	1	10	2	4	4.9
	2	4	1	11	10	1	5	11	6	16	0	5	6.6
	3	1	3	5	2	0	8	8	5	6	0	3	4.0
	4	2	0	5	0	2	3	20	4	5	0	0	3.9
	5	1	1	5	1	0	1	25	3	5	0	1	4.2
	6	0	0	1	2	1	1	10	2	0	1	0	1.8
合計		241	100	657	419	1,078	746	1,472	599	682	2,494	932	917.9

(オ) チャトゲコナジラミ発生状況調査結果

平成28年10月～令和4年2月

調査茶園	調査日	調査葉数	寄生葉数	寄生葉率(%)	寄生頭数	10葉当たり寄生頭数(頭)
錦町1	H28.10.19	100	0	0.0	0	0.0
	H29.2.15	100	4	4.0	12	1.2
	H29.10.19	100	5	5.0	5	0.5
	H30.2.14	100	8	8.0	14	1.4
	H30.10.17	100	17	17.0	34	3.4
	H31.2.7	100	27	27.0	77	7.7
	R1.10.15	100	0	0.0	0	0.0
	R2.2.6	100	12	12.0	26	2.6
	R2.10.19	100	4	4.0	4	0.4
	R3.2.9	100	3	3.0	7	0.7
	R3.10.20	100	2	2.0	2	0.2
R4.2.9	100	4	4.0	4	0.4	
錦町2	H28.10.19	100	0	0.0	0	0.0
	H29.2.15	100	2	2.0	7	0.7
	H29.10.19	100	53	53.0	128	12.8
	H30.2.14	100	62	62.0	151	15.1
	H30.10.17	100	81	81.0	235	23.5
	H31.2.7	100	66	66.0	224	22.4
	R1.10.15	100	38	38.0	72	7.2
	R2.2.6	100	48	48.0	112	11.2
	R2.10.19	100	6	6.0	14	1.4
	R3.2.9	100	11	11.0	15	1.5
	R3.10.20	100	5	5.0	7	0.7
R4.2.9	100	7	7.0	10	1.0	
相良村1	H28.10.19	100	10	10.0	15	1.5
	H29.2.15	100	22	22.0	53	5.3
	H29.10.19	100	29	29.0	75	7.5
	H30.2.14	100	33	33.0	90	9.0
	H30.10.17	100	94	94.0	352	35.2
	H31.2.7	100	65	65.0	288	28.8
	R1.10.15	100	35	35.0	89	8.9
	R2.2.6	100	41	41.0	99	9.9
	R2.10.19	100	4	4.0	8	0.8
	R3.2.9	100	17	17.0	26	2.6
	R3.10.20	100	0	0.0	0	0.0
R4.2.9	100	0	0.0	0	0.0	
相良村2	H28.10.19	100	0	0.0	0	0.0
	H29.2.15	100	6	6.0	17	1.7
	H29.10.19	100	6	6.0	8	0.8
	H30.2.14	100	5	5.0	13	1.3
	H30.10.17	100	63	63.0	243	24.3
	H31.2.7	100	59	59.0	364	36.4
	R1.10.15	100	0	0.0	0	0.0
	R2.2.6	100	5	5.0	11	1.1
	R2.10.19	100	1	1.0	1	0.1
	R3.2.9	100	5	5.0	11	1.1
	R3.10.20	100	1	1.0	1	0.1
R4.2.9	100	9	9.0	21	2.1	

※ 1ほ場あたり中位の50葉を2か所調査



イ 県予察ほ場における調査

(ア) カンキツ病害虫

1 目的

果樹病害虫の発生予察は、昭和35年から実験事業が開始され、昭和40年から植物防疫法の適用をうけて実施している。果樹病害虫の発生予察情報の作成、予察方法の改善、並びに、新しい予察法作成に必要な資料を得るため調査を行う。

2 方法

病害虫の発生推移を調査して、初発日、発病最盛期、発生終期を明らかにし、発生量を把握した。

対象病害虫：カンキツそうか病、カンキツ黒点病、カンキツかいよう病

ミカンハダニ、カメムシ類、ナシヒメシクイ

そうか病および黒点病は所内無防除「興津早生」、かいよう病は所内無防除「川野夏だいたい」を調査した。

3 調査結果

(1) カンキツ病害の初発日

	そうか病		黒点病	かいよう病	
	春葉	果実	果実	春葉	果実
R3	4/5	5/7	5/25	4/23	5/25
平年	4/19	5/17	6/5	5/15	6/13

※平年：H23年～R2年(10ヶ年)の平均日

(2) そうか病

1) 春葉における発生消長(早生温州)

調査月日	4/7	4/12	4/16	4/21	4/26	4/30	5/7	5/10	5/14	5/19	5/25	5/28	
調査葉数	196	188	202	217	200	198	200	200	200	200	200	200	
葉発 数病	C(無)	186	174	179	183	161	171	170	166	163	160	158	156
	B(少)	10	14	23	31	33	19	21	25	28	31	31	33
	A(多)	0	0	0	3	6	8	9	9	9	9	11	11
発病葉率(%)	5.1	7.5	11.4	15.7	19.5	13.6	15.0	17.0	18.5	20.0	21.0	22.0	
発病度	1.0	1.5	2.3	4.2	6.3	6.0	6.6	7.0	7.3	7.6	8.6	8.8	

調査月日	6/1	6/8	6/11	6/16	6/21	6/28	7/2	7/7	7/12	7/16	7/21	7/28
調査葉数	200	200	200	200	200	198	198	198	198	198	198	198
葉発 数病	C(無)	154	151	150	147	147	145	145	145	145	145	145
	B(少)	35	38	39	42	42	42	42	42	42	42	42
	A(多)	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11
発病葉率(%)	23.0	24.5	25.0	26.5	26.5	26.8	26.8	26.8	26.8	26.8	26.8	26.8
発病度	9.0	9.3	9.4	9.7	9.7	9.8	9.8	9.8	9.8	9.8	9.8	9.8

※平年：H23年～R2年(10ヶ年)の平均日

2) 果実における発生消長（早生温州）

調査月日	5/10	5/14	5/19	5/25	5/28	6/1	6/8	6/11	6/16	6/21	6/28	7/2	7/7	7/12
調査果数	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50
果発病数	C(無)	42	25	23	11	8	4	4	2	2	1	0	0	0
	B(少)	7	21	19	22	25	22	22	20	21	14	9	7	7
	A(多)	1	4	8	17	17	24	24	26	28	28	36	41	43
発病果率(%)	16.0	50.0	54.0	78.0	84.0	92.0	92.0	96.0	96.0	98.0	100.0	100.0	100.0	100.0
発病度	4.8	16.4	23.6	42.8	44.0	56.8	56.8	60.8	64.0	64.4	77.6	85.6	88.8	88.8

調査月日	7/16	7/21	7/28	8/2	8/6	8/10	8/20	8/24	8/30	9/3	9/8	9/14	9/24	10/1
調査果数	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50
果発病数	C(無)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	B(少)	7	7	6	6	6	5	4	4	4	4	4	4	4
	A(多)	43	43	44	44	44	44	45	46	46	46	46	46	46
発病果率(%)	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
発病度	88.8	88.8	90.4	90.4	90.4	90.4	92.0	93.6	93.6	93.6	93.6	93.6	93.6	93.6

※平年：H23年～R2年(10ヶ年)の平均日

(3) 黒点病

調査月日	5/25	5/28	6/1	6/8	6/11	6/16	6/21	6/28	7/2	7/7	7/12	7/16	7/21
調査果数	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50
発病程度別葉数	無	47	43	30	23	23	11	4	2	1	1	1	0
	軽	3	7	20	27	27	39	46	44	43	43	43	44
	中	0	0	0	0	0	0	0	4	6	5	5	5
	甚	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1
	激	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
発病果率(%)	6.0	14.0	40.0	54.0	54.0	78.0	92.0	96.0	98.0	98.0	98.0	98.0	100.0
発病度	1.2	2.8	5.7	7.7	7.7	11.1	13.1	16.0	17.4	18.00	18.0	18.0	18.3

調査月日	7/28	8/2	8/6	8/10	8/20	8/24	8/30	9/3	9/8	9/14	9/24	10/1
調査果数	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50
発病程度別葉数	無	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	軽	44	43	41	41	32	31	30	25	26	26	25
	中	4	5	7	7	13	13	14	19	18	18	19
	甚	2	2	2	1	4	5	5	4	3	3	3
	激	0	0	0	1	1	1	1	2	3	3	3
発病果率(%)	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
発病度	18.9	19.4	20.6	21.1	28.0	29.1	29.7	33.1	33.1	33.1	33.7	33.7

※平年：H23年～R2年(10ヶ年)の平均日

(4) かいよう病

1) 春葉における発生消長 (川野なつだいたい)

調査月日	4/26	4/30	5/7	5/10	5/14	5/19	5/25	5/28	6/1	6/8	6/11	6/16	6/21	6/28	7/2	7/7
調査葉数	222	247	248	248	248	248	248	248	248	245	244	242	240	239	239	237
発病程度別 葉数	無	216	231	207	200	196	189	185	183	183	184	183	183	178	178	178
	軽	6	14	29	36	39	42	45	47	47	46	46	46	48	48	47
	中	0	1	8	8	9	11	11	11	11	10	10	10	10	10	9
	甚	0	0	0	0	0	1	2	2	2	2	2	1	1	1	1
	激	0	1	4	4	4	5	5	5	5	3	2	1	0	2	2
発病率(%)	2.7	6.5	16.5	19.4	21.0	23.8	25.4	26.2	26.2	25.3	24.6	24.4	23.8	25.5	25.5	24.9
発病度	0.4	1.4	4.7	5.1	5.4	6.6	7.0	7.1	7.1	6.3	5.9	5.5	4.8	5.8	5.8	5.6

調査月日	7/12	7/16	7/21	7/28	8/2	8/6	8/10	8/20	8/24	8/30	9/3	9/8	9/14	9/24	10/1	
調査葉数	234	233	233	233	232	231	231	230	230	230	230	229	229	229	229	
発病程度別 葉数	無	177	176	176	176	175	175	175	174	174	173	173	172	172	172	172
	軽	47	47	47	46	46	46	46	47	47	48	48	48	48	48	48
	中	9	9	9	10	10	10	10	9	9	9	9	9	9	9	9
	甚	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	激	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
発病率(%)	24.4	24.5	24.5	24.5	24.6	24.2	24.2	24.4	24.4	24.8	24.8	24.9	24.9	24.9	24.9	
発病度	5.0	5.0	5.0	5.1	5.1	4.7	4.7	4.6	4.6	4.7	4.7	4.7	4.7	4.7	4.7	

※ 平年: H23年~R2年(10ヶ年)の平均日

2) 果実における発生消長 (川野なつだいたい)

調査月日	5/25	5/28	6/1	6/8	6/11	6/16	6/21	6/28	7/2	7/7	7/12	7/16	7/21	
調査果数	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	
発病程度別 葉数	無	47	45	36	36	35	30	27	24	22	21	19	19	19
	軽	3	4	9	9	12	17	20	11	11	11	9	8	8
	中	0	1	4	4	2	2	2	10	10	11	14	15	14
	甚	0	0	1	1	1	1	1	2	4	3	4	4	5
	激	0	0	0	0	0	0	0	3	3	4	4	4	4
発病率(%)	6.0	10.0	28.0	28.0	30.0	40.0	46.0	52.0	56.0	58.0	62.0	62.0	62.0	
発病度	1.2	2.0	7.4	7.4	6.6	8.0	8.9	20.6	23.4	24.9	28.3	28.9	29.4	

調査月日	7/28	8/2	8/6	8/10	8/20	8/24	8/30	9/3	9/8	9/14	9/24	10/1
調査果数	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50
発病程度別 葉数	無	19	19	19	19	19	19	18	18	18	18	18
	軽	8	7	7	7	7	7	8	8	7	7	7
	中	14	14	14	14	14	14	13	13	13	13	13
	甚	5	6	6	6	5	5	6	6	6	6	6
	激	4	4	4	4	5	5	5	5	5	6	6
発病率(%)	62.0	62.0	62.0	62.0	62.0	62.0	62.0	64.0	64.0	64.0	64.0	64.0
発病度	29.4	30.6	30.6	30.6	31.1	31.1	31.7	32.0	32.0	33.7	33.7	33.7

※ 平年: H23年~R2年(10ヶ年)の平均日

(5) ミカンハダニ

所内発生予察ほ場におけるミカンハダニ発生状況

100葉当たり虫数				H23-R2				寄生葉率				H23-R2			
	R3 (甘夏)	R3	R2	平年 (過去10年の平均)		R3 (甘夏)	R3	R2	平年 (過去10年の平均)		R3 (甘夏)	R3	R2	平年 (過去10年の平均)	
4-5	44	8	59	21.2	4-5	28	6	24	13.3						
4-6	67	11	44	21.4	4-6	29	8	26	14.9						
5-1	87	9	56	22.8	5-1	32	5	26	13.8						
5-2	109	11	71	22.2	5-2	36	7	39	12.5						
5-3	127	12	49	14.7	5-3	49	11	35	10.6						
5-4	116	1	35	12.0	5-4	26	1	24	8.9						
5-5	57	0	14	8.0	5-5	22	0	13	6.1						
5-6	85	0	18	6.7	5-6	27	0	12	4.9						
6-1	250	4	42	10.7	6-1	52	4	29	8.3						
6-2	141	0	35	11.4	6-2	41	0	19	9.0						
6-3	126	1	58	17.4	6-3	38	1	25	11.1						
6-4	158	3	14	15.8	6-4	49	3	12	10.9						
6-5	145	3	9	21.2	6-5	53	3	9	11.9						
6-6	233	6	3	15.4	6-6	63	6	3	7.9						
7-1	233	2	0	14.4	7-1	70	2	0	8.2						
7-2	296	8	3	7.6	7-2	75	6	3	4.9						
7-3	197	6	0	5.7	7-3	60	6	0	4.5						
7-4	116	12	2	14.6	7-4	50	10	2	4.7						
7-5	23	1	1	13.8	7-5	19	1	1	4.8						
7-6	12	3	1	18.7	7-6	11	3	1	6.3						
8-1	15	3	10	48.1	8-1	14	3	9	8.9						
8-2	16	4	6	38.9	8-2	11	4	5	9.6						
8-3	1	1	14	39.3	8-3	1	1	10	8.9						
8-4	2	0	13	41.4	8-4	2	0	8	10.0						
8-5	7	0	15	23.8	8-5	4	0	10	8.4						
8-6	3	0	26	28.1	8-6	3	0	10	9.0						
9-1	6	2	9	31.9	9-1	6	2	6	9.7						
9-2	5	2	5	27.0	9-2	5	2	4	10.3						
9-3	6	0	6	34.4	9-3	6	0	5	13.2						
9-4	4	0	3	17.3	9-4	4	0	3	10.1						
9-5	6	2	4	15.7	9-5	5	2	4	10.0						
9-6	6	2	3	18.8	9-6	6	2	2	11.6						
10-1	6	4	0	14.6	10-1	6	4	0	10.2						
10-2	7	2	3	12.7	10-2	5	2	3	8.2						
10-3	20	2	2	12.1	10-3	17	2	2	8.1						
10-4	14	5	3	6.9	10-4	11	5	3	5.1						
10-5	21	7	5	3.5	10-5	18	7	3	2.4						
10-6	28	2	2	2.9	10-6	15	2	2	2.4						

(6) カメムシ類

所内フェロモントラップ及び予察灯におけるカメムシ類の誘殺消長

チャバネアオカメムシ (宇城市・フェロモントラップ)

月	半旬	トラップの誘殺数											過去 10年
		R3	R2	R1	H30	H29	H28	H27	H26	H25	H24	H23	平年値
4	1	3	0		7						0		2
	2	6	0		9					0	0		2
	3	0	0	0	0	0			0	0	0		0
	4	0	1	2	2	48	4		0	0	17	4	9
	5	10	1	11	94	0	3	0	7	1	9	1	13
	6	0	0	12	22	10	15	12	1	0	9	0	8
5	1	0	143	0	8	0	8	9	3	9	2	3	19
	2	7	107	10	6	36	9	59	17	18	2	139	40
	3	6	317	53	49	2	4	93	77	84	2	63	74
	4	25	657	43	360	155	15	196		279	23	31	195
	5	1	634	15	212	34	9	34	36	48	34	361	142
	6	0	262	6	452	28	7	92	71	93	85	35	113
6	1	8	452	21	296	11	0	84	51	39	41	20	102
	2	11	412	29	148	11	3	9	53	34	40	262	100
	3	21	556	41	410	18	10	47	32	30	27	131	130
	4	1	1,316	32	62	18	8	0	19	199	29	13	170
	5	5	417	58	884	55	19	42	25	56	7	165	173
	6	1	1,806	39	407	45	8	111	28	61	9	231	275
7	1	1	392	21	1,094	143	12	24	22	74	14	268	206
	2	0	814	6	856	15	10	68	22	8	16	218	203
	3	2	3,271	0	708	39	4	359		38	6	131	506
	4	1	883	2	935	12	0	167	7	51	3	147	221
	5	1	9,308	0	464	2	0	242	8	35	2	37	1,010
	6	0	8,671	2	394	10	3	178	6	15	7		1,032
8	1	0	14,055	3	40	14	1	228	8	2	5	35	1,439
	2	2	1,529	0	197	3	1	326	9	11	7	63	215
	3	0	1,313	5	160	35	2	249	6	12	13	34	183
	4	0	1,131	3	53	14	1	161	6	3	5	10	139
	5	3	322	1	14	58	2	147	5	21	4	51	63
	6	2	25	14	4	135	1	32	20	18	4	21	27
9	1	1	28	16	4	3	1	15	15	32	10	19	14
	2	4	7	19	1	23	1	48	35	15	57	6	21
	3	1	14	85	3	70	2	5	0	10	59	6	25
	4	0	6	17	6	16	12	1	6	12	9	7	9
	5	14	2	5	23	20	2	0	6	2	3	8	7
	6	1	1	8	21	34	6	1	3	4	0	1	8
10	1	1	0	137	2	157	38	5	0	28	9	4	38
	2	22	2	76	12	6	13	4	2	2	34	2	15
	3	3	1	228	2	274	10	0	0	0	2	2	52
	4	0	0	15	0	42	6	0	4	1	1	2	7
	5	1	0	13	1	0	2	0	0	0	2	0	2
	6	0	0	1	1	0	15	0		0	2	0	2
	合計	165	48,856	1,049	8,423	1,596	267	3,048	610	1,345	610	2,531	7,011

チャバネアオカメムシ（宇城市・予察灯）

月	半旬	トラップの誘殺数											過去 10年
		R3	R2	R1	H30	H29	H28	H27	H26	H25	H24	H23	平年値
4	1	0	0		0						0	0	0
	2	0	0		0					0	0	0	0
	3	0	0	0	0	0	1		0	0	0	0	0
	4	0	0	0	2	0	1		0	0	0	0	0
	5	5	0	1	2	0	1	0	0	0	0	0	0
	6	0	1	0	0	0	2	1		0	0	0	0
5	1	1	75	2	0	28	7	4			18	欠測	19
	2	4	124	6	0	3	2	12			4	131	35
	3	19	58	6	欠測	4	17	66			4	505	94
	4	2	527	44	301	4	3	38		1	3	19	104
	5	4	344	7	52	11	24	10		10	10	100	63
	6	1	109	2	121	3	5	73	3	7	4	5	33
6	1	1	142	12	33	4	4	26	0	43	8	40	31
	2	25	114	10	370	3	2	3	7	10	6	73	60
	3	6	146	0	11	9	8	23	1	20	6	15	24
	4	4	92	15	53	7	2	17	1	25	15	7	23
	5	1	191	12	98	33	9	46	0	124	6	206	73
	6	2	162	7	220	75	8	62	2	34	19	119	71
7	1	8	229	14	253	36	9	16	0	16	22	55	65
	2	3	431	5	134	15	2	337	4	22	1	76	103
	3	3	※ 47	4	106	13	2	237	0	20	8	32	47
	4	2	1,260	13	47	9	3	221	5	16	15	27	162
	5	14	1,214	18	107	8	3	159	6	14	9	21	156
	6	27	2,085	14	197	29	3	429	3	44	17	31	285
8	1	37	964	26	359	36	8	271	31	40	59	45	184
	2	105	781	85	122	181	11	218	21		178	158	195
	3	114	476	207	198	525	21	122	156		325	98	236
	4	662	170	1,940	216	845	85	277	350		947	201	559
	5	824	105	1,530	288	2,689	204	130	547		1,474	414	820
	6	415	148	4,433	197	4,602	156	182	241		929	216	1,234
9	1	306	138	3,864	118	565	848	93	199	22	646	212	671
	2	84	68	2,330	41	1,272	309	69	111	99	857	81	524
	3	98	194	2,263	406	922	203	15	238	55	500	80	488
	4	348	35	628	300	853	47	79	116	17	280	185	254
	5	148	104	1,757	104	1,799	245	160	629	81	355	25	526
	6	152	25	4,468	30	1,822	152	14	425	19	144	46	715
10	1	41	32	2,330	66	533	272	9	166	24	5	5	344
	2	20	10	804	79	2,852	35	9	56	11	5	3	386
	3	25	16	131	1	707	13	8	1	1	1	8	89
	4	0	2	70	0	10	48	5	7	0	1	4	15
	5	0	2	43	0	2	2	0	4	0	0	0	5
	6	0	0	1	0	7	6	0		0	0	1	2
	合計	3,511	10,621	27,102	4,632	20,516	2,783	3,441	3,330	775	6,881	3,244	8,695

※雷で停電し2日間欠測

ツヤアオカメムシ (宇城市・フェロモントラップ)

月	半旬	トラップの誘殺数											過去 10年
		R3	R2	R1	H30	H29	H28	H27	H26	H25	H24	H23	平年値
4	1	0	0		3						0	0	1
	2	0	0		35					0	0	0	7
	3	0	1	0	0	0			0	0	0	0	0
	4	0	0	0	6	7	1		0	0	0	0	2
	5	2	3	0	65	0	2	0	1	1	0	0	7
	6	0	1	2	14	2	2	2	0	1	0	0	2
5	1	0	101	0	9	0	0	7	0	6	1	0	12
	2	2	132	10	12	25	9	71	22	5	2	4	29
	3	16	121	44	236	1	12	80	76	45	2	5	62
	4	2	517	37	468	272	15	516		186	11	19	227
	5	0	379	4	142	51	3	134	306	128	22	76	125
	6	0	121	11	352	50	0	205	383	125	33	8	129
6	1	1	209	3	75	48	0	129	197	80	32	14	79
	2	1	139	1	57	11	0	4	96	106	23	44	48
	3	0	17	5	25	2	0	5	26	11	2	21	11
	4	0	11	2	5	6	0	0	14	7	0	2	5
	5	0	1	0	4	0	0	1	1	7	0	0	1
	6	0	12	0	1	0	0	0	4	1	0	0	2
7	1	0	1	0	1	2	0	0	2	0	0	0	1
	2	0	10	0	2	0	0	2	6	0	0	0	2
	3	0	15	0	0	1	0	7		1	0	1	3
	4	0	10	0	7	2	0	2	0	2	0	2	3
	5	0	23	0	2	0	0	0	0	0	0	0	3
	6	0	13	0	3	0	0	0	0	1	0		2
8	1	0	30	0	0	0	0	4	0	0	1	0	4
	2	0	15	0	0	0	0	11	0	0	0	0	3
	3	0	14	0	0	0	0	5	0	0	0	0	2
	4	0	10	0	0	0	0	5	0	0	0	0	2
	5	0	3	0	0	0	0	3	0	0	0	0	1
	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9	1	0	1	0	0	0	0	5	0	0	0	0	1
	2	0	1	0	1	3	0	32	2	0	1	0	4
	3	0	6	4	0	9	0	8	0	0	3	0	3
	4	0	1	4	0	18	3	6	1	1	0	0	3
	5	5	2	8	2	17	11	26	17	6	3	0	9
	6	1	0	19	9	22	4	11	1	26	16	0	11
10	1	4	10	105	9	148	26	25	10	0	53	1	39
	2	2	31	167	5	9	21	0	1	0	213	10	46
	3	9	1	296	1	476	23	5	0	0	95	14	91
	4	0	1	169	1	51	554	3	0	10	48	19	86
	5	0	0	79	1	0	123	0	13	2	12	0	23
	6	0	0	38	2	0	72	1		12	45	0	19
	合計	45	1,963	1,008	1,555	1,233	881	1,315	1,179	770	618	240	1,105

ツヤアオカメムシ（宇城市・予察灯）

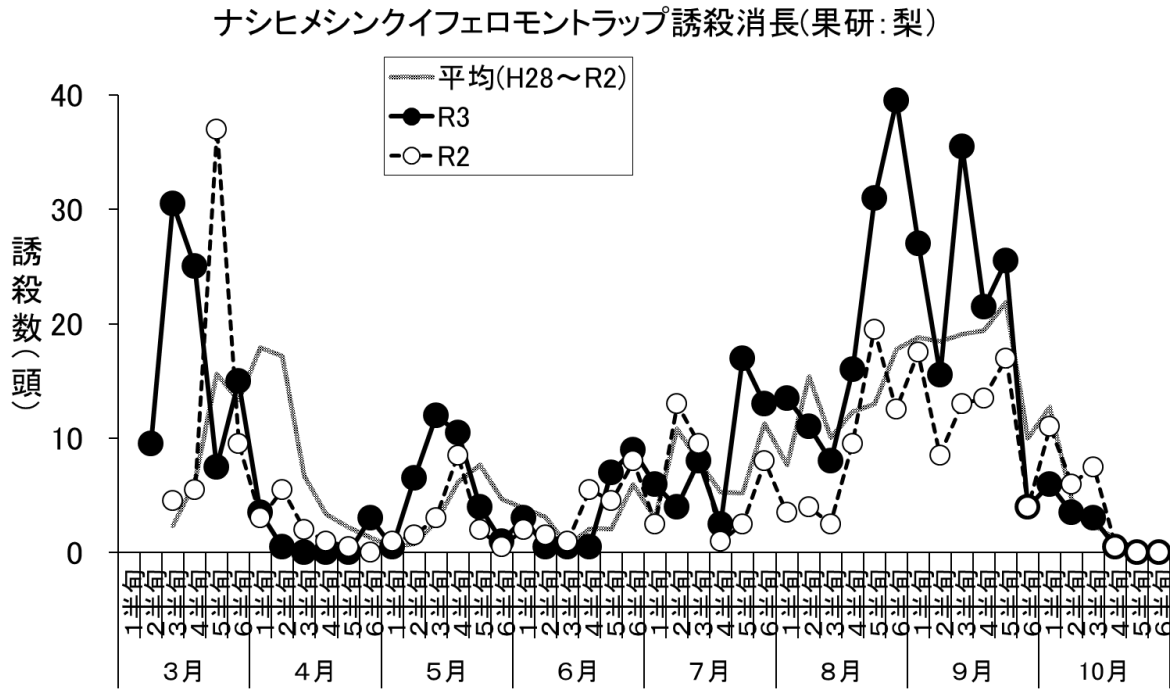
月	半旬	トラップの誘殺数											過去 10年
		R3	R2	R1	H30	H29	H28	H27	H26	H25	H24	H23	平年値
4	1	0	0		0						0	0	0
	2	0	0		0					0	0	0	0
	3	0	0	0	0	0	1		0	0	0	0	0
	4	0	0	2	0	5	1		0	0	0	0	1
	5	5	1	25	0	5	1	0	1	0	0	0	3
	6	1	0	3	0	1	6	1		0	2	0	1
5	1	0	385	28	0	92	7	5		9	欠測	75	
	2	16	357	33	0	43	51	9		26	70	74	
	3	22	278	257	欠測	66	29	192		22	77	132	
	4	10	1,851	514	867	15	2	216		19	14	437	
	5	0	500	57	185	147	9	104		82	18	72	130
	6	8	219	71	185	44	8	317	47	246	69	18	122
6	1	20	298	283	179	178	3	215	134	297	53	45	169
	2	28	407	61	894	56	22	131	93	123	105	38	193
	3	15	122	40	71	142	31	111	10	345	61	11	94
	4	6	96	39	134	91	2	106	25	153	67	22	74
	5	4	178	5	64	117	4	153	14	299	29	125	99
	6	6	394	48	123	91	6	95	8	62	18	24	87
7	1	3	143	30	169	69	5	46	6	40	33	17	56
	2	4	179	12	56	42	2	444	9	59	8	22	83
	3	4	※ 15	7	42	12	3	477	3	49	13	6	63
	4	2	242	12	58	12	1	475	0	25	9	3	84
	5	11	164	9	59	11	2	141	6	10	9	2	41
	6	42	205	29	68	70	5	345	11	53	36	11	83
8	1	39	42	47	102	58	6	215	48	71	52	9	65
	2	57	133	207	53	200	24	278	25		266	32	135
	3	22	93	169	29	337	19	99	37		322	38	127
	4	24	42	400	31	233	17	175	144		117	21	131
	5	49	22	170	37	319	23	55	145		94	13	98
	6	190	41	263	31	378	10	171	33		110	1	115
9	1	172	15	653	33	126	15	185	34	4	228	5	130
	2	55	9	1,073	18	626	11	191	34	29	844	2	284
	3	80	27	547	342	637	30	136	332	34	444	19	255
	4	75	21	174	166	937	30	263	181	5	128	50	196
	5	46	69	600	53	1,325	248	403	699	46	199	8	365
	6	141	58	2,222	88	2,424	311	88	245	43	247	43	577
10	1	79	56	2,256	114	682	735	57	493	116	69	15	459
	2	88	11	1,074	69	1,728	163	0	150	166	85	28	347
	3	59	21	301	9	600	58	16	2	13	14	22	106
	4	0	1	256	6	291	306	0	34	7	20	2	92
	5	2	1	418	10	54	73	0	34	10	31	2	63
	6	3	1	47	1	79	14	0		2	16	4	18
	合計	1,388	6,697	12,442	4,346	12,343	2,294	5,915	3,037	2,389	3,892	891	5,665

※雷で停電し2日間欠測

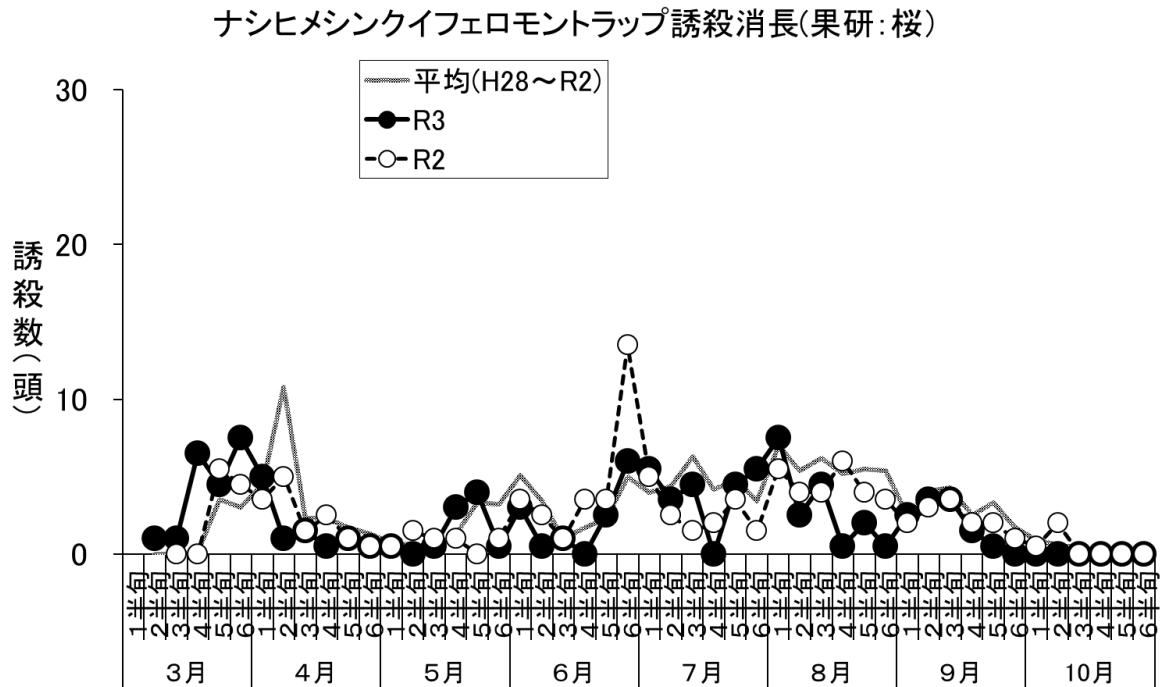
(7) ナシヒメシンクイ

所内ナシ園及びサクラでのフェロモントラップにおけるナシヒメシンクイの発生状況

1) 所内ナシ園におけるナシヒメシンクイの季節的消長



2) 所内サクラにおけるナシヒメシンクイの季節的消長



(イ) 茶害虫

1 目的

植物防疫法の規定に基づき茶病虫害の発生予察情報調査を行い、適切な情報の提供によって適期防除を推進する。

2 試験方法

- ア 調査場所 茶業研究所内ほ場 ‘やぶきた’
- イ 調査期間 3月～11月
- ウ 調査方法 性フェロモントラップ、100葉調査、たたき落とし
- エ 調査対象害虫 チャノコカクモンハマキ、チャハマキ、チャノホソガ、チャノミドリヒメヨコバイ、チャノキイロアザミウマ、カンザワハダニ

3 試験成績

ア チャノコカクモンハマキ

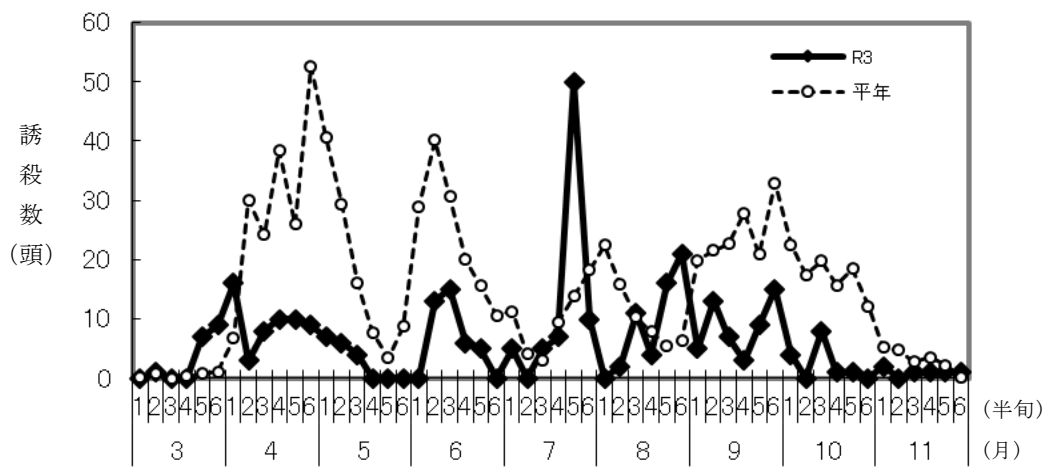


図1 チャノコカクモンハマキ誘殺数（フェロモントラップ）
注）平年値は平成23年から令和2年の平均である。以下同様。

イ チャハマキ

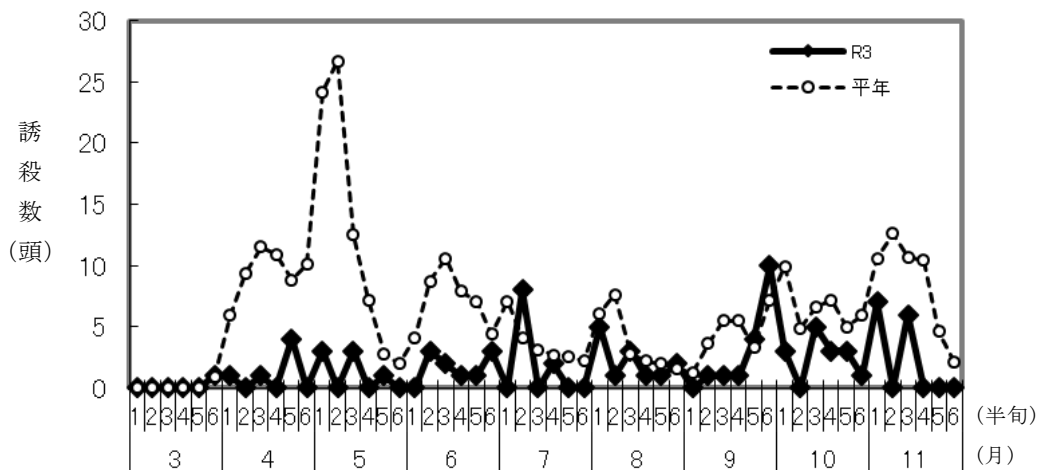


図2 チャハマキ誘殺数（フェロモントラップ）

ウ チャノホソガ

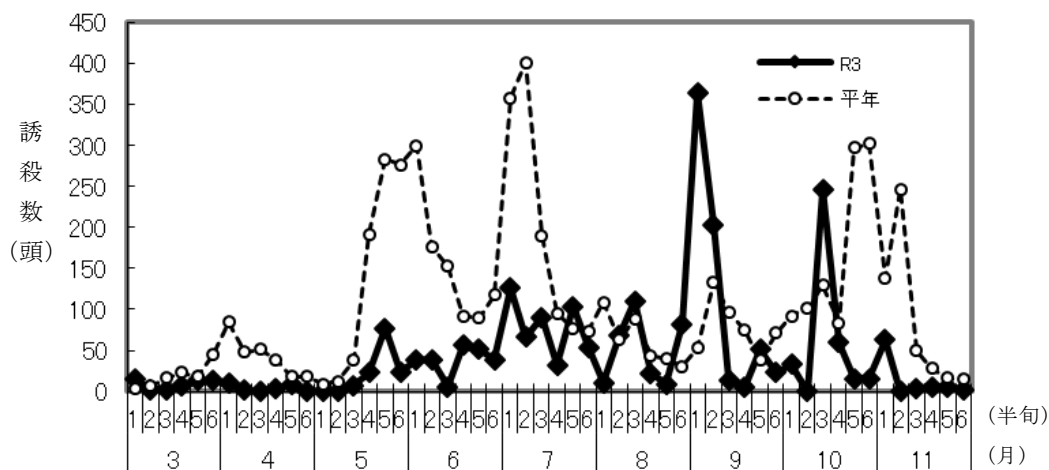


図3 チャノホソガ誘殺数 (フェロモントラップ)

エ チャノミドリヒメヨコバイ

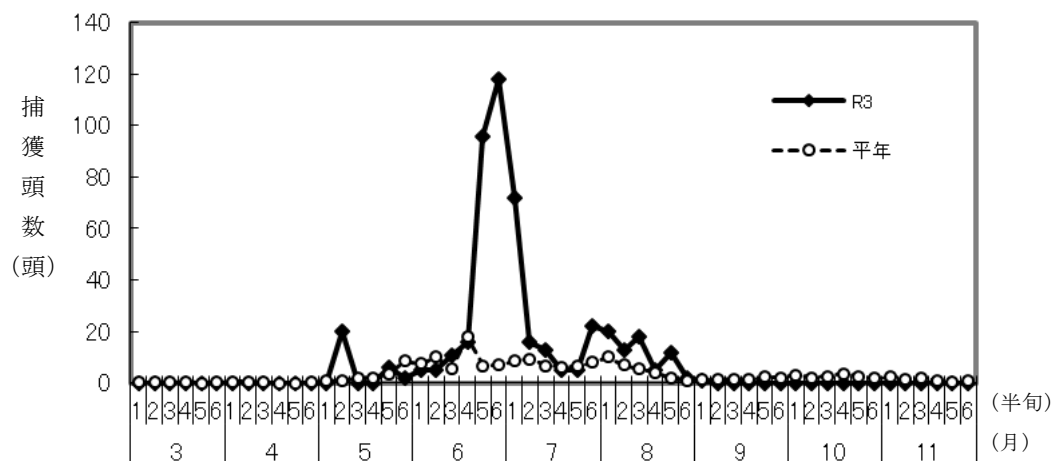


図4 チャノミドリヒメヨコバイ捕獲数 (たたき落とし)

オ チャノキイロアザミウマ

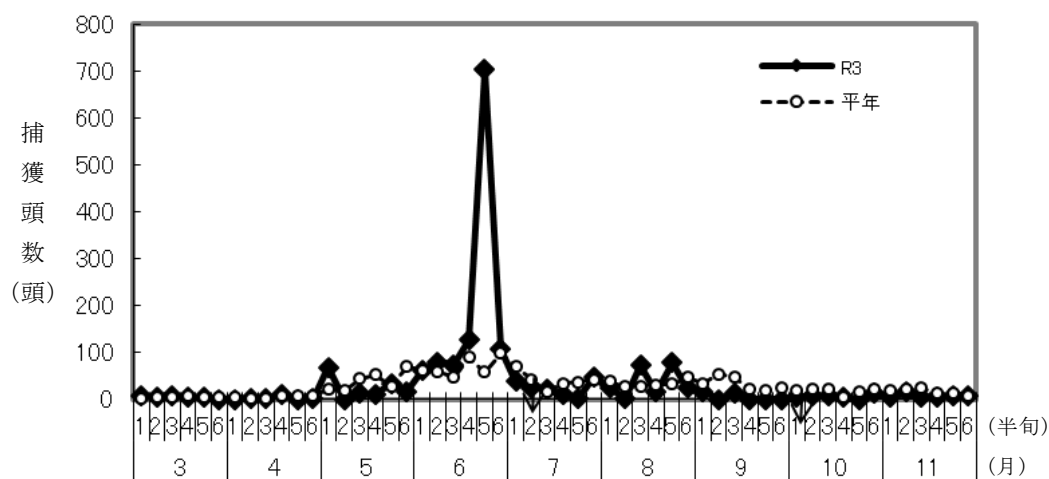


図5 チャノキイロアザミウマ捕獲数 (たたき落とし)

カ カンザワハダニ

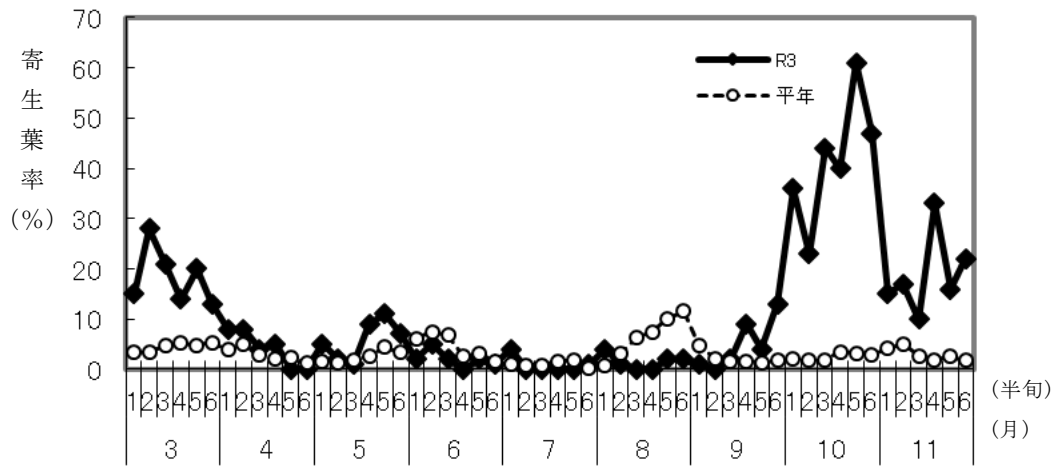


図6 カンザワハダニ寄生葉率 (100 葉)

(5) 野菜・花き病害虫発生予察事業

ア 病害虫防除所における調査

(ア) 巡回調査

作物名「冬春トマト」

調査月	調査対象	疫病		灰色かび病(茎葉)		灰色かび病(果実)		葉かび病	
		発病株率	発病度	発病株率	発病度	発病株率	発病度	発病株率	発病度
4	本年値	0.00	0.00	17.43	4.36	7.14	1.79	0.00	0.00
	平年値	0.40	0.10	13.14	3.36	0.52	0.14	2.24	0.54
9	本年値	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	平年値	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
10	本年値	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	平年値	0.06	0.01	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
11	本年値	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	平年値	0.00	0.00	0.06	0.01	0.00	0.00	0.06	0.01
12	本年値	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	平年値	0.17	0.04	1.43	0.36	0.00	0.00	0.97	0.24
1	本年値	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	平年値	0.00	0.00	3.26	0.81	0.17	0.04	2.46	0.61
2	本年値	0.00	0.00	1.43	0.36	0.00	0.00	0.00	0.00
	平年値	0.72	0.18	6.17	1.54	0.14	0.03	3.99	1.00
3	本年値	0.00	0.00	7.43	1.86	0.29	0.07	0.00	0.00
	平年値	0.23	0.06	10.69	2.67	1.49	0.37	4.69	1.37

調査月	調査対象	すすかび病		輪紋病		うどんこ病		アブラムシ類	
		発病株率	発病度	発病株率	発病度	発病株率	発病度	寄生葉率	頭/10葉
4	本年値	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	平年値	2.58	0.64	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
9	本年値	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	平年値	0.08	0.02	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
10	本年値	0.57	0.14	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	平年値	1.86	0.46	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
11	本年値	2.29	0.57	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	平年値	7.37	2.20	0.00	0.00	0.06	0.01	0.00	0.00
12	本年値	0.57	0.14	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	平年値	5.60	1.57	0.00	0.00	0.29	0.07	0.00	0.00
1	本年値	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	平年値	1.49	0.37	0.00	0.00	1.09	0.29	0.00	0.00
2	本年値	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	平年値	2.10	0.53	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
3	本年値	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	平年値	1.54	0.39	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(冬春トマト 続き)

調査月	調査対象	コナジラミ類		ハスモンヨトウ (寄生+食害)			オオタバコガ	
		寄生葉率	頭/10葉	寄生株率	頭/10葉	被害株率	寄生株率	頭/10葉
4	本年値	0.43	0.04	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	平年値	1.12	0.14	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
9	本年値	4.40	0.52	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	平年値	1.53	0.15	0.13	0.35	0.23	0.00	0.00
10	本年値	7.71	0.97	0.00	0.00	0.29	0.00	0.00
	平年値	0.92	0.10	0.24	0.04	0.26	0.08	0.01
11	本年値	2.57	0.31	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	平年値	1.11	0.12	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
12	本年値	2.57	0.26	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	平年値	0.34	0.04	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
1	本年値	0.86	0.09	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	平年値	0.17	0.02	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
2	本年値	1.14	0.14	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	平年値	0.17	0.02	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
3	本年値	0.57	0.09	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	平年値	0.37	0.04	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

調査月	調査対象	ハモグリバエ類		黄化葉巻病
		寄生葉率	頭/10葉	発病株率
4	本年値	0.00	0.00	0.25
	平年値	0.00	0.00	0.92
9	本年値	0.00	0.00	0.00
	平年値	0.13	0.03	0.00
10	本年値	0.00	0.00	3.93
	平年値	0.05	0.01	0.75
11	本年値	0.00	0.00	4.36
	平年値	0.06	0.01	0.93
12	本年値	0.00	0.00	6.64
	平年値	0.06	0.01	0.74
1	本年値	0.00	0.00	7.50
	平年値	0.00	0.00	0.54
2	本年値	0.00	0.00	6.21
	平年値	0.00	0.00	0.36
3	本年値	0.00	0.00	4.86
	平年値	0.00	0.00	0.47

作物名「夏秋トマト」

調査月	調査対象	疫病		灰色かび病(茎葉)		灰色かび病(果実)		葉かび病	
		発病株率	発病度	発病株率	発病度	発病株率	発病度	発病株率	発病度
6	本年値	0.00	0.00	3.00	0.75	0.33	0.08	0.67	0.17
	平年値	0.00	0.00	0.07	0.02	0.07	0.02	0.20	0.05
7	本年値	0.00	0.00	1.67	0.42	0.00	0.00	13.33	3.33
	平年値	0.00	0.00	10.72	2.68	0.92	0.23	1.08	0.27
8	本年値	0.00	0.00	19.00	5.00	3.67	0.92	30.00	7.58
	平年値	0.00	0.00	19.45	5.43	0.08	0.02	7.43	2.12
9	本年値	0.00	0.00	27.33	7.33	0.33	0.08	62.33	24.00
	平年値	0.00	0.00	26.51	7.01	0.36	0.09	16.80	8.07

調査月	調査対象	すすかび病		輪紋病		うどんこ病		アブラムシ類	
		発病株率	発病度	発病株率	発病度	発病株率	発病度	寄生葉率	頭/10葉
6	本年値	1.00	0.25	0.00	0.00	3.33	0.83	0.00	0.00
	平年値	0.40	0.10	0.00	0.00	0.73	0.18	0.00	0.00
7	本年値	3.67	0.92	0.00	0.00	15.33	3.83	0.00	0.00
	平年値	5.01	1.25	0.93	0.23	0.88	0.22	0.00	0.00
8	本年値	39.67	9.92	0.00	0.00	19.67	4.92	0.00	0.00
	平年値	47.33	22.03	0.00	0.00	0.53	0.13	0.00	0.07
9	本年値	88.00	47.75	0.00	0.00	0.67	0.17	0.00	0.00
	平年値	63.87	33.62	0.00	0.00	0.20	0.05	0.00	0.00

調査月	調査対象	コナジラミ類		ハスモンヨトウ(寄生+食害)			オオタバコガ	
		寄生葉率	頭/10葉	寄生株率	頭/10葉	被害株率	寄生葉率	頭/10葉
6	本年値	0.33	0.03	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	平年値	2.00	0.29	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
7	本年値	3.83	0.00	0.33	0.03	0.33	0.00	0.00
	平年値	9.89	1.85	0.00	0.00	0.00	0.13	0.01
8	本年値	1.67	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	平年値	16.49	4.54	0.00	0.00	0.00	0.15	0.01
9	本年値	25.17	27.68	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	平年値	14.59	3.12	0.80	0.21	0.96	0.07	0.01

調査月	調査対象	ハモグリバエ類	
		寄生葉率	頭/10葉
6	本年値	0.00	0.00
	平年値	0.67	0.17
7	本年値	0.00	0.00
	平年値	5.20	1.33
8	本年値	0.00	0.00
	平年値	8.00	2.97
9	本年値	0.00	0.00
	平年値	10.60	4.43

作物名「冬春ナス」

調査月	調査対象	うどんこ病		灰色かび病		すすかび病		すす斑病	
		発病株率	発病度	発病株率	発病度	発病株率	発病度	発病株率	発病度
4	本年値	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	-	-
	平年値	2.92	0.78	0.60	0.16	51.34	13.32	-	-
10	本年値	0.40	0.10	0.00	0.00	0.00	0.00	10.40	2.60
	平年値	0.00	0.00	0.00	0.00	0.39	0.10	-	-
11	本年値	5.60	1.40	0.00	0.00	0.00	0.00	24.40	6.10
	平年値	1.19	0.30	0.08	0.02	0.55	0.14	-	-
12	本年値	7.20	2.50	0.40	0.10	5.20	1.30	60.40	15.10
	平年値	3.20	0.73	0.16	0.04	5.20	1.30	-	-
1	本年値	4.80	1.20	1.60	0.40	20.40	5.10	41.20	10.30
	平年値	0.57	0.14	0.07	0.02	22.84	5.86	-	-
2	本年値	0.00	0.00	0.00	0.00	38.00	10.80	51.20	13.00
	平年値	0.39	0.10	0.64	0.16	31.33	9.13	-	-
3	本年値	0.00	0.00	1.20	0.30	39.60	11.40	32.80	8.20
	平年値	2.31	0.58	0.59	0.15	41.79	11.24	-	-

調査月	調査対象	ハダニ類		アザミウマ類		コナジラミ類		アブラムシ類	
		寄生葉率	頭/10葉	寄生葉率	頭/10葉	寄生葉率	頭/10葉	寄生葉率	頭/10葉
4	本年値	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	平年値	0.00	0.00	2.78	0.46	5.48	0.78	0.08	0.00
10	本年値	0.00	0.00	1.60	0.20	58.80	22.20	1.60	0.20
	平年値	0.24	0.03	9.11	1.93	41.65	10.03	0.08	0.01
11	本年値	0.00	0.00	1.20	0.20	26.80	5.00	0.00	0.00
	平年値	0.00	0.00	7.68	2.29	21.29	4.97	0.32	0.05
12	本年値	0.00	0.00	0.80	0.60	14.40	2.90	0.00	0.00
	平年値	0.00	0.00	3.84	0.61	16.00	3.60	0.00	0.00
1	本年値	1.20	0.20	0.80	0.10	16.00	2.20	0.00	0.00
	平年値	0.00	0.00	0.33	0.03	11.75	1.94	0.00	0.00
2	本年値	0.00	0.00	0.00	0.00	3.60	0.40	0.00	0.00
	平年値	0.00	0.00	0.68	0.12	6.11	0.81	0.00	0.00
3	本年値	0.00	0.00	0.00	0.00	4.40	0.48	0.00	0.00
	平年値	0.00	0.00	0.43	0.04	5.76	0.80	0.47	0.10

調査月	調査対象	ハスモンヨトウ		オオタバコガ		ハモグリバエ類	
		寄生株率	頭/10葉	寄生株率	頭/10葉	寄生株率	寄生程度
4	本年値	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	平年値	0.00	0.00	0.00	0.00	0.56	0.14
10	本年値	0.80	0.20	0.00	0.00	0.00	0.00
	平年値	0.80	0.08	0.00	0.00	0.16	0.06
11	本年値	0.80	0.10	0.00	0.00	0.00	0.00
	平年値	0.00	0.00	0.00	0.00	2.72	0.68
12	本年値	0.40	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	平年値	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
1	本年値	0.40	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	平年値	0.00	0.00	0.00	0.00	0.15	0.04
2	本年値	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	平年値	0.00	0.00	0.00	0.00	0.59	0.15
3	本年値	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	平年値	0.00	0.00	0.00	0.00	1.48	0.37

作物名「冬春キュウリ」

調査月	調査対象	うどんこ病		灰色かび病		べと病		斑点細菌病	
		発病葉率	発病度	発病株率	発病度	発病葉率	発病度	発病葉率	発病度
4	本年値	26.00	7.67	0.00	0.00	25.67	8.08	0.00	0.00
	平年値	23.84	6.32	0.74	0.19	19.02	5.65	0.00	0.00
5	本年値	14.00	4.25	3.00	0.75	10.50	2.63	0.00	0.00
	平年値	31.73	8.80	3.80	1.00	22.93	5.88	0.00	0.00
6	本年値	29.00	9.13	0.00	0.00	21.50	5.50	0.00	0.00
	平年値	22.33	5.73	1.25	0.31	9.25	2.31	0.00	0.00
11	本年値	6.80	1.70	0.00	0.00	1.20	0.30	0.00	0.00
	平年値	2.50	0.63	0.20	0.05	6.97	1.74	0.00	0.00
12	本年値	17.33	4.33	0.00	0.00	5.00	1.25	0.00	0.00
	平年値	5.19	1.32	0.10	0.03	6.31	1.58	0.00	0.00
1	本年値	20.33	7.25	1.00	0.25	7.33	1.83	0.00	0.00
	平年値	9.68	2.57	0.00	0.00	3.03	0.76	0.00	0.00
2	本年値	19.67	5.42	1.33	0.33	15.33	4.08	0.00	0.00
	平年値	10.03	2.60	0.00	0.00	2.67	0.67	0.00	0.00
3	本年値	15.00	4.25	0.67	0.17	7.67	1.92	0.00	0.00
	平年値	12.79	3.47	0.32	0.08	7.29	1.84	0.00	0.00

調査月	調査対象	菌核病		炭疽病		褐斑病		アブラムシ類	
		発病株率	発病度	発病葉率	発病度	発病葉率	発病度	寄生葉率	頭/10葉
4	本年値	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	平年値	0.08	0.02	0.00	0.00	0.00	0.00	0.08	0.01
5	本年値	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	平年値	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.13	0.08
6	本年値	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00	0.75
	平年値	0.00	0.00	0.00	0.00	0.17	0.04	0.00	0.00
11	本年値	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	平年値	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
12	本年値	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	平年値	0.10	0.03	0.00	0.00	0.00	0.00	0.07	0.13
11	本年値	1.00	0.25	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	平年値	0.07	0.02	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
2	本年値	2.67	0.67	0.00	0.00	0.00	0.00	0.33	0.03
	平年値	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
3	本年値	4.67	1.17	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	平年値	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.10	0.01

(冬春キュウリ 続き)

調査月	調査対象	コナジラミ類		アザミウマ類		黄化えそ病	退緑黄化病
		寄生葉率	頭/10葉	寄生葉率	頭/10葉	発病株率	発病株率
4	本年値	0.00	0.00	8.00	3.27	0.33	8.00
	平年値	1.28	0.17	0.52	0.05	0.12	6.40
5	本年値	1.50	0.15	3.50	0.50	0.25	3.00
	平年値	4.80	1.35	1.33	0.15	0.67	13.24
6	本年値	14.50	2.40	0.00	0.00	1.00	13.75
	平年値	6.92	1.42	2.75	0.53	0.00	23.92
11	本年値	1.20	0.12	0.00	0.00	0.00	10.60
	平年値	4.97	0.57	0.88	0.11	0.17	11.34
12	本年値	1.33	0.13	0.00	0.00	0.00	20.00
	平年値	3.77	0.61	0.18	0.02	0.60	10.58
1	本年値	3.33	0.33	0.00	0.00	0.00	14.00
	平年値	1.89	0.32	0.00	0.00	3.00	10.54
2	本年値	9.33	2.37	4.67	1.03	0.00	23.17
	平年値	2.40	0.41	0.40	0.07	3.49	13.75
3	本年値	0.00	0.00	5.00	0.83	0.00	7.67
	平年値	0.79	0.08	0.37	0.09	0.12	7.31

作物名「冬春イチゴ」

調査月	調査対象	灰色かび病 (葉)	灰色かび病 (果実)	うどんこ病 (葉)	うどんこ病 (果実)	炭疽病
		発病葉率	発病葉率	発病葉率	発病株率	発病葉率
4	本年値	0.00	0.00	1.00	0.00	0.00
	平年値	0.00	0.10	4.80	0.10	0.00
10	本年値	-	-	0.00	-	0.00
	平年値	-	-	0.00	-	0.13
11	本年値	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	平年値	0.00	0.00	0.27	0.00	0.13
12	本年値	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	平年値	0.00	0.20	0.87	0.00	0.00
1	本年値	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	平年値	0.20	0.07	0.33	0.07	0.00
2	本年値	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	平年値	0.20	0.00	0.00	0.00	0.00
3	本年値	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	平年値	0.13	0.00	0.13	0.00	0.00

(冬春イチゴ 続き)

調査月	調査対象	ハダニ類		アブラムシ類		アザミウマ類		ハスモンヨトウ	
		寄生葉率	頭/10葉	寄生葉率	頭/10葉	寄生葉率	頭/10葉	寄生葉率	頭/10葉
4	本年値	10.30	6.60	0.30	0.00	34.70	9.00	0.00	0.00
	平年値	31.30	80.50	0.30	0.00	10.60	2.30	0.00	0.00
10	本年値	9.33	2.60	1.67	0.17	-	-	12.33	1.53
	平年値	4.00	1.52	0.73	0.13	-	-	3.13	0.36
11	本年値	8.00	5.00	0.30	0.00	10.00	1.10	2.00	0.20
	平年値	2.67	0.79	0.73	0.25	2.00	0.23	1.47	0.16
12	本年値	1.70	0.20	1.30	0.20	32.00	6.50	0.30	0.00
	平年値	5.33	2.49	1.40	0.15	6.87	1.21	0.20	0.02
1	本年値	6.00	2.10	5.30	1.50	24.00	5.90	0.00	0.00
	平年値	9.60	9.21	0.40	0.05	7.93	1.11	0.13	0.01
2	本年値	11.00	8.30	2.00	0.20	18.00	4.80	0.00	0.00
	平年値	13.87	15.85	0.33	0.05	8.60	1.41	0.00	0.00
3	本年値	28.00	55.87	1.67	0.27	48.00	23.60	0.00	0.00
	平年値	17.87	20.47	1.13	0.29	12.40	2.85	0.00	0.00

調査月	調査対象	オンシツコナジラミ		タバココナジラミ	
		寄生葉率	頭/10葉	寄生葉率	頭/10葉
4	本年値	0.00	0.00	0.00	0.00
	平年値	0.00	0.00	0.00	0.00
10	本年値	0.00	0.00	0.00	0.00
	平年値	0.00	0.00	0.00	0.00
11	本年値	0.00	0.00	0.30	0.00
	平年値	0.07	0.01	0.10	0.01
12	本年値	0.00	0.00	0.00	0.00
	平年値	0.00	0.00	0.03	0.00
1	本年値	0.00	0.00	0.00	0.00
	平年値	0.00	0.00	0.03	0.00
2	本年値	0.00	0.00	0.00	0.00
	平年値	0.00	0.00	0.00	0.00
3	本年値	0.00	0.00	0.00	0.00
	平年値	0.00	0.00	0.00	0.00

作物名「冬春イチゴ（親株・育苗床）」

調査月	調査対象	炭疽病	うどんこ病	ハダニ類		アブラムシ類		ハスモンヨトウ	
		発病葉率	発病株率	寄生葉率	頭/10葉	寄生葉率	頭/10葉	寄生葉率	頭/10葉
5	本年値	0.00	0.00	19.00	6.20	4.00	0.60	0.00	0.00
	平年値	0.00	6.60	11.47	6.53	5.67	1.16	0.00	0.00
6	本年値	0.00	0.00	13.70	4.10	2.30	0.30	0.00	0.00
	平年値	0.00	2.33	9.60	2.82	1.07	0.77	0.00	0.00
7	本年値	0.00	0.00	4.00	1.00	8.30	1.50	0.00	0.00
	平年値	0.00	0.53	19.33	6.50	1.20	0.19	0.07	0.01
8	本年値	0.00	0.00	0.70	0.10	2.30	0.50	0.70	0.10
	平年値	0.00	0.20	12.27	3.34	2.40	0.65	0.20	0.02
9	本年値	0.00	0.00	20.00	21.90	5.67	0.93	0.00	0.00
	平年値	0.07	0.13	2.13	0.29	2.07	0.32	0.47	0.05

作物名「冬レタス」

調査月	調査対象	萎黄病	菌核病	軟腐病	灰色かび病	斑点細菌病	腐敗病
		発病株率	発病株率	発病株率	発病株率	発病株率	発病株率
11	本年値	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	平年値	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
12	本年値	0.00	0.00	0.00	0.67	0.00	0.00
	平年値	0.00	0.53	0.00	0.00	0.00	0.00
1	本年値	0.67	0.33	0.00	0.67	0.00	0.00
	平年値	0.00	1.27	0.07	0.53	1.20	0.67

調査月	調査対象	アブラムシ類		ヨトウムシ類		オオタバコガ		ネキリムシ類	
		寄生株率	頭/10株	寄生株率	頭/10株	寄生株率	頭/10株	寄生株率	頭/10株
11	本年値	1.67	0.20	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	平年値	0.27	0.03	0.53	0.09	0.00	0.00	0.00	0.00
12	本年値	0.33	0.03	0.33	0.03	0.00	0.00	0.00	0.00
	平年値	0.00	0.00	0.13	0.01	0.00	0.00	0.00	0.00
1	本年値	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	平年値	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

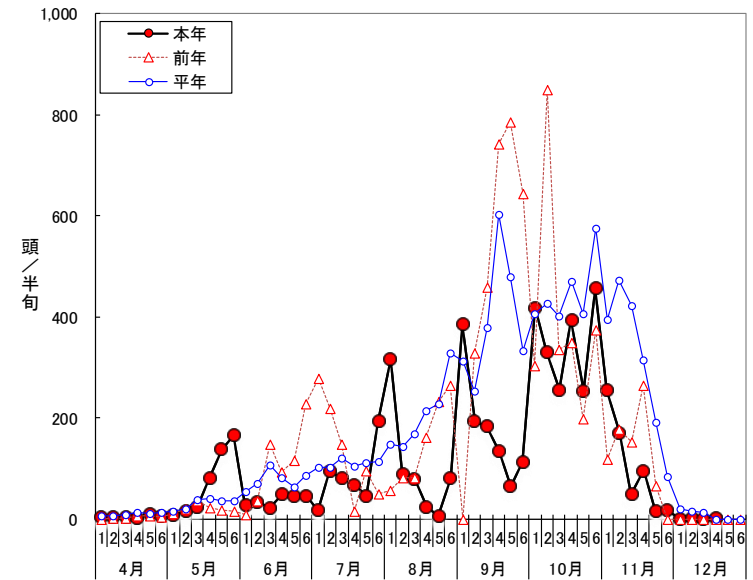
(イ) 野菜害虫のフェロモントラップによる誘殺状況

ハスモンヨトウの誘殺消長(農業研究センター・合志市栄)

月	半旬	本年	平年	前年	R1	H30	H29	H28	H27	H26	H25	H24	H23
4月	1	4.0	7.8	0.0	0.0	0.0	3.0	6.0	50.0	7.0	9.0	3.0	0.0
	2	5.0	7.1	1.3	3.0	0.0	8.0	11.0	38.0	2.0	3.0	3.0	2.0
	3	4.0	8.3	1.6	1.0	1.0	8.0	18.0	29.0	9.0	5.0	5.0	5.0
	4	2.0	13.5	5.9	6.0	0.0	9.0	5.0	31.0	49.0	15.0	11.0	3.0
	5	12.0	10.7	6.6	13.0	1.0	8.0	30.0	4.0	13.0	5.0	22.0	4.0
	6	5.8	13.7	3.3	14.0	0.0	11.0	13.0	15.0	32.0	11.0	24.0	14.0
5月	1	9.2	14.8	11.5	14.0	0.0	11.0	31.0	16.0	16.0	18.0	18.0	12.0
	2	15.0	21.4	20.3	6.0	18.0	10.0	57.0	20.0	30.0	22.0	7.0	24.0
	3	25.7	38.1	37.3	36.0	74.0	29.0	85.0	8.0	56.0	26.0	11.0	19.0
	4	81.3	41.9	23.6	61.0	81.0	22.0	72.0	37.0	80.0	21.0	12.0	9.0
	5	139.0	36.1	17.1	16.0	85.0	32.0	48.0	46.0	29.0	28.0	31.0	29.0
	6	166.0	36.4	15.0	38.6	48.0	40.0	32.0	38.0	29.0	46.0	37.0	40.0
6月	1	27.0	53.8	8.7	30.3	53.0	38.0	64.0	117.0	92.0	83.0	26.0	26.0
	2	35.0	69.8	37.4	138.0	43.0	31.0	71.0	135.0	51.0	59.0	31.0	102.0
	3	22.0	106.2	149.1	145.0	45.0	51.0	61.0	184.0	62.0	33.0	58.0	274.0
	4	49.0	82.0	93.0	75.0	35.0	49.0	129.0	103.0	60.0	129.0	53.0	94.0
	5	44.7	63.4	116.0	63.0	44.0	45.0	103.0	40.0	65.0	101.0	39.0	18.0
	6	46.3	86.4	228.1	92.0	35.0	20.0	90.0	154.0	108.0	84.0	41.0	12.0
7月	1	17.0	102.5	279.1	72.6	169.0	58.0	38.0	79.0	71.0	143.0	36.0	79.0
	2	95.3	103.1	220.0	26.3	100.0	76.0	140.0	62.0	66.0	194.0	78.0	69.0
	3	81.0	119.8	149.0	31.0	26.0	86.0	302.0	110.0	176.0	116.0	132.0	70.0
	4	68.9	105.9	15.5	10.0	43.0	102.0	89.0	142.0	94.0	141.0	78.0	344.0
	5	45.8	112.3	95.3	51.3	197.0	130.0	93.0	136.0	77.0	137.0	60.0	146.0
	6	193.7	113.0	49.2	42.0	278.0	156.0	75.0	86.0	165.0	163.0	41.0	75.0
8月	1	316.3	148.7	56.0	82.5	157.0	118.0	185.0	145.0	175.0	126.0	205.0	237.0
	2	90.0	143.8	83.2	174.5	80.0	98.0	188.0	215.0	200.0	137.0	153.0	109.0
	3	79.0	169.8	82.4	138.3	122.0	221.0	175.0	271.0	138.0	226.0	113.0	211.0
	4	25.3	214.9	162.7	182.0	389.0	158.0	197.0	126.0	103.0	304.0	176.0	351.0
	5	5.7	228.4	233.1	116.0	54.7	175.0	372.0		239.0	317.0	310.0	239.0
	6	81.0	328.8	264.9	179.7	180.3	414.0	596.0		221.0	436.0	343.0	324.0
9月	1	385.0	313.0	0.0	188.3	366.0	217.0		568.0	186.0	616.0	132.0	544.0
	2	193.0	253.4	328.0	87.5	291.0	83.0	289.0	457.0	226.0	206.0	131.0	435.0
	3	184.0	378.5	458.9	308.8	106.0	187.0	335.0	497.0	203.0	1011.0	379.0	299.0
	4	134.0	602.4	742.0	505.3	393.0	420.0	683.0	347.0	238.0	1454.0	880.0	362.0
	5	65.3	478.9	786.0	395.0	630.0	161.0	453.0	271.0	277.0	461.0	830.0	525.0
	6	113.7	333.8	644.0	199.0	320.0	459.0	319.0	160.0	249.0	485.0	308.0	195.0
10月	1	419.0	405.4	303.0	208.1	545.0	767.0	213.0	430.0	311.0	217.0	629.0	431.0
	2	331.0	427.5	850.0	221.5	161.0	166.0	1231.0	332.0	380.0	326.0	239.0	368.0
	3	256.5	401.5	335.0	337.0	483.0	247.0	629.0	355.0	304.0	397.0	373.0	555.0
	4	394.5	470.6	349.0	209.0	307.0	483.0	463.0	352.0	442.0	353.0	472.0	1276.0
	5	254.0	407.1	198.0	412.3	399.0	354.0	744.0	373.0	542.0	482.0	242.0	325.0
	6	456.0	575.7	373.6	1051.7	313.0	266.0	1161.0	520.0	542.0	725.0	405.0	400.0
11月	1	254.7	395.8	119.3	695.0	178.0	254.0	340.0	650.0	262.0	929.0	92.0	439.0
	2	171.3	473.0	178.0	712.0	255.0	163.0	499.0	512.0	454.0	1184.0	197.0	576.0
	3	50.0	422.0	154.0	555.7	345.0	299.0	641.0	1258.0	197.0	323.0	126.0	321.0
	4	96.0	314.6	264.0	219.3	98.0	13.0	711.0	1220.0	33.0	122.0	149.0	317.0
	5	16.0	190.6	66.0	200.0	45.0	0.0	431.0	862.0	149.0	69.0	57.0	27.0
	6	17.0	84.6	0.0	287.0		10.0	85.0	17.0	227.0	12.0	6.0	117.0
12月	1	0.0	19.3	0.0					66.0	0.0	1.0	5.0	44.0
	2	1.0	16.0	0.0					68.0	0.0	1.0	1.0	26.0
	3	0.0	14.0	0.0					81.0	1.0	0.0	1.0	1.0
	4	1.0	0.2	0.0						0.0	0.0	1.0	0.0
	5		0.0	0.0						0.0	0.0	0.0	0.0
	6		0.0	0.0						0.0	0.0	0.0	0.0

※平年値は過去10か年平均とする。

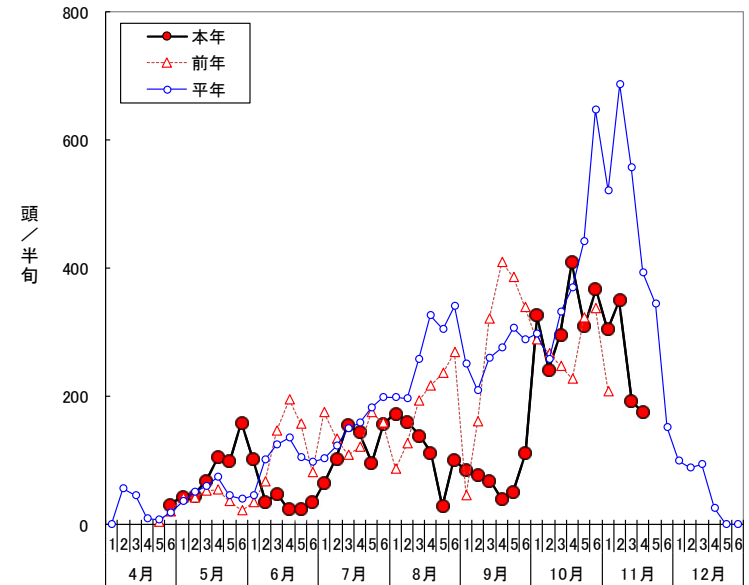
ハスモンヨトウの誘殺消長(合志市栄・フェロモントラップ)



ハスモンヨトウの誘殺消長(アグリシステム総合研究所・八代市鏡)

月	半旬	本年	平年	前年	R1	H30	H29	H28	H27	H26	H25	H24	H23
4月	1												
	2		56.7						56.7				
	3		45.0						45.0				
	4		9.1						29.3	6.0	1.0		0.0
	5		7.5	4.6				12.1	17.7	7.4	3.1		0.0
	6	30.8	17.8	20.0	32.8	27.0	23.1		10.0	7.1	10.6	26.0	3.3
5月	1	43.8	37.0	41.4	41.0	150.3	21.6	45.6	15.0	13.6	6.8	30.0	5.1
	2	45.3	50.7	41.4	52.4	210.4	18.8	80.3	17.5	32.0	12.5	32.3	9.0
	3	69.4	59.1	51.7	61.0	170.0	37.1	96.1	29.5	60.7	25.0	38.1	22.1
	4	105.0	73.8	54.1	65.0	162.4	52.4	122.7	63.0	160.6	15.0	20.8	21.6
	5	98.6	44.6	36.4	63.4	55.0	32.9	62.1	68.1	67.0	18.7	21.3	20.9
	6	158.9	39.4	21.6	72.3	32.0	15.4	38.6	62.1	62.1	31.4	34.8	24.0
6月	1	102.2	44.9	34.4	57.5	38.5	31.4	49.9	81.6	53.7	32.9	31.3	38.3
	2	34.9	101.1	67.6	261.5	34.0	59.3	58.3	138.6	62.9	44.3	45.5	239.1
	3	47.9	124.0	146.4	201.9	47.5	82.7	64.3	209.3	54.3	67.0	80.0	286.4
	4	22.7	136.2	195.0	155.4	69.5	102.1	105.7	130.9	75.6	65.7	180.0	282.1
	5	23.3	104.6	157.1	108.0	53.0	65.0	150.7	130.9	110.7	109.2	105.6	56.3
	6	33.6	98.0	82.1	140.0	50.3	48.6	165.4	110.7	58.6	121.8	102.2	99.8
7月	1	65.6	103.4	175.7	98.0	38.8	37.9	104.3	82.7	80.9	153.5	97.1	165.0
	2	103.0	122.8	133.3	69.1	81.5	77.1	155.1	69.4	76.6	196.3	174.3	195.0
	3	156.0	150.7	108.3	65.5	76.7	128.1	177.0	60.0	313.6	247.1	165.7	164.5
	4	143.6	159.0	121.4	109.5	67.3	181.4	190.7	124.3	166.4	277.4	163.4	187.7
	5	96.1	182.5	175.7	122.1	55.0	258.6	125.7	190.7	129.0	280.5	177.1	310.8
	6	156.4	199.2	159.0	124.5	144.5	183.1	149.3	214.0	220.0	306.0	201.9	289.7
8月	1	173.4	198.6	85.9	104.5	112.5	153.6	160.1	130.0	425.7	344.3	141.6	327.8
	2	161.4	196.4	126.4	177.3	130.3	181.7	152.9	264.3	145.8	289.2	122.1	374.2
	3	139.3	257.3	193.8	221.9	169.0	322.9	240.0	300.3	173.5	252.5	225.5	473.3
	4	112.7	327.3	215.7	156.9	243.0	174.3	264.9	331.4	260.8	442.5	225.5	958.1
	5	28.3	304.2	235.8	256.5	43.0	130.3	314.0		392.1	424.5	245.4	695.9
	6	101.1	340.9	268.3	244.2	163.2	151.0	533.1	401.3	290.6	481.4	512.6	363.0
9月	1	84.3	250.9	44.7	147.4	193.0	155.0		295.0	200.0	363.6	305.7	553.3
	2	78.3	210.0	160.3	103.0	181.5	112.7	213.9	250.3	249.3	179.2	295.4	354.2
	3	69.3	259.0	320.7	174.5	103.5	85.3	209.0	162.9	222.1	650.5	326.2	335.2
	4	40.0	276.6	410.0	186.0	41.2	48.0	205.1	116.6	150.9	768.3	381.3	458.3
	5	50.3	305.8	386.3	253.1	279.5	82.1	130.7	125.0	216.0	595.8	525.0	464.3
	6	111.0	289.3	338.4	103.5	203.5	192.7	145.0	65.0	460.0	498.5	521.1	364.9
10月	1	326.4	297.2	288.6	106.3	281.4	238.9	213.6	217.1	543.4	285.2	497.1	300.0
	2	241.9	258.7	266.3	129.0	30.0	128.6	500.7	237.4	437.1	198.0	354.3	305.7
	3	296.1	332.5	247.0	162.0	409.5	260.0	394.9	252.2	246.4	352.9	395.7	604.0
	4	409.3	369.7	226.4	289.0	358.5	319.4	356.0	254.3	461.4	630.0	394.8	407.1
	5	310.0	442.7	322.1	479.0	338.7	359.3	482.9	233.8	460.1	956.1	351.9	
	6	367.6	647.4	336.9	996.0	474.6	470.6	548.7	329.7	467.4	1526.1	677.0	
11月	1	304.4	521.7	208.0	963.0			448.3	337.3	250.0	923.6		
	2	349.0	686.5		990.5			361.6	423.6	424.3	1232.7		
	3	192.1	556.9		719.6			25.0	615.6	273.9	1150.6		
	4	175.0	393.6		488.5			302.0	525.9	138.9	512.9		
	5		344.7		286.6			409.8	638.6	249.3	139.3		
	6		151.9					69.2	156.7	321.9	60.0		
12月	1		100.0					120.0	79.9				
	2		87.9					84.9	91.0				
	3		94.4					52.3	136.4				
	4		25.4					15.7	35.0				
	5												
	6												

ハスモンヨトウの誘殺消長(八代市鏡・フェロモントラップ)

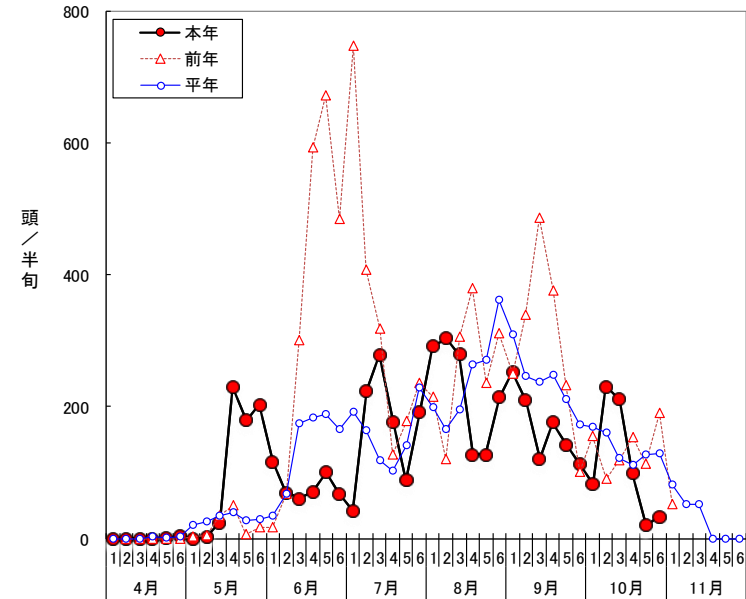


※平年値は過去10年平均とする。

ハスモンヨトウの誘殺消長(高原農業研究所・阿蘇市一の宮町)

月	半旬	本年	平年	前年	R1	H30	H29	H28	H27	H26	H25	H24	H23
4月	1	0.0											
	2	0.0	0.0	0.0						0.0			
	3	0.0	0.0	0.0						0.0			0.0
	4	0.0	2.8	0.0			0.0	3.6	12.1	0.0	2.0		2.0
	5	1.0	1.6	0.0			0.0	9.3	2.4	0.0	0.0	0.0	1.0
	6	4.0	2.3	0.0	2.8		1.4	15.2	1.3	0.0	0.0	0.0	0.0
5月	1	0.0	20.7	2.8	3.5	160.0	1.4	34.8	3.3	0.0	0.0	0.0	0.8
	2	2.0	25.5	4.2	1.4	188.4	3.9	46.9	4.3	1.0	1.0	0.0	4.3
	3	24.3	34.3	34.5	1.7	147.6	13.6	69.3	50.9	12.7	3.0	0.0	9.7
	4	229.7	39.8	49.5	8.5	170.0	14.7	46.1	73.3	29.3	1.0	0.0	5.3
	5	179.0	26.8	6.1	8.9	126.7	14.8	31.4	40.7	25.0	7.0	0.0	7.0
	6	203.0	28.7	17.0	27.2	67.1	20.5	41.1	49.8	24.7	33.0	0.0	6.5
6月	1	116.3	34.1	17.0	50.4	44.5	23.1	85.7	64.3	17.1	25.0	1.8	12.5
	2	69.7	67.0	67.9	134.0	58.1	74.9	100.3	152.4	16.3	17.0	13.3	36.0
	3	61.0	173.9	301.1	171.5	53.9	81.6	113.3	482.1	11.7	26.7	27.0	470.3
	4	70.7	182.9	592.3	116.3	61.3	72.1	126.4	255.1	69.3	51.1	45.5	439.7
	5	100.3	188.1	671.6	93.6	116.5	117.1	258.3	188.5	84.0	91.8	50.5	209.0
	6	68.0	166.2	485.2	150.0	140.2	103.4	281.2	181.9	85.0	55.8	48.7	131.0
7月	1	42.0	191.3	747.0	120.0	198.2	106.9	240.8	164.3	55.3	51.7	103.1	125.5
	2	223.5	164.0	407.0	102.6	261.5	157.1	257.1	91.9	51.6	92.0	54.3	165.2
	3	277.8	118.0	318.0	106.5	133.5	100.6	194.1	48.1	57.1	105.0	65.0	52.3
	4	176.7	102.9	127.2	156.1	97.2	133.3	141.0	66.4	155.0	76.3	39.0	37.5
	5	88.6	141.0	177.6	206.3	78.4	203.6	96.4	112.1	153.3	58.7	85.0	238.5
	6	191.9	229.3	235.4	261.3	120.0	240.0	176.4	217.3	161.2	334.0	81.3	466.3
8月	1	291.5	198.4	214.1	149.0	115.0	169.3	226.4	244.1	101.4	388.0	75.4	301.2
	2	304.0	164.8	121.0	80.5	134.8	155.1	272.5	266.4	95.0	262.0	49.3	211.6
	3	279.5	194.7	305.2	85.4	160.7	173.7	245.6	293.9	76.6	352.0	81.0	172.9
	4	127.5	264.6	378.8	135.9	211.5	265.6	219.4	188.4	89.4	284.5	152.0	720.0
	5	128.0	271.1	235.0	259.5	178.7	343.7	271.8	133.9	190.0	338.5	132.3	627.5
	6	214.0	361.9	311.0	240.6	268.8	401.2	491.3	258.0	186.3	695.0	253.7	512.8
9月	1	253.0	310.0	250.6	136.2	310.5	200.2	416.7	307.0	120.2	627.5	89.0	642.7
	2	209.0	245.6	339.4	132.8	360.0	154.3	416.5	272.0	109.5	243.5	78.0	350.5
	3	120.5	236.7	486.0	212.0	184.0	242.9	381.9	185.0	95.0	262.0	139.0	179.0
	4	175.5	247.5	375.6	189.8	251.2	172.8	330.0	148.9	63.0	418.0	303.8	221.5
	5	141.6	211.2	232.8	167.0	520.0	109.2	398.0	162.3	111.3	100.7	186.8	124.2
	6	113.4	173.3	100.5	135.0	139.5	163.8	409.3	204.1	148.8	182.3	92.2	157.8
10月	1	83.0	169.2	155.1	144.5	223.8	158.0	424.7	156.3	111.4	164.7	65.3	88.5
	2	231.3	159.7	90.0	116.5	280.0	149.4	520.0	104.0	64.8	165.3	36.0	70.5
	3	210.7	122.1	118.0	74.5	150.0	197.2	309.0	58.6	33.8	183.0	41.0	56.3
	4	99.0	110.6	153.0	109.0	111.6	192.5	195.6	42.9	55.8	34.3	67.3	143.7
	5	20.0	127.5	112.9	145.0	87.8	158.3	236.4	63.6	168.3	106.7	68.7	
	6	33.3	128.9	189.7	184.6	67.6	78.9	297.0	38.8	157.3	38.0	108.5	
11月	1		82.0	52.7	63.5			202.0	52.8		39.0		
	2		51.6					26.3	76.9				
	3		51.4					51.4					
	4												
	5												
	6												
12月	1												
	2												
	3												
	4												
	5												
	6												

ハスモンヨトウの誘殺消長(阿蘇市一の宮町・フェロモントラップ)

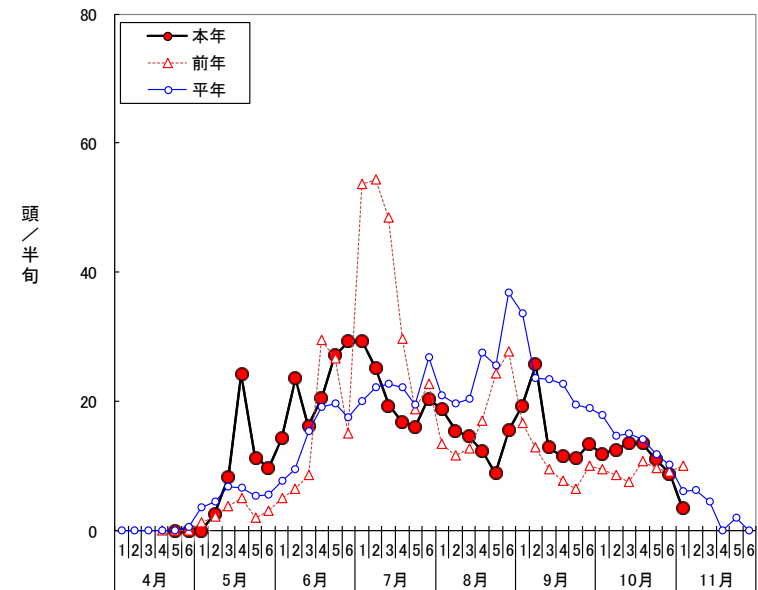


※平年値は過去10年平均とする。

ハスモンヨトウの誘殺消長(山都町鶴ヶ田)

月	半旬	本年	平年	前年	R1	H30	H29	H28	H27	H26	H25	H24	H23
4月	1												
	2												
	3		0.0							0.0			
	4		0.0	0.0					0.0	0.0			
	5	0.0	0.0	0.0		0.0			0.0	0.0		0.0	
	6	0.0	0.5	0.0		0.0			0.0	0.0	0.0	2.8	
5月	1	0.0	3.5	1.3		13.2	5.3		0.0	0.0	0.0	4.6	
	2	2.6	4.5	2.1	0.0	19.6	6.7	8.0	2.0	1.7	0.5	4.6	0.0
	3	8.3	6.8	3.7	4.5	27.4	5.6	8.0	4.9	8.6	1.2	2.9	1.7
	4	24.3	6.6	5.0	4.5	9.0	5.4	7.6	7.1	22.3	1.2	1.0	3.0
	5	11.3	5.4	2.0	2.1	9.0	5.0	7.3	4.4	18.3	1.4	0.6	3.8
	6	9.7	5.5	3.0	4.6	10.8	6.0	9.7	7.1	7.6	1.8	2.9	2.0
6月	1	14.3	7.6	5.0	5.4	9.0	13.0	11.9	12.2	2.1	8.3	7.5	1.5
	2	23.6	9.4	6.4	7.0	9.0	12.0	14.1	19.3	4.4	3.5	6.5	11.8
	3	16.3	15.4	8.6	11.8	10.2	7.5	15.6	70.0	6.4	2.3	6.6	14.7
	4	20.6	19.1	29.4	15.0	11.0	12.0	7.5	64.3	8.6	13.5	13.1	16.2
	5	27.1	19.6	26.6	17.5	11.0	13.3	18.2	50.3	10.5	21.0	11.9	16.2
	6	29.2	17.5	15.0	17.0	13.0	14.2	34.3	28.3	10.5	20.8	9.3	12.5
7月	1	29.2	20.0	53.7	14.5	13.0	14.2	34.3	10.5	21.3	20.6	8.1	10.0
	2	25.3	22.1	54.4	4.5	13.9	14.8	46.3	10.5	15.1	21.0	8.1	32.5
	3	19.4	22.7	48.5	4.5	17.5	20.6	54.4	12.0	7.6	16.5	15.2	30.1
	4	16.8	22.2	29.6	9.3	19.5	29.0	21.3	33.1	14.4	16.5	22.4	26.4
	5	16.2	19.5	18.8	12.5	22.5	24.5	24.8	32.4	11.7	25.4	8.6	13.3
	6	20.4	26.9	22.7	16.3	41.4	21.3	36.0	36.0	9.0	46.5	16.4	23.3
8月	1	18.8	21.0	13.3	11.5	27.0	14.1	28.5	24.8	7.5	44.3	16.4	22.4
	2	15.4	19.6	11.7	11.5	20.1	13.2	28.2	31.9	5.0	41.0	15.3	18.6
	3	14.6	20.3	12.7	18.3	12.5	13.2	32.7	32.5	8.1	38.8	22.1	12.4
	4	12.3	27.5	17.0	20.0	12.5	21.7	35.8	32.9	23.1	38.8	32.9	40.8
	5	8.9	25.6	24.3	15.5	12.5	34.3	35.8	29.6	16.5	54.7	17.1	16.2
	6	15.6	36.9	27.7	18.0	24.9	41.1	69.8	19.6	15.7	94.4	26.4	31.1
9月	1	19.3	33.6	16.7	27.5	51.7	31.6	39.1	16.3	15.0	66.5	26.0	45.7
	2	25.7	23.5	12.8	33.0	10.5	30.9	39.1	16.7	7.7	48.3	15.0	21.1
	3	12.9	23.5	9.4	36.9	10.7	21.9	39.1	17.1	7.7	58.3	13.9	19.5
	4	11.6	22.7	7.7	39.5	11.5	15.9	43.6	15.0	13.9	40.6	13.4	26.3
	5	11.2	19.5	6.4	32.5	9.1	15.9	43.6	16.5	15.5	25.6	13.1	17.3
	6	13.3	18.9	10.0	12.5	10.3	21.1	49.2	17.5	13.5	30.7	11.8	12.4
10月	1	11.9	17.9	9.5	7.5	13.0	40.1	45.3	11.4	13.0	20.6	9.9	8.6
	2	12.6	14.6	8.5	7.5	13.0	32.5	23.8	11.4	7.0	20.9	8.6	13.1
	3	13.6	15.1	7.5	17.0	15.4	10.0	23.8	12.9	5.5	30.6	12.9	15.3
	4	13.6	14.2	10.6	11.8	15.4	6.9	18.8	18.6	6.2	25.0	10.0	18.6
	5	11.0	11.8	9.7	4.0	9.0	2.3	15.5	17.7	6.9	27.0	6.7	19.4
	6	8.8	10.1	9.1	4.8	1.8	2.8	7.1	21.0	9.0	22.0	3.8	19.8
11月	1	3.5	6.0	10.0	7.5			1.1				7.5	4.0
	2		6.3		6.3								
	3		4.5		4.5								
	4		0.0		0.0								
	5		2.0		2.0								
	6												
12月	1												
	2												
	3												
	4												
	5												
	6												

ハスモンヨトウの誘殺消長(山都町鶴ヶ田・フェロモントラップ)

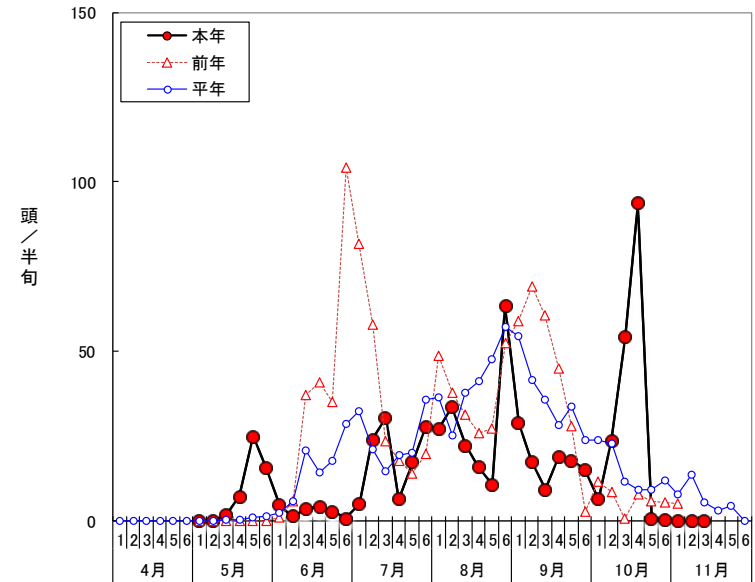


※平年値は過去10年平均とする。

ハスモンヨトウの誘殺消長(阿蘇市波野)

月	半旬	本年	平年	前年	R1	H30	H29	H28	H27	H26	H25	H24	H23
4月	1												
	2												
	3		0.0						0.0	0.0	0.0		
	4		0.0						0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	5		0.0						0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	6		0.0						0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
5月	1	0.0	0.0	0.0					0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	2	0.0	0.1	0.0					0.0	0.0	0.0	0.0	0.7
	3	1.7	0.3	0.0			1.4		0.0	0.3	0.0	0.0	0.3
	4	7.3	0.3	0.0			0.3		0.6	1.3	0.0	0.0	0.1
	5	25.0	1.0	0.0		0.4	0.3		2.9	2.1	1.7	0.0	0.7
	6	15.7	1.4	0.0		1.2	2.4	0.8	3.4	2.7	1.4	1.3	0.3
6月	1	4.7	2.2	1.1	2.0	8.0	3.8	0.7	4.7	0.4	0.3	0.7	0.4
	2	1.3	5.8	5.7	0.5	5.0	5.1	2.9	20.4	0.0	1.4	2.9	13.7
	3	3.6	20.8	37.1	6.5	3.0	7.1	5.9	76.4	2.1	2.6	1.1	65.7
	4	4.1	14.3	41.0	9.4	3.0	7.9	12.1	17.0	1.7	2.0	0.3	48.6
	5	2.9	17.6	35.0	5.0	32.6	13.0	39.0	8.4	1.6	0.7	1.4	39.7
	6	0.7	28.7	104.3	13.0	45.8	17.3	50.6	17.9	2.1	1.4	2.0	32.9
7月	1	5.0	32.2	81.6	11.0	54.5	20.7	57.9	40.0	2.1	20.3	3.3	30.7
	2	23.9	21.2	57.9	5.0	9.5	23.6	31.4	19.4	8.7	27.6	5.0	24.3
	3	30.4	14.8	23.6	6.5	11.0	27.2	31.0	5.3	18.6	6.4	0.7	17.3
	4	6.4	19.3	17.9	19.2	15.4	46.0	35.6	4.3	40.9	6.4	0.7	6.4
	5	17.3	20.2	13.9	25.3	17.0	17.9	24.3	11.6	28.6	16.1	1.0	46.4
	6	27.4	35.6	19.7	29.4	51.9	27.1		45.9	21.7	42.2	2.6	80.0
8月	1	27.3	36.6	48.6	2.5	31.7	28.4		63.0	8.6	57.5	12.1	76.9
	2	33.6	25.3	37.7	2.5	19.8	33.6	27.3	63.6	7.9	26.9	6.7	26.7
	3	22.1	37.9	31.3	5.4	17.0	68.6	33.6	77.3	21.1	42.4	6.5	76.2
	4	15.9	41.2	25.7	19.4	19.4	59.6	36.4	52.3	24.0	65.7	20.0	90.0
	5	10.7	47.8	27.1	25.0	22.8	53.0	55.1	24.6	51.4	107.9	18.9	92.1
	6	63.4	57.3	52.6	25.2	39.3	60.9	106.1	55.5	23.9	127.1	21.4	60.9
9月	1	28.9	54.4	59.0	18.4	61.5	34.3	120.0	68.1	7.4	69.3	16.9	89.6
	2	17.4	41.5	69.3	32.0	44.3	48.0	62.3	47.3	5.3	15.7	15.7	75.0
	3	9.3	35.8	60.7	32.8	30.6	49.4	49.0	7.9	8.1	56.4	24.9	38.6
	4	18.6	28.4	44.9	24.4	16.5	18.6	50.7	10.0	5.1	48.7	17.1	47.9
	5	17.7	33.6	28.0	11.5	133.0	12.9	47.9	22.9	8.6	40.7	2.1	28.1
	6	15.0	23.7	2.9	10.5	59.5	12.3	61.1	31.1	15.0	29.3	1.4	13.9
10月	1	6.4	23.8	11.4	15.3	19.4	16.3	83.7	36.0	10.9	32.5	2.7	9.3
	2	23.6	22.9	8.4	12.6	44.5	41.4	68.6	9.4	4.4	24.2	2.9	12.1
	3	54.1	11.6	0.7	3.0	10.9	21.4	41.1	3.1	2.0	18.1	0.0	16.0
	4	93.6	9.1	7.9	3.0	3.8	8.1	35.1	1.4	1.4	9.3	0.6	20.7
	5	0.7	9.2	5.7	4.0	9.0	3.3	36.4	2.9	2.6	15.7	1.0	11.4
	6	0.3	11.9	5.4	5.5	15.6	2.8	41.1	3.4	3.9	21.4	1.4	18.3
11月	1	0.0	7.7	5.0	0.0			10.3	10.0	3.6	13.6	0.0	19.1
	2	0.0	13.5		0.6			3.1	20.7	3.6	30.7		22.1
	3	0.0	5.3		0.6			1.4	11.4	0.7	12.7		5.0
	4		3.1		0.0			10.0			0.6		2.0
	5		4.4					4.4					
	6												
12月	1												
	2												
	3												
	4												
	5												
	6												

ハスモンヨトウの誘殺消長(阿蘇市波野・フェロモントラップ)



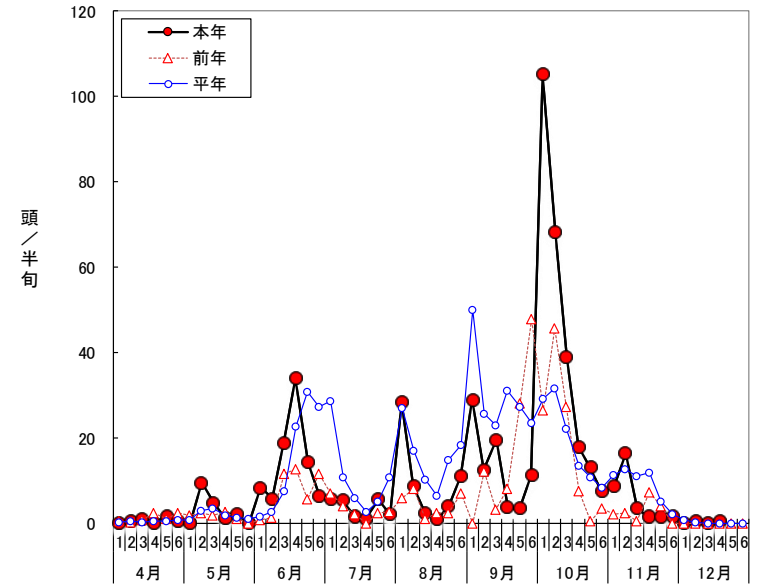
※平年値は過去10年平均とする。

オオタバコガの誘殺消長(農業研究センター・合志市栄)

月	半旬	本年	平年	前年	R1	H30	H29	H28	H27	H26	H25	H24	H23
4月	1	0.0	0.2	0.5	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	2	0.6	0.5	0.2	1.0	0.0	3.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0	0.0
	3	1.0	0.3	0.8	1.0	0.0	0.0	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	4	0.0	0.4	2.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0	0.0
	5	1.6	0.4	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0	1.0	0.0	1.0	0.0
	6	0.5	0.8	2.4	0.0	0.0	0.0	2.0	2.0	1.0	0.0	1.0	0.0
5月	1	0.0	0.9	1.8	0.0	0.0	1.0	0.0	0.0	1.0	0.0	3.0	2.0
	2	9.5	3.0	2.4	11.0	0.0	0.0	6.0	2.0	3.0	1.0	3.0	2.0
	3	4.9	3.6	1.8	7.0	1.0	2.0	3.0	6.0	5.0	2.0	2.0	6.0
	4	1.2	1.9	2.6	2.0	1.0	0.0	0.0	3.0	3.0	0.0	6.0	1.0
	5	2.0	1.4	1.0	3.0	2.0	0.0	2.0	0.0	0.0	0.0	4.0	2.0
	6	0.0	1.1	0.0	2.0	2.0	0.0	1.0	2.0	0.0	1.0	1.0	2.0
6月	1	8.4	1.6	0.9	4.0	0.0	0.0	0.0	2.0	4.0	1.0	3.0	1.0
	2	5.7	2.5	1.2	4.0	11.0	1.0	2.0	3.0	0.0	2.0	1.0	0.0
	3	18.9	7.6	11.5	16.2	16.0	0.0	7.0	9.0	3.0	2.0	6.0	5.0
	4	33.9	22.5	12.8	43.6	42.0	0.0	67.0	18.0	15.0	18.0	6.0	3.0
	5	14.2	30.8	5.8	29.0	46.0	34.0	33.0	33.0	38.0	50.0	39.0	0.0
	6	6.4	27.2	11.6	48.0	3.0	33.0	11.0	57.0	15.0	23.0	50.0	20.0
7月	1	5.6	28.7	7.0	61.3	6.0	23.0	4.0	27.0	34.0	31.0	56.0	38.0
	2	5.3	10.8	4.0	8.7	2.0	13.0	7.0	9.0	34.0	1.0	19.0	10.0
	3	1.6	6.0	2.0	7.0	2.0	4.0	6.0	9.0	8.0	1.0	14.0	7.0
	4	1.1	2.7	0.0	5.0	3.0	0.0	6.0	2.0	2.0	2.0	1.0	6.0
	5	5.5	5.0	2.4	8.8	6.0	3.0	11.0	8.0	1.0	4.0	4.0	2.0
	6	2.1	10.8	2.8	17.0	4.0	11.0	15.0	18.0	7.0	21.0	9.0	3.0
8月	1	28.3	27.0	5.8	12.5	9.0	7.0	13.0	39.0	115.0	33.0	24.0	12.0
	2	8.6	17.1	8.1	2.0	5.0	14.0	3.0	18.0	42.0	13.0	41.0	25.0
	3	2.5	10.3	1.0	2.5	5.0	6.0	4.0	25.0	10.0	17.0	9.0	23.0
	4	1.0	6.5	2.5	0.0	7.0	0.0	2.0	7.0	6.0	18.0		16.0
	5	4.0	14.8	2.5	6.0	12.7	7.0	4.0		5.0	56.0	27.0	13.0
	6	11.0	18.3	7.0	7.7	16.3	10.0	20.0		70.0	21.0	19.0	36.0
9月	1	28.9	49.9	0.0	2.5	48.0	14.0			91.0	81.0	34.0	109.0
	2	12.5	25.7	12.0	2.5	18.0	18.0	20.0	20.0	58.0	9.0	15.0	84.0
	3	19.5	23.0	3.1	4.0	42.0	11.0	19.0	28.0	16.0	9.0		75.0
	4	3.7	31.0	8.0	6.3	83.0	27.0	52.0	17.0	10.0	28.0		48.0
	5	3.4	27.3	28.2	0.0	122.0	22.0	40.0	6.0	2.0	32.0	12.0	9.0
	6	11.2	23.6	47.8	6.0	22.0	25.0	25.0	5.0	2.0	68.0	10.0	25.0
10月	1	105.1	29.0	26.5	24.7	32.0	31.0	36.0	14.0	3.0	77.0	23.0	23.0
	2	68.1	31.5	45.7	4.3	25.0	25.0	35.0	6.0	4.0	106.0	39.0	25.0
	3	38.8	22.1	27.4	0.0	15.0	21.0	6.0	2.0	0.0	44.0	34.0	72.0
	4	17.8	13.3	7.5	12.0	3.0	9.0	1.0	3.0	6.0	29.0	27.0	36.0
	5	13.1	10.7	0.6	5.0	9.0	1.0	3.0	5.0	11.0	13.0	19.0	40.0
	6	7.4	8.3	3.5	6.0	0.0	2.0	3.0	5.0	8.0	14.0	17.0	24.0
11月	1	8.7	11.2	2.0	4.0	2.0	1.0	7.0	5.0	7.0	29.0	1.0	54.0
	2	16.4	12.7	2.4	7.0	10.0	0.0	5.0	23.0	9.0	36.0	8.0	27.0
	3	3.4	11.0	0.6	2.0	16.0	2.0	4.0	32.0	1.0	30.0	3.0	19.0
	4	1.5	11.9	7.3	1.0	9.0	0.0	25.0	34.0	0.0	3.0	0.0	40.0
	5	1.6	5.1	3.9	3.0	2.0	0.0	8.0	16.0	5.0	8.0	3.0	2.0
	6	1.6	2.2	0.0	1.0			1.0	0.0	0.0	9.0	0.0	9.0
12月	1	0.0	0.8	0.0					0.0	0.0	1.0	0.0	4.0
	2	0.5	0.2	0.0					0.0	0.0	0.0	0.0	1.0
	3	0.0	0.0	0.0					0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	4	0.6	0.0	0.0						0.0	0.0	0.0	0.0
	5		0.0	0.0						0.0	0.0	0.0	0.0
	6		0.0	0.0						0.0	0.0	0.0	0.0

※平年値は過去10か年平均とする。

オオタバコガの誘殺消長(合志市栄・フェロモントラップ)

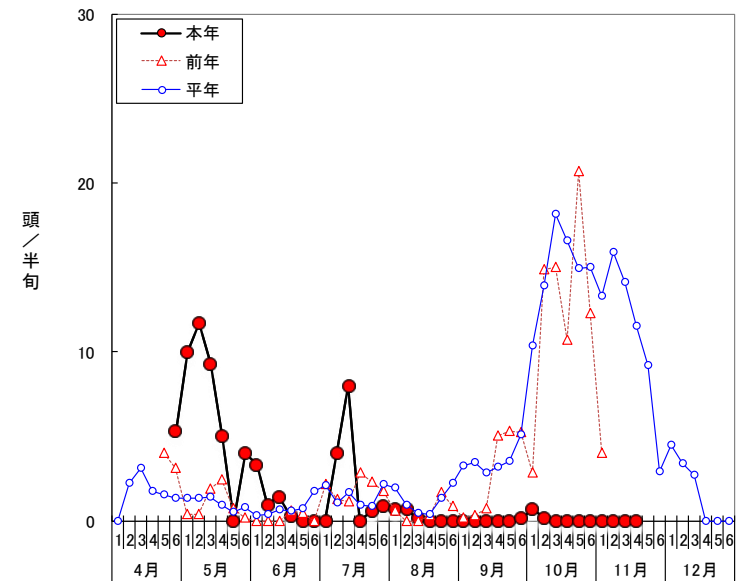


オオタバコガの誘殺消長(アグリシステム総合研究所・八代市鏡)

月	半旬	本年	平年	前年	R1	H30	H29	H28	H27	H26	H25	H24	H23
4月	1												
	2		2.2						2.2				
	3		3.1						3.1				
	4		1.7						1.4	2.3	1.5		
	5		1.5	4.0			0.7		0.6	2.3	1.6		0.0
	6	5.3	1.3	3.1	1.6	1.8	0.1		0.0	1.4	0.6	2.0	1.3
5月	1	10.0	1.3	0.4	2.0	5.4	0.0	0.0	3.6	0.7	0.3	0.0	1.1
	2	11.7	1.3	0.4	1.7	5.9	0.0	0.8	1.4	1.1	0.0	0.3	1.9
	3	9.3	1.4	1.9	1.5	1.5	0.0	0.2	0.0	1.9	0.0	0.6	6.4
	4	5.0	0.9	2.4	0.3	0.3	0.4	0.0	0.0	3.6	0.0	0.1	1.9
	5	0.0	0.5	0.7	0.0	0.6	0.6	0.0	0.0	0.7	0.9	0.0	1.9
	6	4.0	0.8	0.1	0.0	1.4	0.0	0.0	0.0	0.4	1.7	0.0	4.5
6月	1	3.3	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7	1.4	0.0	0.8
	2	1.0	0.4	0.0	0.0	1.1	0.0	1.1	0.0	0.7	0.7	0.0	0.2
	3	1.4	0.6	0.0	0.4	1.1	0.0	2.9	0.7	0.1	1.1	0.0	0.0
	4	0.3	0.6	0.6	0.3	0.5	0.0	1.4	0.3	1.4	1.1	0.0	0.0
	5	0.0	0.7	0.4	0.0	0.0	0.6	1.0	0.0	3.6	1.7	0.0	0.0
	6	0.0	1.7	0.0	6.5	4.8	0.7	1.0	0.0	2.1	1.5	0.0	0.9
7月	1	0.0	2.1	2.1	2.9	6.4	0.7	2.1	1.1	2.1	1.4	0.0	2.1
	2	4.0	1.0	1.3	0.4	1.5	1.4	1.0	0.9	1.7	1.4	0.0	0.8
	3	8.0	1.7	1.1	0.0	0.7	0.6	0.4	0.0	12.9	0.0	0.0	1.2
	4	0.0	0.9	2.9	0.0	0.3	0.0	0.0	0.0	5.1	0.0	0.0	1.0
	5	0.6	0.9	2.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.9	0.6	5.0	0.0	0.0
	6	0.9	2.1	1.7	0.0	2.0	0.0	0.0	1.1	1.4	15.0	0.0	0.0
8月	1	0.7	2.0	0.6	0.5	0.4	0.0	0.0	0.0	14.3	2.1	0.0	1.8
	2	0.7	0.9	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	1.4	3.5	0.9	1.0	2.1
	3	0.1	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7	0.6	1.3	0.0	0.0	1.7
	4	0.0	0.4	0.3	0.0	1.2	0.0	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	2.1
	5	0.0	1.3	1.7	5.5	0.6	0.0	0.3		1.4	1.0	0.3	1.3
	6	0.0	2.2	0.9	3.8	2.6	0.0	1.7	3.6	6.3	1.6	1.7	0.0
9月	1	0.0	3.3	0.1	1.8	3.5	0.0		3.1	6.0	1.4	0.0	13.3
	2	0.0	3.5	0.3	1.5	1.5	0.0	10.0	3.3	4.3	7.5	0.0	6.2
	3	0.0	2.8	0.7	0.0	0.6	0.0	9.7	5.0	0.0	7.7	0.2	4.5
	4	0.0	3.2	5.0	0.3	0.1	0.0	5.7	2.0	5.6	7.8	0.7	5.0
	5	0.0	3.5	5.3	1.0	0.5	5.7	4.0	1.0	8.0	5.8	0.7	2.9
	6	0.1	5.1	5.2	3.0	9.7	10.0	7.6	0.0	2.9	5.8	0.7	5.9
10月	1	0.7	10.4	2.9	5.0	21.8	11.7	13.6	5.0	9.1	24.2	0.7	10.0
	2	0.1	13.9	14.9	4.7	3.7	7.1	27.9	8.0	9.9	44.6	0.0	18.6
	3	0.0	18.2	15.0	3.5	17.0	7.1	16.7	8.9	8.6	77.1	5.5	22.6
	4	0.0	16.6	10.7	4.5	8.9	6.9	8.3	7.1	18.6	81.1	6.0	14.1
	5	0.0	15.0	20.7	6.3	5.7	6.4	4.3	3.8	13.4	72.7	1.3	
	6	0.0	15.0	12.3	9.8	17.4	3.4	3.0	4.8	13.4	67.3	3.6	
11月	1	0.0	13.3	4.0	6.5			4.7	7.6	13.6	43.6		
	2	0.0	15.9		2.0			6.6	20.7	13.6	36.7		
	3	0.0	14.2		2.9			7.1	27.0	8.4	25.3		
	4	0.0	11.5					11.2	20.1	4.0	10.7		
	5		9.2					14.0	15.0	6.4	1.4		
	6		2.9					5.0	0.8	5.3	0.6		
12月	1		4.5					7.1	1.9				
	2		3.4					3.7	3.0				
	3		2.7					1.1	4.3				
	4		0.0					0.0	0.0				
	5												
	6												

※平年値は過去10か年平均とする。

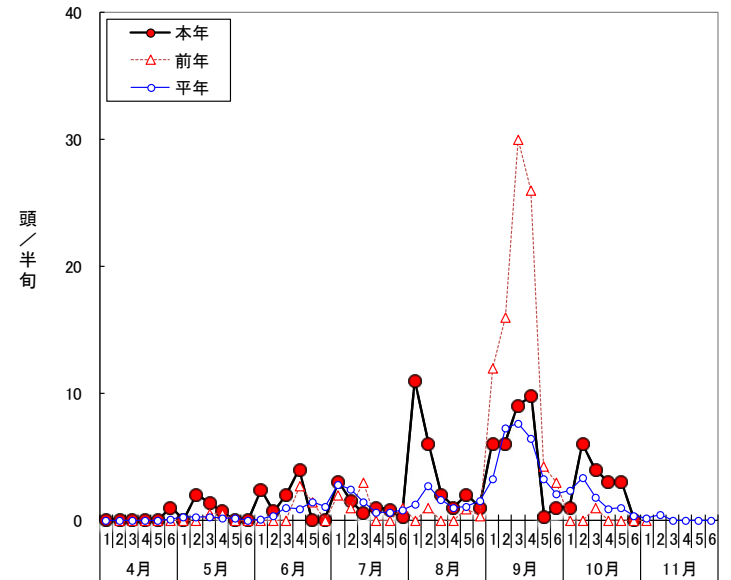
オオタバコガの誘殺消長(八代市鏡・フェロモントラップ)



オオタバコガの誘殺消長(高原農業研究所・阿蘇市一の宮町)

月	半旬	本年	平年	前年	R1	H30	H29	H28	H27	H26	H25	H24	H23
4月	1	0.0											
	2	0.0	0.0	0.0						0.0			
	3	0.0	0.0	0.0						0.0			0.0
	4	0.0	0.0	0.0				0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	5	0.0	0.0	0.0				0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	6	1.0	0.1	0.0	0.5			0.0	0.0	0.2	0.0	0.0	0.0
5月	1	0.0	0.2	0.0	0.5	0.4	0.0	0.8	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0
	2	2.0	0.2	0.0	0.2	0.4	0.1	1.3	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0
	3	1.3	0.3	0.5	0.0	0.0	0.7	0.0	0.0	0.3	1.0	0.0	0.0
	4	0.7	0.1	0.5	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.7	0.0	0.0	0.0
	5	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0
	6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
6月	1	2.3	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4	0.0	0.3	0.0
	2	0.7	0.3	0.0	0.0	1.9	0.0	0.0	0.0	0.6	0.0	0.8	0.0
	3	2.0	1.0	0.0	0.0	2.7	0.0	0.1	0.0	0.8	0.0	6.0	0.0
	4	4.0	0.9	2.7	0.0	4.0	0.0	0.7	0.0	0.7	0.0	0.5	0.0
	5	0.0	1.4	1.4	0.3	4.0	3.6	2.1	0.0	0.5	0.0	2.5	0.0
	6	0.0	1.1	0.0	1.5	3.1	2.7	2.0	0.0	0.0	0.0	0.7	0.8
7月	1	3.0	2.8	2.0	4.5	2.9	1.7	0.0	0.0	10.9	0.0	4.3	1.5
	2	1.5	2.4	1.0	3.9	3.5	0.0	1.4	0.0	10.7	1.5	1.3	0.8
	3	0.5	1.5	3.0	0.0	0.5	0.0	0.6	0.3	6.4	3.0	0.8	0.0
	4	1.0	0.6	0.0	1.6	1.4	0.9	0.0	1.4	0.6	0.5	0.0	0.0
	5	0.8	0.6	0.0	1.1	1.6	2.1	0.0	0.9	0.4	0.0	0.3	0.0
	6	0.2	0.8	1.0	0.8	0.0	1.7	0.0	1.3	1.4	0.0	0.7	0.7
8月	1	11.0	1.2	0.0	1.5	1.5	1.6	0.8	1.4	3.6	0.0	1.3	0.3
	2	6.0	2.7	1.0	0.5	0.9	2.0	1.3	1.4	17.1	0.0	2.7	0.3
	3	2.0	1.6	0.0	1.0	1.3	1.7	0.0	2.6	7.7	0.0	1.0	0.7
	4	1.0	0.9	0.0	2.4	4.5	0.0	0.0	1.1	1.3	0.0	0.0	0.0
	5	2.0	1.0	0.9	0.0	3.3	1.7	0.5	0.0	0.7	0.0	2.3	0.8
	6	1.0	1.5	0.3	0.0	3.9	2.3	1.5	0.0	1.0	0.0	2.7	3.3
9月	1	6.0	3.3	12.0	0.3	10.9	0.4	3.3	4.6	0.7	0.0	0.3	0.0
	2	6.0	7.3	16.0	0.5	22.0	2.1	23.0	6.0	1.8	0.0	0.7	0.5
	3	9.0	7.6	30.0	0.5	8.0	1.4	19.2	6.4	6.4	0.0	2.0	2.0
	4	9.8	6.4	26.0	0.2	8.4	8.0	6.3	2.8	4.0	0.0	7.8	0.5
	5	0.3	3.3	4.2	0.2	10.0	5.0	3.0	2.6	3.2	0.0	3.8	0.8
	6	1.0	2.0	3.0	1.0	5.5	1.9	1.3	1.7	3.1	0.0	1.5	1.2
10月	1	1.0	2.3	0.0	0.0	9.4	1.9	2.6	0.6	3.6	0.0	5.0	0.0
	2	6.0	3.4	0.0	1.2	12.0	1.9	13.1	0.8	4.1	0.0	0.7	0.0
	3	4.0	1.8	1.0	3.0	1.0	1.7	5.3	0.5	4.4	0.0	1.3	0.0
	4	3.0	0.9	0.0	0.5	0.2	6.2	0.3	0.0	0.8	0.0	1.0	0.0
	5	3.0	1.0	0.0	0.7	0.0	7.4	0.7	0.0	0.2	0.0	0.0	
	6	0.0	0.3	0.0	0.8	0.0	0.0	0.0	0.6	0.7	0.0	0.0	1.0
11月	1		0.2	0.0	0.0				0.6	0.3		0.0	
	2		0.4						0.8	0.0			
	3		0.0						0.0				
	4												
	5												
	6												
12月	1												
	2												
	3												
	4												
	5												
	6												

オオタバコガの誘殺消長(阿蘇市一の宮町・フェロモントラップ)

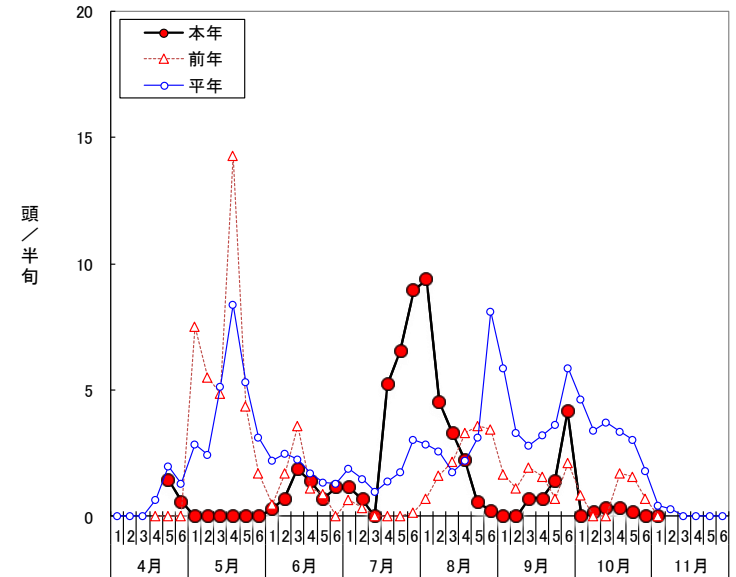


※平年値は過去10か年平均とする。

オオタバコガの誘殺消長(山都町鶴ヶ田)

月	半旬	本年	平年	前年	R1	H30	H29	H28	H27	H26	H25	H24	H23
4月	1												
	2												
	3		0.0							0.0			
	4		0.7	0.0					0.0	2.0			
	5	1.4	2.0	0.0		1.0			4.0	5.0		0.0	
	6	0.6	1.3	0.0		2.5			5.2	0.0	0.0	0.0	
5月	1	0.0	2.8	7.5		1.7	0.9		5.6	4.3	0.0	0.0	
	2	0.0	2.4	5.5	0.0	1.4	1.1	1.7	5.7	6.0	2.9	0.0	0.0
	3	0.0	5.2	4.9	12.5	1.6	0.6	1.7	5.2	1.4	7.3	2.7	13.7
	4	0.0	8.4	14.3	12.5	4.0	0.6	2.1	4.3	12.3	7.3	5.6	21.2
	5	0.0	5.3	4.4	3.7	4.0	0.8	2.3	4.4	11.0	2.1	6.1	14.4
	6	0.0	3.1	1.7	1.0	4.5	0.9	2.4	4.6	5.3	0.9	2.1	7.7
6月	1	0.3	2.2	0.5	0.7	2.5	1.9	0.6	4.0	1.4	2.5	1.9	6.0
	2	0.7	2.5	1.7	1.5	2.5	2.0	0.6	5.0	5.4	0.5	2.5	3.2
	3	1.9	2.3	3.6	1.8	1.6	1.9	0.6	3.1	4.4	0.0	2.8	3.0
	4	1.4	1.7	1.1	2.0	1.0	1.4	1.3	2.5	1.4	0.6	0.6	5.0
	5	0.7	1.3	0.9	1.0	1.0	1.3	1.0	1.3	0.5	1.0	0.3	5.0
	6	1.2	1.3	0.0	1.4	4.5	1.7	0.7	0.0	0.5	1.5	0.4	2.4
7月	1	1.2	1.9	0.7	5.7	4.5	1.7	0.7	1.5	1.3	1.9	0.6	0.6
	2	0.7	1.5	0.3	0.5	3.9	3.8	1.4	1.5	0.8	0.0	0.6	1.9
	3	0.0	1.0	0.0	0.5	1.5	2.8	1.9	0.0	0.2	0.0	1.4	1.4
	4	5.2	1.4	0.0	0.8	6.5	0.5	1.3	0.6	1.1	0.0	2.4	0.7
	5	6.5	1.8	0.0	1.0	6.9	0.7	3.0	0.9	0.7	0.8	2.1	1.7
	6	9.0	3.0	0.1	1.2	10.2	1.3	6.7	2.0	0.0	2.3	3.2	3.3
8月	1	9.4	2.9	0.7	5.0	10.6	1.4	2.2	2.5	0.0	0.0	3.2	3.1
	2	4.5	2.6	1.6	5.0	10.5	1.5	1.4	0.6	0.5	0.0	2.4	2.1
	3	3.3	1.8	2.2	2.2	4.5	1.5	2.2	0.8	0.6	0.6	1.6	1.8
	4	2.2	2.2	3.3	1.5	4.5	2.9	2.7	0.8	0.6	0.9	0.7	4.1
	5	0.6	3.1	3.6	1.8	4.5	5.0	2.7	1.1	0.3	6.2	1.4	4.7
	6	0.2	8.1	3.4	3.3	9.3	6.0	34.5	2.8	0.3	16.9	3.3	1.1
9月	1	0.0	5.9	1.7	6.5	19.8	3.2	7.5	2.3	0.7	11.6	3.3	2.1
	2	0.0	3.3	1.1	1.5	3.0	2.7	7.5	2.0	0.9	7.8	1.4	5.0
	3	0.7	2.8	1.9	0.9	2.8	2.3	7.5	1.4	0.9	4.3	0.9	4.9
	4	0.7	3.2	1.6	0.5	2.0	2.1	8.2	1.4	8.6	2.1	1.9	3.8
	5	1.4	3.6	0.7	0.0	0.8	2.1	8.2	3.9	10.5	5.6	3.8	0.8
	6	4.2	5.9	2.1	0.4	1.5	2.8	18.6	5.6	3.7	19.3	4.8	0.0
10月	1	0.0	4.6	0.9	0.5	3.0	6.0	17.8	1.4	2.0	10.4	4.3	0.0
	2	0.1	3.4	0.0	0.5	3.0	5.8	4.2	1.4	1.2	10.7	2.8	4.4
	3	0.4	3.7	0.0	2.5	2.1	0.6	4.2	1.1	1.0	20.9	0.7	4.1
	4	0.4	3.4	1.7	1.5	1.4	0.4	3.5	0.0	0.2	20.7	0.7	3.6
	5	0.1	3.0	1.6	0.0	1.0	0.0	3.0	1.0	0.0	7.1	0.4	16.3
	6	0.0	1.8	0.7	0.0	0.0	0.0	1.2	1.5	0.0	3.0	0.0	11.8
11月	1	0.0	0.5	0.0	0.5			0.0				0.0	1.8
	2		0.3		0.3								
	3		0.0		0.0								
	4		0.0		0.0								
	5		0.0		0.0								
	6												
12月	1												
	2												
	3												
	4												
	5												
	6												

オオタバコガの誘殺消長(山都町鶴ヶ田・フェロモントラップ)



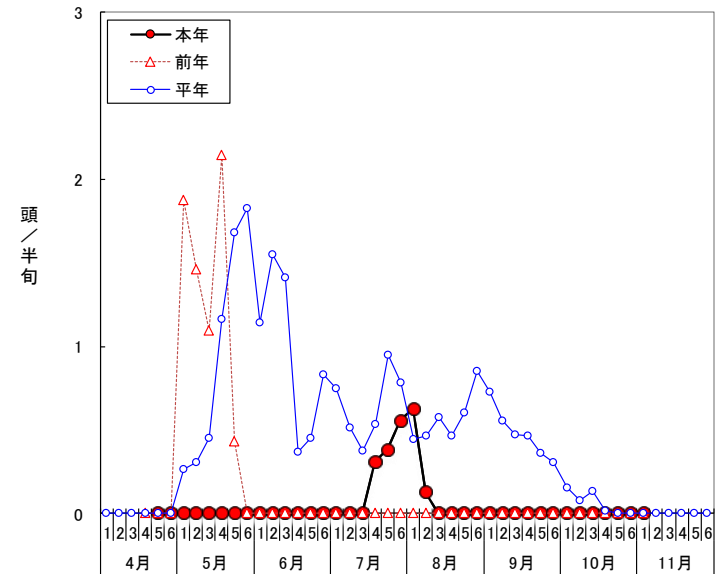
※平年値は過去10か年平均とする。

コナガの誘殺消長(山都町鶴ヶ田)

月	半旬	本年	平年	前年	R1	H30	H29	H28	H27	H26	H25	H24	H23
4月	1												
	2												
	3		0.0							0.0			
	4		0.0	0.0					0.0	0.0			
	5	0.0	0.0	0.0			0.0			0.0		0.0	
	6	0.0	0.0	0.0			0.0			0.0	0.0	0.0	0.0
5月	1	0.0	0.3	1.9			0.0		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	2	0.0	0.3	1.5	0.0		0.0	0.0	1.0	0.0	0.6	0.0	0.0
	3	0.0	0.4	1.1	0.0		0.0	0.0	1.9	0.0	1.5	0.0	0.0
	4	0.0	1.2	2.1	0.0		0.0	0.0	2.1	0.0	1.5	5.6	0.3
	5	0.0	1.7	0.4	2.0		0.0	0.0	0.0	1.3	0.0	2.2	9.7
	6	0.0	1.8	0.0	1.0		0.0	0.0	0.0	1.3	0.0	2.8	11.4
6月	1	0.0	1.1	0.0	0.0		0.0	0.0	1.1	0.0	3.3	5.0	2.0
	2	0.0	1.5	0.0	0.0		0.0	0.3	0.0	1.4	0.6	2.8	6.0
	3	0.0	1.4	0.0	0.0		0.0	0.6	0.0	0.0	0.4	2.7	6.0
	4	0.0	0.4	0.0	0.0		0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	2.0	0.0
	5	0.0	0.5	0.0	0.0		0.0	1.0	0.0	0.0	0.5	1.5	0.0
	6	0.0	0.8	0.0	0.4		0.0	4.1	0.0	0.0	0.5	1.4	0.2
7月	1	0.0	0.7	0.0	0.4		0.0	3.0	0.0	0.6	1.3	0.3	1.9
	2	0.0	0.5	0.0	0.0		0.0	0.7	0.0	0.0	0.4	0.0	0.3
	3	0.0	0.4	0.0	0.0		0.0	0.1	0.0	0.0	0.1	0.4	0.9
	4	0.3	0.5	0.0	0.0		0.0	0.0	0.6	1.9	0.6	0.4	1.9
	5	0.4	0.9	0.0	0.0		0.0	0.0	0.7	1.4	0.3	1.7	2.9
	6	0.6	0.8	0.0	0.0		0.0	0.0	0.7	0.7	0.0	4.5	1.4
8月	1	0.6	0.4	0.0	0.0		0.0	0.0	0.1	0.1	0.0	2.1	1.4
	2	0.1	0.5	0.0	0.0		0.0	0.0	0.0	0.6	0.5	1.2	0.8
	3	0.0	0.6	0.0	0.0		0.0	0.0	0.7	0.3	0.5	0.6	0.7
	4	0.0	0.5	0.0	0.0		0.0	0.0	1.2	0.0	0.0	0.6	0.7
	5	0.0	0.6	0.0	0.0		0.0	0.0	1.2	0.1	0.0	1.1	2.1
	6	0.0	0.9	0.0	0.2		0.4	0.0	2.1	0.8	0.0	2.2	1.4
9月	1	0.0	0.7	0.0	1.0		1.6	0.0	0.3	0.7	0.0	1.5	1.4
	2	0.0	0.6	0.0	0.0		0.0	0.0	0.3	0.7	0.0	1.1	2.1
	3	0.0	0.5	0.0	0.0		0.0	0.0	0.3	0.7	0.0	1.6	0.4
	4	0.0	0.5	0.0	0.0		0.0	0.0	0.9	0.0	0.4	1.2	0.3
	5	0.0	0.4	0.0	0.0		0.0		0.9	0.0	0.5	0.9	0.6
	6	0.0	0.3	0.0	0.0		0.0		0.7	0.0	0.5	1.4	0.1
10月	1	0.0	0.2	0.0	0.0		0.0		0.6	0.0	0.5	0.3	0.0
	2	0.0	0.1	0.0	0.0		0.0		0.4	0.0	0.1	0.2	0.0
	3	0.0	0.1	0.0	0.0		0.0		0.4	0.0	0.0	0.8	0.0
	4	0.0	0.0	0.0	0.0		0.0		0.2	0.0	0.0	0.0	0.0
	5	0.0	0.0	0.0	0.0		0.0		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	6	0.0	0.0	0.0	0.0		0.0		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
11月	1	0.0	0.0	0.0	0.0			0.0				0.0	
	2		0.0		0.0								
	3		0.0		0.0								
	4		0.0		0.0								
	5		0.0		0.0								
	6												
12月	1												
	2												
	3												
	4												
	5												
	6												

※平年値は過去10か年平均とする。

コナガの誘殺消長(山都町鶴ヶ田・フェロモントラップ)

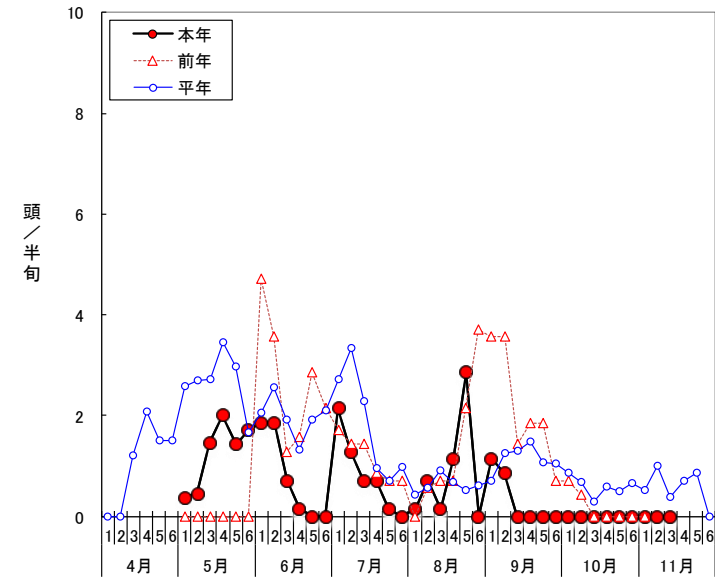


コナガの誘殺消長(阿蘇市波野)

月	半旬	本年	平年	前年	R1	H30	H29	H28	H27	H26	H25	H24	H23
4月	1												
	2												
	3		1.2						1.1	2.5	0.0		
	4		2.1						5.7	1.2	0.0	0.0	3.6
	5		1.5						2.3	1.2	0.0	0.0	4.1
	6		1.5						3.1	1.4	0.0	0.0	3.1
5月	1	0.4	2.6	0.0					5.7	1.7	0.0	6.9	1.3
	2	0.5	2.7	0.0					2.1	3.2	0.0	8.6	2.3
	3	1.5	2.7	0.0			0.0		2.1	3.1	0.0	8.6	5.3
	4	2.0	3.4	0.0			1.7		2.0	1.4	0.0	12.1	6.9
	5	1.4	3.0	0.0		0.1	1.3		1.4	3.6	0.0	11.7	5.7
	6	1.7	1.7	0.0	1.5	0.5	0.0	0.0	1.4	2.4	0.0	9.4	1.4
6月	1	1.9	2.1	4.7	1.5	1.5	1.9	0.0	1.9	2.1	0.0	6.4	0.6
	2	1.9	2.6	3.6	3.0	3.6	1.7	0.9	2.1	2.1	0.0	7.9	0.7
	3	0.7	1.9	1.3	2.1	4.4	1.4	1.1	2.1	0.0	0.0	3.1	3.6
	4	0.1	1.3	1.6	1.8	2.0	2.1	0.0	1.0	2.1	0.0	0.7	1.9
	5	0.0	1.9	2.9	3.0	2.0	2.1	0.0	0.7	3.3	0.0	3.6	1.7
	6	0.0	2.1	2.1	2.2	3.2	2.1	0.0	0.7	2.1	2.1	4.1	2.1
7月	1	2.1	2.7	1.7	2.6	5.0	2.1	0.0	0.7	1.0	3.9	6.6	3.6
	2	1.3	3.3	1.4	3.5	3.5	4.9	0.0	1.1	0.4	4.1	10.0	4.4
	3	0.7	2.3	1.4	2.0	1.4	4.7	0.0	1.1	0.0	0.7	7.1	4.4
	4	0.7	0.9	0.9	1.7	0.1	0.8	0.0	0.0	0.0	0.1	3.7	2.1
	5	0.1	0.7	0.7	1.6	0.5	1.4	0.0	0.0	0.0	0.6	1.3	1.0
	6	0.0	1.0	0.7	2.4	3.1	0.6	0.0	0.0	0.3	1.4	0.7	0.7
8月	1	0.1	0.4	0.0	0.5	2.4	0.0	0.0	0.0	0.7	0.0	0.0	0.6
	2	0.7	0.6	0.6	0.5	2.0	0.0	0.1	0.0	0.7	0.0	0.0	1.7
	3	0.1	0.9	0.7	0.5	2.0	0.7	0.7	1.7	0.7	0.6	0.0	1.5
	4	1.1	0.7	0.7	0.5	0.4	0.3	0.7	1.3	0.6	1.4	0.0	0.9
	5	2.9	0.5	2.1	0.5	0.0	0.0	0.4	0.0	0.0	2.1	0.0	0.0
	6	0.0	0.6	3.7	1.5	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.9	0.0	0.0
9月	1	1.1	0.7	3.6	2.0	0.5	0.0	0.0	0.0	0.5	0.6	0.0	0.0
	2	0.9	1.3	3.6	2.0	1.7	0.0	2.9	0.3	0.8	1.4	0.0	0.0
	3	0.0	1.3	1.4	4.0	1.8	0.0	4.4	0.7	0.6	0.0	0.0	0.0
	4	0.0	1.5	1.9	3.5	1.5	0.0	5.7	0.0	0.1	0.4	0.3	1.4
	5	0.0	1.1	1.9	2.0	2.0	0.0	2.1	0.0	0.3	1.1	0.7	0.6
	6	0.0	1.0	0.7	1.7	1.7	0.0	2.6	0.0	0.7	2.9	0.0	0.1
10月	1	0.0	0.9	0.7	1.8	1.3	0.0	2.7	0.0	0.1	1.2	0.0	0.7
	2	0.0	0.7	0.4	1.6	0.5	0.0	2.1	1.1	0.4	0.3	0.0	0.1
	3	0.0	0.3	0.0	0.0	0.1	0.0	1.3	0.9	0.6	0.0	0.0	0.0
	4	0.0	0.6	0.0	1.2	0.0	0.0	1.1	0.0	1.4	2.1	0.0	0.0
	5	0.0	0.5	0.0	0.9	0.0	0.0	0.7	0.0	0.9	1.7	0.0	0.7
	6	0.0	0.7	0.0	0.0	0.0	0.0	3.4	0.0	0.4	2.0	0.0	0.7
11月	1	0.0	0.5	0.0	0.0			1.0	0.6	0.0	2.1	0.0	0.4
	2	0.0	1.0		0.0			1.0	2.9	0.0	2.1		0.0
	3	0.0	0.4		0.0			1.4	0.0	0.0	0.9		0.0
	4		0.7		0.0			2.1			0.0		
	5		0.9					0.9					
	6												
12月	1												
	2												
	3												
	4												
	5												
	6												

※平年値は過去10年平均とする。

コナガの誘殺消長(阿蘇市波野・フェロモントラップ)



(ウ) 野外におけるコナジラミ類の捕獲状況

表 八代市における黄色粘着板による野外コナジラミ捕獲数

(頭/日/トラップ)

	9月			10月			11月			12月		
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
本年		0.06	0.07	0.06	0.05	0.00	0.00	0.00	0.00	0.02	0.01	
前年		0.34	0.04	0.36	0.43	0.47	0.36	0.40	0.49	0.05	0.00	
平年		0.55	0.48	0.50	0.49	0.59	0.27	0.29	0.20	0.11	0.02	

※黄色粘着板(10×10cm)は、1地点当たり約5m間隔で3枚設置し、約2週間間隔で調査

※平年値は、H28～R02の5カ年の平均

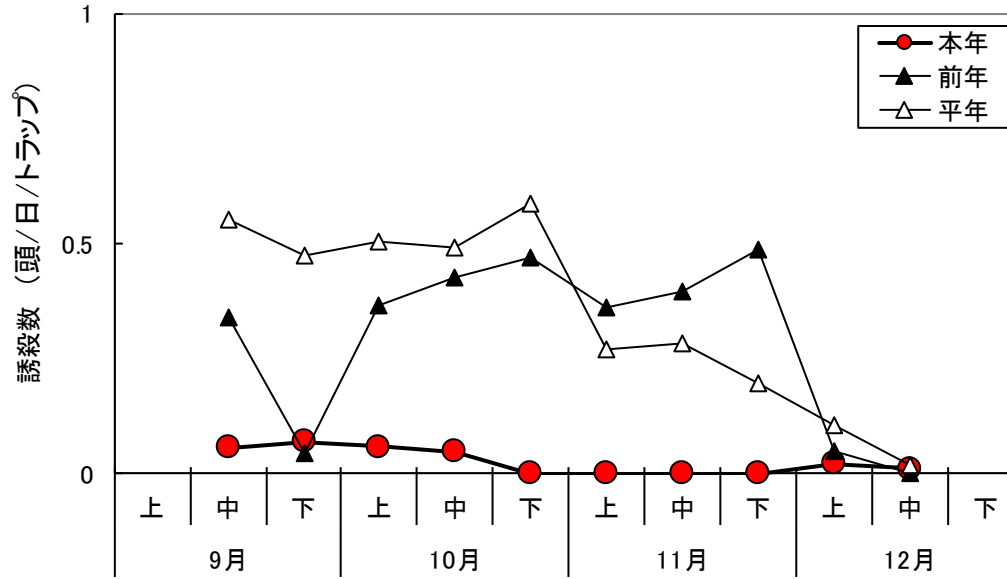


図 八代市における黄色粘着板による野外コナジラミ捕獲数

(エ) トマト黄化葉巻ウイルス保毒状況調査

表1 屋外コナジラミ類の捕獲頭数

地域	設置場所	誘殺数（頭／日／枚）						
		本年	2020	2019	2018	2017	2016	平年値
熊本市	学料公民館	0.1	0.2	0.3	3.0	0.5	0.7	0.9
玉名市	J Aたまな横島倉庫	0.4	3.3	1.6	2.4	0.8	8.1	3.2
八代市	J Aやつしろ中央営農センター	0.0	0.7	0.4	0.3	0.1	1.7	0.6
平均値		0.2	1.4	0.8	1.9	0.4	3.5	1.6

- ※1 黄色粘着板(10cm×10cm)による誘殺数調査。設置期間は9月2日～10日。過去5か年も同様に設置期間は9月上旬。
 ※2 黄色粘着板を1地点あたり3枚設置。
 ※3 平年値は、2016年から2020年の5か年平均とする。
 ※4 玉名市の設置場所は本年からJ Aたまな横島倉庫に変更。
 (設置場所：2014～2018年 旧しあわせ農協、2019年～2020年 J Aたまな横島イチゴ集荷所)

表2 野外で採集したタバココナジラミのトマト黄化葉巻ウイルス保毒状況

地域	設置場所	保毒虫率（％）						
		本年	2020	2019	2018	2017	2016	平年値
熊本市	学料公民館	1.7 (60)	3.3 (60)	6.7 (60)	5.0 (60)	15.0 (60)	6.7 (60)	8.4
玉名市	J Aたまな横島倉庫	6.7 (60)	0.0 (60)	1.7 (60)	6.7 (60)	3.3 (60)	6.7 (60)	4.5
八代市	J Aやつしろ中央営農センター	8.3 (60)	5.0 (60)	6.7 (45)	3.3 (60)	1.8 (56)	5.0 (20)	4.2
平均値		5.6	2.8	5.0	5.0	6.7	6.1	5.7

- ※1 採集期間は熊本市9月2日～24日、玉名市9月2日～14日、八代市9月2日～21日。過去5か年の採集期間は9月上旬（本年は9月上旬の誘殺数が非常に少なく、期間を平年よりも延長した）
 ※2 ()内の数値は検定数。
 ※3 平年値は2016年から2020年の5か年平均とする。
 ※4 玉名市の設置場所は本年からJ Aたまな横島倉庫に変更。
 (設置場所：2014～2018年 旧しあわせ農協、2019年～2020年 J Aたまな横島イチゴ集荷所)

表3 野外保毒虫数の試算

地域	設置場所	保毒虫数（頭／日／枚）						
		本年	2020年	2019年	2018年	2017年	2016年	平年値
熊本市	学料公民館	0.00	0.01	0.02	0.15	0.07	0.04	0.06
玉名市	J Aたまな横島倉庫	0.03	0.00	0.03	0.16	0.03	0.54	0.15
八代市	J Aやつしろ中央営農センター	0.00	0.04	0.03	0.01	0.00	0.09	0.02
平均値		0.01	0.01	0.03	0.11	0.03	0.22	0.08

- ※1 保毒虫数＝誘殺数×保毒虫率（誘殺数：表1のとおり、保毒虫率：表2のとおり）
 ※2 平年値は2016年から2020年の5か年平均とする。
 ※3 玉名市の設置場所は本年からJ Aたまな横島倉庫に変更。
 (設置場所：2014～2018年 旧しあわせ農協、2019年～2020年 J Aたまな横島イチゴ集荷所)

イ 県予察ほにおける調査（試験研究機関における調査成績）

（ア）野菜害虫

1 目的

農業生産の安定を図るために、植物防疫法の規定に基づき、病虫害の発生予察調査を行い、迅速適切な情報の提供によって適期防除を推進する。

2 方法

（1）調査場所：県予察圃場（生産環境研究所圃場）

（2）トラップの種類と対象害虫

黄色水盤（直径 20cm、地上 10cm 設置）：アブラムシ類

フェロモントラップ：ハスモンヨトウ（乾式、地上 130cm 設置）

オオタバコガ（粘着式 SE トラップ（白色）、地上 120cm 設置）

タバコガ（粘着式 SE トラップ（白色）、地上 120cm 設置）

（3）調査方法：4月1日から翌年の3月31日まで、1～5日毎に誘殺数を調査した。なお、フェロモントラップのフェロモンおよび粘着板は、約1ヶ月毎に交換した。

3 結果および考察

（1）アブラムシ類

黄色水盤でのアブラムシ類の誘殺数は、5月3半旬にピークが認められたものの、春季において平年よりもやや少なかった。9～12月の誘殺数は、9月3半旬、10月6半旬、12月2半旬にピークが認められ、9月は平年並、10～12月は平年の2～6倍多かった。

（2）ハスモンヨトウ

フェロモントラップにおける誘殺数は、5月6半旬、8月1半旬に平年より高いピークが認められたものの、全期間では平年よりもやや少なく推移した。

（3）オオタバコガ

フェロモントラップにおける誘殺数は、6月4半旬～10月1半旬にピークが認められたものの、全期間では平年の約1/2と少なかった。

（4）タバコガ

フェロモントラップにおける誘殺数は、6月6半旬、7月1半旬、9月5半旬にピークが認められたものの、平年に比べてやや少なく推移した。

試験成績

第1表 アブラムシ類の誘殺消長

月	半 旬	R3 年度	平年*)	月	半 旬	R3 年度	平年*)
4	1	2	28.3	10	1	7	8.4
	2	8	22.4		2	6	8.0
	3	13	12.0		3	13	3.6
	4	4	17.1		4	12	3.8
	5	3	23.1		5	9	5.4
	6	15	17.3		6	28	6.4
5	1	19	22.5	11	1	23	5.0
	2	28	33.8		2	13	7.3
	3	46	24.6		3	15	6.3
	4	29	18.7		4	16	6.0
	5	7	16.3		5	6	8.3
	6	16	15.8		6	13	7.9
6	1	17	8.0	12	1	16	6.6
	2	3	10.1		2	32	2.3
	3	0	7.9		3	29	1.4
	4	1	7.6		4	1	2.1
	5	2	7.1		5	17	2.7
	6	3	4.1		6	5	1.4
7	1	0	3.0	1	1	2	0.6
	2	0	2.3		2	6	1.2
	3	1	1.1		3	0	0.4
	4	1	0.4		4	2	0.5
	5	0	0.8		5	0	0.1
	6	0	1.0		6	1	0.9
8	1	0	0.6	2	1	0	0.3
	2	0	2.1		2	1	0.4
	3	1	1.3		3	0	1.2
	4	0	2.3		4	0	0.3
	5	0	3.2		5	1	1.0
	6	4	6.0		6	6	0.9
9	1	3	8.8	3	1	1	0.6
	2	14	8.0		2	3	0.9
	3	29	14.9		3	16	2.8
	4	6	14.9		4	42	6.6
	5	6	10.6		5	6	2.6
	6	10	18.2		6	1	13.7

*) 平年値は平成22年～令和1年の平均値

第2表 ハスモンヨトウの誘殺消長

月	半 旬	R2 年度	平年*)	月	半 旬	R2 年度	平年*)
4	1	0	7.8	10	1	303	387.3
	2	2	7.4		2	850	401.1
	3	1	7.7		3	335	363.4
	4	6	12.6		4	349	445.5
	5	7	7.8		5	198	394.4
	6	6	11.7		6	374	583.8
5	1	13	12.6	11	1	119	401.3
	2	20	21.7		2	177	480.6
	3	38	34.2		3	154	425.2
	4	23	40.7		4	264	289.8
	5	17	47.2		5	170	190.0
	6	15	46.1		6	151	80.7
6	1	9	54.1	12	1	14	34.3
	2	37	68.1		2	4	12.1
	3	149	92.7		3	1	10.9
	4	93	74.7		4	0	1.4
	5	116	56.7		5	0	1.0
	6	228	67.0		6	0	1.2
7	1	279	79.7	1	1	0	0.1
	2	221	83.7		2	0	0.4
	3	148	106.4		3	0	0.0
	4	16	118.1		4	0	0.0
	5	72	91.8		5	1	0.1
	6	54	112.3		6	0	0.2
8	1	50	143.6	2	1	0	0.3
	2	83	163.7		2	0	0.0
	3	83	174.6		3	2	0.0
	4	162	229.2		4	2	0.1
	5	233	235.9		5	2	0.0
	6	265	336.1		6	0	0.2
9	1	欠測	328.1	3	1	3	0.2
	2	328	278.2		2	3	0.3
	3	459	412.9		3	1	0.1
	4	742	539.8		4	4	0.7
	5	786	453.2		5	1	0.7
	6	644	307.6		6	4	2.8

*) 平年値は平成22年～令和1年の平均値

第3表 オオタバコガの誘殺消長

月	半 旬	R3 年度	平年*)	月	半 旬	R3 年度	平年*)
4	1	0	0.3	10	1	104.5	37.2
	2	0	0.6		2	68	42.2
	3	1	0.4		3	39.5	28.9
	4	0	0.8		4	17	15.5
	5	1.5	1.2		5	13	11.1
	6	0.5	1.7		6	7.5	9.5
5	1	0	1.8	11	1	3	12.0
	2	9.5	3.5		2	22	13.9
	3	5	3.3		3	3.5	13.1
	4	1	2.4		4	2	14.3
	5	2	1.4		5	1	7.3
	6	0	1.0		6	1.5	3.0
6	1	9	1.6	12	1	0	3.1
	2	5	2.6		2	0.5	0.4
	3	19	6.7		3	0	0.1
	4	34	15.8		4	0.5	0.2
	5	14	24.6		5	0.5	0.2
	6	6.5	23.1		6	0	0.1
7	1	5.5	26.6	1	1	0	0.0
	2	6	9.4		2	0	0.0
	3	1	5.7		3	0	0.0
	4	0	2.4		4	0	0.1
	5	6.5	3.5		5	0	0.0
	6	2.5	10.4		6	0	0.0
8	1	28	28.4	2	1	0	0.1
	2	8.5	17.6		2	0	0.0
	3	2.5	10.0		3	0	0.0
	4	1.5	6.1		4	0	0.0
	5	4	15.3		5	0	0.1
	6	11	18.6		6	0	0.1
9	1	29	54.6	3	1	0	0.0
	2	13	31.3		2	0	0.0
	3	19	24.5		3	0	0.0
	4	3.5	32.0		4	0	0.0
	5	4.5	32.5		5	0	0.2
	6	10	29.8		6	1.5	0.0

*) 平年値は平成23年～令和2年の平均値
数値は2トラップの平均値

第4表 タバコガの誘殺消長

月	半 旬	R3 年度	平年*)	月	半 旬	R3 年度	平年*)
4	1	0	0.0	10	1	45	26.1
	2	0	0.0		2	38	28.0
	3	0	0.0		3	28	19.7
	4	0	0.0		4	7	22.2
	5	2	0.2		5	4	15.2
	6	2	0.6		6	13	11.1
5	1	0	0.7	11	1	2	8.9
	2	4	1.9		2	11	8.0
	3	1	2.4		3	0	6.4
	4	1	4.0		4	1	5.6
	5	2	5.0		5	0	2.4
	6	3	5.5		6	0	0.4
6	1	15	7.3	12	1	0	0.2
	2	8	6.9		2	0	0.0
	3	5	9.8		3	0	0.0
	4	5	6.2		4	0	0.0
	5	11	5.4		5	0	0.0
	6	16	6.2		6	0	0.0
7	1	27	10.9	1	1	0	0.0
	2	6	16.5		2	0	0.0
	3	3	11.2		3	0	0.0
	4	17	9.1		4	0	0.0
	5	6	8.6		5	0	0.0
	6	7	12.4		6	0	0.0
8	1	28	29.7	2	1	0	0.0
	2	19	29.2		2	0	0.0
	3	6	24.8		3	0	0.0
	4	2	22.4		4	0	0.0
	5	3	25.3		5	0	0.0
	6	2	25.5		6	0	0.0
9	1	26	32.1	3	1	0	0.0
	2	21	24.1		2	0	0.0
	3	25	25.8		3	0	0.0
	4	3	22.8		4	0	0.0
	5	51	20.0		5	0	0.0
	6	8	26.6		6	0	0.0

*) 平年値は平成23年～令和2年の平均値

2 発生予察情報の提供

(1) 警報、注意報、特殊報、技術情報

ア 警報

発表なし

イ 注意報

- 第1号 令和3年5月6日 [ミカンハダニ（カンキツ類）](#)
第2号 令和3年8月25日 [いもち病（穂いもち）（早植え水稻、普通期水稻）](#)
第3号 令和3年10月27日 [トマト黄化葉巻病（トマト）](#)
第4号 令和4年2月1日 [アザミウマ類（イチゴ）](#)
第5号 令和4年3月22日 [カンザワハダニ（茶）](#)

ウ 特殊報

- 第1号 令和3年10月27日 [Stemphylium lycopersici によるバレイシヨの病害](#)
第2号 令和3年11月12日 [トマトキバガ（トマト）](#)
第3号 令和4年3月23日 [タバコノミハムシ（ホオズキ）](#)

エ 技術情報

- 第1号 令和3年4月27日 [ヒメトビウンカの薬剤感受性検定結果について](#)
第2号 令和3年4月30日 [茶における害虫の発生状況と防除対策について](#)
第3号 令和3年7月15日 [水稻海外飛来性害虫の飛来状況について](#)
第4号 令和3年8月6日 [ツマジロクサヨトウの発生状況等について](#)
第5号 令和3年8月11日 [トビイロウンカの発生状況について](#)
第6号 令和3年8月12日 [果樹カメムシ類の果樹園への飛来開始時期について](#)
第7号 令和3年8月27日 [夏秋果菜類における病害の発生状況と防除対策について](#)
第8号 令和3年9月24日 [タバココナジラミのウリ類退緑黄化ウイルス保毒状況と防除対策について](#)
第9号 令和3年9月30日 [ナシ黒星病の秋期防除等の対策について](#)
第10号 令和3年10月12日 [タバココナジラミのトマト黄化葉巻ウイルス保毒状況と防除対策について](#)
第11号 令和3年10月15日 [ハスモンヨトウの発生状況と防除対策について](#)
第12号 令和3年12月6日 [カンキツにおけるミカンハダニ及びカイガラムシ類の冬期防除について](#)
第13号 令和3年12月23日 [抵抗性打破能を有するトマトモザイクウイルスによるトマトモザイク病の発生確認と防除対策について](#)
第14号 令和3年12月23日 [イチゴにおけるアザミウマ類の発生状況と防除対策について](#)
第15号 令和4年2月28日 [チャバネアオカメムシの越冬量及び本年7月頃までの発生量について](#)
第16号 令和4年3月4日 [冬春キュウリにおける病害（うどんこ病、べと病、菌核病、灰色かび病）の発生状況と防除対策について](#)
第17号 令和4年3月9日 [カンキツにおけるミカンハダニ及びカイガラムシ類の発生状況について](#)
第18号 令和4年3月22日 [トビイロウンカの薬剤感受性検定結果について](#)
第19号 令和4年3月28日 [イグサシンムシガの越冬調査結果について](#)

病防第17号
令和3年（2021年）5月6日

各関係機関長 様

熊本県病害虫防除所長

病害虫発生予察注意報について（送付）

このことについて、令和3年度（2021年度）病害虫発生予察注意報第1号を発表しましたので、送付します。

注 意 報

令和3年度（2021年度）病害虫発生予察注意報第1号

農作物名 カンキツ類
病害虫名 ミカンハダニ

- 1 発生地域 県内全域（カンキツ栽培地域）
- 2 発生時期 5月上旬以降
- 3 発生程度 平年比 多

4 注意報発表の根拠

- (1) 本年2月からミカンハダニの発生が多い傾向にある。4月に実施した巡回調査において、雌成虫の寄生葉率は22.0%（平年2.6%、前年8.4%）、10葉当たりの寄生頭数は13.6頭（平年0.4頭、前年1.6頭）であり、寄生葉率・10葉当たりの寄生頭数ともに過去10年と比較して最も多かった（図1、2）。
- (2) 本年は2月から4月にかけて、気温が平年より高く、降水量が平年より少なく推移し（図3、図4）、本害虫の増殖にとって平年に比べて好適な条件が継続した。また、福岡管区气象台が4月29日に発表した九州北部地方1か月予報によると、向こう1か月の気温は平年に比べて高いもしくは平年並の予想であり、今後もミカンハダニが多発生することが予想される。

5 防除対策

本害虫の春期の多発生は、新葉の加害による光合成機能の低下を引き起こし、旧葉の落葉も助長する。今後の気温上昇により本害虫の増殖が促進し、発生がさらに多くなると予想されることから、以下の防除対策を行う。

- (1) 特に越冬期から発芽前にかけてマシン油乳剤で防除を実施していない園では多発生する恐れがあるので、園内での発生に注意し、発生が認められる場合には薬剤散布により防除する。
- (2) 薬剤抵抗性の発達を防ぐため、系統の異なる薬剤のローテーション使用を行う。



写真1 ミカンハダニ



写真2 ミカンハダニによる被害葉

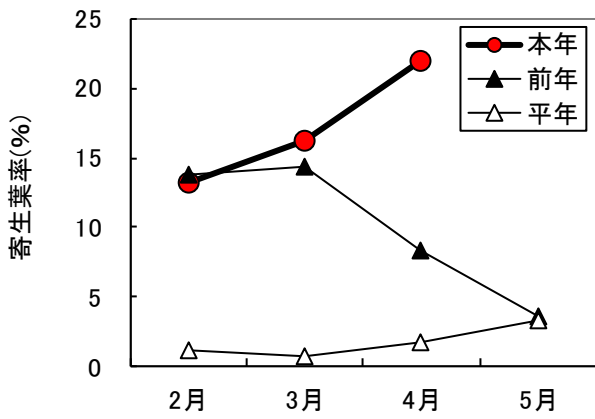


図1 ミカンハダニの寄生葉率の推移

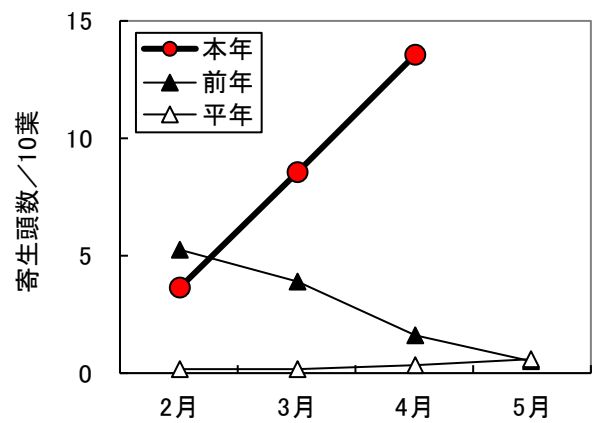


図2 ミカンハダニの寄生頭数の推移

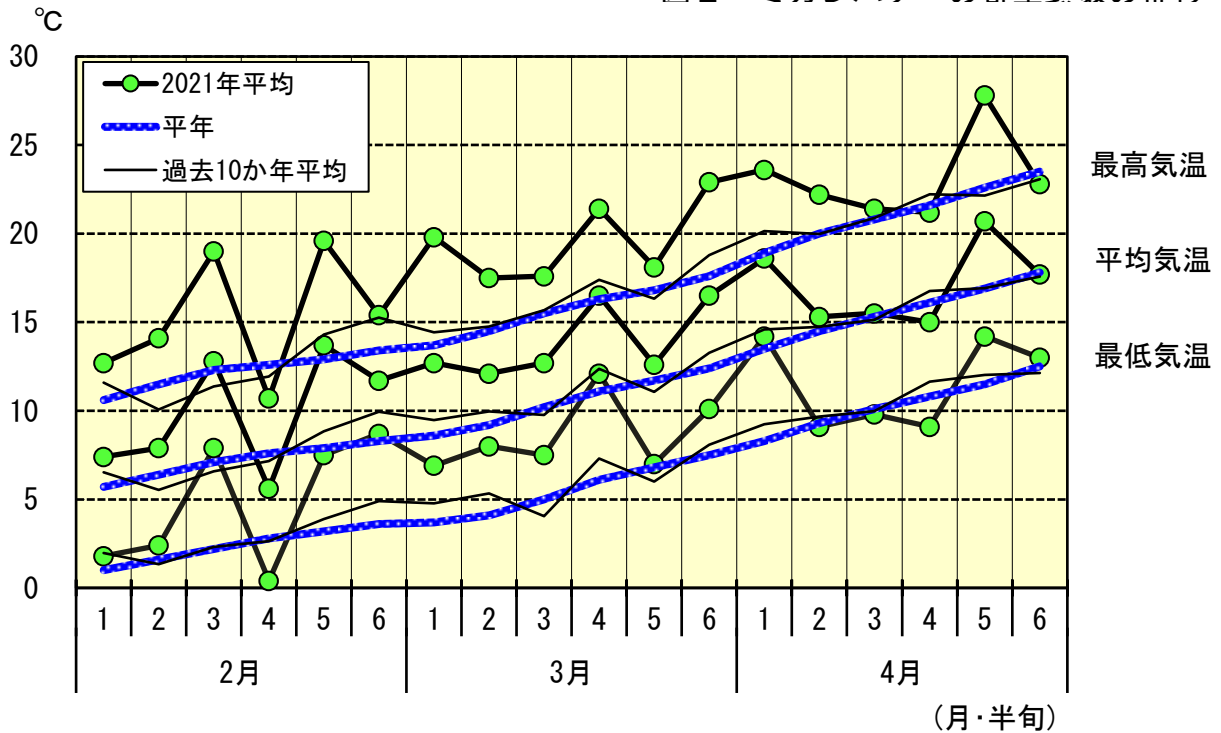


図3 熊本市の気温の推移 (最高・平均・最低)

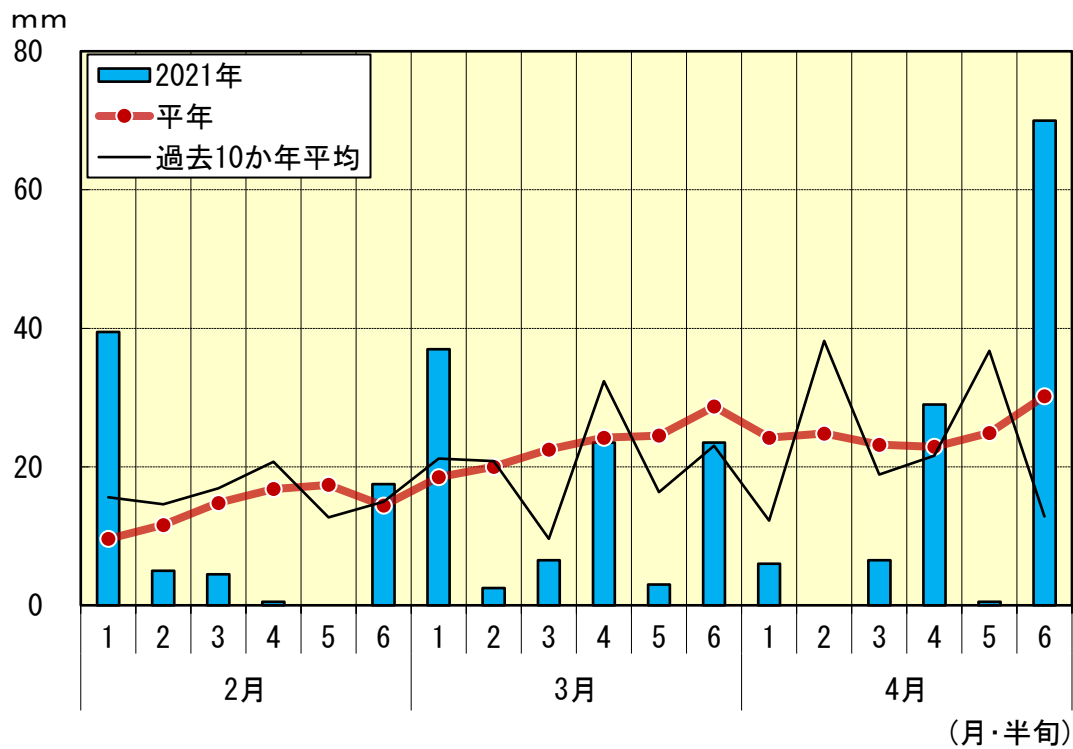


図4 熊本市の降水量の推移

熊本県農業研究センター 生産環境研究所
 予察指導室 (病害虫防除所)
 担当：岡島、中村 TEL：096-248-6490

各関係機関長 様

熊本県病虫害防除所長

病虫害発生予察注意報について（送付）

このことについて、令和3年度（2021年度）病虫害発生予察注意報第2号を公表しましたので、送付します。

注 意 報

令和3年度（2021年度）病虫害発生予察注意報第2号

農作物名 早植え水稻、普通期水稻
病虫害名 いもち病（穂いもち）

- 1 発生地域 県内全域
- 2 発生時期 出穂期以降
- 3 発生程度 多
- 4 注意報発表の根拠
 - (1) 8月中旬に実施した巡回調査によると、早植え水稻での葉いもちの発病株率は40.4%（平成12.9%）、発病度は10.5（平成3.2）で平成比多の発生であった（図1）。
 - (2) 普通期水稻での葉いもちの発病株率は12.8%（平成3.5%）、発病度は3.5（平成0.9）で平成比多の発生であった（図2）。
 - (3) 8月中旬からの日照不足により稲体はいもち病に罹病しやすい状態となっている。
 - (4) 福岡管区气象台が8月19日に発表した九州北部地方1か月予報によると8月21日以降の降水量は平年に比べ多い予想であり、いもち病の発生に好適な条件となる。
- 5 防除対策
 - (1) 穂いもちは発生後の防除が困難であるため、予防防除を徹底する。
 - (2) ほ場をよく観察し、葉いもちが上位葉に発生している場合は速やかに防除を行う。
 - (3) これから出穂する水稻では、穂ばらみ期～穂揃い期に粉剤や水和剤を散布する。
なお、粒剤は出穂前に散布するが、薬剤の種類によって使用時期が異なるので確認して使用する。

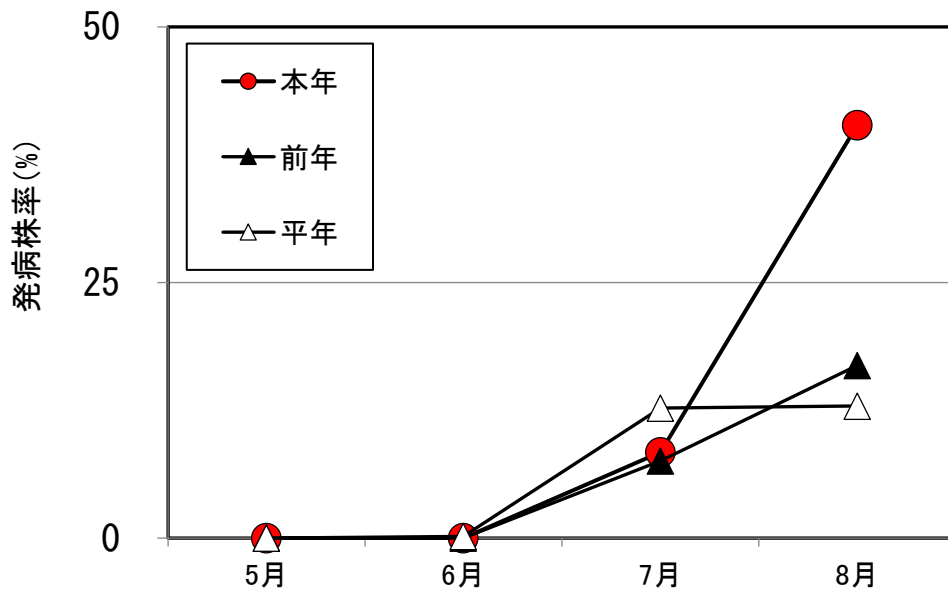


図1 早植え水稻葉いもち発病株率の推移

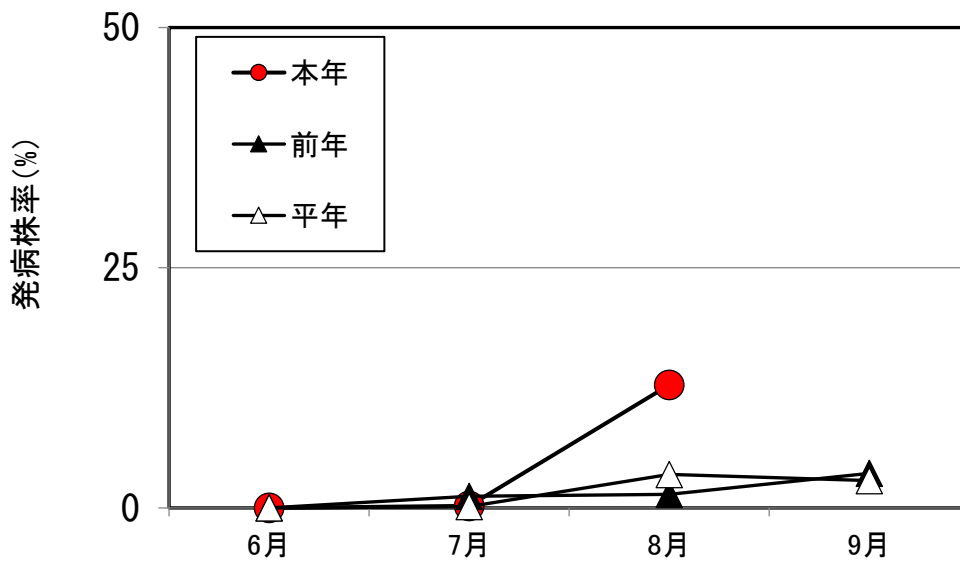


図2 普通期水稻葉いもち発病株率の推移

熊本県病害虫防除所
 (熊本県農業研究センター 生産環境研究所
 予察指導室)
 担当：丹、作本 TEL 096-248-6490

各関係機関長 様

熊本県病害虫防除所長

病害虫発生予察注意報について(送付)

このことについて、令和3年度(2021年度)病害虫発生予察注意報第3号を公表しましたので、送付します。

注 意 報

令和3年度(2021年度)病害虫発生予察注意報第3号

農作物名 トマト
病害虫名 トマト黄化葉巻病
病原ウイルス トマト黄化葉巻ウイルス
Tomato yellow leaf curl virus (以下、TYLCVとする)
媒介昆虫 タバココナジラミ

- 1 発生地域 県内の冬春トマト栽培地域
- 2 発生時期 10月下旬以降
- 3 発生程度 平年比 多

4 注意報発表の根拠

- (1) 県内の冬春トマト栽培ほ場で実施した10月の巡回調査では、トマト黄化葉巻病の発病株率3.9%(平年0.8%)で平年比多の発生であった。なお、感受性品種では発病株率0.9%(平年0.2%)で平年比やや多、抵抗性品種では発病株率8.0%(平年1.8%)で平年比多の発生であった(図1、2、3)。
- (2) 県内の冬春トマト栽培ほ場で実施した10月の巡回調査では、タバココナジラミの寄生葉率7.7%(平年0.9%)、寄生頭数1.0頭/10株(平年0.1頭/10株)で平年比多の発生であった(図4)。
- (3) 9月に実施したタバココナジラミのTYLCV保毒虫率調査では、保毒虫率は熊本市で1.7%(平年8.4%)で平年に比べて低く、玉名市で6.7%(平年4.5%)で平年に比べてやや高く、八代市で8.3%(平年4.2%)で平年に比べて高かった(表1)。
- (4) 今後、ほ場内外のタバココナジラミの発生量増加に伴い、トマト黄化葉巻病の被害がさらに拡大することが懸念される。

5 防除対策

トマト黄化葉巻病を発症したトマトを治療する方法はない。トマト黄化葉巻病の病原ウイルスであるTYLCVの感染を防ぐには媒介昆虫であるタバココナジラミの防除が重要であるため、以下の対策を徹底する。

- (1) ハウスの開口部(サイド、谷部など)には目合い0.4mm以下の防虫ネットを設置する。すでに設置しているハウスについては、被覆ビニルや防虫ネットに破損や隙間が無いか点検し、必要に応じて補修する。
- (2) ハウス内に黄色粘着板を設置し、タバココナジラミの早期発見に努める。

(3) 野外から飛び込んだタバココナジラミをハウス内に定着させないため、10月下旬～11月中旬頃までは成虫を対象とした薬剤防除を行う。また、農薬の使用にあたっては、使用方法、使用時期、総使用回数等を厳守する。

なお、タバココナジラミは薬剤感受性が低下している場合があるため、薬剤の選定にあたっては令和3年(2021年)3月10日付発生予察技術情報第17号「タバココナジラミバイオタイプQ成虫の薬剤感受性検定の結果」を参考にする。

(4) ハウス内の発病株は感染源となる。見つけしだい直ちに抜き取り、ハウス外に持ち出し適切に処分する。

(5) 抵抗性品種でも、十分な抵抗性を発揮できずトマト黄化葉巻病を発病する場合があります。感受性品種と同様にタバココナジラミの防除を行う。

(6) ハウス周辺及び内部の雑草は、タバココナジラミの生息・増殖場所となる。栽培期間中は定期的に除草する。

(7) 野良生えトマトは重要な伝染源となるので、抜き取り土中に埋める等適切に処分する。

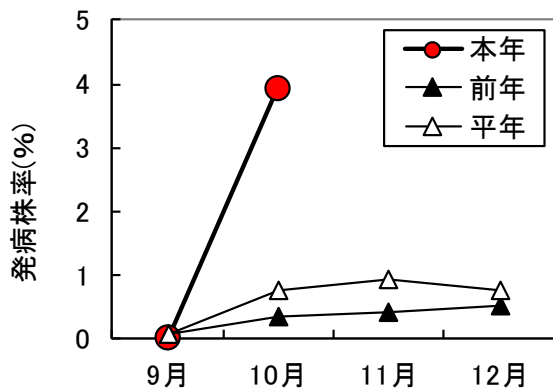


図1 黄化葉巻病の発病株率の推移
(冬春トマト: 7地点平均)

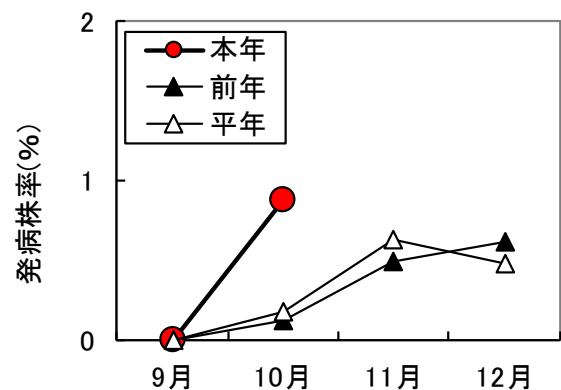


図2 黄化葉巻病の発病株率の推移
(冬春トマト: 感受性品種4地点平均)

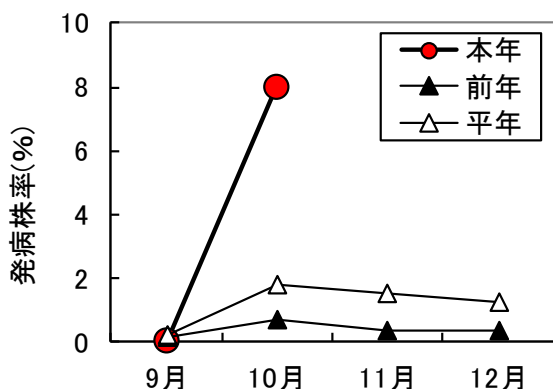


図3 黄化葉巻病の発病株率の推移
(冬春トマト: 抵抗性品種3地点平均)

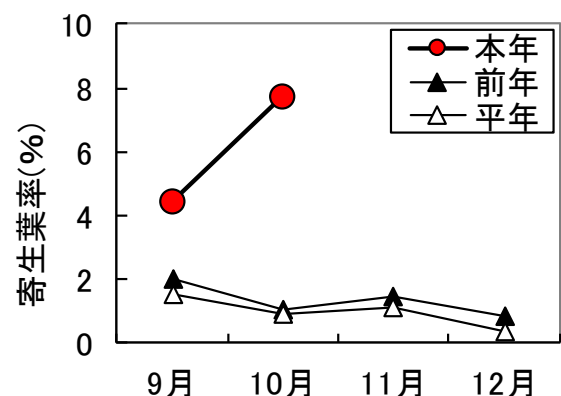


図4 コナジラミ類の寄生葉率の推移
(冬春トマト: 7地点平均)

表1 野外で採集したタバココナジラミ成虫のTYLCV保毒状況

地域	保毒虫率 (%)						
	本年	2020年	2019年	2018年	2017年	2016年	平年値
熊本市	1.7 (60)	3.3 (60)	6.7 (60)	5.0 (60)	15.0 (60)	6.7 (60)	8.4
玉名市	6.7 (60)	0.0 (60)	1.7 (60)	6.7 (60)	3.3 (60)	6.7 (60)	4.5
八代市	8.3 (60)	5.0 (60)	6.7 (45)	3.3 (60)	1.8 (56)	5.0 (20)	4.2
平均値	5.6	2.8	5.0	5.0	6.7	6.1	5.7

※1 黄色粘着板(20cm×10cm)を1地点あたり5～10枚設置し採集した。

※2 採集期間は熊本市9月2～24日、玉名市9月2～14日、八代市9月2～21日。
過去5か年の採集期間は9月上旬。

※3 ()内の数値は検定数。

※4 平年値は2016年から2020年の5か年平均とした。



写真1 トマト黄化葉巻病発病株



写真2 タバココナジラミ成虫

熊本県農業研究センター 生産環境研究所
予察指導室（病害虫防除所）
担当：中村、中井 TEL：096-248-6490

各関係機関長 様

熊本県病害虫防除所長

病害虫発生予察注意報について（送付）

このことについて、令和3年度（2021年度）病害虫発生予察注意報第4号を公表しましたので、送付します。

注 意 報

令和3年度（2021年度）病害虫発生予察注意報第4号

農作物名 イチゴ
病害虫名 アザミウマ類

- 1 発生地域 県内全域
- 2 発生時期 1月下旬以降
- 3 発生程度 平年比 多

4 注意報発表の根拠

(1) 昨年11月からアザミウマ類（主にヒラズハナアザミウマ及びミカンキイロアザミウマ）の発生が平年に比べて多い傾向にあり、1月中旬に実施した巡回調査においても寄生株率24.0%（平年7.9%）、寄生頭数5.9頭/10株（平年1.1頭/10株）で平年比多の発生であった（図1、2）。

(2) 例年2月中旬頃から気温が上昇傾向となることから、今後、本害虫の発生量が増加していくことが予想される。

特に、ハダニ類に対する天敵を利用しているほ場では、使用できる薬剤が限定される場合があるため、本害虫の発生量がさらに増加し、被害が拡大することが懸念される。

5 防除対策

本害虫は、イチゴの花や果実に寄生し、果実表面の加害により果実の外観品質等を低下させる（写真1、2）。発生が多くなり、ほ場内に様々な発育ステージが混在するようになると防除が困難になる^{*}ため、以下の防除対策を実施する。

※蛹は土中に潜んでいるため薬剤がかからず、十分な防除効果が得られない。

(1) 早期発見と発生状況の把握

ア 施設内に青色粘着板トラップを設置し、トラップへの誘殺の有無により早期発見と発生状況の確認を行う。

イ 開花中の花を白紙上で軽く叩くか、軽く息を吹きかけるなどを行い、花での寄生状況を確認する。

(2) 耕種的・物理的防除

ア 施設内及び周辺の雑草は重要な発生源となるので、雑草が開花する前に除草する。

イ 施設内に青色粘着板トラップを設置し、発生密度を低下させる。

(3) 薬剤防除

ア 多発生すると防除が困難になるため、発生初期から薬剤防除を徹底する。

イ 薬剤抵抗性の発達を防ぐため、系統の異なる薬剤のローテーション使用を行う。

ウ 訪花昆虫（ミツバチ等）への影響や天敵（カブリダニ類等）を放飼したほ場においては天敵への影響を考慮して、使用する薬剤を選定する。

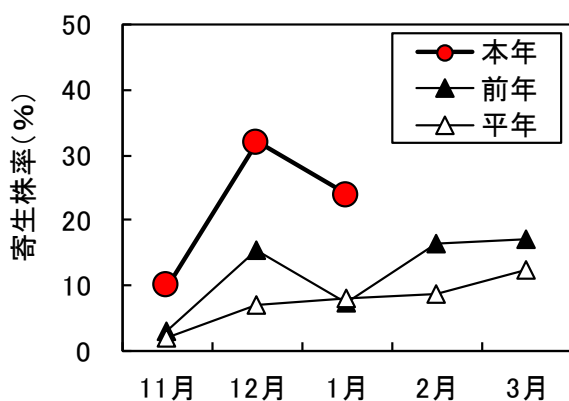


図1 アザミウマ類の寄生株率の推移(イチゴ)
(11-3月:本ぽ)

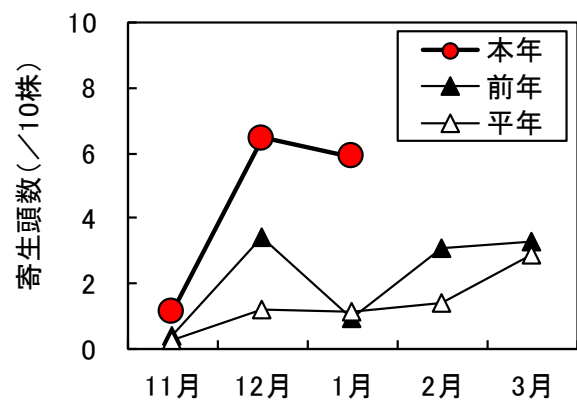


図2 アザミウマ類の寄生頭数の推移(イチゴ)
(11-3月:本ぽ)



写真1 イチゴ花に寄生するアザミウマ類
(体長1~2mm程度)

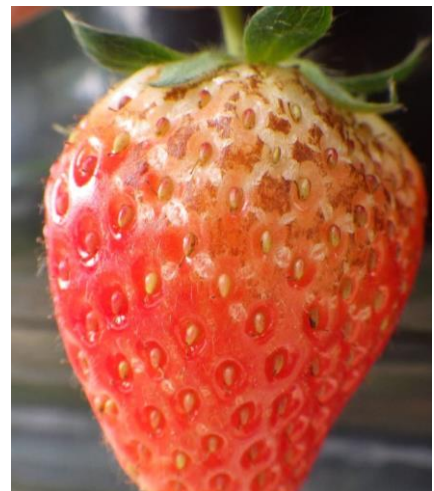


写真2 アザミウマ類による果実表面の被害

熊本県病害虫防除所
(農業研究センター生産環境研究所 予察指導室)
担当: 中村、中井 TEL: 096-248-6490

各関係機関長 様

熊本県病虫害防除所長

病虫害発生予察注意報について(送付)

このことについて、令和3年度(2021年度)病虫害発生予察注意報第5号を
発表しましたので、送付します。

注 意 報

令和3年度(2021年度)病虫害発生予察注意報第5号

農作物名 茶
病虫害名 カンザワハダニ

- 1 発生地域 県内全域
- 2 発生時期 3月中旬以降
- 3 発生程度 平年比 多

4 注意報発表の根拠

- (1) 本年3月上旬に実施した巡回調査では、寄生葉率11.5%(平年2.4%、前年2.5%)、
10葉当たり寄生頭数3.3頭(平年0.5頭、前年0.3頭)と、寄生葉率及び10葉当たり寄
生頭数ともに過去10年と比較して最も多かった(図1、2、3)。
- (2) 福岡管区气象台が3月17日に発表した九州北部地方1か月予報によると、向こう
1か月の気温及び降水量はともに平年並の予想であり、今後もカンザワハダニの増
殖に好適な条件が続くことが予想される。

5 防除対策

- (1) 茶園の発生状況を確認し、寄生葉率が10%を超えている園では速やかに防除を行う。
なお、多発すると密度抑制が難しくなるため、随時、発生状況を観察し防除する。
- (2) 被覆栽培を行う園では、ダニが増殖しやすくなるため、被覆前に発生状況をよく観
察し、防除を行う。
- (3) 薬剤散布の際には、すそ部及び樹冠内部の葉裏にもムラなく薬剤が行き渡るように
十分な量(400L/10a)を散布する。
- (4) 薬剤抵抗性の発達を防ぐため、系統の異なる薬剤のローテーション使用を行う。
- (5) 農薬を使用する際はラベルをよく確認し、農薬登録内容(使用回数や希釈倍数等)
を遵守して使用する。また、近隣のは場へのドリフトの危険性を確認し、天敵への影
響を最小限に抑えるため、選択性の高い農薬の使用を心掛ける。ミツバチや魚介類等、
周辺動植物や環境に影響が無いよう、飛散防止を徹底し、危害防止に努める。

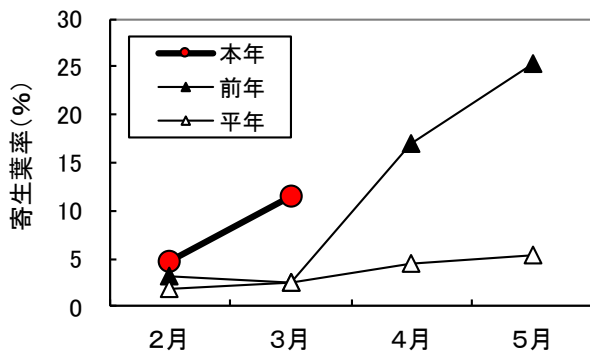


図1 カンザワハダニの寄生葉率の推移
※平年値は過去10か年平均

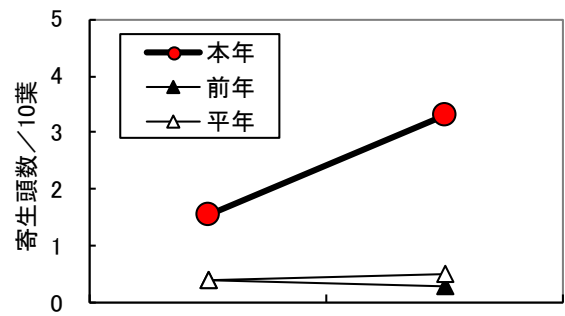


図2 カンザワハダニの寄生頭数の推移
※平年値は過去10か年平均

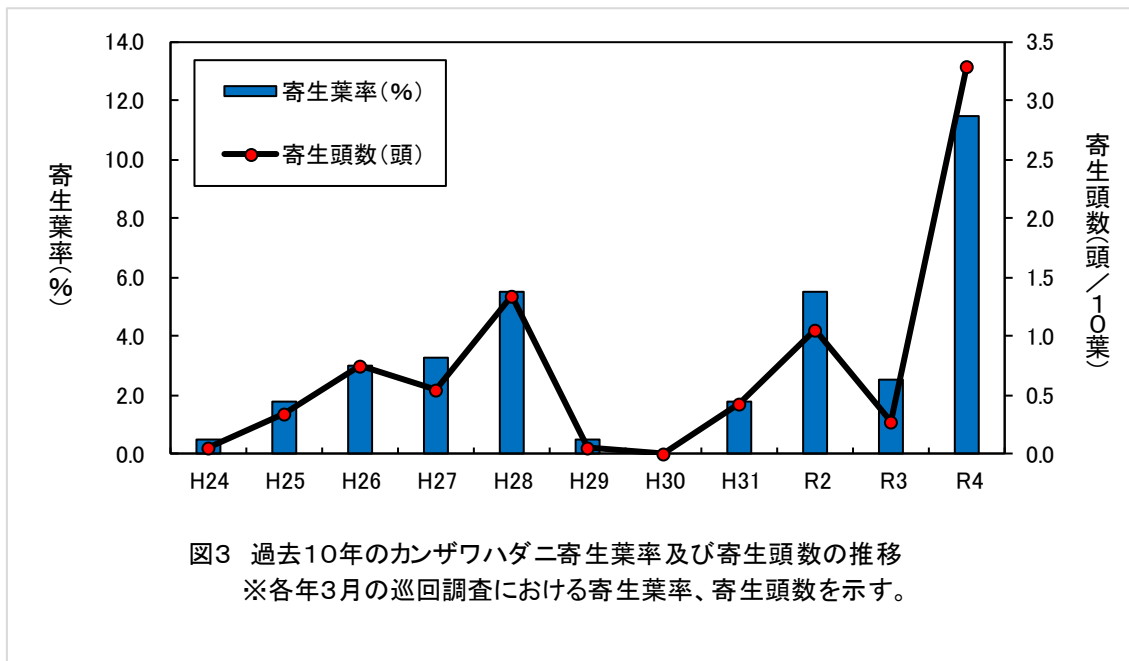


図3 過去10年のカンザワハダニ寄生葉率及び寄生頭数の推移
※各年3月の巡回調査における寄生葉率、寄生頭数を示す。



写真1 カンザワハダニ
(体長約 0.5mm)



写真2 一番茶の被害 (新葉の黄化・褐変)

熊本県病虫害防除所
(農業研究センター生産環境研究所 予察指導室)
担当：岡島、作本 TEL：096-248-6490

各関係機関長 様

熊本県病害虫防除所長

病害虫発生予察特殊報について（送付）
このことについて、発生予察特殊報第1号を発表しましたので送付します。

特 殊 報

令和3年度（2021年度）発生予察特殊報第1号

令和3年（2021年）10月27日

熊本県病害虫防除所長

- 1 病害虫名 *Stemphylium lycopersici* によるバレイショの病害
- 2 学 名 *Stemphylium lycopersici* (Enjoji) W.Yamamoto
(syn. *Stemphylium floridanum* C.I.Hannon & G.F.Weber)
- 3 発生作物 バレイショ（ナス科）
- 4 発生確認の経過
令和3年（2021年）3月、県内のバレイショ栽培ほ場において、複葉に、内部が淡褐色でやや陥没した、周囲が暗褐色の不定形斑紋が発生した株が広範囲に渡って多数確認された（図1）。現地ほ場から当該株を採取し、農林水産省門司植物防疫所に同定依頼した結果、*Stemphylium lycopersici* による病害であることが判明した。
- 5 国内の発生状況
本病原菌はトマト斑点病を引き起こす病原菌として知られているが、本病原菌によるバレイショでの病害の発生は日本国内ではまだ報告されていない。なお、中国では平成30年（2018年）に本病原菌によるバレイショでの病害の発生が報告されている。
- 6 病徴
はじめ、葉に、周囲が黄色に縁どられた褐色の斑点が生じる。その後、斑点は直径2～10mmほどの病斑に進展し、葉の病斑部は壊死する。
- 7 防除対策
(1) 現在、バレイショの本病害に対する登録農薬はないため耕種的防除を行う。
(2) り病葉やり病残さは伝染源となる恐れがあるため、ほ場外へ持ち出し適切に処分する。
(3) ほ場の排水を良くし、ほ場内の多湿を避ける。



図1 複葉に生じた褐色病斑



図2 *S. lycopersici* の分生子

※図2の画像は農林水産省門司植物防疫所より提供

問い合わせ先

熊本県病害虫防除所
(熊本県農業研究センター 生産環境研究所
予察指導室) 担当: 中村、中井
TEL 096-248-6490 FAX 096-248-6493

各関係機関長 様

熊本県病害虫防除所長

病害虫発生予察特殊報について（送付）
このことについて、発生予察特殊報第2号を発表しましたので送付します。

特 殊 報

令和3年度（2021年度）発生予察特殊報第2号

令和3年（2021年）11月12日

熊本県病害虫防除所長

- 1 病害虫名 トマトキバガ（チョウ目キバガ科）
- 2 学 名 *Tuta absoluta* (Meyrick)
- 3 発生作物 トマト（ナス科）
- 4 発生確認の経過

令和3年（2021年）10月、県内の一部のトマト施設栽培ほ場で、葉の薄皮化及び白～褐変症状と果実の穿孔症状が発生し、症状が発生した葉や果実において乳白色～緑白色でやや桃色がかったイモムシ型の幼虫の寄生が確認された（図1～4）。また、当該ほ場内では、暗色で細長い小さなガの成虫が確認された（図5）。当該ほ場から上記の幼虫及び成虫を採集し、病害虫防除所で確認したところ、トマトキバガが疑われたため、農林水産省門司植物防疫所に同定を依頼し、その結果、トマトキバガであることが判明した。

- 5 国内外の発生状況

本種の発生は日本国内ではまだ報告されていない。本種は南アメリカ原産であるが、平成18年（2006年）にスペインへの侵入が確認され、ヨーロッパ、アフリカ、中央アメリカ、西アジア、アラビア半島、インド、ネパール、東南アジアに分布を拡大し、令和3年5月までに、新たに台湾、中国、中央アジア諸国などでの発生が確認されている。

- 6 形態及び生態等の特徴

- (1) 形態

成虫は翅を閉じた静止時で体長5～7mm（前翅長5mm弱、開張^{*1}約10mm）。前翅は灰褐色で黒色斑が散在する。後翅は一様に淡黒褐色である（図5）。

幼虫は終齢で体長約8mmに達する。体色は淡緑白色～淡赤白色で、前胸の背面後縁に狭い黒色横帯を有する（図4）。

※1 翅を左右に広げたときの両方の翅の先端から先端までの長さ

- (2) 生態

ア 1年に複数回の世代が発生する多化性で、繁殖能力が高い。発生する世代数は環境条件によって異なり、南米では年に10～12世代発生することが報告されている。

イ 卵から成虫になるまでの期間は24～38日ほどで、気温が低い時期はさらに期間が延びる。また、発育下限温度は8℃と推定されている。

ウ 成虫は夜行性で、日中は葉の間に隠れていることが多い。

エ 雌は一生の間に平均で約260個の卵を産み、寄主植物の葉の裏面などに卵を産み付ける。

オ 幼虫では1齢から4齢までの発育ステージがあり、4齢幼虫は土中や葉の表面で蛹化する。

(3) 被害

トマトにおいて、葉では、内部に幼虫が潜り込んで食害し、葉肉内に孔道が形成される。食害部分は表面だけが残って薄皮状になり、白～褐変した外観となる。果実では、幼虫が穿孔侵入して内部組織を食害するため、果実表面に数mm程度の穿孔痕が生じるとともに、食害部分の腐敗が生じ、果実品質が著しく低下する。

(4) 寄主植物

タバコ、トマト、ナス、バレイショなどのナス科植物が主要な寄主植物であるが、マメ科のインゲンマメも寄主植物として確認されている。

(5) その他

海外では、ピレスロイド系やジアミド系などの殺虫剤に対する抵抗性を獲得した個体群の発生が報告されている。

7 防除対策

(1) 現在、トマトキバガに対する登録農薬は無いが、植物防疫法第29条第1項に基づく措置として、別紙に記載された農薬による防除を行う。なお、薬剤防除にあたっては、薬剤抵抗性の発達を防ぐため、系統の異なる薬剤のローテーション使用を行う。

(2) ほ場内をよく見回り、見つけ次第捕殺する。

(3) 被害株や被害果は次世代の発生源となり得るので、ほ場内から除去する。なお、除去した被害株などを野外に放置すると、それが発生源となり、本種が周囲に拡散する恐れがあるため、除去した被害株などは、土中に深く埋設するか、ビニール袋などに入れ、寄生している虫がすべて死滅するまで一定期間密閉した上で適切に処分する。



図1 トマトキバガ幼虫の食害による被害葉



図2 トマトキバガ幼虫の食害による被害果



図3 果実内部に寄生したトマトキバガ幼虫



前胸背面後縁の黒色横帯

図4 トマトキバガ幼虫



図5 トマトキバガ成虫（静止時）

熊本県病虫害防除所
（熊本県農業研究センター 生産環境研究所
予察指導室） 担当：中村、中井
TEL 096-248-6490 FAX 096-248-6493

各関係機関長 様

熊本県病害虫防除所長

病害虫発生予察特殊報について(送付)
このことについて、発生予察特殊報第3号を発表しましたので送付します。

特 殊 報

令和3年度(2021年度)発生予察特殊報第3号

令和4年(2022年)3月23日

熊本県病害虫防除所長

- 1 病害虫名 タバコノミハムシ(コウチュウ目ハムシ科)
- 2 学 名 *Epitrix hirtipennis* (Melsheimer)
- 3 発生作物 ホオズキ(ナス科)
- 4 発生確認の経過

令和3年(2021年)7月、県内のホオズキ栽培ほ場において、葉に数mmほどの円形の穴が複数生じる症状と小さなハムシ成虫の寄生が確認された(図1、2)。当該ほ場から上記のハムシ成虫を採集し、病害虫防除所で確認したところ、タバコノミハムシであることが疑われたため、農林水産省門司植物防疫所に同定を依頼し、その結果、タバコノミハムシであることが判明した。

- 5 国内外の発生状況

国内では、平成23年(2011年)に群馬県で初めて本種の発生が確認され、その後、九州から北陸、関東に至る各地で本種の発生が報告されている。

本種は中央～北アメリカ原産の侵入害虫で、アメリカ合衆国ではタバコの重要害虫とされている。

- 6 形態及び生態等の特徴

- (1) 形態

成虫の体長は1.5～2.5mmで、長楕円形でやや扁平であり、密な短刺毛に覆われ、後脚の腿節が顕著に肥大している。体色はやや光沢のある赤褐色で、上翅には不明瞭な黒斑がある(図3)。

- (2) 生態

本種はホオズキ等のナス科植物を寄主とし、成虫は葉を、幼虫は根を食害する。卵は地表に産み付けられ、ふ化した幼虫は地中で根を食害した後、地表近くで蛹化する。また、成虫は刺激を受けると、肥大化した後脚を用いて活発に跳躍する。

- (3) 被害

成虫は葉の表皮を残して食害、もしくは葉を貫通して食害する。このため、直径1～2mm程度の白い斑点状の食害痕や円形の穴が多数観察され、葉が生長すると食害痕が円形の大きな穴となる。

(4) 寄主植物

ナス科植物を寄主とし、国内ではホオズキ、ナス、トマト、パレイショといった農作物での被害が報告されている。

7 防除対策

(1) 令和4年3月23日現在、ホオズキにおいて、本種に対する登録農薬は無い。

(2) ほ場内をよく見回り、見つけ次第捕殺する。

(3) 本種の発生が確認されたほ場の栽培終了時には、付近のナス科作物に本種が移動しないように速やかに片づけを行う。



図1 ホオズキ葉におけるタバコノミハムシ成虫による円形の食害痕



図2 ホオズキに寄生するタバコノミ
ハムシ成虫



図3 タバコノミハムシ成虫

※図3の画像は大分県農林水産研究指導センター提供

熊本県病虫害防除所
(熊本県農業研究センター 生産環境研究所
予察指導室) 担当：中村、中井
TEL 096-248-6490 FAX 096-248-6493

各関係機関長 様

熊本県病虫害防除所長

ヒメトビウンカの薬剤感受性検定結果(技術情報第1号)について
このことについて、下記のとおり取りまとめましたので、業務の参考に御活用ください。

記

ヒメトビウンカのジノテフラン、ピメトロジンに対する感受性の低下は認められていない。
なお、イミダクロプリド及びエトフェンプロックスに対する感受性は低い状態が継続している。

1 目的

ヒメトビウンカはイネ縞葉枯ウイルスを媒介するため、イネ縞葉枯病の対策には本虫の防除が必要である。しかし、2008年に中国からイミダクロプリド低感受性個体群が飛来し、主要なウンカ剤に対して感受性の低い状態が続いている。

そこで、各種薬剤に対する感受性検定を実施することで、薬剤感受性の変化の実態を把握し、効率的な防除対策の資料とする。

2 試験方法

(1) 供試個体群

令和2年(2020年)5月に合志市及び氷川町の水田(草種:小麦、イタリアンライグラス)から採集し、その後、恒温室内で数世代飼育・増殖した長翅型雌成虫を検定に用いた。

(2) 供試薬剤^{注1)}

系統名 (IRACコード)	成分名	商品名	県内での 主な使用法
ネオニコチノイド系(4A)	イミダクロプリド	アドマイヤー	育苗箱施薬剤
	ジノテフラン	スタークル/アルバリン	育苗箱施薬剤、 本田防除剤
フェニルピラゾール系(2B)	フィプロニル	プリンス	育苗箱施薬剤
ピレスロイド系(3A)	エトフェンプロックス	トレボン	本田防除剤
ピリジン アゾメチン誘導體 (9B)	ピメトロジン	チェス	育苗箱施薬剤
メソイオン系(4E)	トリフルメゾピリム	ゼクサロン	育苗箱施薬剤

注1) 薬剤は全て製造メーカーから提供された原体を使用した。

(3) 検定方法

①微量局所施用法(ピメトロジン以外)

炭酸ガスで麻酔した供試虫に、1頭あたり0.08 μ lの薬液をマイクロアプリーターで処理し、24時間および48時間後に死虫(苦悶虫を含む)を計数した。1薬剤あ

たり5濃度を設定し、1濃度につき3反復、1反復に約15頭を供試した。各濃度の死虫率をもとに、プロビット法を用いてLD₅₀値（半数致死量）を算出した。

②微量局所施用による次世代幼虫抑制（ピメトロジン）

炭酸ガスで麻酔した羽化3～4日以内の長翅型雌成虫に、1頭あたり0.08 μ lの薬液をマイクロアプリーケーターで処理し、無処理の雄成虫と併せてイネ芽出し苗に放飼したのち、7日後にすべての成虫を除去した。処理15日後に次世代幼虫数を計数した。1薬剤あたり6濃度を設定し、1濃度につき4反復、1反復に雌5頭、雄3頭を用いた。各濃度の薬量とふ化幼虫数との関係を直線回帰し、平均ふ化幼虫数の50%が出現する薬量をED₅₀（半数効果薬量）として算出した。

3 結果（表1）

ア イミダクロプリドのLD₅₀値は、2個体群ともに2008年以降の数値と同水準であり、感受性の低い状態が続いている。

イ ジノテフランのLD₅₀値は、2個体群ともにこれまでの数値と同水準であり、感受性の低下は認められなかった。

ウ フィプロニルのLD₅₀値は、合志市においてはこれまでの数値と同水準であり、感受性の低い状態が続いているが氷川町においては回復傾向が見られた。

エ エトフェンプロックスのLD₅₀値は、2個体群ともにこれまでの数値と同水準であり、感受性の低い状態が続いている。

オ ピメトロジンのED₅₀値は、2個体群ともに2018年と同水準であり、感受性の低下は認められなかった。

カ トリフルメゾピリムのLD₅₀値は、2個体群ともに感受性系統と同水準だった。

4 防除上の留意点

イネウンカ類の中ではトビイロウンカが最も重要であるので、箱施薬剤にはトビイロウンカに対して効果の高い薬剤を選択することを基本とするがイネ縞葉枯病が問題となる地域ではヒメトビウンカの防除も考慮した薬剤を選択する。



図1 ヒメトビウンカ成虫(雌、雄)



図2 イネ縞葉枯病が発病した稲株

熊本県病害虫防除所
(熊本県農業研究センター 生産環境研究所
予察指導室)
担当：丹、作本 TEL 096-248-6490

表1 ヒメトビウンカに対する各種薬剤のLD₅₀値またはED₅₀値

採集年	採集地	LD ₅₀ (μg/g)またはED ₅₀ (μg/g) ¹⁾					
		イミダクロプリド	ジノテフラン	フィプロニル	エトフェンプロックス	ピメトロジン	トリフルメゾピリム
1992	熊本県 ²⁾	0.61	- ³⁾	-	2.70		
2006	合志市 ⁴⁾	0.98	0.87	1.27	10.64		
	氷川町	1.88	0.52	0.13	9.08		
2007	合志市	1.60	0.58	0.68	23.45		
	氷川町	2.09	1.17	0.82	18.04		
2008	熊本市 ⁴⁾	8.72	0.90	0.32	4.60		
	合志市	5.40	4.10	-	8.50		
2009	熊本市	3.90	0.40	2.00	-		
	合志市	4.80	-	1.60	20.90		
	氷川町	83.50	-	0.80	-		
2010	熊本市	6.31	1.13	5.71	-		
	合志市	9.56	1.09	3.93	44.28		
2012	熊本市	6.19	0.42	11.15	46.89		
	合志市	0.57	0.76	3.23	24.37		
	氷川町	3.38	1.07	3.13	27.81		
2014	熊本市	3.13	1.48	3.52	12.50		
	合志市	7.54	3.00	1.67	20.25		
	氷川町	7.74	0.85	5.84	9.31		
2016	合志市	8.12	0.46	2.18 ⁵⁾	11.30		
	氷川町	11.54	0.79	6.07 ⁵⁾	34.61		
2018	合志市	2.46	0.35	1.15	8.74	0.04	
	氷川町	9.46	0.73	1.82	6.70	0.04	
2020	合志市	8.40	0.24	1.68	17.75	0.08	0.74
	氷川町	6.86	1.05	0.87	12.59	0.06	0.75
	感受性 系統 ⁶⁾	-	-	-	-	-	0.37

1) LD₅₀: イミダクロプリド、ジノテフラン、エトフェンプロックス (処理 24 時間後)

フィプロニル、トリフルメゾピリム (処理 48 時間後)

ED₅₀: ピメトロジン (処理 15 日後、次世代幼虫数を用いて算出)

2) S. Endo and M. Tsurumachi (2000) Journal of Pesticide Science 25 (4) :395-397. から引用した。

3) 「-」は未検定。

4) 熊本市は熊本市富合町、合志市は農研センター。

5) プロビット法において有意性が認められなかったため、参考値。

6) 2005 年に熊本で採集し室内で累代飼育した個体群を感受性系統とした。

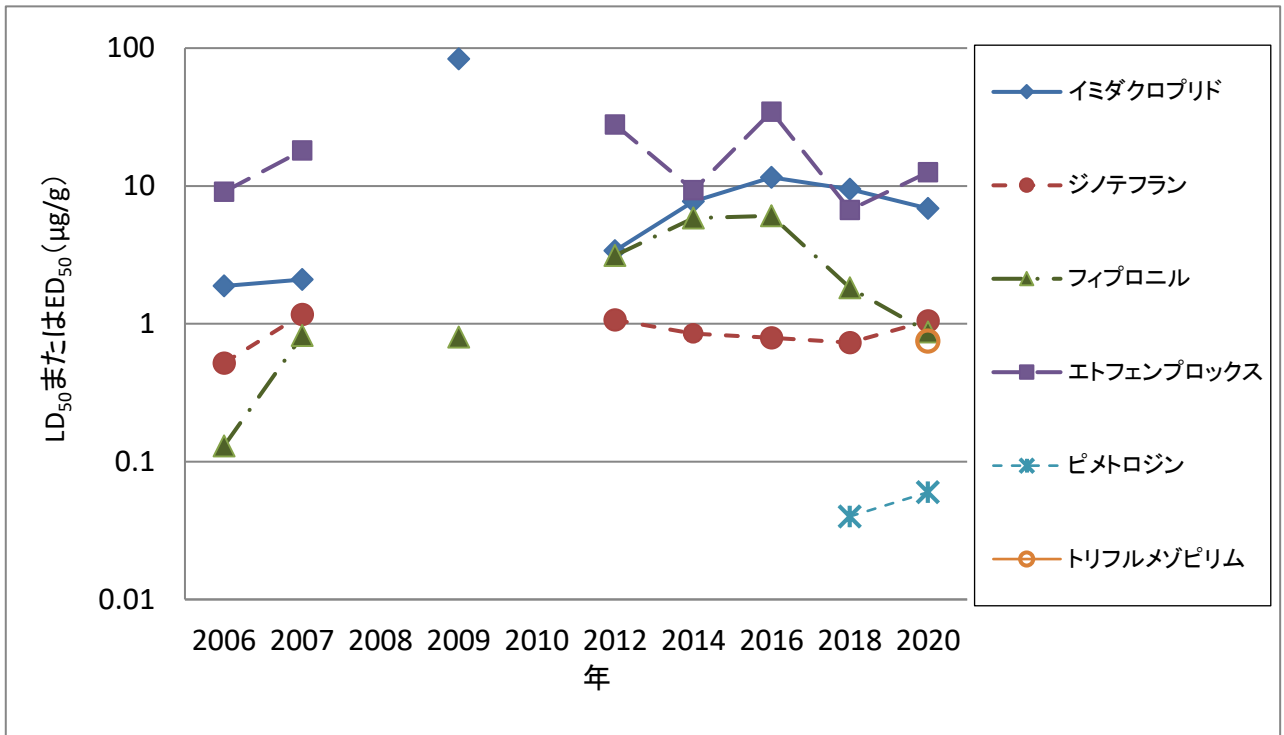
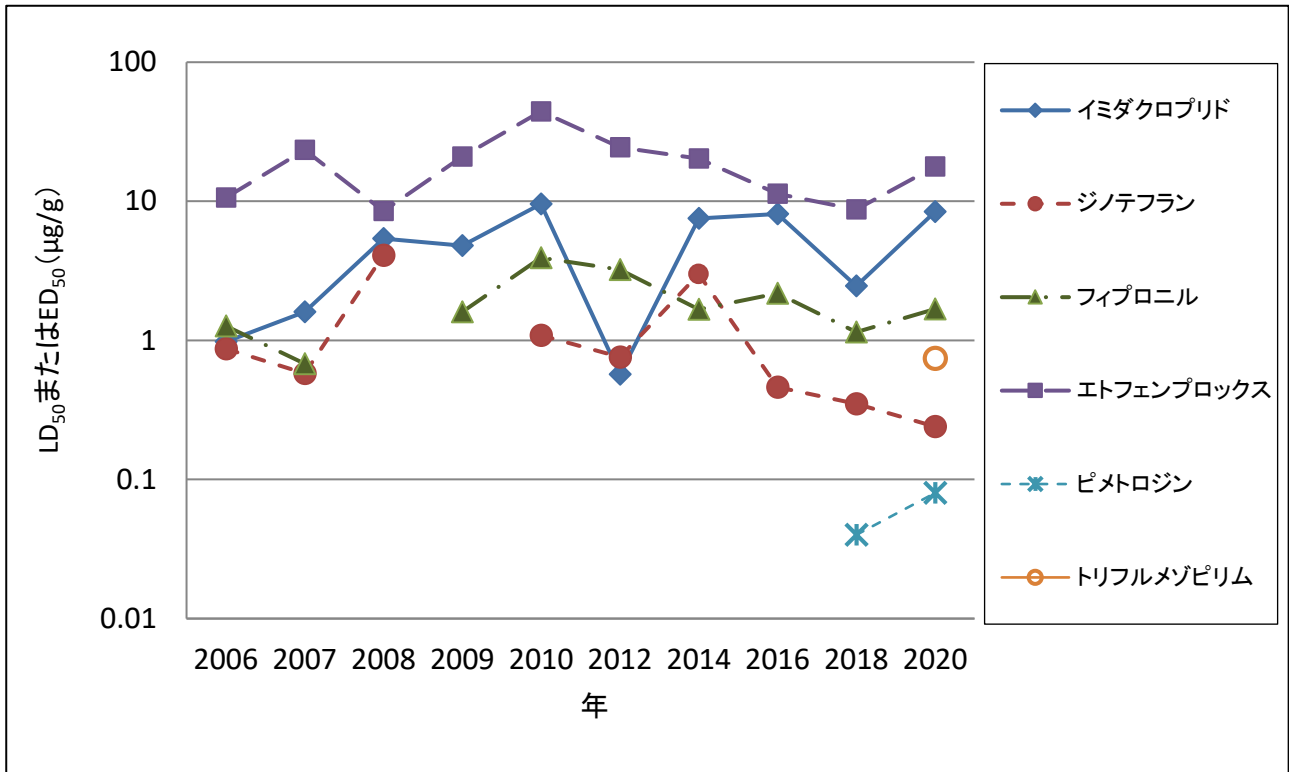


図3 ヒメトビウンカに対する各種薬剤のLD₅₀値またはED₅₀値の推移
(上：合志市、下：氷川町)

各関係機関長 様

熊本県病害虫防除所長

茶における害虫の発生状況と防除対策(技術情報第2号)について(送付)
このことについて、下記のとおり取りまとめましたので業務の参考としてご活用ください。

記

4月の巡回調査においてカンザワハダニ、チャノミドリヒメヨコバイ、ツマグロアオカスミカメ、チャハマキの発生が平年に比べて増加しています。
今後気温の上昇に伴い、さらに増加することが予想されますので、茶園での発生状況に注意してください。

1 発生状況

- (1) 4月の巡回調査におけるカンザワハダニの発生は、寄生葉率が17.0%(平年3.0%)で平年比多の発生であった(図1)。
- (2) 4月の巡回調査におけるチャノミドリヒメヨコバイの発生は、被害芽数が2.6/m²(平年0.2/m²)で平年比やや多の発生であった(図2)。
- (3) 4月の巡回調査におけるツマグロアオカスミカメの発生は、被害芽数が2.0/m²(平年0.7/m²)で平年比やや多の発生であった(図3)。
- (4) 4月の巡回調査におけるチャハマキの発生は、被害芽数が3.0/m²(平年0.1/m²)で平年比やや多の発生であった(図4)。
- (5) 4月の巡回調査におけるクワシロカイガラムシの発生は、寄生株率が6.9%(平年5.6%)で平年並の発生であった。
- (6) 福岡管区气象台が4月29日に発表した九州北部地方1か月予報によると、気温は平年より高いもしくは平年並であり、チャにおけるカンザワハダニ及びチャノミドリヒメヨコバイの発生に好適な条件が続くと考えられる。

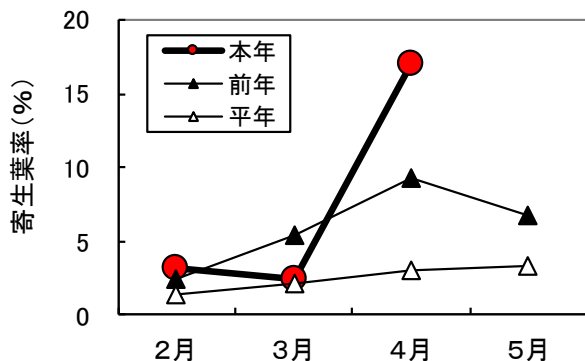


図1 カンザワハダニ寄生葉率の推移

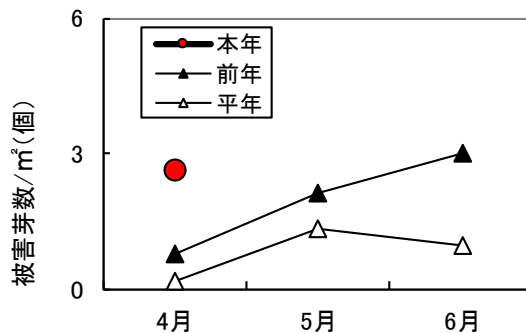


図2 チャノミドリヒメヨコバイ被害芽数の推移

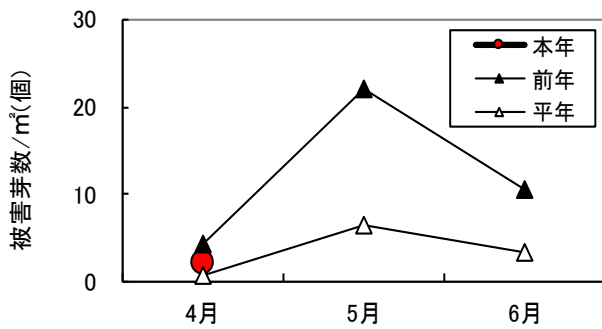


図3 ツマグロアオカスミメ被害芽数の推移

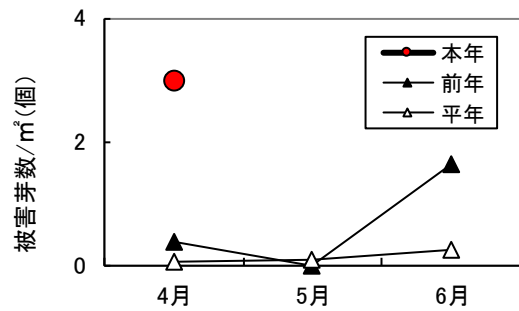


図4 チャハマキ寄生葉率の推移

2 防除対策

- (1) カンザワハダニは通常、二番茶生育初期から発生が多くなる。多発すると密度抑制が困難となるため、一番茶摘採後に発生状況を確認のうえ、低密度時からの防除に努める。

薬剤散布の際には、すそ部及び樹冠内部の葉裏にも薬剤が行き渡るように十分な量(10aあたり400リットル)を散布する。

- (2) 他の害虫についても茶園を見回り、必要に応じてそれぞれの防除時期に防除を行う。
 (3) 薬剤抵抗性の発達を防ぐため、系統の異なる薬剤のローテーション使用を行う。
 (4) 農薬を使用する際は、使用基準(使用回数や希釈倍数等)を遵守し、近隣のは場へのドリフトの危険性を確認する。

また、天敵への影響を最小限に抑えるため、選択性の高い農薬の使用を心掛け、ミツバチや魚介類等、周辺動植物や環境に影響が無いよう、飛散防止を徹底し、危害防止に努める。

熊本県農業研究センター
 生産環境研究所 予察指導室
 (病虫害防除所)
 担当：岡島、作本 TEL : 096-248-6490

各関係機関長様

熊本県病害虫防除所長

水稻海外飛来性害虫の飛来状況(技術情報第3号)について(送付)

このことについて、水稻飛来性害虫(ウンカ類、コブノメイガ)の飛来状況を下記のとおりまとめましたので、業務の参考に御活用ください。

記

トビイロウンカの初飛来が7月10日、コブノメイガの初飛来が6月29日に確認されました。

現在までのトビイロウンカの飛来量は平年より少ないものの、前年同様セジロウンカの飛来量が少なく本種の増殖が高まる恐れがあるので、ほ場での発生状況には注意してください。

1 飛来および発生状況

(1) 飛来状況

- ① 合志市に設置した予察灯で、7月10日にトビイロウンカが初めて誘殺された。セジロウンカは5月16日に初めて誘殺を確認し、その後も断続的に誘殺された。コブノメイガは合志市に設置したフェロモントラップで6月29日に初めて誘殺され、その後も断続的に誘殺された(表1)。
- ② 6月第3半旬から7月第2半旬の1カ月における予察灯での累積誘殺数はトビイロウンカが2頭(平年70.3頭、前年630頭)で平年比少、セジロウンカは142頭(平年252.6頭、前年1029頭)で平年比やや少、コブノメイガのフェロモントラップでの累積誘殺数は3頭(平年91.5頭、前年567頭)で平年比少であった。

(2) 県内の発生状況

- ① 6月上中旬に実施した阿蘇、上益城、球磨、天草地域における巡回調査では(早期4月移植、早植え5月移植、地点数16)、トビイロウンカ(成虫及び幼虫)は確認されず(1株当たり頭数:平年0.0頭、前年0.0頭)平年並、セジロウンカは0.3頭/株(平年0.1頭、前年0.3頭)で平年並であった。また、コブノメイガも確認されず(1株当たり葉巻数:平年0.0葉、前年0.0葉)平年並であった。
- ② 合志市に設置した無防除水田(5月14日移植)では、6月1日から7月1日までの間トビイロウンカ(成虫及び幼虫)は確認されておらず(1株当たり累積頭数:前年0.3頭)前年比やや少、セジロウンカは0.8頭/株(前年30.8頭)で前年比少であった。

2 防除対策について

- (1) トビイロウンカの防除適期を、初飛来を確認した7月10日を起点に算出した(表2)。
- (2) トビイロウンカの飛来量及び増殖量は地域やほ場、使用した箱施薬剤の種類で異なる。ほ場を観察し、要防除水準(表3)を超える場合は防除を行う。
- (3) コブノメイガの適期防除を飛来状況から、初飛来を確認した6月29日を起点に算出した(表4)。コブノメイガの防除適期は粒剤が発蛾最盛期、粉剤、液剤は若齢幼虫期(発蛾最盛期の1週間後)である。水田における発生状況を確認し、要防除水準(第1世代幼虫による被害株率が20%以上)を超える場合は防除を行う。
- (4) 今後の飛来状況や最新の防除適期について、防除所のホームページで確認し、適期防除に努める。

※今後の飛来状況、防除適期や対策については防除所のホームページ(<http://www.jppn.ne.jp/kumamoto/>)に掲載します。

表1 ネットトラップ・予察灯、フェロモントラップにおける水稻海外飛来性害虫の誘殺状況

調査日	予察灯(60W 白熱灯)		ネットトラップ		コートラップ(フェロモン)
	合志市		合志市		合志市
	セジロウンカ	トビイロウンカ	セジロウンカ	トビイロウンカ	コブノメイガ
6/1	0	0	0	0	0
6/2	0	0	0	0	0
6/3	0	0	0	0	0
6/4	0	0	1	0	0
6/5	0	0			
6/6	0	0	0	0	0
6/7	1	0			
6/8	0	0	0	0	0
6/9	2	0	0	0	0
6/10	1	0	0	0	0
6/11	0	0	0	0	0
6/12	0	0			
6/13	0	0	0	0	0
6/14	0	0			
6/15	0	0	0	0	0
6/16	0	0			
6/17	0	0	0	0	0
6/18	0	0			
6/19	1	0	0	0	0
6/20	0	0			
6/21	0	0			
6/22	0	0	0	0	0
6/23	0	0	0	0	0
6/24	0	0	0	0	0
6/25	1	0	0	0	0
6/26	0	0			
6/27	0	0	0	0	0
6/28	0	0			
6/29	0	0	0	0	1
6/30	0	0	0	0	0
7/1	0	0	0	0	1
7/2	0	0	0	0	0
7/3	1	0			
7/4	17	0	1	0	1
7/5	2	0			
7/6	0	0	0	0	0
7/7	0	0	0	0	0
7/8	0	0	1	0	0
7/9	13	0	8	0	
7/10	107	2			6
7/11	64	0	3	0	
7/12	150	0			
合計	360	2	14	0	9

表2 予想されるトビイロウンカの防除適期
(7月10日飛来)

地点	防除適期 (第一世代幼虫)	防除適期 (第二世代幼虫)
熊本	7月27～8月7日	8月24～9月4日
三角	7月28～8月8日	8月26日～9月7日
岱明	7月26日～8月7日	8月24日～9月4日
鹿北	7月29日～8月10日	8月30日～9月12日
菊池	7月28日～8月8日	8月25日～9月7日
阿蘇乙姫	8月1日～14日	9月7日～24日
甲佐	7月28日～8月8日	8月26日～9月7日
八代	7月28日～8月8日	8月26日～9月7日
水俣	7月28日～8月8日	8月26日～9月7日
人吉	7月30日～8月10日	8月29日～9月10日
本渡	7月28日～8月8日	8月26日～9月7日

注1) 7月10日を起点として、各地点のアメダスデータ平均気温(7月12日までは今年のデータ、7月13日以降は平年値)をもとに、有効積算で今後の発育ステージを予測した。

注2) 有効積算は下記表の条件で行った。

ステージ	有効積算温度(日度)	発育0点(℃)
成虫	125	12
卵	135	11.4
幼虫	250	6.5

表3 トビイロウンカの発生時期別要防除水準

発生時期	要防除水準(成幼虫)
7月中旬～8月上旬	20頭/100株
8月中旬～8月下旬	100頭/100株

表4 予想されるコブノメイガの発蛾最盛期^{注)}
(6月29日飛来)

地点	第一世代発蛾最盛期 (第一世代成虫期)
熊本	8月3～6日
三角	8月4～7日
岱明	8月3～6日
鹿北	8月5～8日
菊池	8月4～7日
阿蘇乙姫	8月13日～17日
甲佐	8月4～7日
八代	8月3～6日
水俣	8月4～8日
人吉	8月4～7日
本渡	8月4～7日

注1) 6月29日を起点として、各地点のアメダスデータ平均気温(7月12日までは今年のデータ、7月13日以降は平年値)をもとに、有効積算で今後の発育ステージを予測した。

注2) 有効積算は下記表の条件で行った。

ステージ	有効積算温度(日度)	発育0点(°C)
成虫	50	13
卵	50	13
幼虫	250	12.5
さなぎ	90	14.2

本田防除剤の散布適期は、粒剤が発蛾最盛期、粉剤・液剤は若齢幼虫期(発蛾最盛期1週間後)である。

熊本県病虫害防除所
(熊本県農業研究センター 生産環境研究所
予察指導室)
担当: 丹・作本 TEL 096-248-6490

各関係機関長 様

熊本県病害虫防除所長

ツマジロクサヨトウの発生状況等（技術情報第4号）について（送付）
このことについて、下記のとおり取りまとめましたので、業務の参考に御活用ください。
記

ツマジロクサヨトウの本年7月のフェロモントラップ誘殺数は前年に比べて少なかったものの、前年の傾向から8月以降に発生量が急増する可能性があります。今後、スイートコーンや飼料用トウモロコシ等で、特に生育初期に被害が増加することが懸念されますので、生産ほ場を定期的に見回り、早期発見、早期防除に努めましょう。

1 現在の発生状況

合志市における本年のフェロモントラップの誘殺数は、5月第2半旬～6月第2半旬にかけて前年に比べて多かったが、7月は前年に比べて少なかった（図1）。

2 今後の発生予想

- （1）前年のフェロモントラップの誘殺数は、7月までは低く推移したものの、8月中旬以降に増加傾向となり、9月上旬から急増した（図2）。
- （2）前年8月～9月の飼料用トウモロコシ栽培ほ場の現地調査では、被害株率が69～77%のほ場も確認され、特に生育初期に大きな被害が見られた。
- （3）今後、飼料用トウモロコシやスイートコーン等において、特に生育初期の被害が増加することが懸念される。

3 防除対策等

- （1）本害虫は主に飼料用トウモロコシ、スイートコーン等を食害する（図3、図4）。特に生育初期に食害されると、被害が大きくなり減収につながるため、定期的な見回りによる早期発見に努め、発生が確認された場合には速やかに農薬等を用いて防除を行う。なお、ツマジロクサヨトウと判断することが難しい場合には、病害虫防除所に相談する。
- （2）現在、本害虫に登録がある農薬は別紙2のとおり。ただし、飼料用トウモロコシ等で使用できる農薬が少ないことから、本県では、植物防疫法第29条第1項に基づく措置として、当面の間、別紙1に記載された農薬による防除が可能である。
注）ツマジロクサヨトウへの農薬登録の状況等により、今後、本県における同法第29条第1項に基づく措置を終了する可能性があるため、散布農薬の選定にあたって注意する。
- （3）農薬の散布に当たっては、新葉の葉鞘基部に潜り込んでいる幼虫に届くように株の上部までしっかりと散布する。
- （4）農林水産省のホームページにツマジロクサヨトウの防除対策等に関する情報が掲載されているので、防除の参考にする。

(https://www.maff.go.jp/j/syouan/syokubo/keneki/k_kokunai/tumajiro.html)

(5) 農薬を使用する際は、必ずラベルなどで注意事項等を確認し、ミツバチや魚介類など周辺動植物及び環境へ影響がないよう、飛散防止を徹底する。

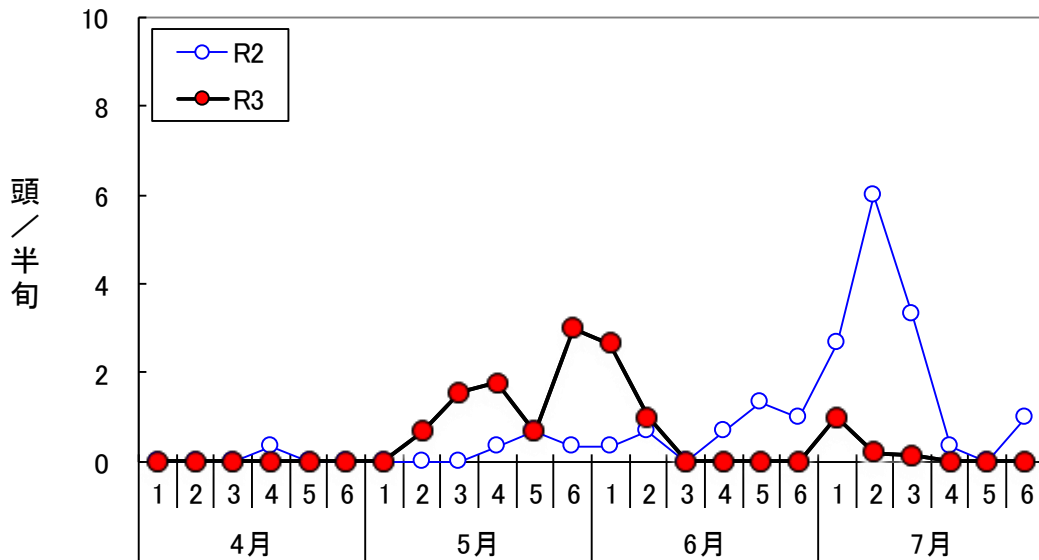


図1 ツマジロクサヨトウのフェロモントラップ誘殺数の推移
(合志市3地点平均 期間:4-7月)

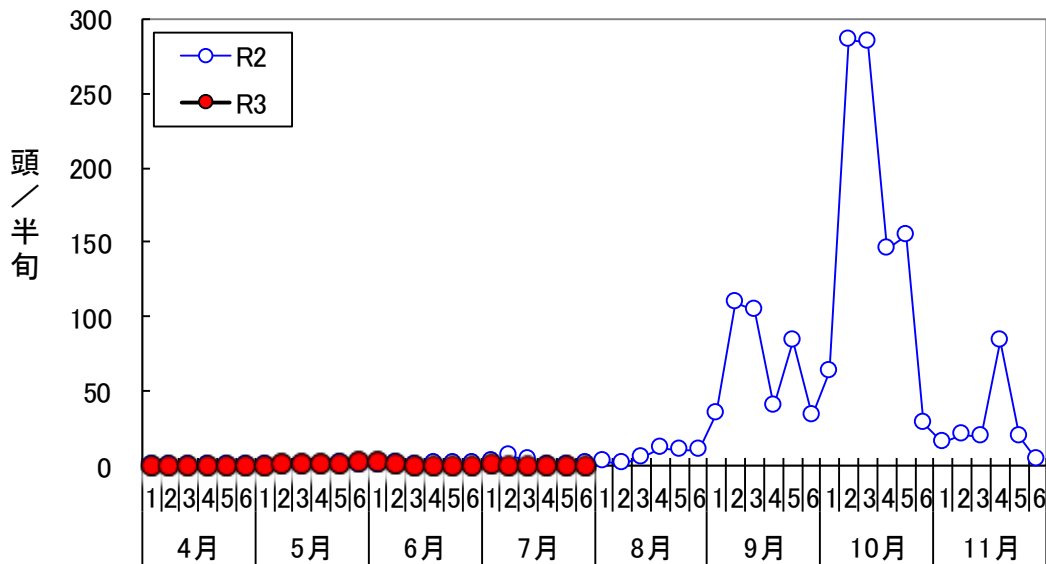


図2 ツマジロクサヨトウのフェロモントラップ誘殺数の推移
(合志市3地点平均 期間:4-11月)



図3 飼料用トウモロコシの被害株



図4 ツマジロクサヨトウ幼虫

熊本県病虫害防除所
(熊本県農業研究センター 生産環境研究所
予察指導室) 担当：中村、岡島
TEL 096-248-6490 FAX 096-248-6493

各関係機関長 様

熊本県病害虫防除所長

トビイロウンカの発生状況（技術情報第5号）について（送付）

このことについて、早植え水稻及び普通期水稻におけるトビイロウンカの発生状況をまとめましたので、業務に御活用ください。

記

8月上旬に県内 56 ほ場で実施したトビイロウンカ発生状況調査では早植え及び普通期水稻ともに発生は確認されませんでした。

しかし、8月中旬以降は例年、発生が増加するため、ほ場での発生状況に引き続き注意が必要です。

1 発生状況

(1) 早植え水稻（5～6月上旬までの移植）

8月3日から5日に県内 24 ほ場で払い落とし調査を行った結果、幼虫及び成虫は確認されず（10株当たり頭数平年 11.7頭）、10株当たり頭数、発生ほ場率ともに平年比少であった（表1）。

(2) 普通期水稻（6月中～下旬移植）

8月3日に県内 32 ほ場で払い落とし調査を行った結果、幼虫及び成虫は確認されず（10株当たり頭数平年 0.7頭）、10株当たり頭数、発生ほ場率ともに平年比少であった（表1）。

2 防除対策について

(1) 発生状況を確認し、要防除水準（8月中～下旬：10頭/10株）を超える場合は、直ちに防除を行う。

なお、7月10日の飛来個体を対象とした場合の防除適期（第2世代幼虫）は表2のとおりである。

(2) トビイロウンカは水稻の株元近くに生息しているため、粉剤及び液剤は株元に付着するように散布する。

(3) 天候不順により粉剤及び液剤の散布が困難な場合は、粒剤による防除を行う。粒剤を使用する場合は、粒剤が水面に到達するように散布し、4～5日間湛水状態を保ち、散布後7日間は落水やかけ流しをしない。

(4) 飼料用米等の多肥栽培や栽培期間の長い品種では、多発する傾向があるので注意する。

(5) 農薬を使用する際は、必ずラベルなどで使用方法を確認し、登録がある農薬を使い、収穫前使用日数や使用回数、希釈倍数等を遵守する。

また、ミツバチや魚介類など周辺動植物及び環境へ影響がないよう、飛散防止を徹底するとともに、事前に周辺の住民や養蜂業者等へ薬剤散布の連絡を行うなど、危害防止に努める。

表1 トビイロウンカの発生状況 (10株当たり成幼虫数)

(1) 早植え水稻

地点名		成虫				幼虫			計	
		長翅 ♂	長翅 ♀	短翅 ♂	短翅 ♀	老齡	中齡	若齡		
早 植 え 水 稻	山鹿市鹿北1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	山鹿市鹿北2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	山鹿市菊鹿1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	山鹿市菊鹿2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	阿蘇市狩尾1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	阿蘇市狩尾2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	阿蘇市的石1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	阿蘇市的石2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	南小国町赤馬場1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	南小国町赤馬場2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	南阿蘇村久木野1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	南阿蘇村久木野2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	山都町入佐1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	山都町入佐2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	甲佐町寒野1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	甲佐町寒野2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	八代市二見町1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	八代市二見町2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	芦北町大野1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	芦北町大野2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	あさぎり町上1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	あさぎり町上2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	錦町一武1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	錦町一武2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
平均 (24ほ場)		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
		成虫 計			0.0	幼虫 計		0.0		
計 (成虫・幼虫)		0.0								
平年^{注2)}		17.4								
発生ほ場率		0.0%								
平年^{注2)}		62.2%								

注1) 1ほ場につき、30株調査を行った。

注2) 平年値は過去9年(2012年～2020年)の平均値。

(2) 普通期水稻

地点名		成虫				幼虫			計
		長翅 ♂	長翅 ♀	短翅 ♂	短翅 ♀	老齡	中齡	若齡	
普通期水稻	熊本市画図1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	熊本市画図2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	熊本市中無田1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	熊本市中無田2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	熊本市富合町木原	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	熊本市富合町平原	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	宇城市松橋町1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	宇城市松橋町2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	玉名市両迫間1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	玉名市両迫間2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	玉名市横島1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	玉名市横島2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	山鹿市鹿央町1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	山鹿市鹿央町2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	山鹿市鹿本1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	山鹿市鹿本2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	菊池市赤星1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	菊池市赤星2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	大津町陣内1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	大津町陣内2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	嘉島町上六嘉1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	嘉島町上六嘉2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	益城町福原1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	益城町福原2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	八代市高田1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	八代市高田2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	八代市鏡町1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	八代市鏡町2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	芦北町花岡1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	芦北町花岡2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	氷川町網道1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	氷川町網道2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
平均 (32 ほ場)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	成虫 計				0.0	幼虫 計		0.0	
計 (成虫・幼虫)	0.0								
平年 ^{注2)}	1.2								
発生ほ場率	0.0%								
平年 ^{注2)}	30.2%								

注1) 1ほ場につき、30株調査を行った。

注2) 平年値は過去9年(2012年～2020年)の平均値。

表2 予想されるトビイロウンカの適期防除

★7月10日飛来の場合（熊本県農業研究センター設置の予察灯初誘殺日）

地点	熊本	三角	岱明	鹿北	菊池	阿蘇 乙姫	甲佐	八代	水俣	人吉	本渡
第2 世代	8月 23日	8月 26日	8月 24日	8月 30日	8月 27日	9月 8日	8月 28日	8月 27日	8月 27日	8月 30日	8月 27日
	～	～	～	～	～	～	～	～	～	～	～
幼虫	9月 3日	9月 7日	9月 4日	9月 12日	9月 8日	9月 25日	9月 9日	9月 9日	9月 8日	9月 11日	9月 8日

注1) JPP ネットによる有効積算温度計算シミュレーション ver 2 を使用した。

注2) 各地点のアメダスデータ平均気温（8月10日までは実数の平均気温、11日以降は平年の平均気温）をもとに、下表の有効積算温度により発育ステージを予測した。

ステージ	有効積算温度(日度)	発育0点(°C)
成虫	125	12
卵	135	11.4
幼虫	250	6.5

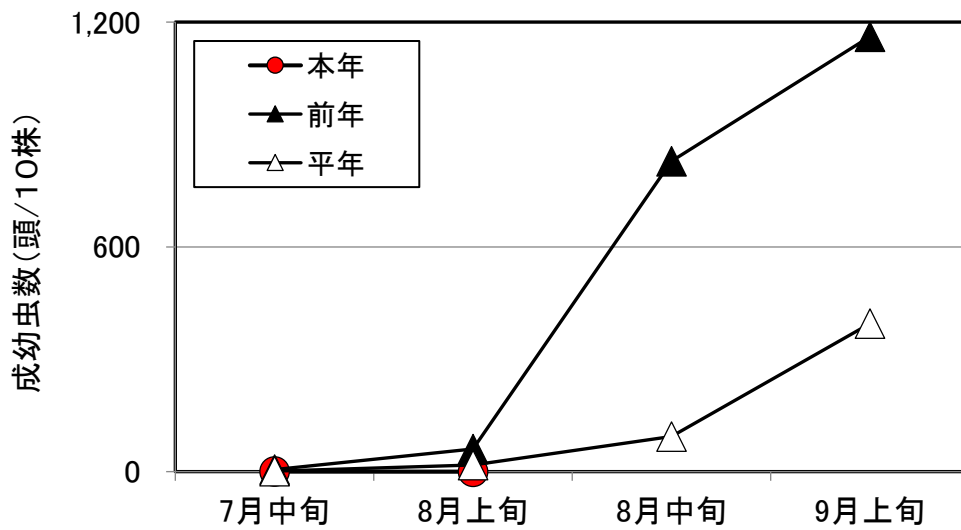


図1 早植え水稻におけるトビイロウンカの発生推移

注1) 7月中旬は早期地域(天草地域)を含めた数値。

注2) 平年値は2011年から2020年の10年平均値。(8月上旬及び9月上旬は2012年から2020年の9年平均値。)

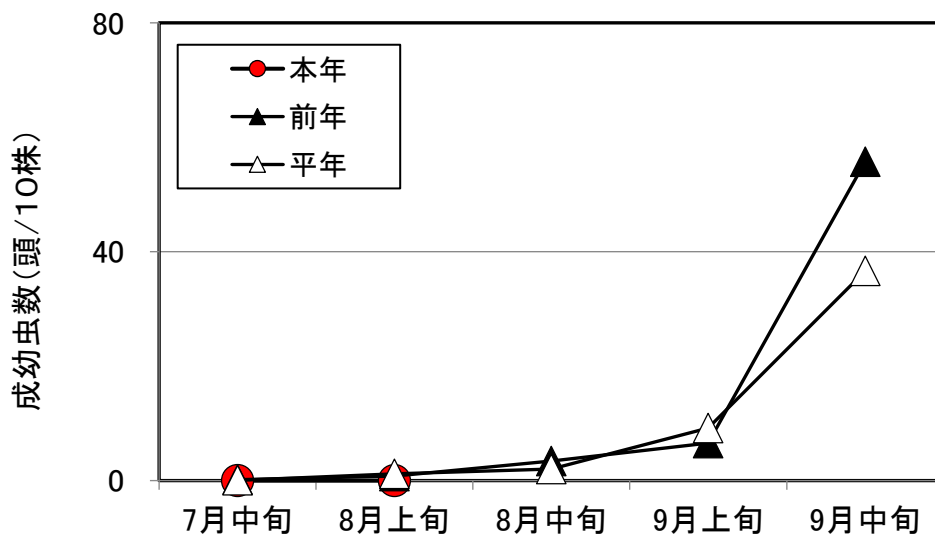


図2 普通期水稻におけるトビイロウンカの発生推移

注) 平年値は2011年から2020年の10年平均値。(8月上旬及び9月上旬は2012年から2020年の9年平均値。)

熊本県病害虫防除所
 (熊本県農業研究センター生産環境研究所
 予察指導室)
 担当: 丹、作本 TEL 096-248-6490

各関係機関長 様

熊本県病虫害防除所長

果樹カメムシ類の果樹園への飛来開始時期（技術情報第6号）について（送付）
このことについて、下記の通り取りまとめましたので、防除指導に御活用ください。

記

果樹カメムシ類がヒノキ球果から離脱し果樹園に飛来する時期は、天草市有明町が7月下旬、合志市・熊本市河内町・宇城市松橋町及び宇城市三角町が9月上旬、天草市本渡町が9月中旬と予想されます。なお、地域によっては予想日より早く離脱し、果樹園へ飛来する可能性があるため、早期発見と初期防除を徹底しましょう。

1 飛来開始時期

(1) 7月21日におけるヒノキ球果の果樹カメムシ類の口針鞘数は、一部地域で平年に比べて多かったが、県内6地点の平均は1果あたり3.8本（平年3.9本）で平年並であった（表1）。

※ヒノキ球果の1果当たりの口針鞘数が25本に達する時期が、新世代成虫がヒノキから離脱し、果樹園に飛来する時期の目安となる。

(2) 各地点のヒノキからの離脱予測日から、果樹園への飛来開始時期は天草市有明町で7月下旬、合志市・熊本市河内町・宇城市松橋町及び三角町で9月上旬、天草市本渡町で9月中旬と予想される。

2 防除対策

果樹カメムシ類は、主に山林のヒノキ・スギ球果を餌として増殖する。本年の誘殺数は平年より少ないが、餌となるヒノキの球果着生量は平年よりやや多いため、今後、果樹カメムシ類の発生量が多くなる可能性もあるので、以下の点に注意する。

(1) 果樹カメムシ類は、球果の状態が悪くなると球果から離脱し果樹園に飛来するので、予測飛来開始時期（表1）を参考に早期発見に努める。なお、飛来時期や量は地域や園地による差が大きく、同一園内でも局在するため、園内全体を観察する。また、山間部や山沿いの園では、発生が多くなる場合もあるので、注意する。

(2) 果樹カメムシ類は日没直後に園外から侵入し、翌朝飛び去るため、夕方や早朝の防除が有効である。

(3) 薬剤の使用回数、濃度、使用量、使用時期を遵守するとともに、周辺作物への農薬飛散（ドリフト）に注意する。

(4) 今後の発生状況や予測離脱日については、病虫害防除所のホームページ（<http://www.jpnpn.ne.jp/kumamoto/>）を参照する。

表1 7月下旬におけるヒノキ球果の1果当たり口針鞘数および新世代成虫の飛来予測時期

地点	1果当たり口針鞘数(本) X	離脱までの日数 Y	調査日	予測式で算出されたヒノキからの離脱予想日	新世代成虫の予測飛来開始時期
合志市 栄	1.7	48	7月21日	9月6日	9月上旬
熊本市河内町	0.7	51	7月21日	9月10日	9月上旬
宇城市松橋町	2.7	44	7月21日	9月3日	9月上旬
宇城市三角町	1.5	48	7月21日	9月7日	9月上旬
天草市有明町	16.0	0	7月21日	7月21日	7月下旬
天草市本渡町	0.1	54	7月21日	9月12日	9月中旬
平均	3.8	-	-	-	-
平年	3.9	-	-	-	-

※1 1地点30球果を調査。

※2 予測離脱日は、福岡県農業総合試験場が開発した予測式により算出した。

$$\text{予測式： } Y = 54.17 - 3.776X + 0.01937X^2$$

(Y：調査日から離脱日までの日数、X：7月下旬のヒノキ球果1果当たり口針鞘数)

※3 Xは小数点第二位を四捨五入、Yは小数点以下切り捨て

※4 予測式による計算値がマイナスになった場合は離脱日までの日数を0とした。

熊本県農業研究センター 生産環境研究所
予察指導室(病害虫防除所)

担当：岡島、中村 TEL : 096-248-6490

参考

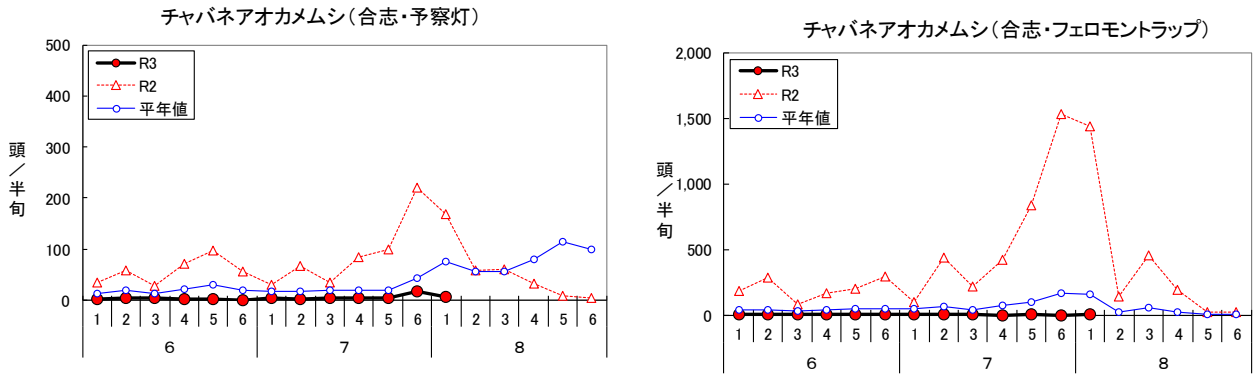


図1 合志市におけるチャバネアオカメムシ誘殺数の推移（設置場所：農業研究センター）

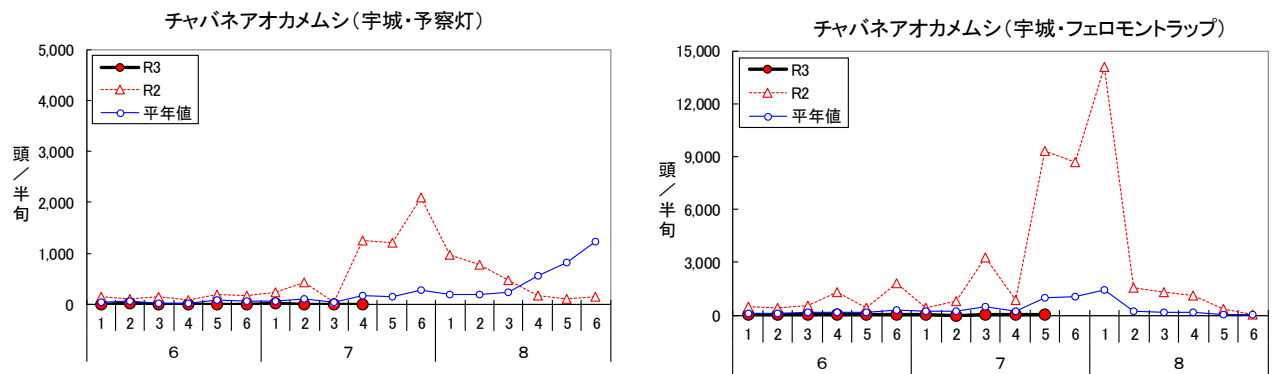


図2 宇城市におけるチャバネアオカメムシ誘殺数の推移（設置場所：果樹研究所）

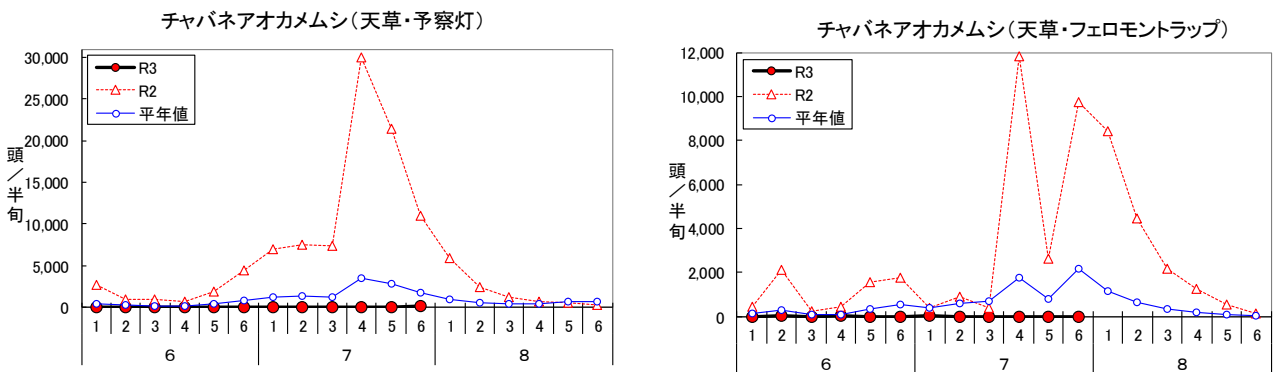


図3 天草市におけるチャバネアオカメムシ誘殺数の推移（設置場所：天草農業研究所）

各関係機関長 様

熊本県病害虫防除所長

夏秋果菜類における病害の発生状況と防除対策（技術情報第7号）について
（送付）

このことについて、下記のとおり取りまとめましたので、業務の参考に御活用ください。
記

8月11日以降の長雨の影響により、夏秋果菜類の病害の発生量が増加しています。また、向こう1か月の降水量は平年に比べて多い予想であり、今後も夏秋果菜類の病害にとって好適な気象条件が継続し、病害の発生量がさらに増加することが懸念されるため、ほ場内の発生に注意し、防除対策を徹底しましょう。

1 現在の発生状況

- (1) 県内の中山間地域の夏秋トマト栽培ほ場で実施した8月の巡回調査では、灰色かび病は発病株率 茎葉19.0%（平年19.5%）、果実3.7%（平年0.1%）で平年比やや多、葉かび病は発病株率30.0%（平年7.4%）で平年比多、すすかび病は発病株率39.7%（平年47.3%）で平年並、うどんこ病は発病株率19.7%（平年0.5%）で平年比多の発生であった。また、一部のほ場では、これらの病害の多発生が確認された（表1、図1～4）。
- (2) 防除員からの報告によると、各夏秋果菜類における主な病害の8月の発生状況は表1のとおりであった。

表1 各夏秋果菜類における主な病害の8月の発生状況

作物名	病害名	発生状況（平年比）	
		巡回調査	防除員報告
夏秋トマト	灰色かび病	やや多(十)	多(十)
	疫病	並(±)	多～並(十)
	葉かび病	多(十)	並(±)
	すすかび病	並(±)	並～やや少(±)
	うどんこ病	多(十)	やや多(十)
夏秋ナス	灰色かび病	—	やや多(十)
	すすかび病	—	並～やや少(±)
	うどんこ病	—	やや多～並(±)
夏秋キュウリ	べと病	—	やや多(十)
	うどんこ病	—	並(±)
	褐斑病	—	やや多(十)
	斑点細菌病	—	やや多(十)

(3) 8月11日以降の長雨の影響により、上記病害の他、各夏秋果菜類において、灰色かび病、疫病、炭疽病などの糸状菌による病害や軟腐病などの細菌病の発生の増加が想定される。

2 今後の発生予想

福岡管区気象台が8月19日に発表した九州北部地方1か月予報によると、向こう1か月の降水量は平年より多い予想であり、今後も夏秋果菜類の病害にとって好適な気象条件が継続することから、病害の発生量が増加することが懸念される。

3 防除対策等

- (1) 密植や過繁茂を避け、通風採光を良くする。ハウス栽培では換気を図り、多湿を避ける。
- (2) 発病葉等や被害残さは伝染源となるので、ほ場外に持ち出し処分する。
- (3) 病害によっては肥料切れや樹勢低下により発生が助長されるため、適正な肥培管理を行う。
- (4) 病害が多発してからの防除は困難となるため、予防防除を重点に行う。
- (5) 薬剤抵抗性の発達を防ぐため、系統の異なる薬剤のローテーション使用を行う。

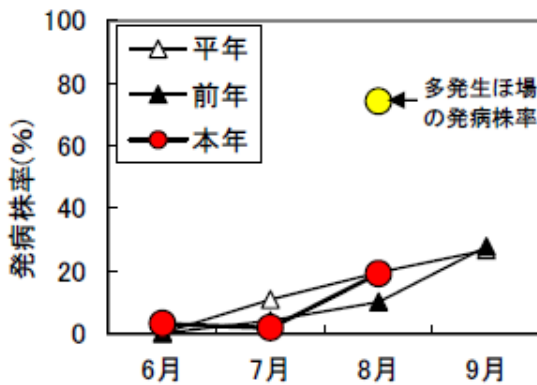


図1 灰色かび病の発病株率(茎葉)の推移 (夏秋トマト)

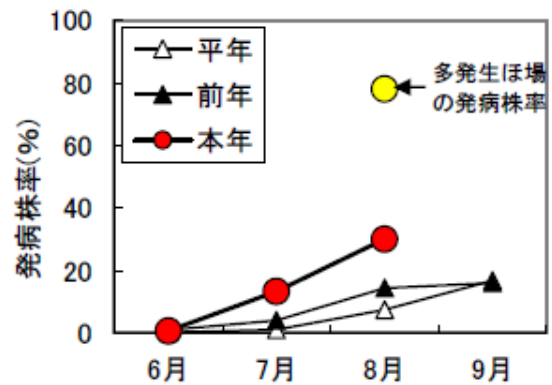


図2 葉かび病の発病株率の推移 (夏秋トマト)

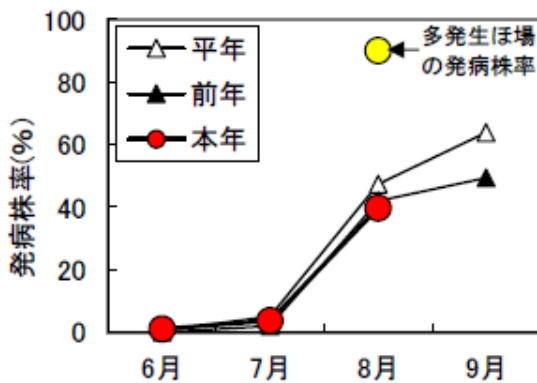


図3 すすかび病の発病株率の推移 (夏秋トマト)

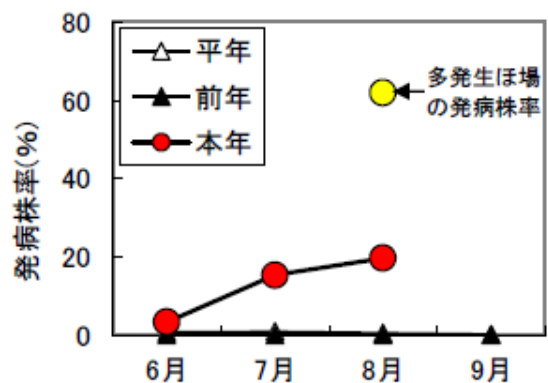


図4 うどんこ病の発病株率の推移 (夏秋トマト)

熊本県病害虫防除所
 (熊本県農業研究センター 生産環境研究所
 予察指導室) 担当: 中村、中井
 TEL 096-248-6490 FAX 096-248-6493

各関係機関長 様

熊本県病害虫防除所長

タバココナジラミのウリ類退緑黄化ウイルス保毒状況と防除対策(技術情報第8号)
について(送付)

タバココナジラミのウリ類退緑黄化ウイルス(以下、CCYVとする)保毒状況とウリ科野菜の退緑黄化病に対する防除対策について取りまとめましたので、業務に御活用下さい。

記

タバココナジラミのCCYV保毒虫率は平年に比べてやや低く、誘殺数は平年並ですが前年に比べて多い状況です。タバココナジラミの発生量が増加すると退緑黄化病の被害の拡大が懸念されるため、防除対策を徹底しましょう。

ウリ科野菜栽培主要3地域(熊本、鹿本、菊池)で、夏秋期から栽培を開始するウリ科野菜の退緑黄化病の発生リスクを判断するため、タバココナジラミの誘殺数およびCCYVの保毒虫率を調査した。

1 調査結果

- (1) 8月上旬～中旬にかけて黄色粘着板(10×10cm)に誘殺されたタバココナジラミは、2.2頭/日/枚(平年2.1頭/日/枚)で、平年並であった(表1、図1)。
- (2) 8月上旬～9月上旬にかけて黄色粘着板に誘殺されたタバココナジラミのCCYV保毒虫率は24.7%(平年値32.7%)で、平年に比べてやや低かった(表1、図2)。
- (3) 退緑黄化病の発生リスクの指標となる保毒虫数は0.5頭/日/枚(平年0.8頭/日/枚)で、平年比やや少であった(表1、図3)。
- (4) 福岡管区气象台が9月16日に発表した九州北部地方1か月予報によると、気温は平年より高く推移すると予想されており、タバココナジラミの活動に好適な条件が続くと考えられる。

2 防除対策

退緑黄化病の発生リスクの指標となる保毒虫数は平年比やや少であり、タバココナジラミのCCYV保毒虫率も平年に比べてやや低いですが、誘殺数は平年並である。今後、タバココナジラミの活動に好適な条件が続く、野外のタバココナジラミが増殖することで、ハウス内へのタバココナジラミの飛び込み頻度が高まり、退緑黄化病の感染機会が増加することが懸念されるため、以下の対策を徹底する。

栽培前のほ場

- (1) これから定植するほ場では、タバココナジラミを栽培ほ場に「入れない」対策を徹底する。施設のサイド開口部に目合い0.4mm防虫ネット、谷換気部に目合い1mm以下の防虫ネットを被覆する。すでに被覆しているハウスについては、被覆ビニルや防虫ネットに破損や隙間が無いか点検し、必要に応じて補修する。
- (2) 育苗期後半に使用できる薬剤を定植2～3日前に処理する。また、定植前に処理した薬剤の効果が低下する定植20～30日後に成虫に対して効果の高い薬剤を散布する。
- (3) 育苗ハウスから苗を運ぶ際には、移動中にタバココナジラミが寄生しないよう、運搬車等の荷台を防虫ネットや幌等で覆う。

栽培中のほ場

- (1) タバココナジラミを施設内で「増やさない」対策を徹底する。現在栽培中のほ場では、栽培終了まで、タバココナジラミの防除を継続して行う。
- (2) タバココナジラミを施設外に「出さない」対策を徹底する。栽培終了後は直ちに密閉処理を行い、ほ場内のタバココナジラミを死滅させる。露地栽培などの密閉できないほ場では、成虫に効果の高い薬剤で防除したうえで植物残さを早急に片付ける。

共通

- (1) 施設内の発病株や周辺の野良生えは、重要な伝染源となるので除去する。
- (2) ウリ科野菜の周年栽培地帯におけるメロン退緑黄化病発生リスクは、5月から12月まで高い水準で推移する（農業研究成果情報 No. 597(平成25年5月)ウリ類周年栽培地帯でのメロン退緑黄化病発生リスクの季節変動)ので、今後も防除を徹底する。

表1 各調査年におけるタバココナジラミの誘殺数、保毒虫率、保毒虫数

調査年	R3	R2	R1	H30	H29	H28	平年
誘殺数	2.2	1.5	1.0	3.9	3.0	1.1	2.1
保毒虫率	24.7%	41.3%	30.3%	30.7%	25.3%	36.1%	32.7%
保毒虫数	0.5	0.7	0.3	1.6	0.8	0.4	0.8

※平年値は過去5か年の平均

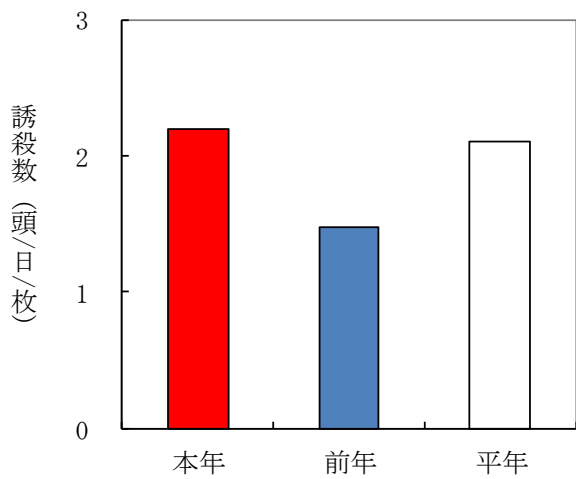


図1 ウリ科栽培地帯に設置した黄色粘着板によるタバコナジラミ成虫誘殺数

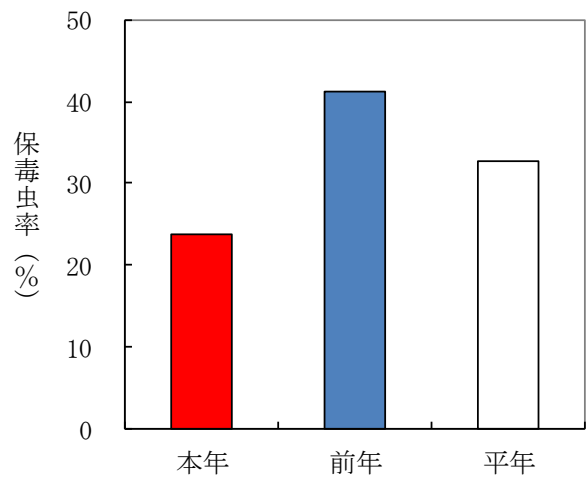


図2 粘着板に誘殺されたタバコナジラミ成虫のウリ類退緑黄化ウイルス保毒虫率

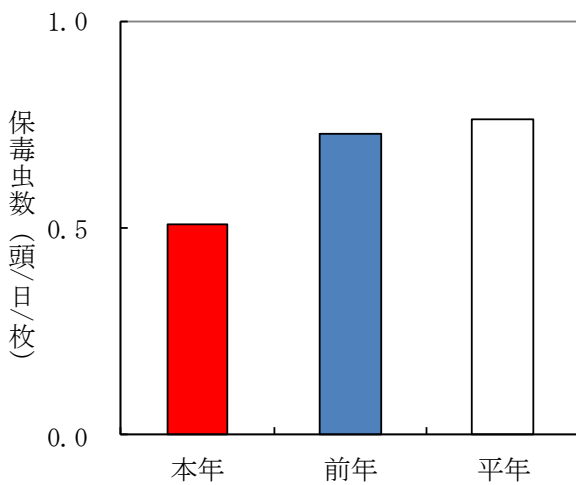


図3 ウリ科栽培地帯のタバコナジラミ成虫の保毒虫数

熊本県農業研究センター 生産環境研究所
 予察指導室 (病害虫防除所)
 担当：中井 TEL：096-248-6490

各関係機関長 様

熊本県病害虫防除所長

ナシ黒星病の秋期防除等の対策(技術情報第9号)について(送付)
来春の黒星病の発生を予防するため、秋期防除等の対策について取りまとめましたので、業務に御活用下さい。

記

来春のナシ黒星病の発生を予防するために、秋期防除や落葉処理を徹底し、第一次伝染源を取り除きましょう。

1 発生状況

- (1) 本年の巡回調査では、7月の発生量は平年に比べてやや多かったが、その他の月は概ね平年並であった(図1)。
- (2) 防除員報告では、4月から7月にかけて一部地域でやや多い発生であったが、8月以降は平年並~やや少ない発生となっている。
- (3) 8月の長雨により葉の秋型病斑が増加し、翌年の第一次伝染源が平年に比べて増加することが懸念される。

2 防除対策

黒星病は秋期の降雨によって葉やりん片(芽基部)に感染する。葉では、葉の裏面や葉柄に薄いスス状の秋型病斑(図2)が生じ、黒星病菌は罹病した落葉の内部で越冬する。また、りん片に感染した場合は、そのままりん片組織内で越冬する。感染したりん片や落葉が来春の第一次伝染源となり、葉や果実に感染する。

りん片への感染を予防する秋期防除と罹病した落葉の適切な処理は、来春の本病感染を防ぐ重要な対策である。特に、発病が認められた園では来春の第一次伝染源が園内に形成される可能性が高いため、以下の対策を徹底する。

- (1) 葉およびりん片への感染を防ぐため、収穫後から落葉期(11月中旬)に2~3回、薬剤散布による秋期防除を行う(例:早生品種では9月中旬~下旬、10月中旬、11月中旬)。
(防除の詳細は、平成23年5月付け農業研究成果情報No.515を参照する。)
- (2) 薬剤は、散布ムラがないように園地の隅々まで丁寧に散布する。
- (3) DMI剤に対する薬剤感受性の低下を防ぐため、秋期防除では保護殺菌剤を使用し、DMI剤は使用しない。また、薬剤の使用にあたっては、使用回数、濃度、使用量、使用時期を遵守するとともに、周辺作物への農薬飛散(ドリフト)に注意する。
(DMI剤 F R A Cコード:3)
- (4) 園内の落葉は放置せず、鋤き込んで埋却する、もしくは園外へ持ち出し処分する等、適切な落葉処理を行う。

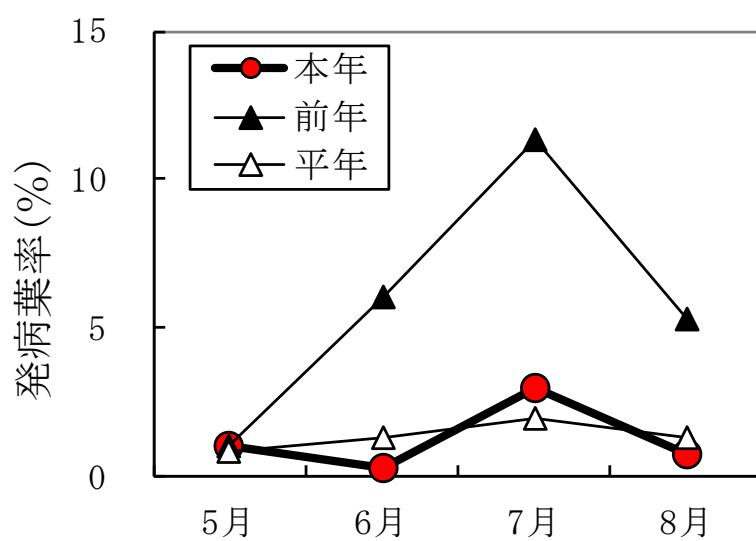


図1 黒星病発病葉率の推移

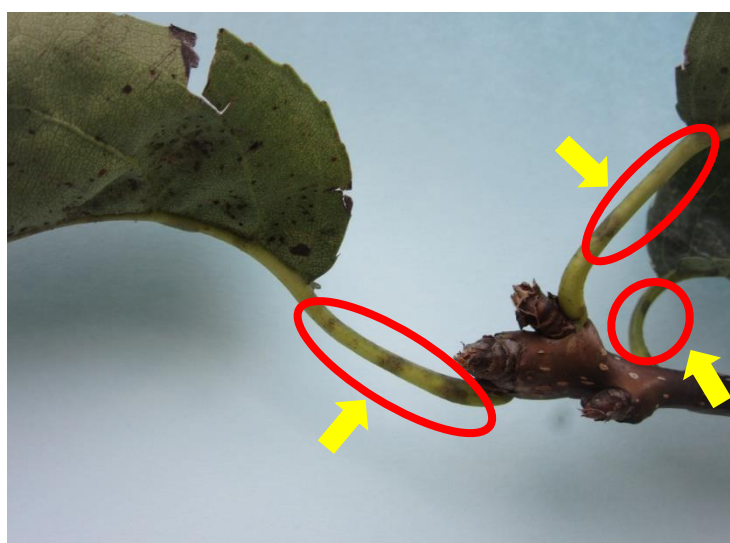


図2 葉の裏面や葉柄に形成された秋型病斑

熊本県農業研究センター 生産環境研究所
 予察指導室 (病虫害防除所)
 担当：岡島、中村 TEL：096-248-6490

各関係機関長 様

熊本県病害虫防除所長

タバココナジラミのトマト黄化葉巻ウイルス保毒状況と防除対策（技術情報第10号）
について（送付）

このことについて、下記のとおり取りまとめましたので、業務の参考としてご活用ください。

記

9月上旬の野外のコナジラミ類の発生量は平年に比べて少ないものの、9月上～下旬のタバココナジラミのトマト黄化葉巻ウイルスの保毒虫率は、一部の地域で平年に比べて高い状況です。タバココナジラミの発生量が増加するとトマト黄化葉巻病の被害が拡大することが懸念されるため、従来どおりトマト黄化葉巻病の防除対策を徹底しましょう。

冬春トマト栽培の主要3地域（熊本、玉名、八代）において、9～10月におけるトマト黄化葉巻病の発生リスクを評価するため、それぞれの地域に、野外に黄色粘着板を設置し、タバココナジラミの発生量及びトマト黄化葉巻ウイルス（以下、TYLCVとする）の保毒虫率を調査した。

1 調査結果

- (1) 9月上旬におけるタバココナジラミの黄色粘着板の誘殺数は、熊本市で0.1頭/日/枚（平年0.9頭/日/枚）で平年に比べて少なく、玉名市で0.4頭/日/枚（平年3.2頭/日/枚）で平年に比べて少なく、八代市で0.0頭/日/枚（平年0.6頭/日/枚）で平年に比べて少なかった（表1）。
- (2) 9月上～下旬に黄色粘着板に誘殺されたタバココナジラミのTYLCV保毒虫率は、熊本市で1.7%（平年8.4%）で平年に比べて低く、玉名市で6.7%（平年4.5%）で平年に比べてやや高く、八代市で8.3%（平年4.2%）で平年に比べて高かった（表2）。
- (3) 感染リスクの指標である保毒虫数は、熊本市で0.00（平年0.06）で平年に比べてやや少なく、玉名市で0.03（平年0.15）で平年に比べて少なく、八代市で0.00（平年0.02）で平年並であった（表3）。
- (4) 福岡管区气象台が10月7日に発表した九州北部地方1か月予報によると、向こう1か月の気温は平年より高い予想であり、平年に比べてタバココナジラミの活動に好適な条件が継続することから、野外のタバココナジラミが施設内に飛び込む機会が多くなることが懸念される。

2 防除対策

- (1) ハウスの開口部（サイド、谷部など）には目合い0.4mm以下の防虫ネットを設置する。すでに設置しているハウスについては、被覆ビニルや防虫ネットに破損や隙間が無い点検し、必要に応じて補修する。

- (2) ハウス内に黄色粘着板を設置し、タバココナジラミの早期発見に努める。
- (3) 野外から飛び込んだタバココナジラミを施設内で定着させないため、11月頃までは成虫を対象とした薬剤防除を行う。農薬の使用にあたっては、使用方法、使用時期、総使用回数等を厳守する。
- (4) ハウス内の発病株は感染源となる。見つけしだい直ちに抜き取り、施設外に持ち出し適正に処分する。
- (5) 抵抗性品種であっても感染源と成り得るため、感受性品種と同様に防除を行う。
- (6) ハウス周辺及び内部の雑草は、タバココナジラミの生息・増殖場所となる。栽培期間中は定期的に除草する。
- (7) 野良生えトマトは重要な伝染源となるので、抜き取り土中に埋める等適切に処分する。

表 1 野外のタバココナジラミ成虫の誘殺数

地域	誘殺数 (頭/日/枚)						
	本年	2020年	2019年	2018年	2017年	2016年	平年値
熊本市	0.1	0.2	0.3	3.0	0.5	0.7	0.9
玉名市	0.4	3.3	1.6	2.4	0.8	8.1	3.2
八代市	0.0	0.7	0.4	0.3	0.1	1.7	0.6
平均値	0.2	1.4	0.8	1.9	0.4	3.5	1.6

- ※1 黄色粘着板 (10cm×10cm) は1地点あたり3枚設置した。
- ※2 設置期間は9月2～10日。過去5か年の設置期間も同様に9月上旬。
- ※3 平年値は2016年から2020年の5か年平均とする。
- ※4 玉名市の設置場所は本年からJAたまな横島倉庫に変更 (設置場所: 2014～2018年 旧しあわせ農協、2019年～2020年 JAたまな横島イチゴ集荷所)。

表 2 野外のタバココナジラミ成虫のトマト黄化葉巻ウイルス保毒状況

地域	保毒虫率 (%)												
	本年		2020年		2019年		2018年		2017年		2016年		平年値
熊本市	1.7	(60)	3.3	(60)	6.7	(60)	5.0	(60)	15.0	(60)	6.7	(60)	8.4
玉名市	6.7	(60)	0.0	(60)	1.7	(60)	6.7	(60)	3.3	(60)	6.7	(60)	4.5
八代市	8.3	(60)	5.0	(60)	6.7	(45)	3.3	(60)	1.8	(56)	5.0	(20)	4.2
平均値	5.6		2.8		5.0		5.0		6.7		6.1		5.7

- ※1 黄色粘着板 (20cm×10cm) を1地点あたり5～10枚設置し検体を採集した。
- ※2 設置期間は熊本市9月2～24日、玉名市9月2～14日、八代市9月2～21日 (本年は9月前半に採集できた検体数が非常に少なかったため、設置期間を平年より延長した。) 過去5か年の設置期間は9月上旬。
- ※3 () 内の数値は検定数。
- ※4 平年値は2016年から2020年の5か年平均とする。
- ※5 玉名市の設置場所は本年からJAたまな横島倉庫に変更 (設置場所: 2014～2018年 旧しあわせ農協、2019年～2020年 JAたまな横島イチゴ集荷所)

表3 野外のタバコナジラミ成虫の保毒虫数

地域	保毒虫数（頭／日／枚）						
	本年	2020年	2019年	2018年	2017年	2016年	平年値
熊本市	0.00	0.01	0.02	0.15	0.07	0.04	0.06
玉名市	0.03	0.00	0.03	0.16	0.03	0.54	0.15
八代市	0.00	0.04	0.03	0.01	0.00	0.09	0.02
平均値	0.01	0.01	0.03	0.11	0.03	0.22	0.08

※1 保毒虫数＝誘殺数×保毒虫率

誘殺数：表1のとおり

保毒虫率：表2のとおり

※2 平年値は2016年から2020年の5か年平均とする。

熊本県農業研究センター 生産環境研究所 予察指導室（病害虫防除所） 担当：中村、中井 TEL：096-248-6490

各関係機関長 様

熊本県病害虫防除所長

ハスモンヨトウの発生状況と防除対策（技術情報第11号）について（送付）

このことについて、下記のとおり取りまとめましたので、業務の参考に御活用ください。

記

ハスモンヨトウ幼虫のほ場での発生が多い状況です。今後、幼虫の発育が進むと被害が拡大するため、ほ場内を見回り早期発見に努め、捕殺や薬剤防除等による防除対策を行いましょう。

1 現在の発生状況

- (1) 県内のイチゴ栽培ほ場で実施した10月の巡回調査では、ハスモンヨトウの寄生株率12.3%（平成3.1%）、寄生頭数1.5頭/10株（平成0.4頭/10株）で平成比多の発生であった。（図1、2）。なお、寄生していた幼虫の生育ステージは主に若齢であった。
- (2) 合志市・八代市・阿蘇市に設置したフェロモントラップによるハスモンヨトウの10月第1半旬～第2半旬の誘殺数は平成並であるが、10月上旬に3か所ともに急増が認められた（図3、4、5）。

2 今後の発生予想

平地では平成11月中旬頃までフェロモントラップによる誘殺数が多い傾向にあるため、今後も発生量は多い水準で推移することが予想される。また、すでにほ場内で発生している幼虫の発育が進み、被害が拡大することが懸念される。

3 防除対策等

- (1) ほ場を見回り早期発見に努め、見つけ次第捕殺する。特に、卵塊や分散前のふ化幼虫を見つけて除去できると効果的である。
- (2) 薬剤防除は幼虫が若～中齢のうちに行い、散布ムラが無いように丁寧に散布する。
- (3) イチゴ、トマトなどのビニール被覆前の施設栽培では、ハスモンヨトウ成虫が施設内に侵入しやすいため、ビニール被覆するまでは特に防除対策を徹底する。
- (4) 薬剤抵抗性の発達を防ぐため、系統の異なる薬剤のローテーション使用を行う。

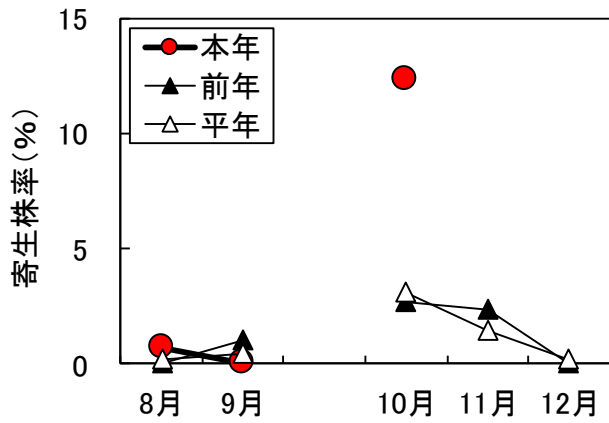


図1 ハスモンヨトウの寄生株率の推移(イチゴ)
(8-9月:育苗ほ 10-12月:本ぼ)

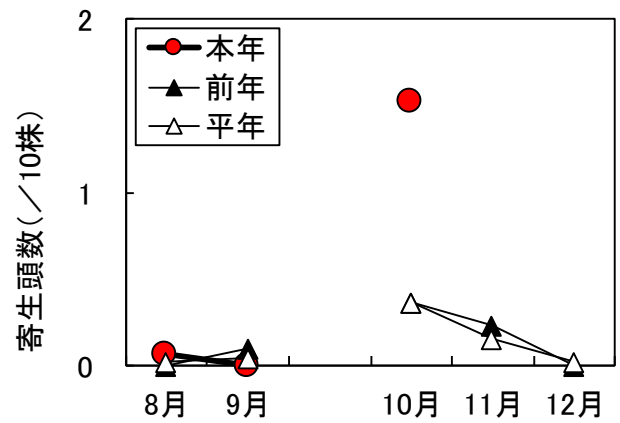


図2 ハスモンヨトウの寄生頭数の推移(イチゴ)
(8-9月:育苗ほ 10-12月:本ぼ)

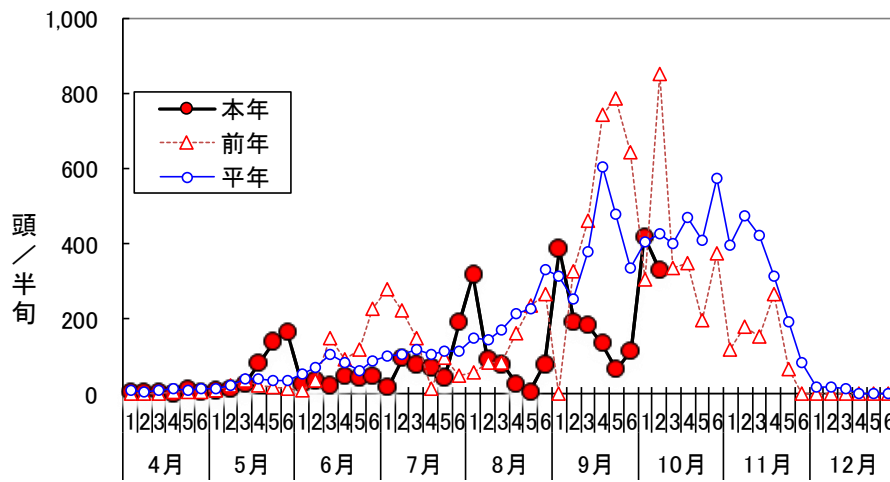


図3 ハスモンヨトウ(合志市栄・フェロモントラップ)

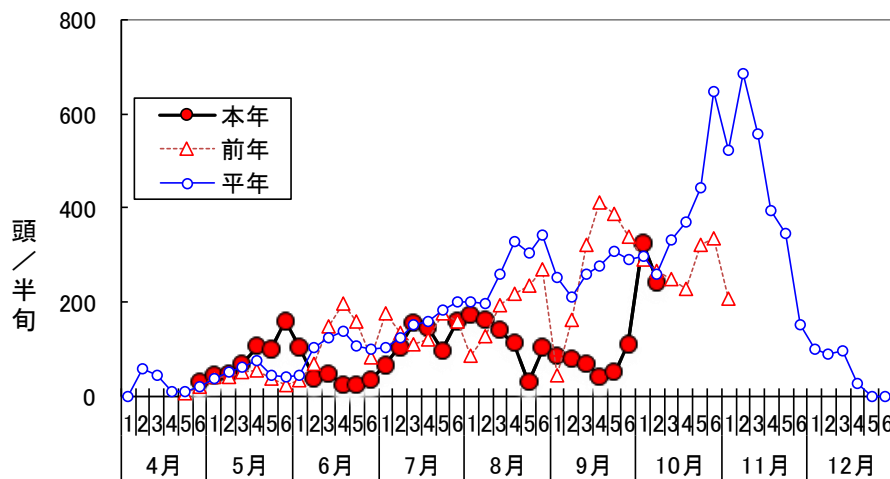


図4 ハスモンヨトウ(八代市鏡・フェロモントラップ)



図5 ハスモンヨトウ(阿蘇市一の宮・フェロモントラップ)

熊本県病害虫防除所
 (熊本県農業研究センター 生産環境研究所
 予察指導室) 担当：中村、中井
 TEL 096-248-6490 FAX 096-248-6493

各関係機関長 様

熊本県病害虫防除所長

カンキツにおけるミカンハダニ及びカイガラムシ類の冬期防除（技術情報
第12号）について（送付）

このことについて、下記のとおり取りまとめましたので、業務の参考に御活用ください。
記

秋期のミカンハダニ及びカイガラムシ類の発生量が平年に比べて多い状況です。このため越冬量も多くなり、春期の多発生が懸念されます。12月下旬から1月中旬に冬期防除のマシン油乳剤散布を徹底し、春期の発生密度を抑制しましょう。

1 発生状況等

- (1) 県内各地のカンキツ園で10月上旬から中旬に実施した巡回調査において、ミカンハダニ雌成虫の寄生葉率は7.7%（平年2.4%、前年1.2%）、寄生頭数は3.6頭/10葉（平年0.5頭、前年0.1頭）であり、寄生葉率・寄生頭数ともに、平年比多の発生であった（図1、2）。
- (2) 防除員報告では、10月のミカンハダニの発生は、平年よりやや多かった。
10月のカイガラムシ類の発生は6地域中5地域で平年よりやや多かった。

2 防除対策

本年は秋期のミカンハダニ及びカイガラムシ類の発生が多いことから、越冬量も多くなることが予想される。発生密度が高くなると防除が難しくなり、ミカンハダニは早期落葉、カイガラムシ類は枝枯れを引き起こし、樹勢が低下するため、越冬虫に対する冬期防除の実施により春期の発生を抑制することが重要である。冬期は以下に留意して防除対策を行う。

- (1) 越冬期のマシン油散布により春期の発生密度を抑制する。散布の際は樹全体にムラなくかかるよう丁寧に散布する。ただし、樹勢の弱い樹への散布や厳寒期での散布は落葉を助長する恐れがあるため、散布を控える。
- (2) カイガラムシ類は樹幹、枝、葉に寄生しており、枝葉の混みあった所に多発するため、せん定、整枝を行い、薬剤をかかりやすくするとともに、通風・採光を改善する。また、集中的な寄生がみられた枝は除去する。
- (3) マシン油乳剤は商品によって使用時期や希釈倍数などが異なる場合があるため、ラベルをよく確認し、農薬登録内容を遵守して使用する。

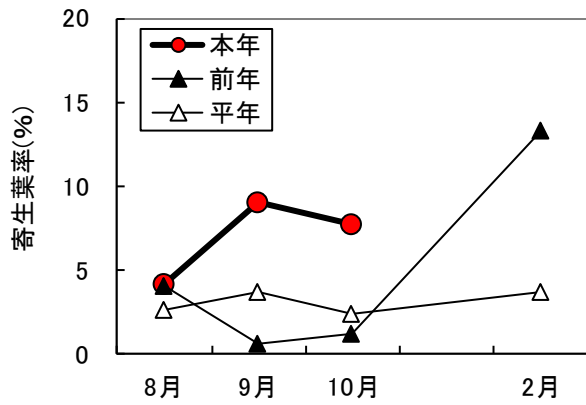


図1 ミカンハダニの寄生葉率の推移

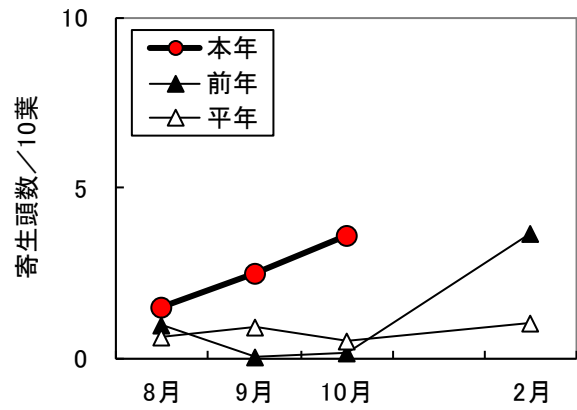


図2 ミカンハダニの寄生頭数の推移

熊本県病害虫防除所
 (熊本県農業研究センター 生産環境研究所
 予察指導室)
 担当：岡島、中村 TEL 096-248-6490

各関係機関長 様

熊本県病害虫防除所長

抵抗性打破能を有するトマトモザイクウイルスによるトマトモザイク病の発生確認と防除対策（技術情報第13号）について（送付）

このことについて、下記のとおり取りまとめましたので、業務の参考に御活用ください。

記

県内のトマト栽培ほ場で、抵抗性遺伝子 $Tm-2^a$ の打破能を有するトマトモザイクウイルス（ToMV）によるトマトモザイク病の発生が確認されました。本病は従来の抵抗性品種による防除では被害の抑制が困難であるため、今後本病の発生に注意し、発生が確認された場合には、り病残さの除去及び腐熟促進等の防除対策を行いましょう。

1 発生確認の経過等

(1) 令和3年（2021年）6月、県内のトマト施設栽培ほ場において、ToMV抵抗性遺伝子 $Tm-2^a$ を保有するトマト品種（以下、 $Tm-2^a$ 抵抗性品種とする）に、果実の一部褐色化・内部汚斑や葉のモザイク症状といったトマトモザイク病が疑われる症状の発生が確認された（図1～4）。

そこで、現地ほ場から検体を採取し、国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 植物防疫研究部門に同定依頼した結果、ToMVによるトマトモザイク病であることが判明した。また、同部門による遺伝子検定や抵抗性品種への接種検定により、本ウイルス株はToMV抵抗性遺伝子 $Tm-1$ 及び $Tm-2^a$ の打破能を有する系統であることが確認された（以下、 $Tm-2^a$ の打破能を有する系統を $Tm-2^a$ 打破系統とする）。

(2) 県内では過去にも $Tm-2^a$ 抵抗性品種においてトマトモザイク病の発生が確認されているが、発生面積や被害程度は小さく、その後の発生拡大は認められなかった。しかし、昨年及び本年の2か年続けて、 $Tm-2^a$ 抵抗性品種におけるトマトモザイク病の発生が数例ずつ確認されており、今後の発生に注意する必要がある。

2 国内の発生状況

ToMVの $Tm-2^a$ 打破系統の発生は、平成23年（2011年）に栃木県で初めて確認され、その後、平成24年（2012年）に福岡県と広島県、平成26年（2014年）に岐阜県と茨城県でも確認されている。

3 病徴

葉のモザイク・細葉奇形や着果不良などの症状が生じ、生育不良となる。また、着果した果実の褐色化や内部汚斑が発生し、果実の品質が低下する（図1～4）。

4 病原ウイルスの特徴

- (1) 本ウイルスは、トバモウイルス属の棒状ウイルスで、物理的安定性が高く感染植物内で高濃度に蓄積することから、汁液伝染しやすい。また、り病残さ内で長期間生存するため、土壌中にり病残さが残っていると長期にわたって土壌中に残存する。種子伝染も高い頻度で生じる。
- (2) 今回発生が確認されたウイルス株は*Tm-2^a*打破系統であるため、抵抗性遺伝子*Tm-2^a*を保有する品種でも発病する可能性がある。

5 防除対策

ToMV抵抗性遺伝子*Tm-2^a*を保有する抵抗性品種にも感染することから、現状では抵抗性品種の利用に頼った防除では被害の抑制が困難となるため、以下の対策を行う。

- (1) 発病が確認されたほ場での連作は避ける。やむを得ず連作を行う場合には、主な伝染源であるり病残さを次作に持ち越さないことが重要であるため、①前作終了後にり病残さを徹底して除去する、②土壌中のり病残さを十分に腐熟させて土壌中のウイルスを不活化させる、などの対策を行った上で栽培を行う。
- (2) 乾熱滅菌済みの種子を使用する。
- (3) 隣接株への伝染を防ぐため、発病株及び発病が疑われる株は速やかにほ場外へ持ち出し適切に処分する。
- (4) 汁液伝染を防ぐため、管理作業時に発病株の汁液がついた手指やハサミなどで作業しない。また、ハサミや支柱などの器具・資材は次亜塩素酸カルシウム水溶液や第三リン酸ナトリウム10%溶液で消毒する。



図1 ほ場での ToMV 感染株



図2 表面が一部褐色化したトマト果実



図3 内部汚斑が生じたトマト果実断面



図4 トマト葉のモザイク症状

熊本県病害虫防除所
(熊本県農業研究センター 生産環境研究所
予察指導室) 担当：中村、中井
TEL 096-248-6490 FAX 096-248-6493

各関係機関長 様

熊本県病虫害防除所長

イチゴにおけるアザミウマ類の発生状況と防除対策（技術情報第14号）
について（送付）

このことについて、下記のとおり取りまとめましたので、業務の参考に御活用ください。

記

イチゴ栽培ほ場でのアザミウマ類の発生が多い状況です。今後も発生が多い状況が継続すると、果実での被害が増加する恐れがあるため、ほ場での発生状況を確認し、発生が認められる場合には薬剤等による防除を行いましょう。

1 現在の発生状況

県内のイチゴ施設栽培ほ場において、本年は11月からアザミウマ類（主にヒラズハナアザミウマ及びミカンキイロアザミウマ）の発生が平年に比べて多い傾向にあり、12月に実施した巡回調査においても寄生株率32.0%（平年6.9%）、寄生頭数6.5頭/10株（平年1.2頭/10株）で平年比多の発生であった（図1、2）。

2 今後の発生予想等

福岡管区气象台が12月16日に発表した九州北部地方1か月予報によると、向こう1か月の気温は平年より低い予想であるものの、巡回調査における本害虫の本年12月の発生量は過去10年で最も多いことから、今後も本害虫の発生が平年に比べて多くなることが予想される。

特に、ハダニ類に対する天敵を利用しているほ場では、使用できる薬剤の選択肢が限定される場合があるため、本害虫の発生量がさらに増加し、被害が拡大することが懸念される。

3 防除対策等

本害虫は、イチゴの花や果実に寄生し、果実表面の加害により果実の外観品質等を低下させる（写真1、2）。発生が多くなり、ほ場内に様々な発育ステージが混在するようになると防除が困難になる*ため、以下の防除対策を実施する。

*蛹は土中に潜んでいるため薬剤がかからず、十分な防除効果が得られない。

(1) 早期発見と発生状況の把握

ア 施設内に青色粘着板トラップを設置し、トラップへの誘殺の有無により早期発見と発生状況の確認を行う。

イ 開花中の花を白紙上で軽く叩くか、軽く息を吹きかけるなどを行い、花での寄生状況を確認する。

(2) 耕種的・物理的防除

ア 施設内及び周辺の雑草は重要な発生源となるので、開花する前に除草する。また、施設内の観賞用の花き類も撤去する。

イ 施設内に青色粘着板トラップを設置し、発生密度を低下させる。

(3) 薬剤防除

ア 多発生すると防除が困難になるため、発生初期から薬剤防除を徹底する。

イ 薬剤抵抗性の発達を防ぐため、系統の異なる薬剤のローテーション使用を行う。

ウ 訪花昆虫（ミツバチ等）への影響や天敵（カブリダニ類等）を放飼したほ場においては天敵への影響を考慮して、使用する薬剤を選定する。

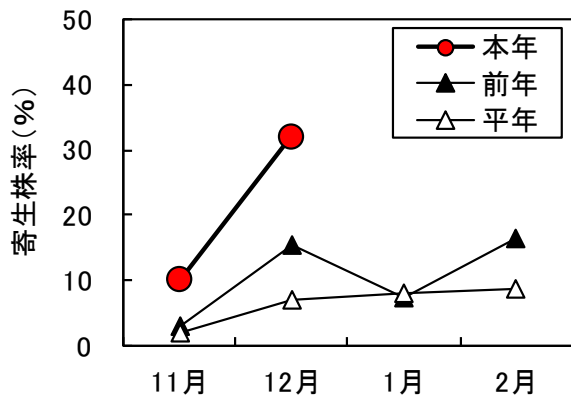


図1 アザミウマ類の寄生株率の推移(イチゴ)
(11-2月:本ぽ)

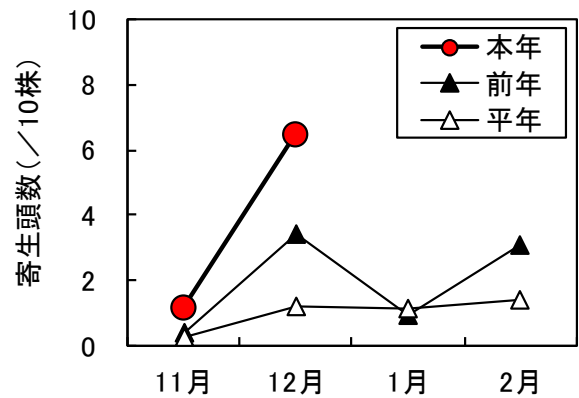


図2 アザミウマ類の寄生頭数の推移(イチゴ)
(11-2月:本ぽ)



写真1 イチゴ花へのアザミウマ類の寄生の様子

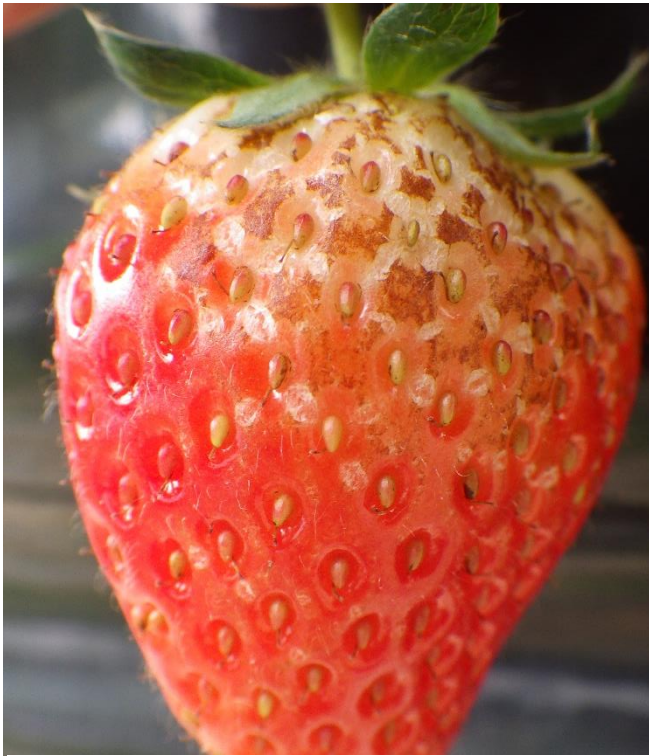


写真2 アザミウマ類による果実表面の被害

熊本県病虫害防除所
(熊本県農業研究センター 生産環境研究所
予察指導室) 担当：中村、中井
TEL 096-248-6490 FAX 096-248-6493

各関係機関長 様

熊本県病害虫防除所長

チャバネアオカメムシの越冬量及び本年7月頃までの発生量（技術情報第15号）について（送付）
このことについて、下記のとおりとりまとめましたので、業務の参考に御活用ください。
記

本年のチャバネアオカメムシの越冬量は平年より多く、本年7月頃までの発生量は、平年より多いと予想される。

1 目的

チャバネアオカメムシの越冬量は、その年の7月頃までの発生量の指標となる4～7月の予察灯誘殺数と正の相関が認められる（図1）。そこで、県内各地のチャバネアオカメムシの越冬量から本年7月頃までの発生量を予想し、防除対策の参考資料とする。

2 調査方法

- (1) 調査時期 令和4年（2022年）1月
- (2) 調査地点 県内16か所の定点（表1）
- (3) 調査方法 各地点3m²（1m²×3カ所）分の落葉を採取し、落葉中のチャバネアオカメムシの越冬虫数を計数した。

3 結果

チャバネアオカメムシの越冬虫数について、県内16地点の合計は16頭（前年4頭、平年8.2頭）で平年比多であった。また、捕獲地点数は、16地点中7地点（前年3地点、平年5.1地点）あり、平年比やや多であった（表1）。

4 今後の発生量予想等

- (1) 本年のチャバネアオカメムシの越冬虫数は平年比多、捕獲地点数は平年比やや多であることから、本年7月までのチャバネアオカメムシの発生量は平年より多いと予想される。
- (2) 果樹カメムシ類は、局地的に飛来し、被害をもたらすことがあるので、定期的に園を見回り、早期発見と薬剤による初期防除を徹底する。
- (3) ここで示したデータには、ツヤアオカメムシの越冬量は含まれていないが、チャバネアオカメムシと同様の対策を行う。
- (4) チャバネアオカメムシ及びツヤアオカメムシの予察灯及びフェロモントラップの誘殺数データを病害虫防除所のホームページ（<http://www.jpnpn.ne.jp/kumamoto/>）に4月以降随時掲載する。これらの情報を参考に防除要否や防除適期を判断する。

表1 チャバネアオカメムシの越冬量調査結果（越冬成虫数（頭/3m²）及び捕獲地点数）

調査年 調査地点	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1 (H31)	R2	R3	R4	平年※
熊本市河内町①	1	0	1	1	0	0	0	0	0	9	2	0	
熊本市河内町②	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	0	2	
熊本市植木町	1	1	3	1	2	0	0	0	0	18	1	1	
宇城市三角町①	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	4	
宇城市三角町②	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	
宇城市不知火町	0	0	0	0	2	0	0	0	0	2	0	0	
宇城市松橋町	0	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	
宇城市豊野町	1	0	1	1	1	0	0	3	0	1	0	0	
玉名市天水町	1	1	1	0	0	0	0	2	0	9	0	5	
山鹿市蒲生	2	0	2	1	5	1	1	3	1	22	0	1	
菊池市玉祥寺	0	0	2	0	2	0	0	2	0	1	1	0	
甲佐町西寒野	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	
氷川町大野	0	0	0	0	2	1	0	0	0	7	0	1	
芦北町田浦	0	1	0	0	1	0	0	2	0	9	0	0	
天草市本渡町	1	1	1	0	5	0	0	4	0	17	0	2	
苓北町内田	0	0	0	0	0	0	0	3	0	27	0	0	
越冬虫数合計	9	4	13	6	21	2	2	20	1	130	4	16	8.2
捕獲地点数	8	4	8	6	9	2	2	8	1	12	3	7	5.1

1 調査時期 令和4年（2022年）1月

2 調査地点 上記県内16か所の定点

3 調査方法 1地点3m²（1m²を3か所）分の落葉を採取し、落葉中の越冬成虫数を計数した。

※平年値はH23～R3（H31）までの10年平均（R2の越冬量は平年に比べて非常に多く、平年値を算出するデータとして適さないため除外した）。

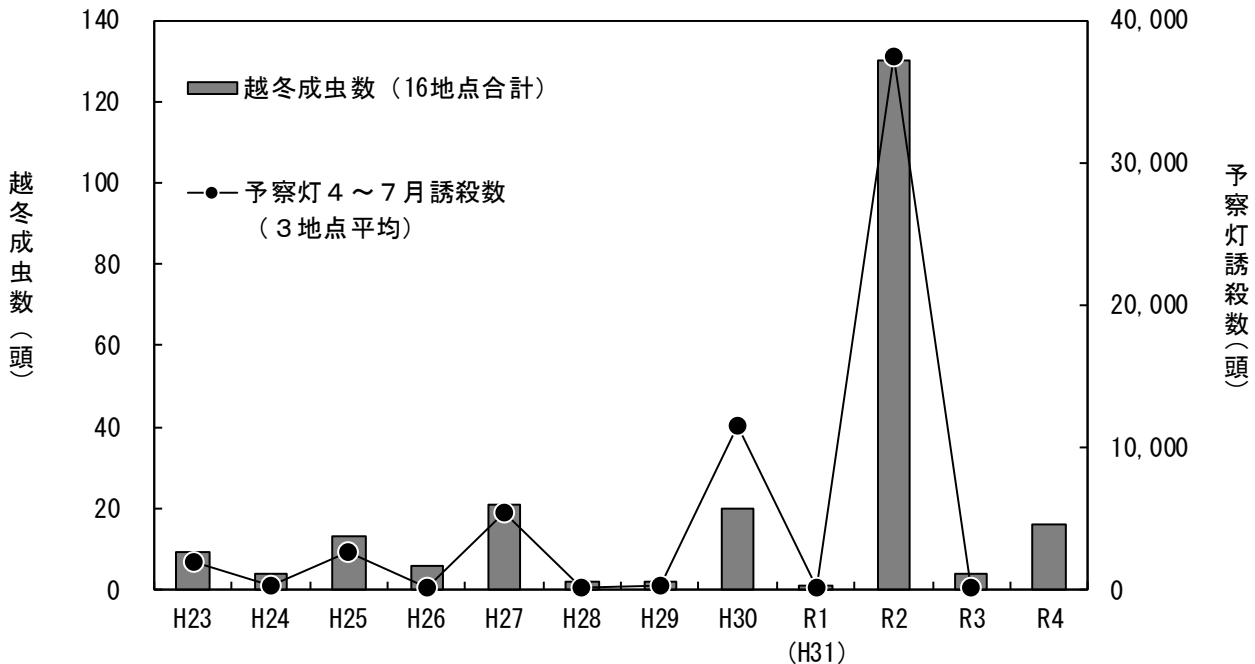


図1 チャバネアオカメムシの越冬虫数と予察灯4～7月誘殺数の推移

1 「越冬虫数」は、各3m²調査した16地点の合計頭数を示す（左縦軸）。

2 「予察灯4月～7月誘殺数」は、合志市栄、宇城市松橋、天草市本渡に設置した3台の予察灯の4月から7月までの誘殺数累計の平均値を示す（右縦軸）。

熊本県農業研究センター 生産環境研究所
 予察指導室（病害虫防除所）
 担当：岡島、中村 TEL：096-248-6490

各関係機関長 様

熊本県病害虫防除所長

冬春キュウリにおける病害（うどんこ病、べと病、菌核病、灰色かび病）の発生状況と防除対策（技術情報第16号）について（送付）

このことについて、下記のとおり取りまとめましたので業務の参考としてご活用ください。

記

2月の巡回調査において、冬春キュウリでうどんこ病、べと病、灰色かび病、及び菌核病の発生が前年・平年に比べ早い時期から増加しています。
今後春先にかけて、例年よりも病害の発生量がさらに増加することが懸念されるため、ほ場内の発生に注意が必要です。

1 発生状況

- (1) 2月の巡回調査における冬春キュウリの病害は、うどんこ病で発病葉率19.7%（平年10.0%）で平年比多、べと病は発病葉率15.3%（平年2.7%）で平年比多、灰色かび病は発病株率1.3%（平年0.0%）で平年比やや多、菌核病は発病株率2.7%（平年0.0%）で平年比やや多の発生であった（図1～4）。
- (2) 防除員の報告では、べと病、菌核病で平年比やや多、うどんこ病、灰色かび病で平年並の発生であった。

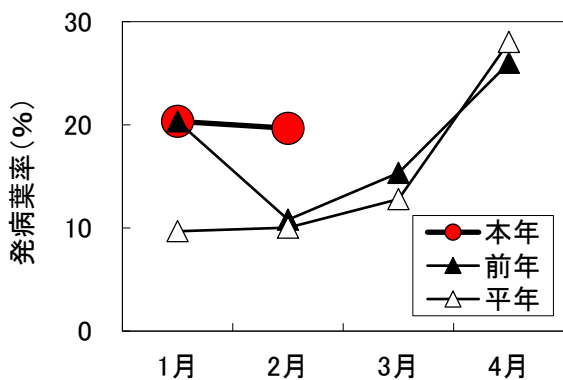


図1 うどんこ病の発病葉率の推移

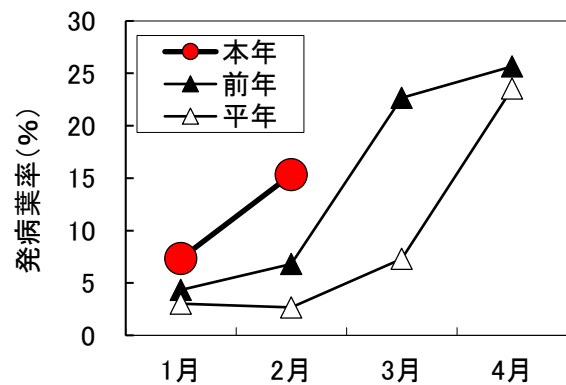


図2 べと病の発病葉率の推移

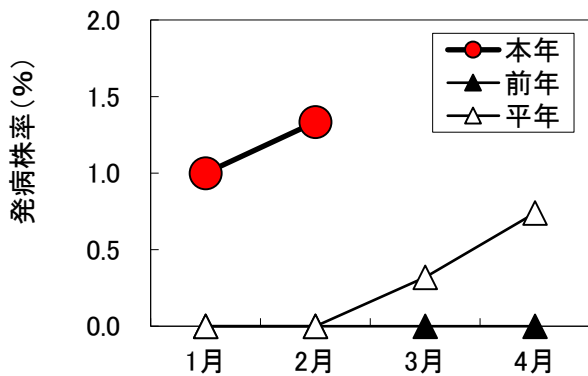


図3 灰色かび病の発病株率の推移

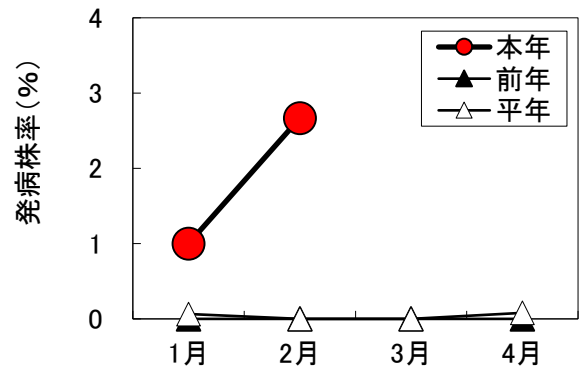


図4 菌核病の発病株率の推移

2 今後の発生予想

福岡管区気象台が2月24日に発表した九州北部地方1か月予報によると、気温は平年より高く、降雨量は平年よりやや少ないが、数日の周期で天候が変わる予想のため、病害にとって好適な温湿度条件が続くことが予想される。

3 防除対策等

- (1) 過繁茂を避け、通風採光を良くする。ハウス栽培では換気を図り、多湿を避ける。
- (2) 発病葉、発病果や被害残さは伝染源となるので、ほ場外に持ち出し処分する。
- (3) 病害によっては肥料切れや樹勢低下により発生が助長されるため、適正な肥培管理を行う。
- (4) 病害が多発してからの防除は困難となるため、予防防除を重点に行う。
- (5) 薬剤抵抗性の発達を防ぐため、系統の異なる薬剤のローテーション使用を行う。

熊本県農業研究センター 生産環境研究所
 予察指導室 (病害虫防除所)
 担当：中井、中村 TEL：096-248-649

各関係機関長 様

熊本県病害虫防除所長

カンキツにおけるミカンハダニ及びカイガラムシ類の発生状況
(技術情報第17号) について (送付)

このことについて、下記のとおり取りまとめましたので、業務の参考に御活用ください。
記

2月のミカンハダニ及びカイガラムシ類の発生量が平年に比べてやや多い状況です。本年は越冬量が多く、今後の気温上昇に伴い、多発生する恐れがありますので、発芽前の防除を徹底し、発生密度を抑制しましょう。

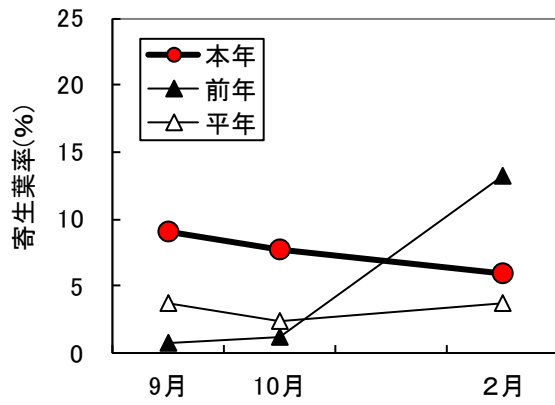
1 発生状況等

- (1) 県内各地のカンキツ園で2月上旬から中旬に実施した巡回調査において、ミカンハダニ雌成虫の寄生葉率は5.9%（平年3.7%）であり、平年比やや多の発生であった。
- (2) 防除員報告では、2月のカイガラムシ類の発生は6地域中3地域で平年比やや多の発生であった。

2 防除対策

ミカンハダニ及びカイガラムシ類の越冬期防除は非常に効果が高く、今後の発生量にも大きく影響する。本年は両種とも越冬量が多く、今後の気温上昇に伴い多発生することが懸念されるため、発芽前に以下の防除を行う。

- (1) マシン油乳剤（精製マシン油乳剤97%、使用濃度80倍）散布により越冬世代の発生密度を抑制する。ただし、樹勢の弱い樹への散布は落葉を助長する恐れがあるため、散布を控える。また、3月のマシン油乳剤散布は発芽前までに実施する。
- (2) 樹勢等を考慮し、マシン油乳剤の散布を控える場合は、アプロード剤（水和剤またはフロアブル）とアビオンEを用いて防除を実施する（参照：農業の新しい技術 No.737（令和3年6月）ウンシュウミカンのナシマルカイガラムシはマシン油乳剤以外による越冬期防除が可能である）。ただし、アプロード剤及びアビオンEを用いた防除はミカンハダニに効果が無いため、春期のミカンハダニの発生に注意する。
- (3) マシン油乳剤、アプロード剤及びアビオンEは浸透移行性が無いため、散布の際には樹全体にムラなくかかるように丁寧に散布する。
- (4) カイガラムシ類は樹幹、枝、葉に寄生しており、枝葉の混みあった所に多発するため、せん定、整枝を行い、薬剤をかかりやすくするとともに、通風・採光を改善する。また、集中的な寄生がみられた枝は除去する。
- (5) 農薬を使用する際はラベルをよく確認し、農薬登録内容を遵守して使用する。



ミカンハダニの寄生葉率の推移

熊本県病害虫防除所
 (熊本県農業研究センター 生産環境研究所
 予察指導室)
 担当：岡島、中村 TEL 096-248-6490

各関係機関長 様

熊本県病虫害防除所長

トビイロウンカの薬剤感受性検定結果（技術情報第18号）について（送付）
このことについて、下記のとおり取りまとめましたので、業務の参考に御活用ください。

記

トビイロウンカのジノテフラン、エトフェンプロックス及びフィプロニルに対する感受性の低下は認められなかった。
また、トリフルメゾピリムについても感受性低下は認められなかった。

1 目的

水稻の重要害虫であるトビイロウンカについては、令和2年に多くの飛来が確認され、県下全域で坪枯れが発生し問題となった。

本虫の防除には育苗箱施薬剤や本田防除剤を使用するが、一部の薬剤に対する感受性が低下している。そこで、薬剤感受性の変化の実態を把握し、効率的な防除対策を立てる資料とする。

2 試験方法

(1) 供試个体群

2021年10月に合志市の水稻ほ場から採集し、その後、恒温室内で数世代飼育・増殖した長翅型雌成虫を検定に用いた。

また、1999年に長崎県で採集された系統を感受性系統として用いた。

(2) 供試薬剤^{注1)}

系統名（IRACコード）	成分名	薬剤名	県内での主な使用法
ネオニコチノイド系（4A）	ジノテフラン	スタークル/アルバリン	育苗箱施薬剤、本田防除剤
合成ピレスロイド系（3A）	エトフェンプロックス	トレボン	本田防除剤
フェニルピラゾール系（2B）	フィプロニル	プリンス	育苗箱施薬剤
メソイオン系（4E）	トリフルメゾピリム	ゼクサロン	育苗箱施薬剤

注1) 薬剤は全て製造メーカーから提供された原体を使用した。

(3) 検定方法

微量局所施用法

供試虫を炭酸ガスで麻酔し、1頭あたり0.083 μ lの薬液をマイクロアプリーケーターで処理し、24時間後及び48時間後の死虫（苦悶虫を含む）を計数した。1薬剤あたり5濃度を設定し、1濃度につき3反復、1反復に15頭程度を供試した。各濃度の死虫率をもとに、プロビット法を用いてLD₅₀値（半数致死量）^{注2)}を算出した。

注2) LD₅₀値（半数致死量）とは

薬剤を処理した供試虫の50%が試験期間内に死亡する薬量を体重当たりの量（ μ g/g）であらわしたものの。薬剤の効果を示す指標として利用される。

同一薬剤では、数値が大きいほど感受性が低い（効果が低い）ことを示す。

3 結果

- (1) ジノテフラン、エトフェンプロックス及びフィプロニルの LD₅₀ 値はこれまでの数値と同水準であり、感受性の低下は認められなかった。
- (2) トリフルメゾピリムの LD₅₀ 値は、感受性系統と差がなく感受性の低下は認められなかった。

表 トビイロウンカに対する各種薬剤の LD₅₀ 値

採集年	採集地	LD ₅₀ (μg/g)				備考
		ジノテフラン	エトフェンプロックス	フィプロニル	トリフルメゾピリム	
1992	熊本県 ¹⁾	-	1.1	-	-	
2005	合志市 ²⁾	0.34	0.75	0.13	-	
2006	合志市 ²⁾	0.1	0.38	0.06	-	
2009	氷川町	0.44	1.3	0.97	-	
2010	合志市	0.33	2.32	0.95	-	
2011	合志市	0.14	3.24	0.94	-	
2013	合志市	1.17	4.87	1.02	-	
	氷川町	0.13	8.22	1.33	-	
2015	芦北町	0.56	3.26	2.63	-	
2017	合志市	0.77	2.6	0.67	-	
2019	合志市	0.69	4.19	0.85	0.21	
2021	合志市	1.84	6.17	1.27	0.51	
1999	長崎県	-	-	-	0.51	感受性系統

1) S. Endo and M. Tsurumachi (2001) Journal of Pesticide Science 26(1):82-86. から引用した。

2) 松村正哉、竹内博昭、佐藤雅 (2006) 九州沖縄農業研究成果情報第 22 号 : 5. から引用した。

※「-」は未検定。

4 防除上の留意点

病虫害防除所が提供する発生予察情報 (<http://www.jpnpn.ne.jp/kumamoto/index.htm>)

- 1) を 参考 to 本田での発生状況を把握し、適期に防除する。

熊本県病虫害防除所
 (熊本県農業研究センター 生産環境研究所
 予察指導室)
 担当: 丹、作本 096-248-6490

各関係機関長 様

熊本県病害虫防除所長

イグサシンムシガの越冬調査結果（技術情報第19号）について（送付）
八代地域で3月25日に実施したイグサシンムシガ越冬調査の結果及び防除対策を下記
のとおり取りまとめましたので、業務の参考にご活用ください。

記

発蛾最盛日は4月12日と予測される（平年より3日早い）。
越冬世代（幼虫+蛹）の発生量は平年に比べてやや少ない。

1 調査結果の概要

- (1) 3月25日現在、越冬世代の蛹化率は同時期の平年より高く、越冬世代成虫の発蛾最盛日は、平年（4月15日）に比べ3日早い4月12日と予測される（表1）。
- (2) 幼虫及び蛹の密度は1.2頭/10㎡（平年3.6頭/10㎡）と平年比やや少であった（表2、図1）。

2 防除対策

- (1) 「長イ」を加害する第2世代幼虫の発生密度を抑えるため、4月に第1世代幼虫に対する防除を徹底する。
- (2) 防除適期は粒剤が発蛾最盛日、液剤及び粉剤は発蛾最盛日7日後を目安にする。なお、気温の変動によっては羽化がばらつくので、発蛾最盛日から7日間隔で2～3回の防除を行う。
- (3) 発蛾最盛日が平年より早まることが予想されるため、防除のタイミングを逃さないように早めに防除の準備を行う。
- (4) 予測される発蛾最盛日は、ほ場によっては差が生じるので、ほ場内の発生状況をよく観察するとともに、病害虫防除所から提供される予察灯での誘殺情報に注意して防除時期を判断する。

※今後のイグサシンムシガに関する情報（発蛾最盛日予測、予察灯データ）については、病害虫防除所ホームページ（<http://www.jpnp.ne.jp/kumamoto>）に随時掲載する。

表1 越冬世代の蛹化率および発蛾最盛日

年次	調査日	蛹化率 (%)	発蛾最盛日予測（実測日）
本年	3月25日	29.4	4月12日
前年	3月25日	66.7	4月3日（3日）
平年	3月26日	30.4	4月15日（14日）

注）蛹化率：調査区と調査区外の幼虫、蛹数も含めて算出

予測式：調査日の蛹化率と過去10年間の「調査日の蛹化率係数（傾き）」と「調査日から発蛾最盛日までの日数係数（切片）」を用いた予測式

発蛾最盛日＝調査日の蛹化率(%)×(-0.28968018)+(26.8191578)+調査日-31日

実測日：乾式予察灯（地点：八代市千丁、鏡）で4月に誘殺のピークが見られた日

表2 イグサシンムシガ越冬調査結果（調査日：令和4年3月25日）

No.	市町村名	地点名	調査株数	被害茎数	幼虫数	蛹数	合計	頭数/10m ² (幼虫+蛹)	茎数/株
1	氷川町	中島	100	0	0	0	0	0.0	63.4
2		鹿野	100	2	2	0	2	5.6	49.0
3		鹿島	100	1	0	0	0	0.0	43.2
4		両出	100	0	0	0	0	0.0	62.2
5		鏡村	100	1	0	0	0	0.0	65.4
6		北新地	100	0	0	0	0	0.0	83.2
7		古閑出	100	0	0	0	0	0.0	50.0
8	八代市	太牟田	100	1	0	0	0	0.0	67.4
9		吉玉丸	100	1	0	0	0	0.0	51.0
10		松高	100	0	0	0	0	0.0	67.4
11		三江湖	100	10	0	3	3	8.4	50.4
12		日奈久	100	3	0	0	0	0.0	66.6
計			1,200	19	2	3	5	1.2	59.9
平年			1,910	55	19	7	25	3.6	

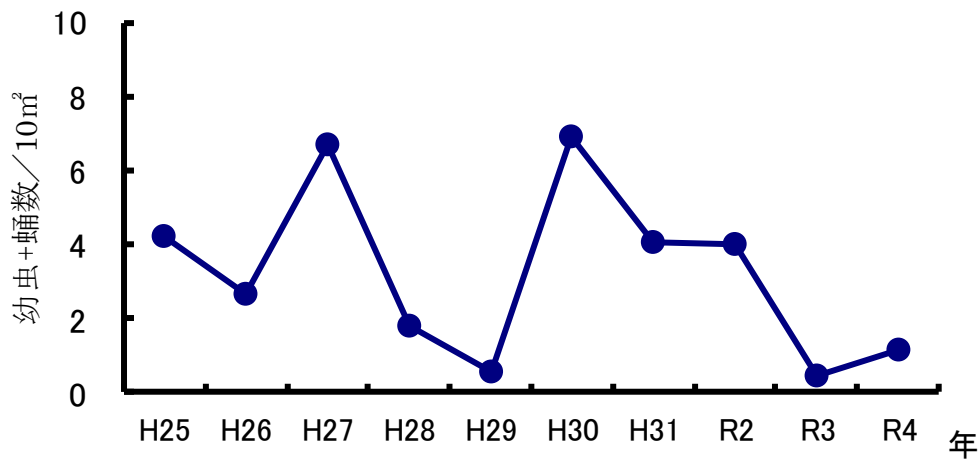


図1 イグサシンムシガの越冬世代幼虫・蛹密度の年次推移（八代地域）

問い合わせ先
 熊本県病害虫防除所
 （生産環境研究所 予察指導室）
 担当：丹
 TEL：096-248-6490

(2) 発生予報

4 月予報

病防第 117 号
令和 3 年（2021 年）3 月 31 日

各関係機関長 様

熊本県病害虫防除所長

病害虫発生予察情報について（送付）

令和 3 年度（2021 年度）発生予報第 1 号を下記のとおり発表しましたので送付します。

令和 3 年度（2021 年度）病害虫発生予報第 1 号（4 月予報）

I 気象予報：令和 3 年（2021 年）3 月 25 日福岡管区气象台発表（単位：％）

◎向こう 1 ヶ月の気象予報（単位：％）

予報対象地域	要素	低い (少ない)	平年並	高い (多い)
九州北部全域 (含、山口県)	気温	10	20	70
	降水量	30	40	30
	日照時間	30	30	40

II 【今後、注意すべき病害虫】

1 発生の概要

作物	病害虫名	発生予想		予想の根拠			備考
		平年比	前年比	巡回調査	防除員報告	気象要因	
麦	赤かび病	並	並	—	—	気温高(+) 降水並(±)	
茶	カンザワハダニ	やや多	並	並(±)	並(±)	気温高(+) 降水並(±)	茶業研究所 平年比多 (+)
カンキツ	ミカンハダニ	多	並	多(+)	やや多～並 (±)	気温高(+) 降水並(±)	
ナシ	黒星病	やや多	やや多	—	—	降水並(±)	
冬春 トマト	灰色かび病	やや多	並	茎葉やや多 果実やや多 (+)	並～やや少 (-)	降水並(±)	
	葉かび病	やや少	少	やや少 (-)	並～やや少 (-)	降水並(±)	

作物	病害虫名	発生予想		予 想 の 根 拠			備 考
		平年比	前年比	巡回調査	防除員報告	気象要因	
冬春 トマト	すすかび病	やや少	並	やや少 (-)	並～やや少 (-)	降水並(±)	
	黄化葉巻病	並	並	黄化葉巻病 並(±) コナジラミ やや多(+)	並(±)	(コナジラミ) 気温高(+)	
冬春 ナス	うどんこ病	やや多	やや多	やや多(+)	並(±)	降水並(±)	
	すすかび病	並	並	並(±)	やや多～や や少(±)	降水並(±)	
冬春キ ュウリ	べと病	やや多	やや多	多(+)	やや多(+)	降水並(±)	
ウリ科 野菜	キュウリ・メロン 退緑黄化病 スイカ 退緑えそ病	並	並	退緑黄化病 並(±) コナジラミ 並(±)	キュウリ や や多 メロン 並～ 少 スイカ 並 (±)	(コナジラミ) 気温高(+)	
イチゴ	うどんこ病	並	やや多	並(±)	並(±)	降水並(±)	
	ハダニ類	並	やや多	並(±)	やや多～並 (+)	気温高(+)	
	アザミウマ類	多	並	多(+)	やや多(+)	気温高(+)	
冬春 果菜類	灰色かび病 (トマト除く)	並	並	キュウリ 並 ナス 並 イチゴ 並 (±)	キュウリ 並 ナス 並～や や少 イチゴ 並 (±)	降水並(±)	

作物	病害虫名	発生予想		予想の根拠			備考
		平年比	前年比	巡回調査	防除員報告	気象要因	
冬春 果菜類	タバコ コナジラミ	やや多	やや多	キュウリ 並 トマト や や多 ナス やや 多 (+)	キュウリ やや多 メロン やや多～少 スイカ 並 トマト やや 多～並 ナス やや多 ～やや少 (±)	気温高(+)	
	アザミウマ類 (イチゴ除く)	並	並	キュウリ やや多 ナス 並 (+)	キュウリ 並 メロン 並～ 少 スイカ 並～ やや少 ナス やや多 ～やや少 (-)	気温高(+)	
野菜 全般	アブラムシ類	並	並	キュウリ 並 トマト 並 ナス 並 イチゴ 多 (+)	キュウリ や や多 メロン やや 多～並 スイカ 並 トマト 並 ナス 並 イチゴ 並 (±)	気温高(+)	

※予想の根拠末尾の括弧書きは、(+)は発生を助長する要因、(-)は発生を抑制する要因、(±)は影響が少ない要因であることを示す。

III 【その他の病害虫】

作物	病害虫名	発生予想 (平年比)	発生概況及び注意すべき事項等
カン キツ	そうか病	並	巡回調査では平年並(±)。 防除効果が高い幼芽期(新芽が5mm以内)に防除する。
	かいよう病	並	巡回調査では一部ほ場で発生がみられ平年比やや多(+) 。果実への感染を防止するため、春葉の防除を行う。

作物	病虫害名	発生予想 (平年比)	発生概況及び注意すべき事項等
ナシ	赤星病	並	前年の巡回調査は、調査期間を通して平年並（±） 黒星病との同時防除を行う。
キュウリ	うどんこ病	並	巡回調査は、平年並（±）。 多発後は防除が困難なので、発生初期の防除を徹底する。
メロン	べと病	並	防除員報告は、平年並～やや少（±）。 肥料切れで多発するので、適正な肥培管理を行う。
	つる枯病	並	防除員報告は、平年並～やや少（±）。 灌水は直接株元に行わず、株元周辺を出来るだけ乾燥状態に保つ。
スイカ	つる枯病	並	防除員報告は、平年並～やや少（±）。 灌水は直接株元に行わず、株元周辺を出来るだけ乾燥状態に保つ。
【野菜病虫害の共通対策事項】 <ul style="list-style-type: none"> ・換気や排水を良くし、過湿の防止に努める（病害）。 ・多発後は防除が困難になるので、早期発見と初期防除に努める。 ・薬剤抵抗性の発達を防ぐため、系統の異なる薬剤のローテーション使用を行う。 			

各関係機関長 様

熊本県病虫害防除所長

病虫害発生予察情報について(送付)

令和3年度(2021年度)発生予報第2号を下記のとおり発表しましたので送付します。

令和3年度(2021年度)病虫害発生予報第2号(5月予報)

I 気象予報:令和3年(2021年)4月22日福岡管区气象台発表(単位:%)

◎向こう1ヶ月の気象予報(単位:%)

予報対象地域	要素	低い (少ない)	平年並	高い (多い)
九州北部全域 (含、山口県)	気温	20	40	40
	降水量	40	40	20
	日照時間	20	40	40

II 【今後、注意すべき病虫害】

1 発生の概要

作物	病虫害名	発生予想		予想の根拠			備考
		平年比	前年比	巡回調査	防除員報告	気象要因	
早期 水稲	葉いもち	並	並	並(±)	並(±)	降水並~少 (-)	
	イネミズゾウムシ	並	並	並(±)	並(±)	気温高~並 (+)	
麦	赤かび病	やや少	並	-	並~少 (-)	降水並~少 (-)	
イグサ	イグサ シンムシガ	やや少	並	-	やや多~や や少 (-)	気温高~並 (+)	越冬調査 少(-) 八代予察灯 やや少(-)
チャ	カンザワ ハダニ	多	やや多	多(+)	やや多~並 (+)	気温高~並 (+) 降水並~少 (+)	茶業研究所 やや多(+)

作物	病害虫名	発生予想		予 想 の 根 拠			備 考
		平年比	前年比	巡回調査	防除員報告	気象要因	
チャ	クワシロ カイガラムシ	並	並	並(±)	並～やや少 (±)	気温高～並 (+) 降水並～少 (+)	
カン キツ	ミカンハダニ	多	多	多(+)	多～並 (+)	気温高～並 (+) 降水並～少 (+)	ほ場調査 宇城市 やや少(-)
ナシ	黒星病	並	並	並(±)	やや多～少 (-)	降水並～少 (-)	
冬春 ナス	すすかび病	並	並	やや少 (-)	並(±)	降水並～少 (-)	
イチゴ (親株)	ハダニ類	やや少	少	やや少 (-)	並(+)	気温高～並 (+)	
	アザミウマ類	多	やや多	多(+)	やや多～並 (±)	気温高～並 (+)	
冬春 キュウリ	うどんこ病	並	並	並(±)	やや多 (+)	降水並～少 (-)	
	べと病	やや多	並	やや多 (+)	やや多 (+)	降水並～少 (-)	
冬春 果菜類	タバコ コナジラミ	並	並	トマト や やや少 ナス やや 多 キュウリ 並 イチゴ 並 (±)	トマト や やや多～並 ナス やや 多～並 メロン や やや多～並 キュウリ やや多 スイカ 並 イチゴ 並 (±)	気温高～並 (+)	

作物	病害虫名	発生予想		予想の根拠			備考
		平年比	前年比	巡回調査	防除員報告	気象要因	
冬春 果菜類	アザミウマ類 (イチゴ除く)	並	並	ナス やや 少 キュウリ 並 (-)	ナス やや 多~並 キュウリ やや少 スイカ 並 (±)	気温高~並 (+)	

※予想の根拠末尾の括弧書きは、(+)は発生を助長する要因、(-)は発生を抑制する要因、(±)は影響が少ない要因であることを示す。

Ⅲ 【その他の病害虫】

作物	病害虫名	発生予想 (平年比)	発生概況及び注意すべき事項等
チャ	チャハマキ	並	巡回調査では平年比やや多(+) 防除員報告では平年並(±) 発蛾最盛期から7~10日後の若齢幼虫期に防除を行う。
	チャノホソガ	並	巡回調査では平年並(±) 防除員報告では平年並~やや多(+) 防除は、三角葉巻をつくる前の若齢期や幼芽期(新芽が5mm以内)を行う。
	チャノコカク モンハマキ	並	巡回調査では平年並(±)であった。 次世代の発生ピークは例年(6月中旬)より早まることが予想されるので、ほ場を見回り発蛾最盛期から7~10日後の若齢幼虫を対象に防除を行う。
カンキツ	そうか病	並	巡回調査は平年並(±) 果樹研究所の県予察ほでは、平年より14日発生が早く、発生量は平年より多い(+)
	かいよう病	並	防除員報告は平年並~やや少(±) 春葉の感染が多いと、果実への感染も多くなるため、春葉の防除を徹底する。
	灰色かび病	並	降水量は平年並~少(-) 花卉が離脱せずに付着したまま残ると多発するので、落弁期を重点に防除する。
	アブラムシ類	並	巡回調査は平年比やや多(+) 発生量や発生時期は年や場所によって差がみられる。新葉の展開に伴い増加することがあるため、発生状況に注意する。
ナシ	赤星病	並	巡回調査は平年並(±) 黒星病と同時防除を行う。
	アブラムシ類	並	巡回調査は平年比やや多(+) 発生量や発生時期は年や場所によって差がみられる。新葉の展開に伴い増加することがあるため、発生状況に注意する。

作物	病虫害名	発生予想 (平年比)	発生概況及び注意すべき事項等
冬春 トマト	葉かび病	やや少	巡回調査では、平年比やや少(-)。 草勢が低下すると多発しやすいため、適切な肥培管理を行う。
	すすかび病	やや少	巡回調査では、平年比やや少(-)。 多発後は防除が困難なので、発生初期の防除を徹底する。
イチゴ (親株)	うどんこ病	並	巡回調査では、平年比やや少(-)。 防除については、3防除のポイント等の「イチゴにおけるうどんこ病、ハダニ類の防除対策」を参照する。
メロン	べと病	並	防除員報告では平年並(±)。 肥料切れで多発するので、適正な肥培管理を行う。
	つる枯病	並	防除員報告では平年並(±)。 灌水は直接株元に行わず、株元周辺を出来るだけ乾燥状態に保つ。
スイカ	菌核病	やや少	防除員報告では平年比やや少(-)。 発生ほ場では、菌核を残さないよう処分する。
	ハダニ類	やや多	防除員報告では平年比やや多(+) 灌水は直接株元に行わず、株元周辺を出来るだけ乾燥状態に保つ。
野菜全般	アブラムシ類	並	巡回調査ではイチゴ・トマト・ナス・キュウリで平年並(±)。 発生を確認したら、直ちに薬剤防除を行う。
【野菜病虫害の共通対策事項】 <ul style="list-style-type: none"> ・換気や排水を良くし、過湿の防止に努める(病害)。 ・多発後は防除が困難になるので、早期発見と初期防除に努める。 ・薬剤抵抗性の発達を防ぐため、系統の異なる薬剤のローテーション使用を行う。 			

各関係機関長 様

熊本県病虫害防除所長

病虫害発生予察情報について（送付）

令和 3 年度（2021 年度）発生予報第 3 号を下記のとおり発表しましたので送付します。

令和 3 年度（2021 年度）病虫害発生予報第 3 号（6 月予報）

I 気象予報：令和 3 年（2021 年）5 月 20 日福岡管区气象台発表（単位：％）

◎向こう 1 ヶ月の気象予報（単位：％）

予報対象地域	要素	低い (少ない)	平年並	高い (多い)
九州北部全域 (含、山口県)	気温	30	30	40
	降水量	10	40	50
	日照時間	50	40	10

II 【今後、注意すべき病虫害】

1 発生の概要

作物	病虫害名	発生予想		予想の根拠			備考
		平年比	前年比	巡回調査	防除員報告	気象要因	
早期・ 早植水稻	葉いもち	やや多	やや多	並(±)	少(-)	降水多(+)	
イグサ	イグサシンムシ ガ	やや少	やや少	—	並～少 (-)	気温高(+)	予察灯調査 八代市 並(±)
茶	炭疽病	やや多	やや多	やや多(+)	並(±)	気温高(+) 降水多(+)	
	カンザワハダニ	多	多	多(+)	やや多(+)	気温高(+) 降水多(-)	ほ場調査 御船町 平年比 やや多(+)
	チャノコカクモ ンハマキ	並	やや多	並(±)	並(±)	気温高(+) 降水多(-)	フェロモントラップ 合志市 並 (±) 御船町 やや少(-)

作物	病害虫名	発生予想		予 想 の 根 拠			備 考
		平年比	前年比	巡回調査	防除員報告	気象要因	
カンキツ	黒点病	やや多	やや多	—	並～少(—)	降水多(+)	
	そうか病	並	並	並(±)	並～少(—)	降水多(+)	ほ場調査 宇城市 やや少(—)
	かいよう病	やや多	やや多	並(±)	やや多～少 (±)	降水多(+)	ほ場調査 宇城市 多(+)
	ミカンハダニ	多	多	多(+)	やや多(+)	気温高(+) 降水多(—)	ほ場調査 宇城市 やや少(—)
	チャノキイロ アザミウマ	並	並	—	並～少(±)	気温高(+) 降水多(—)	粘着トラップ調査 熊本市 並 (±)
ナシ	黒星病	並	やや少	並(±)	やや多～少 (±)	降水多(+)	
果樹全般	果樹カメムシ類	少	少	—	並～少 (±)	気温高(+) 降水多(—)	予察灯・フェロモ ントラップ調査 合志市 やや少(—) 宇城市 少(—) 天草市 少(—)
イチゴ 育苗ほ	炭疽病	並	並	並(±)	並(±)	気温高(+)	
	うどんこ病	やや多	やや多	やや少(—)	やや多(+)	気温高(+) 降水多(+)	
	ハダニ類	やや多	やや多	やや多(+)	並(±)	気温高(+)	
果菜類	タバコ コナジラミ	並	並	キュウリ 少(—)	ナス やや 多～並 キュウリ 並 スイカ 並 (±)	気温高(+) 降水多(—)	

作物	病害虫名	発生予想		予 想 の 根 拠			備 考
		平年比	前年比	巡回調査	防除員報告	気象要因	
果菜類	アザミウマ類	並	やや多	キュウリ 多(+)	ナス やや 多～やや少 キュウリ 並 スイカ や やや多～並 (±)	気温高(+) 降水多(-)	
野菜類 全般	オオタバコガ	やや多	やや多	—	ナス 並 キャベツ 並～少 (±)	気温高(+) 降水多(-)	フェロモントラップ 調査 合志市 多 八代市 多 阿蘇市一の 宮 多 山都町 少 (+)

※予想の根拠末尾の括弧書きは、(+)は発生を助長する要因、(-)は発生を抑制する要因、(±)は影響が少ない要因であることを示す。

Ⅲ 【その他の病害虫】

作物	病害虫名	発生予想 (平年比)	発生概況及び注意すべき事項等
早期・ 早植水稻	イネミズゾウムシ	並	巡回調査は、平年並(±)。 間断かん水を行い、根の健全な生育を図る。
茶	チャノキイロ アザミウマ	並	巡回調査は、平年並(±)。 粘着トラップ調査 合志市：平年並(±) 新芽が加害されるため、萌芽～1葉期に防除する。
	チャノミドリ ヒメヨコバイ	並	巡回調査は、平年比やや少(-)。 新芽が加害されるため、萌芽～1葉期に防除する。
	ツマグロアオ カスミカメ	やや少	巡回調査は、平年比少(-)。 防除員報告では、平年比やや多～並(+) 常多発茶園では、萌芽期を重点に防除する。
	クワシロ カイガラムシ	並	巡回調査は、平年並(±)。 ふ化状況をよく観察し、ふ化最盛期(卵塊全体の60～80% になった時期)に防除する。

作物	病虫害名	発生予想 (平年比)	発生概況及び注意すべき事項等
カキ	炭疽病	並	防除員報告は平年並(±)。 降水量は平年比多(+) 梅雨期は発生が多く、蔓延しやすい時期であり、予防防除に努める。
ブドウ	べと病	並	防除員報告では平年並(±)。 降水量は平年比多(+) 梅雨期は発病の好適条件であるため、昨年発生が多かった園では保護殺菌剤を定期的に散布し、初期感染を防ぐ。
夏秋 キュウリ (高冷地)	べと病	並	防除員報告は平年並(±)。 適正な肥培管理を行う。
	うどんこ病	並	防除員報告は平年並(±)。 初期発生を認めたら直ちに薬剤防除を行う。
野菜類 全般	ハスモン ヨトウ	並	フェロモントラップの5月第1～4半旬の誘殺数は、阿蘇市一の宮及び阿蘇市波野で平年比多、合志市及び八代市で平年並、山都町で平年比少(±)。 早期発見、早期防除に努め、施設栽培では、防虫ネットで侵入を防ぐ。
	アブラムシ類	並	巡回調査は、キュウリ・イチゴで平年並(±)。 防除員報告は、ナスで平年比やや多、キュウリ・パレイシヨで平年並、スイカ・イチゴで平年比やや多～並、キャベツで平年並～やや少(±)。 早期発見、早期防除に努め、施設栽培では、防虫ネットで侵入を防ぐ。
【野菜病虫害の共通対策事項】 <ul style="list-style-type: none"> ・換気や排水を良くし、過湿の防止に努める(病害)。 ・多発後は防除が困難になるので、早期発見と初期防除に努める。 ・薬剤抵抗性の発達を防ぐため、系統の異なる薬剤のローテーション使用を行う。 			

各関係機関長 様

熊本県病害虫防除所長

病害虫発生予察情報について(送付)

令和3年度(2021年度)発生予報第4号を下記のとおり発表しましたので送付します。

令和3年度(2021年度)病害虫発生予報第4号(7月予報)

I 気象予報:令和3年(2021年)6月24日福岡管区气象台発表(単位:%)

◎向こう1ヶ月の気象予報(単位:%)

予報対象地域	要素	低い (少ない)	平年並	高い (多い)
九州北部全域 (含、山口県)	気温	30	40	30
	降水量	30	30	40
	日照時間	30	40	30

II 【今後、注意すべき病害虫】

1 発生の概要

作物	病害虫名	発生予想		予想の根拠			備考
		平年比	前年比	巡回調査	防除員報告	気象要因	
早期 水稻	穂いもち	並	並	並(±)	やや多~やや少(±)	気温並(±) 降水多(+)	巡回調査、 防除員報告 (葉いもち)
早植え 水稻	葉いもち	並	やや少	並(±)	やや多~並(+)	気温並(±) 降水多(+)	防除員報告 (葉いもち)
	トビイロウンカ	並	やや少	並(±)	—	気温並(±)	予察灯調査 やや少(-)
普通期 水稻	葉いもち	並	やや少	並(±)	並~少(-)	気温並(±) 降水多(+)	防除員報告 (苗いもち)
	トビイロウンカ	並	並	—	—	気温並(±)	予察灯調査 やや少(-)
チャ	炭疽病	並	やや少	並(±)	並(±)	気温並(±) 降水多(+)	

作物	病害虫名	発生予想		予想の根拠			備考
		平年比	前年比	巡回調査	防除員報告	気象要因	
チャ	カンザワハダニ	並	並	並(±)	やや多～並(±)	気温並(±) 降水多(-)	ほ場調査 御船町 やや少(-)
	チャノミドリ ヒメヨコバイ	やや多	やや多	多(+)	並(±)	気温並(±)	ほ場調査 御船町 並(±)
	クワシロ カイガラムシ	並	並	並(±)	並～やや少(±)	気温並(±) 降水多(-)	
カンキツ	黒点病	やや多	やや多	並(±)	並～やや少(±)	降水多(+)	宇城市 平年比多(+)
	ミカンハダニ	やや少	少	やや少(-)	やや多～並(±)	気温並(±) 降水多(-)	宇城市 平年比少(-)
	チャノキイロ アザミウマ	並	並	並(±)	並～やや少(±)	気温並(±) 降水多(-)	河内定点調査 粘着板 やや少(-)
ナシ	黒星病	並	少	やや少(-)	やや多～少(±)	降水多(+)	
果樹全般	果樹カメムシ類	少	少	—	カンキツ 並～少(-) ナシ やや少～少(-)	気温並(±) 降水多(-)	予察灯・フェロモントラップ調査 合志市 少 宇城市 少 天草市 少(-)
夏秋 トマト	灰色かび病	やや多	多	やや多(+)	やや多(+)	降水多(+)	
	葉かび病	並	並	並(±)	並(±)	降水多(+)	
	すすかび病	並	並	並(±)	並(±)	降水多(+)	
イチゴ 育苗ほ	炭疽病	並	並	並(±)	やや多～並(±)	気温並(±) 降水多(+)	

作物	病害虫名	発生予想		予想の根拠			備考
		平年比	前年比	巡回調査	防除員報告	気象要因	
イチゴ 育苗ほ	うどんこ病	並	並	やや少 (-)	多～並(+)	降水多(+)	
	ハダニ類	やや多	やや多	やや多 (+)	並(±)	気温並(±)	
夏秋 キュウリ (高冷地)	べと病	やや多	やや多	-	やや多 (+)	降水多(+)	
ウリ科 野菜 (平坦地)	退緑黄化病	並	並	冬春キュウ リ やや少(-) (コナジラ ミ) 多(+)	-	気温並(±)	
夏秋 果菜類 (高冷地)	コナジラミ類	並	やや少	夏秋トマ ト やや少 (-)	夏秋トマト 並(±) 夏秋キュウリ 並(±)	気温並(±)	
夏秋 果菜類 (平坦)	コナジラミ類	やや多	やや多	冬春キュウ リ 多(+)	夏秋ナス やや多～並 (±)	気温並(±)	
	アザミウマ類	並	並	冬春キュウ リ 少(-)	夏秋ナス やや多～並 (±)	気温並(±)	
野菜類 全般	オオタバコガ	やや多	やや多	夏秋トマ ト 並(±)	夏秋トマト 並(±) 夏秋ナス やや多～並 (±) イチゴ 並 (±) 露地キク やや少(-)	気温並(±)	フェロモン トラップ調査 合志市 多 八代市 多 阿蘇市 多 山都町 やや少 (+)

※予想の根拠末尾の括弧書きは、(+)は発生を助長する要因、(-)は発生を抑制する要因、(±)は影響が少ない要因であることを示す。

Ⅲ 【その他の病害虫】

作物	病害虫名	発生予想 (平年比)	発生概況及び注意すべき事項等
早植え・ 普通期 水稲	ツマグロヨコ バイ	並	巡回調査は平年並(±)。 合志市に設置した予察灯及びネットトラップによる6月1半 旬～6月5半旬までの誘殺数は、平年並(±)。
	ヒメトビウン カ	並	巡回調査は、平年並(±)。 合志市に設置した予察灯及びネットトラップによる6月1半 旬～6月5半旬までの誘殺数は、平年並(±)。
	セジロウンカ	並	巡回調査は、平年並(±)。 合志市に設置した予察灯及びネットトラップによる6月1半 旬～6月5半旬までの誘殺数は、平年比やや少(－)。
	コブノメイガ	並	巡回調査は、平年並(±)。 合志市に設置したフェロモントラップによる6月1半旬～6 月5半旬までの誘殺は確認されず、平年比やや少(－)。 コブノメイガに効果のある箱施薬剤を使用していないほ場 では、発生に注意する。
早期・ 早植え 水稲	紋枯病	並	巡回調査は、平年並(±)。 穂ばらみ期から出穂期にかけて薬剤防除を行う。 (要防除水準：穂ばらみ期の発病株率20%)
水稲 全般	縞葉枯病	並	巡回調査は、早期・早植え及び普通期とも平年並。(±)
チャ	チャノコカクモ ンハマキ	並	巡回調査は、平年並(±)。 フェロモントラップ調査 合志市：並(±)、御船町：やや少 (－) 各茶期の摘採直後に若齢幼虫をねらい防除を行う。
	チャノホソガ	並	巡回調査は、平年比やや少(－)。 フェロモントラップ調査 合志市：やや多(+)、御船町：少 (－) 防除効果が高い幼芽期(新芽が5mm以内)に防除を行 う。
	チャノキイロ アザミウマ	やや少	巡回調査は、平年比少(－)。 粘着トラップ調査 合志市：少(－) たたき落とし 御船町：多(+) 新芽を加害するため、萌芽～1葉期に防除する。
	ツマグロアオ カスミカメ	やや少	巡回調査は、やや少(－)。 常多発茶園では、萌芽期を重点に防除する。

作物	病虫害名	発生予想 (平年比)	発生概況及び注意すべき事項等
カンキツ	そうか病	並	巡回調査では平年並(±)。 防除員報告では平年並～少(±)。 り病葉はできるだけ剪除する。園内の通風・採光を良くし、雨や露などが早く乾くようにする。
	かいよう病	並	巡回調査では平年並(±)。 防除員報告では平年並(±)。 伝染源となる発病葉や枝、果実は除去する。
カキ	炭疽病	並	防除員報告は平年並(±)。 降水量は平年比多(+) 梅雨期は発生が多く、蔓延しやすい時期であり、予防防除に努める。
ブドウ	べと病	並	防除員報告では平年比やや少(-)。 降水量は平年比多(+) 梅雨期は発病の好適条件であるため、昨年発生が多かった園では保護殺菌剤を定期的に散布し、初期感染を防ぐ。
夏秋 トマト	うどんこ病	並	巡回調査では平年比やや多(+) 発生を認めたら直ちに薬剤散布を行う。
	ハモグリバエ類	並	巡回調査では平年並(±)。 食害痕が小さいうちに薬剤散布を行う。
夏秋ナス (平坦地)	すすかび病	並	防除員報告では平年並～やや少(±)。 葉裏にも十分かかるよう薬剤散布を行う。
夏秋 キュウリ (高冷地)	うどんこ病	並	防除員報告では、平年並(±)。 発生を認めたら直ちに薬剤散布を行う。
夏秋 キャベツ	細菌性病害 (黒腐病、黒斑 細菌病、軟腐 病)	並	防除員報告では平年並(±)。 ほ場の排水を良くし、風水害の対策を講じる。 また、激しい風雨が予想される場合には事前に薬剤散布を行うとともに、降雨後も薬剤散布を行う。
	コナガ	並	防除員報告は平年比並(±)。 フェロモントラップの6月第1～4半旬の誘殺数は、阿蘇市で平年比やや少(-)、山都町で平年比少(-)。 ジアミド系殺虫剤を使用したほ場で発生が認められた場合は、他系統の薬剤で防除する。

作物	病虫害名	発生予想 (平年比)	発生概況及び注意すべき事項等
野菜類 全般	ハスモン ヨトウ	並	フェロモントラップの6月第1～4半旬の誘殺数は、阿蘇市一の宮で平年比多、山都町で平年比やや多、八代市で平年比やや少、合志市及び阿蘇市波野で平年比少(±)。 早期発見、早期防除に努め、施設栽培では、防虫ネットで侵入を防ぐ。
【野菜病虫害の共通対策事項】 <ul style="list-style-type: none"> ・換気や排水を良くし、過湿の防止に努める(病害)。 ・多発後は防除が困難になるので、早期発見と初期防除に努める。 ・薬剤抵抗性の発達を防ぐため、系統の異なる薬剤のローテーション使用を行う。 			

8月予報

病防第59号

令和3年(2021年)8月2日

各関係機関長 様

熊本県病虫害防除所長

病虫害発生予察情報について(送付)

令和3年度(2021年度)発生予報第5号を下記のとおり発表しましたので送付します。

令和3年度(2021年度)病虫害発生予報第5号(8月予報)

I 気象予報：令和3年(2021年)7月29日福岡管区気象台発表

◎向こう1ヶ月の気象予報(単位：%)

予報対象地域	要素	低い (少ない)	平年並	高い (多い)
九州北部全域 (含、山口県)	気温	30	30	40
	降水量	40	30	30
	日照時間	30	30	40

II 【今後、注意すべき病虫害】

1 発生の概要

作物	病虫害名	発生予想		予想の根拠			備考
		平年比	前年比	巡回調査	防除員報告	気象要因	
早植え 水稻	穂いもち	並	並	やや少(-)	やや多～並 (+)	気温高(-) 降水少(-)	巡回調査、 防除員報告 (葉いもち)

作物	病害虫名	発生予想		予 想 の 根 拠			備 考
		平年比	前年比	巡回調査	防除員報告	気象要因	
	紋枯病	並	並	並(±)	並(±)	気温高(+) 降水少(-)	
	トビイロウンカ	やや少	少	やや少(-)	並~やや少(-)	気温高(+)	
	コブノメイガ	やや少	やや少	やや少(-)	並~やや少(-)	気温高(+)	
普通期 水稲	葉いもち	並	やや多	並(±)	やや多~少(+)	気温高(-) 降水少(-)	
普通期 水稲	紋枯病	並	並	並(±)	並~少(-)	気温高(+) 降水少(-)	
	トビイロウンカ	やや少	やや少	やや少(-)	並~少(-)	気温高(+)	
	コブノメイガ	やや少	やや少	やや少(-)	並~やや少(-)	気温高(+)	
大豆	ハスモンヨトウ	並	やや少	—	—	気温高(+) 降水少(+)	フェロモン トラップ調査 合志市 やや少 八代市 並 阿蘇市一の宮 並 阿蘇市波野 並 山都町 並 (±)
チャ	炭疽病	やや少	やや少	やや少(-)	やや多~並(±)	気温高(+) 降水少(-)	

作物	病害虫名	発生予想		予 想 の 根 拠			備 考
		平年比	前年比	巡回調査	防除員報告	気象要因	
	カンザワハダニ	並	並	並(±)	並(±)	気温高(+) 降水少(+)	御船町 並(±)
	チャノキイロ アザミウマ	並	並	並(±)	並(±)	気温高(+)	フェロモントラップ 調査 合志市 少(-) 御船町 やや少(-)
	チャノミドリヒ メヨコバイ	やや多	やや多	多(+)	並(±)	気温高(+)	御船町 多(+)

作物	病害虫名	発生予想		予 想 の 根 拠			備 考
		平年比	前年比	巡回調査	防除員報告	気象要因	
チャ	チャノホソガ	並	並	やや少(-)	並 (±)	気温高(+)	フェロモン トラップ調査 合志市 やや少(-) 御船町 少(-)
	チャノコ カクモンハマキ	並	並	やや少(-)	並(±)	気温高(+)	フェロモン トラップ調査 合志市 やや少(-) 御船町 やや少(-)
カン キツ	黒点病	並	並	並(±)	並~やや少 (±)	降水少(-)	宇城市 並(±)
	かいよう病	やや多	並	やや多(+)	やや多~や や少(±)	降水少(-)	宇城市 多(+)
	ミカンハダニ	並	並	やや多(+)	やや多~や や少(±)	気温高(+) 降水少(+)	宇城市 少(-)

作物	病害虫名	発生予想		予想の根拠			備考
		平年比	前年比	巡回調査	防除員報告	気象要因	
	チャノキイロアザミウマ	やや多	やや多	やや多(+)	並～少(±)	気温高(+)	黄色粘着板調査 熊本市河内町 並(±) 宇城市 やや多(+)
ナシ	ハダニ類	やや多	多	多(+)	やや多～並(+)	気温高(+) 降水少(+)	
果樹全般	果樹カメムシ類	少	少	—	カンキツ並～少(-) ナシ やや少～少(-)	気温高(+) 降水少(+)	各予察灯・フェロモントラップ調査 合志市 少(-) 宇城市 少(-) 天草市 少(-)
夏秋トマト	灰色かび病	やや少	並	少(-)	並(±)	気温高(-) 降水少(-)	
夏秋トマト	葉かび病	やや多	並	多(+)	並(±)	気温高(-) 降水少(-)	
	すすかび病	並	並	並(±)	やや多～並(±)	気温高(+) 降水少(-)	
	うどんこ病	やや多	やや多	多(+)	多～やや多(+)	気温高(-) 降水少(-)	
イチゴ育苗ほ	炭疽病	並	並	並(±)	並(±)	気温高(+) 降水少(-)	
	ハダニ類	並	並	やや少(-)	並(±)	気温高(+) 降水少(+)	
	アブラムシ類	やや多	やや多	多(+)	並(±)	気温高(+) 降水少(+)	

作物	病害虫名	発生予想		予想の根拠			備考
		平年比	前年比	巡回調査	防除員報告	気象要因	
夏秋 果菜類 (高冷地)	コナジラミ類	並	やや多	トマト やや少(-)	キュウリ 並 トマト やや多 (+)	気温高(+) 降水少(+)	
夏秋 果菜類 (平坦地)	コナジラミ類	やや多	やや多	—	ナス やや多~並 (±)	気温高(+) 降水少(+)	
	アザミウマ類	やや多	やや多	—	ナス やや多(+)	気温高(+) 降水少(+)	
野菜類 全般	ハスモンヨトウ	並	やや少	トマト 並 イチゴ 並 (±)	トマト 並 ナス やや多 イチゴ 並 露地キク やや少 (±)	気温高(+) 降水少(+)	フェロモン トラップ調査 合志市 やや少 八代市 並 阿蘇市一の宮 並 阿蘇市波野 並 山都町 並 (±)

※予想の根拠末尾の括弧書きは、(+)は発生を助長する要因、(-)は発生を抑制する要因、(±)は影響が少ない要因であることを示す。

III 【その他の病害虫】

作物	病害虫名	発生予想 (平年比)	発生概況及び注意すべき事項等
早植え 水稻	斑点米カメムシ類	並	巡回調査では、寄生を認めず平年並(±)。
夏秋ナス (平坦地)	灰色かび病	並	防除員報告は、平年並~やや少(±)。 発生が見られたほ場では8月の防除を徹底する。
	すすかび病	やや少	防除員報告は、平年比やや少(-)。 葉裏にも十分かかるよう薬剤散布を行う。
イチゴ 育苗ほ	うどんこ病	並	巡回調査は、平年比やや少(-)。 初期発生を認めたら直ちに薬剤防除を行う。

作物	病虫害名	発生予想 (平年比)	発生概況及び注意すべき事項等
夏秋 キュウリ (高冷地)	べと病	やや多	防除員報告は、平年比やや多(+) 適正な肥培管理を行う。
夏秋 キュウリ (高冷地)	うどんこ病	並	防除員報告は、平年並(±) 初期発生を認めたら直ちに薬剤防除を行う。
夏秋 キャベツ	細菌性病害 (黒腐病、黒斑細菌病、軟腐病)	並	防除員報告は、平年並(±) 発生後の防除は困難なため、激しい風雨が予想される場合には事前に薬剤散布を行う。
露地キク	アブラムシ類	やや多	防除員報告は、平年比やや多(+) 初期発生を認めたら直ちに薬剤防除を行う。
【野菜病虫害の共通対策事項】 <ul style="list-style-type: none"> ・換気や排水を良くし、過湿の防止に努める(病害)。 ・多発後は防除が困難になるので、早期発見と初期防除に努める。 ・薬剤抵抗性の発達を防ぐため、系統の異なる薬剤のローテーション使用を行う。 			

各関係機関長 様

熊本県病虫害防除所長

病虫害発生予察情報について(送付)

令和3年度(2021年度)発生予報第6号を下記のとおり発表しましたので送付します。

令和3年度(2021年度)病虫害発生予報第6号(9月予報)

I 気象予報:令和3年(2021年)8月26日福岡管区気象台発表

◎向こう1ヶ月の気象予報(単位:%)

予報対象地域	要素	低い (少ない)	平年並	高い (多い)
九州北部全域 (含、山口県)	気温	30	40	30
	降水量	30	30	40
	日照時間	40	30	30

II 【今後、注意すべき病虫害】

1 発生の概要

作物	病虫害名	発生予想		予想の根拠			備考
		平年比	前年比	巡回調査	防除員報告	気象要因	
普通期 水稲	穂いもち	やや多	やや多	多(+)	やや多~ やや少(±)	降水多(+)	巡回調査、防 除員報告 (葉いもち)
	トビイロウンカ	やや少	少	やや少(-)	並~少(-)	気温並(±)	
大豆	ハスモンヨトウ	並	やや少	やや少(-)	並~やや少 (-)	降水多(-)	フェロモン トラップ調査 合志市 並 阿蘇市 並 (±)
	カメムシ類	並	並	並(±)	並(±)	気温並(±)	予察灯調査 ミナミアオカメムシ 並 アオカメムシ 少 (-)

作物	病害虫名	発生予想		予 想 の 根 拠			備 考
		平年比	前年比	巡回調査	防除員報告	気象要因	
チャ	炭疽病	並	並	並(±)	多～並(+)	降水多(+)	
	カンザワハダニ	並	並	やや多(+)	並(±)	気温並(±) 降水多(-)	御船町 やや少(-)
	チャノミドリ ヒメヨコバイ	やや多	並	やや多(+)	並(±)	気温並(±) 降水多(-)	御船町 やや多(+)
	チャノホソガ	やや多	やや多	多(+)	並(±)	気温並(±) 降水多(-)	フェロモン トラップ調査 合志市 やや 少 御船町 やや 少 (-)
	クワシロ カイガラムシ	並	並	やや多(+)	並(±)	気温並(±) 降水多(-)	
カン キツ	黒点病	並	やや少	並(±)	やや多～や や少(±)	降水多(+)	宇城市 平年比 やや 少(-)
	かいよう病	やや多	やや多	やや多(+)	やや多～並 (±)	降水多(+)	宇城市 平年比多 (+)
	ミカンハダニ	並	並	やや多(+)	やや多～や や少(±)	気温並(±) 降水多(-)	宇城市 平年比少 (-)
	チャノキイロア ザミウマ	並	並	やや多(+)	並～少(±)	気温並(±) 降水多(-)	粘着板調査 熊本市河内町 平年並(±) 宇城市 平年並(±)

作物	病害虫名	発生予想		予 想 の 根 拠			備 考
		平年比	前年比	巡回調査	防除員報告	気象要因	
ナシ	黒星病	並	並	並(±)	やや少(-)	降水多(+)	
	ハダニ類	並	やや多	並(±)	並~やや少(±)	気温並(±) 降水多(-)	
	ナシヒメシクイ	やや多	やや多	—	並~やや少(-)	気温並(±)	フェロモン トラップ調査 宇城市 平年比多(+)
果樹 全般	果樹 カメムシ類	やや多	多	—	カンキツ 並~少(-) ナシ やや少~少(-) カキ 並(±)	気温並(±) 降水多(-)	予察灯・ フェロモン トラップ調査 合志市 少(-) 宇城市 やや少(-) 天草市 やや少(-) ビーティング 調査 やや多(+)
夏秋 トマト	灰色かび病	やや多	やや多	やや多(+)	多(+)	気温並(±) 降水多(+)	
	葉かび病	多	多	多(+)	並(±)	気温並(±) 降水多(+)	
	うどんこ病	多	多	多(+)	やや多(+)	気温並(±) 降水多(+)	
	すすかび病	並	やや多	並(±)	並~やや少(±)	気温並(±) 降水多(+)	

作物	病害虫名	発生予想		予想の根拠			備考
		平年比	前年比	巡回調査	防除員報告	気象要因	
イチゴ	炭疽病	やや多	やや多	並(±)	並(±)	気温並(±) 降水多(+)	
	ハダニ類	やや少	やや少	少(-)	並(±)	気温並(±)	
	アブラムシ類	並	並	並(±)	並(±)	気温並(±)	
夏秋 キュウリ (高冷地)	べと病	やや多	やや多	—	やや多(+)	気温並(±) 降水多(+)	
夏秋 果菜類 (平坦地)	コナジラミ類	並	並	—	ナス やや多~並 メロン 並 (+)	気温並(±)	黄色粘着板 トラップ調査 熊本市 並 山鹿市 多 菊池市 少 (±)
	アザミウマ類	並	並	—	ナス やや多 メロン 並 (+)	気温並(±)	
	ハスモンヨトウ	やや少	やや少	イチゴ 並 トマト 並 (±)	ナス 並 イチゴ 並ト マト 並 (±)	気温並(±)	フェロモン トラップ調査 合志市 やや少 八代市 少 山都町 やや少 阿蘇市 一の宮 並 波野 やや少 (-)

※予想の根拠末尾の括弧書きは、(+)は発生を助長する要因、(-)は発生を抑制する要因、(±)は影響が少ない要因であることを示す。

Ⅲ 【その他の病害虫】

作物	病害虫名	発生予想 (平年比)	発生概況及び注意すべき事項等
普通期 水稻	紋枯病	並	巡回調査は平年並(±)。 出穂期以降高温が続くと上位葉鞘に病斑が進展するため、発生が多い場合は防除を行う。
	斑点米 カメムシ類	並	トラップ調査(合志市)：平年比やや少(-)。 常発地帯では2回目の防除を穂揃い期の7～10日後に行う。
大豆	べと病	並	巡回調査は、平年比少(-)。 防除員報告は、平年並(±)。 湿度が高いと発生が助長されるため、降雨後の発生に注意し、発病が拡大しないうちに防除を行う。
チャ	チャノキイロ アザミウマ	並	巡回調査は、平年並(±)。 トラップ調査 合志市：平年並(±) たたき落とし調査 御船町：平年並(±) 新芽が加害されるので、開葉期に防除する。
	チャノコカク モンハマキ	並	巡回調査は、平年比やや多(+) トラップ調査 合志市：平年並(±) 御船町：平年比やや少(-) 発蛾最盛期の7日～10日後に防除する。
カキ	炭疽病	やや多	防除員報告は平年比やや多(+) 降水量は平年比多(+) 発病枝は園外で処分し、病原菌の密度を下げる。 発病後の防除では効果が低いので、予防散布を徹底する。
イチゴ	うどんこ病	並	巡回調査では平年並(±)。 防除については、3 防除のポイント等の「イチゴ定植前のうどんこ病、炭疽病およびハダニ類の防除対策」を参照する。
夏秋 果菜類 (高冷地)	コナジラミ類	やや少	巡回調査ではトマトで平年比少(-)。 現在発生しているほ場では、早期に防除する。
夏秋ナス (平坦地)	すすかび病	並	防除員報告では平年並(±)。 葉裏にも十分かかるよう薬剤散布を行う。

作物	病虫害名	発生予想 (平年比)	発生概況及び注意すべき事項等
夏秋 キュウリ (高冷地)	うどんこ病	並	防除員報告は平年並(±)。 初期発生を認めたら直ちに薬剤防除を行う。
夏秋 キャベツ	軟腐病	やや多	防除員報告では平年比多～やや多(+) ほ場の排水をよくし、現在発生しているほ場では、早期に防除する。
露地キク	白さび病	並	防除員報告は、平年並(±)。 罹病葉が伝染源となって感染が拡大するので、罹病葉は早めに除去し、適切に処分する。
【野菜病虫害の共通対策事項】 <ul style="list-style-type: none"> ・換気や排水を良くし、過湿の防止に努める(病害)。 ・多発後は防除が困難になるので、早期発見と初期防除に努める。 ・薬剤抵抗性の発達を防ぐため、系統の異なる薬剤のローテーション使用を行う。 			

各関係機関長 様

熊本県病害虫防除所長

病害虫発生予察情報について(送付)
令和3年度(2021年度)発生予報第7号を下記のとおり発表しましたので送付します。

令和3年度(2021年度)病害虫発生予報第7号(10月予報)

I 気象予報:令和3年(2021年)9月23日福岡管区気象台発表

◎向こう1ヶ月の気象予報(単位:%)

予報対象地域	要素	低い (少ない)	平年並	高い (多い)
九州北部全域 (含、山口県)	気温	10	20	70
	降水量	40	40	20
	日照時間	20	40	40

II 【今後、注意すべき病害虫】

1 発生の概要

作物	病害虫名	発生予想		予想の根拠			備考
		平年比	前年比	巡回調査	防除員報告	気象要因	
大豆	ハスモンヨトウ	並	並	やや多(+)	やや多~並(+)	気温高(+) 降水並~少(+)	フェロモン トラップ調査 合志市 やや 少(-) 阿蘇市一の宮 やや少(-)
	カメムシ類	並	やや多	並(±)	並(±)	気温高(+) 降水並~少(+)	予察灯調査 合志市 シアカムシ やや多(+) アカカムシ やや少(-)

作物	病害虫名	発生予想		予 想 の 根 拠			備 考
		平年比	前年比	巡回調査	防除員報告	気象要因	
チャ	カンザワハダニ	並	並	並(±)	並(±)	気温高(+) 降水並～少 (+)	御船町 並(±)
カン キツ	ミカンハダニ	やや多	やや多	やや多(+)	並(±)	気温高(+) 降水並～少 (+)	果樹研予察 ほ 宇城市 少(-)
	緑かび病 (貯蔵病害)	並	並	—	—	気温高(+) 降水並～少 (-)	
果樹 全般	果樹 カメムシ類	並	並	—	カンキツ 並～少(-) ナシ やや少(-) カキ 並(±)	気温高(+) 降水並～少 (+)	予察灯・フェロモ ントラップ調査 合志市 少 宇城市 少 天草市 少 (-)
夏秋 トマト	葉かび病	多	多	多(+)	やや多～や や少(±)	降水並～少 (-)	
	すすかび病	やや多	多	やや多(±)	やや多～や や少(±)	降水並～少 (-)	
	灰色かび病	並	並	並(±)	並(±)	降水並～少 (-)	

作物	病害虫名	発生予想		予 想 の 根 拠			備 考
		平年比	前年比	巡回調査	防除員報告	気象要因	
冬春 トマト	黄化葉巻病	並	やや多	黄化葉巻病 並(±) コナジラミ 多(+)	—	(コナジラミ) 気温高(+)	
イチゴ	炭疽病	並	並	並(±)	並～やや少 (-)	気温高(+) 降水並～少 (-)	
	ハダニ類	やや多	やや多	多(+)	多～並(+)	気温高(+)	
ウリ科 野菜	退緑黄化病	並	並	—	キュウリ 並 メロン やや多～並 (±)	(コナジラミ) 気温高(+)	粘着トラップ 調査 並(±) 保毒虫率調査 やや少(-)
冬春 果菜類	コナジラミ類	やや多	やや多	トマト 多 (+)	ナス やや多 キュウリ 並 メロン やや多～並 (±)	気温高(+)	
	アザミウマ類	並	並	—	ナス やや多 ～並 キュウリ 並 (±)	気温高(+)	
野菜類 全般	ハスモンヨトウ	やや少	やや少	夏秋トマト 並 冬春トマト 並 イチゴ 並 (±)	夏秋ナス 並 夏秋トマト 並 イチゴ やや多～並 夏秋キャベ ツ 並 露地キク 並 (±)	気温高(+) 降水並～少 (+)	フェロモン トラップ調査 合志市 少 八代市 少 山都町 やや少 阿蘇市 一の宮 やや少 波野 少 (-)

作物	病害虫名	発生予想		予 想 の 根 拠			備 考
		平年比	前年比	巡回調査	防除員報告	気象要因	
野菜類 全般	オオタバコガ	やや少	やや少	夏秋トマト 並 冬春トマト 並 (±)	夏秋ナス や や多～並 夏秋トマト 並 イチゴ 並 露地キク や や多 (+)	気温高(+) 降水並～少 (+)	フェロモン トラップ調査 合志市 少 八代市 少 阿蘇市 並 山都町 少 (-)

※予想の根拠末尾の括弧書きは、(+)は発生を助長する要因、(-)は発生を抑制する要因、(±)は影響が少ない要因であることを示す。

Ⅲ 【その他の病害虫】

作物	病害虫名	発生予想 (平年比)	発生概況及び注意すべき事項等
イチゴ	うどんこ病	並	巡回調査は平年並(±)。 防除については、3 防除のポイント等の「イチゴにおける定植後の炭疽病及びうどんこ病の防除対策」を参照する。
秋メロン	べと病	並	防除員報告は平年並(±)。 初期発生を認めたら直ちに薬剤散布を行い、薬液が葉裏によく付着するよう丁寧に行う。
野菜全般	アブラムシ類	並	巡回調査はイチゴで平年比多、冬春トマトで平年並(+) ウイルスを媒介するので、防虫ネット等では場内への侵入を防ぐ。
露地キク	白さび病	並	防除員報告は平年並(±)。 罹病葉が伝染源となって感染が拡大するので、罹病葉は早めに除去し、適切に処分する。

【野菜病害虫の共通対策事項】

- ・換気や排水を良くし、過湿の防止に努める(病害)。
- ・多発後は防除が困難になるので、早期発見と初期防除に努める。
- ・薬剤抵抗性の発達を防ぐため、系統の異なる薬剤のローテーション使用を行う。

11月予報

病防第93号
令和3年(2021年)11月1日

各関係機関長 様

熊本県病虫害防除所長

病虫害発生予察情報について(送付)
令和3年度(2021年度)発生予報第8号を下記のとおり発表しましたので送付します。

令和3年度(2021年度)病虫害発生予報第8号(11月予報)

I 気象予報:令和3年(2021年)10月28日福岡管区气象台発表

◎向こう1ヶ月の気象予報(単位:%)

予報対象地域	要素	低い (少ない)	平年並	高い (多い)
九州北部全域 (含、山口県)	気温	30	40	30
	降水量	30	40	30
	日照時間	30	40	30

II 【今後、注意すべき病虫害】

1 発生の概要

作物	病虫害名	発生予想		予想の根拠			備考
		平年比	前年比	巡回調査	防除員報告	気象要因	
チャ	カンザワハダニ	やや多	やや多	並(±)	並(±)	気温並(±) 降水並(±)	茶研予察ほ 御船町 多 (+)
カン キツ	ミカンハダニ	多	多	多(+)	やや多~並 (+)	気温並(±) 降水並(±)	果樹研予察ほ 宇城市 並 (±)
冬春 トマト	黄化葉巻病	多	多	黄化葉巻病 多(+) コナジラミ 多(+)	多~並 (+)	(コナジラミ) 気温並(±)	
	すすかび病	やや少	並	やや少(-)	並(±)	気温並(±) 降水並(±)	

作物	病害虫名	発生予想		予 想 の 根 拠			備 考
		平年比	前年比	巡回調査	防除員報告	気象要因	
冬春ナス	すすかび病	並	並	並(±)	並～やや少 (-)	気温並(±) 降水並(±)	
ウリ科野菜	退緑黄化病	並	並	—	キュウリ並 メロン並 (±)	(コナジラミ) 気温並(±)	メロン発病 株率調査 並(±)
イチゴ	うどんこ病	やや少	並	並(±)	並(±)	降水並(±)	
	ハダニ類	やや多	並	やや多(+)	やや多～並 (±)	気温並(±)	
冬春果菜類	コナジラミ類	多	多	トマト 多(+) ナス やや多(+)	ナス やや多(+) トマト 多～並(+) キュウリ やや多(+) メロン やや多～並 (±)	気温並(±)	
	アザミウマ類	やや少	並	ナス やや少(-)	ナス やや多～並 (±) キュウリ 並(±) メロン 並～やや少 (±)	気温並(±)	

作物	病害虫名	発生予想		予 想 の 根 拠			備 考
		平年比	前年比	巡回調査	防除員報告	気象要因	
野菜類 全般	ハスモンヨトウ	やや多	やや多	イチゴ 多(+) ナス 並(±) トマト 並(±)	イチゴ 多～やや多 (+) ナス やや多～並 (±) トマト やや多～並 (±)	気温並(±) 降水並(±)	フェロモン トラップ調査 合志市 並 八代市 並 山都町 並 阿蘇市 一の宮 並 波野 多 (±)

※予想の根拠末尾の括弧書きは、(+)は発生を助長する要因、(-)は発生を抑制する要因、(±)は影響が少ない要因であることを示す。

Ⅲ 【その他の病害虫】

作物	病害虫名	発生予想 (平年比)	発生概況及び注意すべき事項等
カンキツ	緑かび病 (貯蔵病害)	並	防除員報告では、平年並～少(-)。 収穫時には、果実表面に傷が付かないよう注意し、収穫当日は選果をしない。また、入庫前は必ず予措を行う。
冬春 トマト	葉かび病	並	巡回調査では平年並(±)。 除去した病葉は、直ちにほ場の外へ持ち出す。
冬春トマ ト・冬春 ナス	灰色かび病	並	巡回調査ではトマト・ナスで平年並(±)。 除去した病葉や果実は、直ちにほ場の外へ持ち出す。
秋メロン	べと病	並	防除員報告は平年並～少(±)。 除去した病葉は、直ちにほ場の外へ持ち出す。
野菜全般	アブラムシ類	並	巡回調査ではイチゴで平年比やや多、トマトで平年並(±)。 発生を確認したら、直ちに薬剤防除を行う

作物	病虫害名	発生予想 (平年比)	発生概況及び注意すべき事項等
<p>【野菜病虫害の共通対策事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・換気や排水を良くし、過湿の防止に努める(病害)。 ・多発後は防除が困難になるので、早期発見と初期防除に努める。 ・薬剤抵抗性の発達を防ぐため、系統の異なる薬剤のローテーション使用を行う。 			

12月予報

病防第102号
令和3年(2021年)11月30日

各関係機関長 様

熊本県病害虫防除所長

病害虫発生予察情報について(送付)
令和3年度(2021年度)発生予報第9号を下記のとおり発表しましたので送付します。

令和3年度(2021年度)病害虫発生予報第9号(12月予報)

I 気象予報:令和3年(2021年)11月25日福岡管区气象台発表

◎向こう1ヶ月の気象予報(単位:%)

予報対象地域	要素	低い (少ない)	平年並	高い (多い)
九州北部全域 (含、山口県)	気温	50	30	20
	降水量	40	30	30
	日照時間	40	40	20

II 【今後、注意すべき病害虫】

1 発生の概要

作物	病害虫名	発生予想		予想の根拠			備考
		平年比	前年比	巡回調査	防除員報告	気象要因	
カンキツ	ミカンハダニ	並	並	—	やや多～ やや少(±)	気温低(-) 降水少(+)	
冬春 トマト	黄化葉巻病	多	多	黄化葉巻病 多(+) コナジラミ やや多(+)	多～並(+)	(コナジラミ) 気温低(-)	
	灰色かび病	並	並	並(±)	並(±)	降水少(-)	
	葉かび病	並	並	並(±)	並(+)	降水少(-)	
	疫病	並	並	並(±)	並(±)	降水少(-)	

作物	病害虫名	発生予想		予想の根拠			備考
		平年比	前年比	巡回調査	防除員報告	気象要因	
冬春ナス	灰色かび病	並	並	並(±)	並(±)	降水少(-)	
	すすかび病	並	並	並(±)	並(±)	降水少(-)	
冬春キュウリ	うどんこ病	やや多	やや多	やや多(+)	-	降水少(-)	
イチゴ	うどんこ病	やや少	並	並(±)	並(±)	降水少(-)	
	ハダニ類	やや多	並	やや多(+)	並(±)	気温低(-)	
	アザミウマ類	やや多	並	多(+)	やや多~並(±)	気温低(-)	
レタス	菌核病	並	並	並(±)	並(±)	降水少(-)	
冬春果菜類	コナジラミ類	並	並	トマト やや多(+) ナス 並(±) キュウリ やや少(-)	トマト やや多~並(+) ナス やや多~並(+) キュウリ 並(±)	気温低(-)	黄色粘着板 トラップ調査 八代市 やや少(-)
	アザミウマ類 (イチゴ除く)	やや少	並	ナス やや少(-) キュウリ やや少(-)	ナス 並(±) キュウリ 並(±)	気温低(-)	

※予想の根拠末尾の括弧書きは、(+)は発生を助長する要因、(-)は発生を抑制する要因、(±)は影響が少ない要因であることを示す。

Ⅲ 【その他の病害虫】

作物	病害虫名	発生予想 (平年比)	発生概況及び注意すべき事項等
冬春 トマト	すすかび病	やや少	巡回調査では平年比やや少(-)。 発病果、発病葉は伝染源となるので早期に除去し、処分する。
冬春ナス	うどんこ病	並	巡回調査では平年比やや多(+) 発病葉は伝染源となるので早期に除去し、処分する。
レタス	細菌性病害 (斑点細菌病、 軟腐病、腐敗病)	並	巡回調査では、斑点細菌病、軟腐病、腐敗病はいずれも発生を認めず(発病株率平年0.0%)、平年並であった(±)。予防が基本となるため、被覆前に薬剤散布を行う。
【野菜病害虫の共通対策事項】 <ul style="list-style-type: none"> ・換気や排水を良くし、過湿の防止に努める(病害)。 ・多発後は防除が困難になるので、早期発見と初期防除に努める。 ・薬剤抵抗性の発達を防ぐため、系統の異なる薬剤のローテーション使用を行う。 			

1 月予報

病防第108号
令和3年（2021年）12月28日

各関係機関長 様

熊本県病虫害防除所長

病虫害発生予察情報について（送付）

令和3年度（2021年度）発生予報第10号を下記のとおり発表しましたので送付します。

令和3年度（2021年度）病虫害発生予報第10号（1月予報）

I 気象予報：令和3年（2021年）12月23日福岡管区气象台発表

◎向こう1ヶ月の気象予報（単位：％）

予報対象地域	要素	低い (少ない)	平年並	高い (多い)
九州北部全域 (含、山口県)	気温	60	30	10
	降水量	30	40	30
	日照時間	30	40	30

II 【今後、注意すべき病虫害】

1 発生の概要

作物	病虫害名	発生予想		予想の根拠			備考
		平年比	前年比	巡回調査	防除員報告	気象要因	
冬春 トマト	黄化葉巻病	多	多	黄化葉巻病 多(+) コナジラミ やや多(+)	多～並(+)	(コナジラミ) 気温低(-)	
	灰色かび病	やや少	並	やや少(-)	並(±)	降水並(±)	
冬春 ナス	すすかび病	並	やや多	並(±)	並(±)	降水並(±)	
冬春 キュウリ	うどんこ病	やや多	並	多(+)	—	降水並(±)	
イチゴ	うどんこ病	並	並	並(±)	やや多(+)	降水並(±)	

作物	病害虫名	発生予想		予 想 の 根 拠			備 考
		平年比	前年比	巡回調査	防除員報告	気象要因	
	ハダニ類	やや少	やや少	やや少(-)	やや多~並 (±)	気温低(-)	
イチゴ	アザミウマ類	多	多	多(+)	やや多~並 (±)	気温低(-)	
冬春 果菜類	灰色かび病 (トマト除く)	並	並	ナス 並(±) イチゴ 並(±) キュウリ 並(±)	ナス 並~やや少 (±) イチゴ 並(±)	降水並(±)	
	コナジラミ類	並	並	トマト やや多(+) ナス 並(±) キュウリ やや少(-)	トマト やや多~並 (+) ナス やや多~並 (±) キュウリ やや少(-)	気温低(-)	
	アザミウマ類 (イチゴ除く)	並	並	ナス やや少(-) キュウリ 並(±)	ナス 並(±) キュウリ やや少(-)	気温低(-)	

※予想の根拠末尾の括弧書きは、(+)は発生を助長する要因、(-)は発生を抑制する要因、(±)は影響が少ない要因であることを示す。

III 【その他の病害虫】

作物	病害虫名	発生予想 (平年比)	発生概況及び注意すべき事項等
冬春 トマト	葉かび病	やや少	巡回調査では平年比やや少(-)。 発病葉は伝染源となるので早期に除去し、処分する。
	すすかび病	やや少	巡回調査では平年比やや少(-)。 発病葉は伝染源となるので早期に除去し、処分する。

作物	病虫害名	発生予想 (平年比)	発生概況及び注意すべき事項等
冬春ナス	うどんこ病	並	巡回調査では平年比やや多(+) 発病葉は伝染源となるので早期に除去し、処分する。
キュウリ	べと病	並	巡回調査では平年並(±) 肥料切れで多発するので、適正な肥培管理を行う。
レタス	菌核病	並	巡回調査では平年並(±) 発病株は伝染源となるので、早期に除去し、処分する。
	細菌性病害 (斑点細菌病、軟腐病、腐敗病)	並	巡回調査では、斑点細菌病、軟腐病、腐敗病いずれも発病株は確認されず平年並(±) 発病株は伝染源となるので、早期に除去し、処分する。
	灰色かび病	並	巡回調査では平年並(±) 発病株は伝染源となるので、早期に除去し、処分する。

【野菜病虫害の共通対策事項】

- ・換気や排水を良くし、過湿の防止に努める(病害)。
- ・多発後は防除が困難になるので、早期発見と初期防除に努める。
- ・薬剤抵抗性の発達を防ぐため、系統の異なる薬剤のローテーション使用を行う。

各関係機関長 様

熊本県病害虫防除所長

病害虫発生予察情報について（送付）

令和3年度（2021年度）発生予報第11号を下記のとおり発表しましたので送付します。

令和3年度（2021年度）病害虫発生予報第11号（2月予報）

I 気象予報：令和4年（2022年）1月27日福岡管区气象台発表

◎向こう1ヶ月の気象予報（単位：％）

予報対象地域	要素	低い (少ない)	平年並	高い (多い)
九州北部全域 (含、山口県)	気温	40	30	30
	降水量	30	40	30
	日照時間	30	30	40

II 【今後、注意すべき病害虫】

1 発生の概要

作物	病害虫名	発生予想		予想の根拠			備考
		平年比	前年比	巡回調査	防除員報告	気象要因	
冬春 トマト	疫病	並	並	並(±)	やや多～少 (±)	降水並(±)	
	葉かび病	やや少	やや少	やや少(-)	並～やや少 (±)	降水並(±)	
	黄化葉巻病	多	多	多(+)	多～並(+)	(コナジラミ) 気温低(-)	
冬春 ナス	すすかび病	並	並	並(±)	やや少(-)	降水並(±)	

作物	病害虫名	発生予想		予想の根拠			備考
		平年比	前年比	巡回調査	防除員報告	気象要因	
冬春 キュウリ	うどんこ病	やや多	並	多(+)	やや多(+)	降水並(±)	
	べと病	やや多	やや多	やや多(+)	やや多(+)	降水並(±)	
イチゴ	うどんこ病	並	並	並(±)	やや多~並(+)	降水並(±)	
	ハダニ類	並	やや少	やや少(-)	やや多~並(±)	気温低(-)	
	アザミウマ類	多	多	多(+)	多~並(+)	気温低(-)	
冬春 果菜類	灰色かび病	やや少	やや少	トマト やや少 ナス やや多 キュウリ 並 イチゴ 並 (±)	トマト 並~少 ナス やや少 キュウリ やや多 イチゴ 並 (-)	降水並(±)	
	コナジラミ類	やや多	やや多	トマト やや多 ナス やや多 キュウリ やや多 (+)	トマト やや多~並 ナス やや多~並 キュウリ 並 (±)	気温低(-)	
冬春 果菜類	アザミウマ類 (イチゴ除く)	並	並	ナス 並 キュウリ 並 (±)	ナス 並~やや少 キュウリ 並 (±)	気温低(-)	

※予想の根拠末尾の括弧書きは、(+)は発生を助長する要因、(-)は発生を抑制する要因、(±)は影響が少ない要因であることを示す。

Ⅲ 【その他の病害虫】

作物	病害虫名	発生予想 (平年比)	発生概況及び注意すべき事項等
冬春 トマト	すすかび病	並	巡回調査は平年並(±)。 発病葉は伝染源となるので、早期に除去し処分する。
メロン	べと病	並	防除員報告は平年並(±)。 肥料切れで多発するので、適正な肥培管理を行う。
	つる枯病	並	防除員報告は平年並(±)。 株元付近に発生が多いので、出来るだけ乾燥状態に保つ。
スイカ	つる枯病	並	防除員報告は平年並(±)。 株元付近に発生が多いので、出来るだけ乾燥状態に保つ。
	菌核病	並	防除員報告は平年並(±)。 過度の灌水を避け、施設内の過湿防止に努める。 開花期から予防防除に努める。
レタス	菌核病	並	巡回調査では、平年並(±)。 発病株は伝染源となるので、早期に除去し、処分する。
	灰色かび病	並	巡回調査では、平年並(±)。 発病株は伝染源となるので、早期に除去し、処分する。
	細菌性病害 (腐敗病、斑点細菌病、軟腐病)	並	巡回調査では、腐敗病、軟腐病で平年並、斑点細菌病で平年並～やや少(±)。 発病株は伝染源となるので、早期に除去し、処分する。
野菜全般	アブラムシ類	並	巡回調査では、トマト・ナス・キュウリで平年並、イチゴで平年比多(±)。 発生を確認したら、直ちに薬剤防除を行う。

【野菜病害虫の共通対策事項】

- ・換気や排水を良くし、過湿の防止に努める(病害)。
- ・多発後は防除が困難になるので、早期発見と初期防除に努める。
- ・薬剤抵抗性の発達を防ぐため、系統の異なる薬剤のローテーション使用を行う。

各関係機関長 様

熊本県病害虫防除所長

病害虫発生予察情報について（送付）

令和3年度（2021年度）発生予報第12号を下記のとおり発表しましたので送付します。

令和3年度（2021年度）病害虫発生予報第12号（3月予報）

I 気象予報：令和4年（2022年）2月24日福岡管区气象台発表

◎向こう1ヶ月の気象予報（単位：％）

予報対象地域	要素	低い (少ない)	平年並	高い (多い)
九州北部全域 (含、山口県)	気温	30	30	40
	降水量	40	30	30
	日照時間	30	30	40

II 【今後、注意すべき病害虫】

1 発生の概要

作物	病害虫名	発生予想		予想の根拠			備考
		平年比	前年比	巡回調査	防除員報告	気象要因	
チャ	カンザワハダニ	やや多	やや多	多(+)	—	気温高(+) 降水少(+)	
カンキツ	かいよう病	並	並	並(±)	やや多~やや少(±)	降水少(-)	
	ミカンハダニ	やや多	少	やや多(+)	並~少(±)	気温高(+) 降水少(+)	
冬春 トマト	灰色かび病	やや少	少	並(±)	並~やや少(±)	降水少(-)	
冬春 トマト	葉かび病	やや少	並	やや少(-)	並~やや少(±)	降水少(-)	
	すすかび病	やや少	並	やや少(-)	並~やや少(±)	降水少(-)	

作物	病害虫名	発生予想		予想の根拠			備考
		平年比	前年比	巡回調査	防除員報告	気象要因	
冬春 トマト	黄化葉巻病	多	多	黄化葉巻病 多(+) コナジラミ やや多(+)	黄化葉巻病 多～並 (+) コナジラミ 並(±)	(コナジラミ) 気温高(+)	
冬春 ナス	すすかび病	並	並	並(±)	並～やや少 (-)	降水少(-)	
キュウリ	うどんこ病	多	多	多(+)	並(±)	降水少(-)	
	べと病	多	並	多(+)	やや多(+)	降水少(-)	
ウリ科 野菜	キュウリ・メロン 退緑黄化病 スイカ退緑えそ病	多	多	退緑黄化病 多(+) コナジラミ 多(+)	キュウリ 多 メロン 並 スイカ やや多～並 (+)	(コナジラミ) 気温高 (+)	
イチゴ	うどんこ病	並	並	並(±)	並(±)	降水少(-)	
	ハダニ類	並	やや少	並(±)	やや多～並 (±)	気温高(+)	
	アザミウマ類	やや多	並	多(+)	多～並(+)	気温高(+)	
冬春 果菜類	灰色かび病 (トマト除く)	並	並	ナス 並 イチゴ 並 キュウリ 並 (±)	イチゴ 並～やや少 キュウリ 並 ナス 並～やや少 (±)	降水少(-)	
	菌核病	やや多	やや多	キュウリ やや多(+)	キュウリ やや多 (+) スイカ 並 (±)	降水少(-)	

作物	病害虫名	発生予想		予想の根拠			備考
		平年比	前年比	巡回調査	防除員報告	気象要因	
冬春 果菜類	コナジラミ類	やや多	やや多	トマト やや多 ナス やや少 キュウリ 多 (+)	トマト 並 ナス 並 メロン 並 キュウリ 並 スイカ やや多 (±)	気温高(+)	
	アザミウマ類 (イチゴ除く)	並	並	ナス 並 キュウリ やや多(+)	ナス 並~やや少 キュウリ 並 (-)	気温高(+)	
	アブラムシ類	やや多	やや多	トマト 並 ナス 並 キュウリ 並 イチゴ やや多 (±)	トマト 並 ナス 並 メロン 並 キュウリ 並 スイカ 並 イチゴ やや多 (±)	気温高(+)	

※予想の根拠末尾の括弧書きは、(+)は発生を助長する要因、(-)は発生を抑制する要因、(±)は影響が少ない要因であることを示す。

Ⅲ 【その他の病害虫】

作物	病害虫名	発生予想 (平年比)	発生概況及び注意すべき事項等
冬春 トマト	疫病	並	巡回調査では、発病株は確認されず平年並(±)。 発病後は防除が困難なので、予防に重点をおく。 前年に発生が多かったほ場では、定期的に薬剤散布を行う。
ウリ科 野菜	つる枯病	並	防除員報告は、メロン、スイカで平年並(±)。 株元周辺をできるだけ乾燥状態に保つ。 窒素質肥料の多用を避け、適正な肥培管理を行う。

【野菜病害虫の共通対策事項】

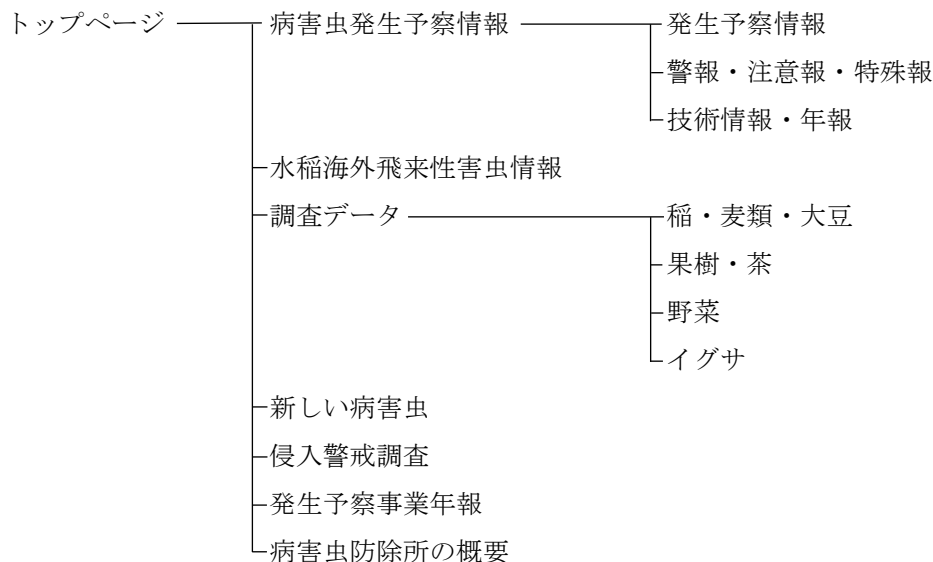
- ・換気や排水を良くし、過湿の防止に努める(病害)。
- ・多発後は防除が困難になるので、早期発見と初期防除に努める。
- ・薬剤抵抗性の発達を防ぐため、系統の異なる薬剤のローテーション使用を行う。

(3) ホームページ掲載内容

ホームページアドレス：<https://www.pref.kumamoto.jp/soshiki/75/125504.html>

Eメールアドレス：byougaityuboujyo@pref.kumamoto.lg.jp

・掲載内容



調査データ掲載内容

掲載期間	掲載内容
4月～10月	セジロウカ・トビイロウカ・ヒメトビウカ・ツマグロヨコバイの誘殺状況（予察灯、ネットラップ）、コブメカガ誘殺状況（フェロモントラップ）
4月～10月	チャハネアカメシ・ツヤアカメシ誘殺状況（予察灯、フェロモントラップ）、チャノカクモンハマキ・チャハマキ・チャノホカガ誘殺状況（フェロモントラップ）、チャノキイロアザミウマ（黄色粘着板）
4月～10月	ハスモンヨトウ・コカガ・オオタバコガの誘殺状況（フェロモントラップ）、アブラムシ類の誘殺状況（黄色水盤トラップ）
4月～10月	イグサシロムシガの誘殺状況（予察灯）
4月～6月	イグサシロムシガ越冬調査、イグサシロムシガ発蛾最盛期予測
4月～5月	麦類赤かび病多発条件出現日予測
4月～10月	イネいもち病発生予測（BLASTAM）
6月～9月	クモリカメシ発生予測、ヒノキ球果口針鞘数調査、
7月～9月	チャノキイロアザミウマの発生ピーク予測、クシロカイラムシふ化予測

3 植物検疫事業

(1) ジャガイモシストセンチュウ侵入警戒調査

平成23年4月に天草市五和町（通詞島）において本線虫が県内で初めて確認された。
このため、県内産地への拡大を防止するため、対岸地域での発生の有無を調査した。

- 1) 調査日：令和3年5月31日
- 2) 調査地及びほ場数：天草市五和町二江（17ほ場）、天草市五和町鬼池（9ほ場）、天草市五和町御領（2ほ場）及び荅北町（2ほ場）計30ほ場
- 3) 調査方法：土壌検診（フェンウィック法）
- 4) 調査結果：通詞島対岸のほ場からシストセンチュウは確認されなかった。

(2) アリモドキゾウムシ侵入警戒調査

合成性フェロモンによる誘殺結果

市町村名	誘 殺 数							計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	
大津町1	0	0	0	0	0	0	0	0
大津町2	0	0	0	0	0	0	0	0
合志市	0	0	0	0	0	0	0	0
菊陽町	0	0	0	0	0	0	0	0
西原村	0	0	0	0	0	0	0	0
天草市	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	0	0	0	0	0	0	0

(3) イモゾウムシ侵入警戒調査

- 1) 調査日：令和3年9月1～2日
- 2) 調査地：大津町、合志市、菊陽町、西原村、天草市（牛深）
（アリモドキゾウムシ合成性フェロモン調査地点付近のサツマイモほ場）
- 3) 調査方法：収穫終了ほ場でのサツマイモ残渣の見取り調査
- 4) 調査結果

市町名	地点	発生の有無	状況
菊陽町	菊陽茶調査地点付近	無	掘り取り後、残さ（茎、イモ）調査
菊陽町	合志市市役所付近	無	掘り取り後、残さ（茎、イモ）調査
大津町	大津フェロモントラップ調査地点付近	無	掘り取り後、残さ（茎、イモ）調査
西原村	小森（集荷所近く）	無	掘り取り後、残さ（茎、イモ）調査
合志市	農業大学校	無	掘り取り後、残さ（茎、イモ）調査
天草市（牛深）	県道26号沿い	無	収穫前、蔓（地際部分）の調査

(4) スイカ果実汚斑細菌病侵入警戒調査

[定期調査]

- 1) 調査日：令和3年10月14日（益城町）
令和4年2月22日（山鹿市）
- 2) 調査地：益城町および山鹿市のスイカ育苗ほ場
- 3) 調査方法：育苗ほ場における苗の発病状況の見取り調査
- 4) 調査結果

育苗床におけるスイカ果実汚斑細菌病の発生状況

市町村名	調査ほ場数	生育状況	発生の有無
益城町	5	2～3葉期（台木及び穂木）	無
山鹿市	5	1～5葉期（台木及び穂木）	無

(5) ミバエ類等特殊病害虫侵入警戒調査

①対象害虫名：ミカンコミバエ

市町村名	No.	誘殺数(頭)									合計
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月		
熊本市	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
宇城市	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合志市	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
阿蘇市	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
八代市	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
芦北町	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	(増設分)	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
あさぎり町	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
天草市	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	5	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	(増設分)	0	18	1	4	2	8	4	0		38
上天草市	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
苓北町	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
合計 30 地点+増設分		0	18	1	5	2	6	4	3		41

②対象害虫名：ウリミバエ

市町村名	No.	誘殺数(頭)								
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	合計
熊本市	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0
宇城市	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合志市	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
八代市	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
芦北町	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0
あさぎり町	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
天草市	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計 19 地点		0	0	0	0	0	0	0	0	0

③対象害虫名：チチュウカイミバエ

市町村名	No.	誘殺数(頭)								
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	合計
熊本市	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0
宇城市	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合志市	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
八代市	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
芦北町	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0
あさぎり町	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
天草市	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計 19 地点		0	0	0	0	0	0	0	0	0

第3 その他

1 病害虫診断

2 気象概要

1 病害虫診断

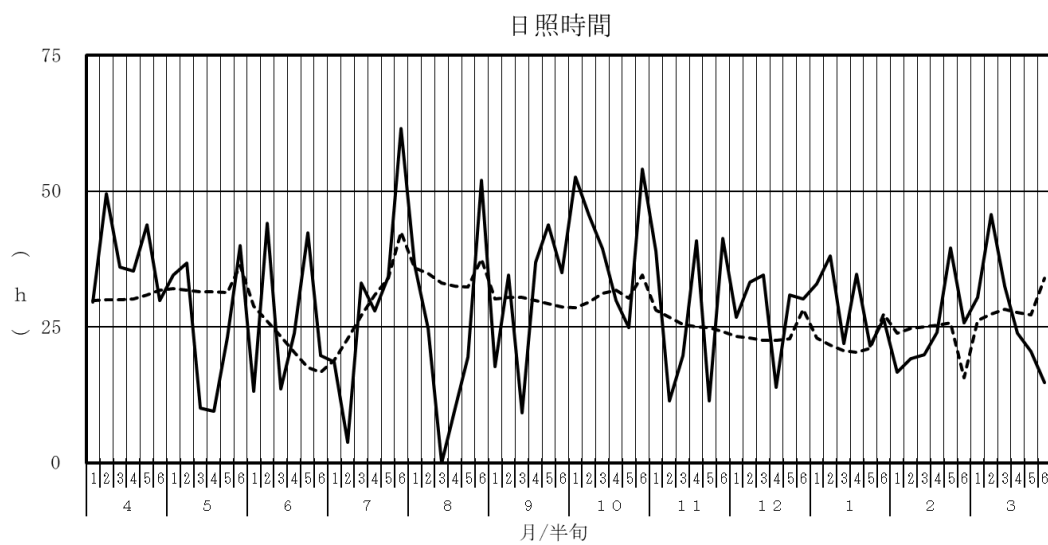
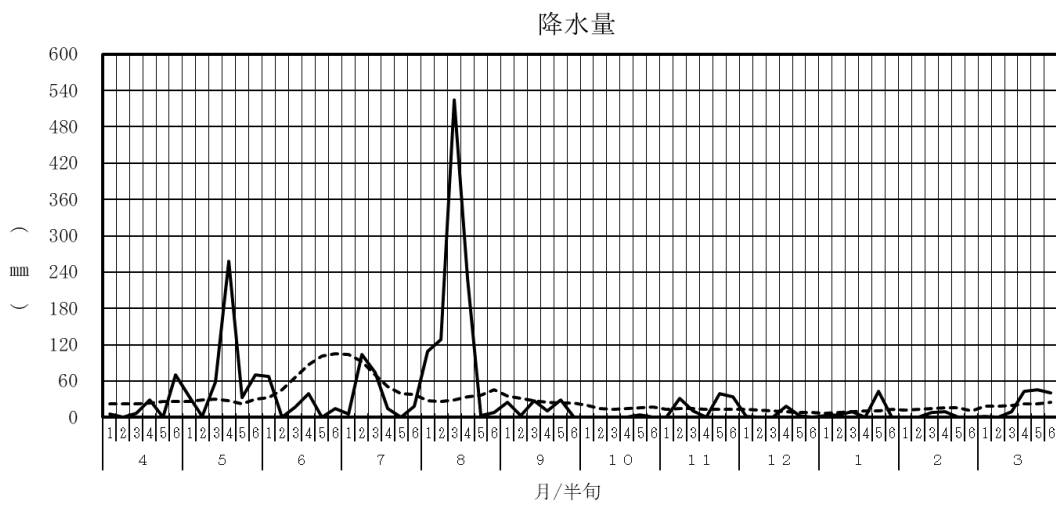
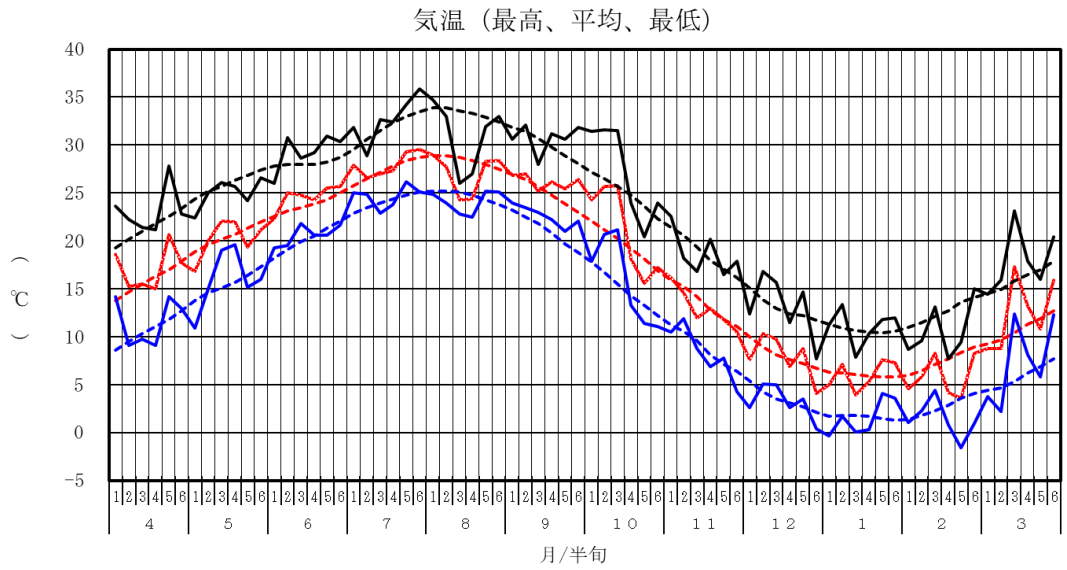
No.	受付 月日	作物名	症状	診断方法等	診断結果
1	4/1	パレイショ	ほ場全面で新葉から3~5葉目の葉が萎縮し枯れている	農林水産省門司植物防疫所にて同定	新病害(特殊報)
2	4/1	トマト	成長点付近の葉が小さく、縮れる	PCR(TYLCOV)	黄化葉巻病(TYLCOV)ではない
3	4/6	トマト	苦土欠のような下葉の黄化	RT-PCR(ToCV)	ToCVによる黄化病
4	4/6	ナス	株の萎れ、のちに葉の黄化	移植観察	ウイルス病ではない
5	4/8	オオムギ	網斑病のような症状を確認	検鏡	網斑病
6	4/14	トマト	青枯病に似た症状、細菌は確認できない	検鏡・分離	トマト根腐萎凋病
7	4/15	コムギ	葉身に白い線上の斑点が発生後、次第に鱗状の斑点に変化した	画像診断	赤さび病ではない
8	4/20	トルコギキョウ	2番花の葉先枯れ、株の枯死、株元の部分的な褐変、細根の枯死脱落	検鏡・分離	立枯病、青かび根腐病
9	4/23	ナス	茎のくびれ、陥没、茎上に小黑点、葉の黄化、生育不良	検鏡	褐紋病
10	5/6	ニラ	葉先からの枯れ込み、根腐れ、とろけ、雑草の白化	視診	白絹病
11	5/26	サツマイモ	採病後の茎が成業せず腐敗、諸梗側から腐敗及びカビの発生	LAMP	基腐病ではない
12	5/27	トマト	水浸状に茎に黒変があり、茎の断面がスカスカ	イムノストリップ	トマト青枯病
13	5/26	ミニトマト	果実にウジが発生	画像診断	不明
14	5/31	トマト	葉のモザイク状の壊疽、果実の壊疽	ELISA	ToMVによるモザイク病
15	5/31	パプリカ	茎の又部分近辺下部の黒変、一部水浸状に拡大、萎れや枯死株が散見	イムノストリップ	青枯病
16	6/1	ミニトマト	茎内部の空洞化、茎表面の黒変	イムノストリップ	青枯病
17	6/1	クリ	成木の立ち枯れ	現地確認	不明(黒色根腐病の可能性)
18	6/1	ブドウ	葉がまだらに透ける症状	現地確認	不明(ウイルス病の可能性)
19	6/1	ゴボウ	収穫、洗浄後の袋詰め前に、ゴボウに斑点及びとろけが発生	分離、接種	軟腐病(傷から細菌が侵入)
20	6/1	ミニトマト	葉の青枯れ症状、茎内部の空洞化、根の褐変及び紅変	分離	ミニトマト萎凋病または根腐萎凋病
21	6/9	ナス	株枯れ	検鏡、分離	不明
22	6/3	イネ	育苗ほかに設置した苗が褐色を呈する	検鏡	細菌性の苗腐敗
23	6/7	トマト	葉の葉脈間の黄化、中位葉、下位には見られる	RT-PCR(ToCV)	トマト黄化病
24	6/7	トウガラシ	葉に退緑やえそ病斑、茎にえそ病斑がみられる	接種試験、ELISA	とうがらしモザイク病
25	6/8	ピーマン	成長点付近の葉の縮れ、葉に褐色の斑点	接種試験、ELISA	ピーマン黄化えそ病
26	6/10	キュウリ	下位節の葉が淡緑化、葉にえそ症状あり	ELISA	キュウリ黄化えそ病
27	6/11	トマト	果実表面にえそ病斑	ELISA	トマトモザイク病
28	6/11	カンキツ	果実表面に油が飛んだような跡、被害果実は黄化し肥大停止	画像診断	不明
29	6/15	イネ	育苗箱の出芽不良、カビの発生	画像診断	苗立枯病
30	6/16	トマト	果実表面にえそ病斑	ELISA	トマトモザイク病
31	6/1	ブドウ	袋掛け後に、5mm程度の褐色~黒色の斑点、のち腐敗	現物確認	生理障害(縮果症)
32	6/28	カンショ	生育の遅延	検鏡、分離	つる割病
33	6/30	ホオズキ	下葉からの黄化、枯れ、後に枯死	検鏡、分離	不明
34	7/8	イネ	一部の茎の葉色が薄く、徒長あり。育苗段階で徒長苗あり	検鏡、分離	イネばか苗病
35	7/9	ショウガ	親ショウガの一部腐敗、表皮のひび割れ	検鏡、分離	ショウガ立枯病
36	7/12	トマト	下葉の黄化、生育遅延、成長点付近の萎れ	検鏡	根腐性の病害
37	7/15	トマト	葉の黒色小斑点	検鏡	トマト黒斑病
38	7/15	ミニトマト	芽先の黄化	PCR(TYLCOV)	トマト黄化葉巻病
39	7/16	トマト	葉腋部および葉柄の壊疽、維管束、髓部の褐変、気根の発生	検鏡、分離	茎えそ細菌病
40	7/21	ポインセチア	根腐れを伴う株の萎れ、酷いものは枯死	検鏡、分離	ポインセチア根腐病
41	8/2	葉ネギ	株の萎れ、倒伏、枯死	検鏡	ネダニ類による腐敗
42	8/5	トマト	根腐れと株元表面の褐変、気根の発生、中位葉の黄化、下葉の落葉	検鏡、分離	トマト根腐萎凋病
43	8/10	イネ	葉先枯れ、酷いものは葉全体が枯	検鏡	白葉枯れではない
44	8/11	キュウリ	葉脈間の黄化、軽いモザイク症状	ELISA	キュウリモザイク病(CMV)
45	8/17	キュウリ	本葉4枚目に淡褐色斑点、斑点到亀裂、穴あり	検鏡	炭疽病、黒星病、黒斑病、斑葉病
46	8/17	シュウメイギク	株の萎縮、葉の黄化、根腐れ	ELISA、接種	ウイルス病ではない
47	8/18	トマト	黄化葉巻病の症状	PCR(TYLCOV)	トマト黄化葉巻病(TYLCOV)
48	8/24	キュウリ	葉の褐斑	画像診断	褐斑病

49	8/24	キュウリ	葉の褐斑	画像診断	褐斑病ほか
50	8/26	カンショ	つる表面の不整形黒変、ひび割れ	LAMP、検鏡、分離	サツマイモつる割病
51	8/30	ナス	株枯れ、株の萎れ	検鏡	不明
52	9/1	カンショ	葉の黄変、株元の黒変	LAMP、検鏡、分離	サツマイモつる割病
53	9/3	メロン	退緑小斑点	RT-PCR(CCYV)	CCYVによる退緑黄化病
54	9/8	ミニトマト	葉脈に沿って盛り上がる奇形	画像診断	水疱症
55	9/8	ミカン	日焼けからの果実腐敗	検鏡	炭疽病
56	9/10	イネ	異常生長、各節からの不定根の発生	検鏡	ばか苗病
57	9/13	トマト	生長点の生育異常	PCR(TYLCV)	黄化葉巻病(TYLCV)ではない
58	9/15	トマト	新葉の黄化、変形	PCR(TYLCV)	TYLCVによる黄化葉巻病
59	9/15	トマト	新葉の縮れ、褪色	PCR(TYLCV)	不明
60	9/15	トマト	新葉の黄化、変形	PCR(TYLCV)	TYLCVによる黄化葉巻病
61	9/24	キュウリ	葉の黄化、えそ斑点、モザイク症状	ELISA	MYSVIによる黄化えそ病
62	9/24	ズッキーニ	モザイク症状	ELISA、PCR	ウイルス病ではない
63	10/1	ショウガ	地上部の立枯、種ショウガの軟腐	検鏡、分離	立枯病
64	10/7	カンショ	塊根表皮の黒変	検鏡	黒あざ病
65	10/8	イチゴ	展開葉の萎縮、黄化	検鏡、分離	萎黄病
66	10/14	パレイショ	地上部の萎れ、種イモの軟化	イムノストリップ	青枯病
67	10/14	ミニトマト	生長点に柳葉症状	PCR(TYLCV)	黄化葉巻病(TYLCV)ではない
68	10/14	ミニトマト	生長点に柳葉症状	PCR(TYLCV)	黄化葉巻病(TYLCV)ではない
69	10/21	ミニトマト	黄化葉巻病と思われる黄化症	PCR(TYLCV)	TYLCVによる黄化葉巻病
70	10/21	ミニトマト	葉の黄化	RT-PCR(ToCV)	ToCVによる黄化病
71	10/27	カンショ	塊根の変色、腐敗	LAMP、分離	基腐病
72	10/27	カンショ	塊根の変色	LAMP	基腐病
73	10/27	カンショ	地上部の枯れ、塊根の変色	LAMP	基腐病
74	11/1	カンショ	茎の黒変、塊根の腐敗	LAMP	基腐病
75	11/1	ミニトマト	生長点、果房の萎縮	PCR	不明
76	10/25	カキ	果肉の斑点状の黒変	検鏡	不明
77	11/4	メロン	株全体の黄化、葉の茶褐色の斑点	ELISA、RT-PCR、接種	不明
78	11/4	ミニトマト	新芽の変色	PCR(TYLCV)	黄化葉巻病(TYLCV)ではない
79	11/4	キュウリ	萎凋症状	ELISA、分離	MYSVIには感染しているが萎凋の原因は不明
80	11/9	カンショ	茎の節状の黒変と枯れ	検鏡、LAMP	不明(基腐病ではない)
81	11/10	キュウリ	果実の奇形、葉のモザイク症状	LAMP	KGMMVによる緑斑モザイク病
82	11/11	カンショ	なり口や側面の一部枯れ	LAMP、検鏡	Fusarium属菌による腐敗
83	11/12	カスミソウ	立枯症状	選択培地による分離	萎凋細菌病
84	11/15	カンショ	地際部の黒変	LAMP、分離	不明(基腐病ではない)
85	11/24	キク	根、導管の褐変	分離	フザリウム立枯病
86	11/24	トマト	生長点の萎縮、えそ	ELISA	不明(TSWV,CMV,ToMV,TMVではない)
87	11/30	ミニトマト	果実と葉のえそ条斑	ELISA、接種	不明(TSWV,CMV,ToMV,TMVではない)
88	11/25	カンショ	塊根表面の黒いあざ、なり首側からの腐敗	LAMP、分離	基腐病ではない(白腐病)
89	12/16	トマト	導管、髓部、根の褐変、萎れ	分離、API20	トマト茎えそ細菌病
90	12/16	トマト	下葉から黄化し枯れあがる	RT-PCR(ToCV)	ToCVによる黄化病
91	12/27	カンショ	塊根の黒変、腐敗	LAMP、分離	基腐病
92	1/6	トマト	下葉から徐々に黄化	RT-PCR(ToCV)	黄化病(ToCV)ではない
93	1/19	ミニトマト	萎れ、地際の褐変	イムノストリップ、API20	青枯病
94	1/21	トマト	下葉から黄化、根が少ない	RT-PCR(ToCV)	黄化病(ToCV)ではない
95	1/21	トマト	下葉から黄化、根が少ない	RT-PCR(ToCV)	ToCVによる黄化病
96	1/24	ネギ	下葉の枯れ、萎凋、倒伏、枯死	検鏡	葉枯病
99	2/3	コムギ	根腐れ、下葉から黄変、枯死	検鏡、分離	株腐病

100	2/3	コムギ	根腐れ、下葉から黄変、枯死	検鏡、分離	株腐病
101	2/3	コムギ	根腐れ、下葉から黄変、枯死	検鏡、分離	株腐病
102	2/24	トマト	葉の黄化	RT-PCR(ToCV)	ToCVによる黄化病
103	2/24	トマト	葉の黄化	RT-PCR(ToCV)	黄化病(ToCV)ではない
104	2/24	トマト	葉の黄化	RT-PCR(ToCV)	ToCVによる黄化病
105	3/1	メロン	株元の褐変、くびれ、株の萎れ	検鏡、分離	疫病
106	3/3	メロン	株元の褐変、くびれ、株の萎れ	検鏡、分離	苗立枯病または根腐萎凋病
107	2/22	不知火	カイガラムシの発生	画像診断	ヤメネカイガラムシまたはハラナガカイガラムシの可能性
108	3/9	トマト	葉が固くなり黄化	RT-PCR(ToCV)	黄化病(ToCV)ではない
109	3/10	トマト	下葉から黄化	RT-PCR(ToCV)	ToCVによる黄化病
110	3/28	キク	茎や葉にえそ症状	ELISA(TSWV),RT-PCR(GSNV)	CSNVによる茎えそ病
111	3/28	ショウガ	根茎表面に黒斑、腐敗はしていない	検鏡、分離	Rhizoctoniaによる病害

2 気象概要

熊本市の気温、降水量、日照時間の推移 (実線：本年、点線：平年値)



病虫害発生予察情報サービス

病虫害防除に役立つ情報を提供しています。

<https://www.pref.kumamoto.jp/soshiki/75/125504.html>

熊本県病虫害防除所

(農業研究センター 生産環境研究所 予察指導室)

〒861-1113 熊本県合志市栄3801

TEL : 096 (248) 6490~91

FAX : 096 (248) 6493

発行者：熊本県

所 属：病虫害防除所

発行年度：令和4年度

(2022年度)